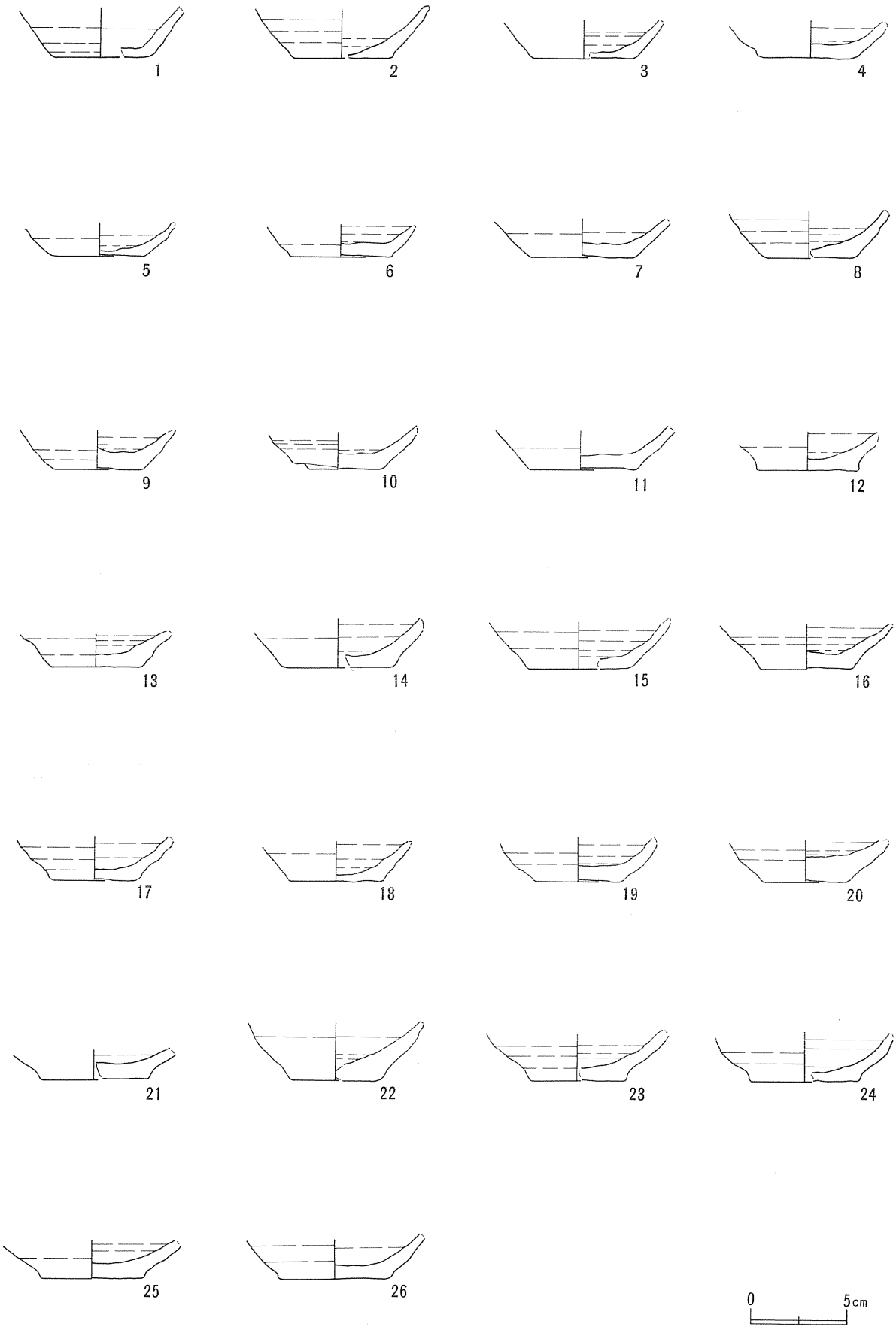
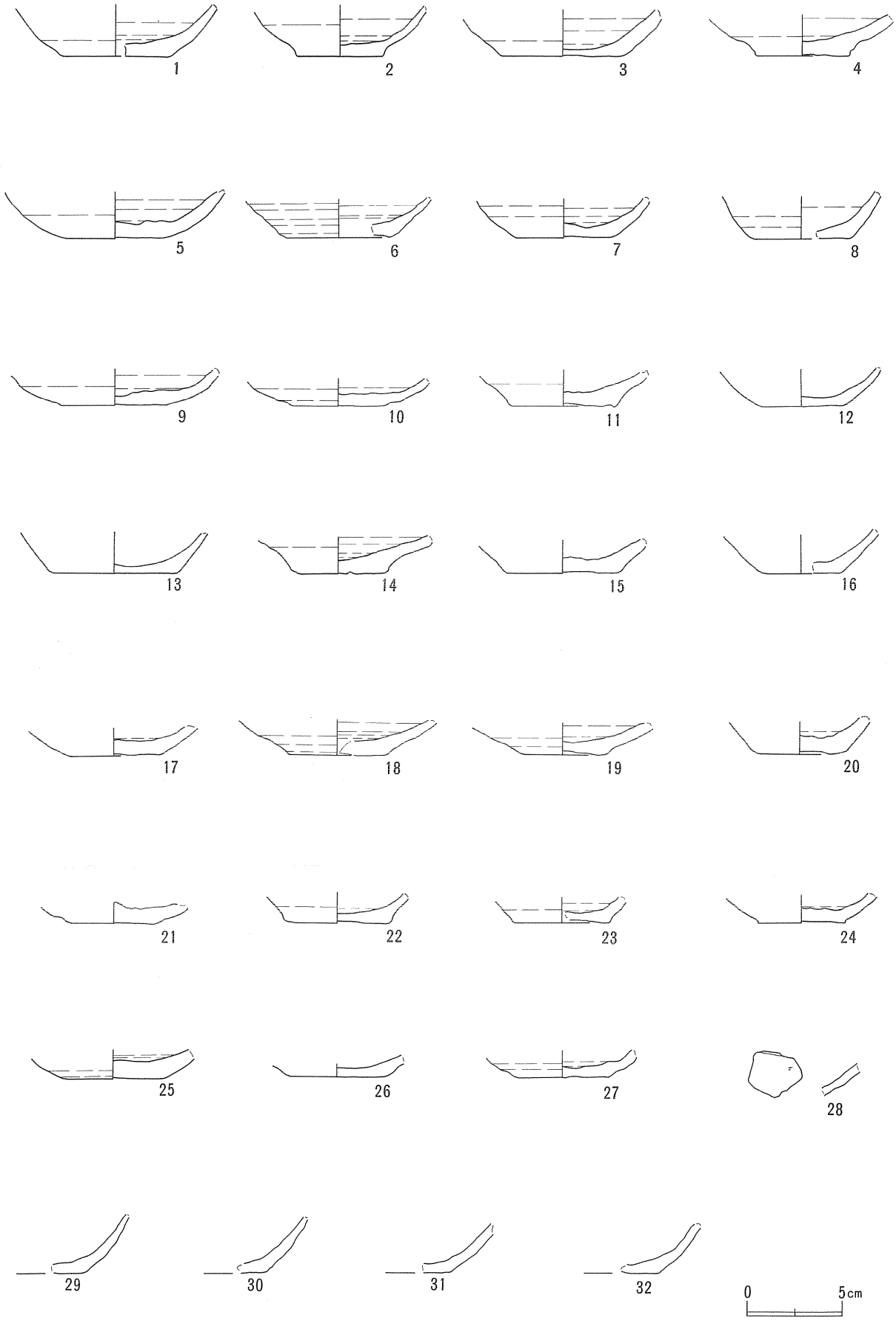
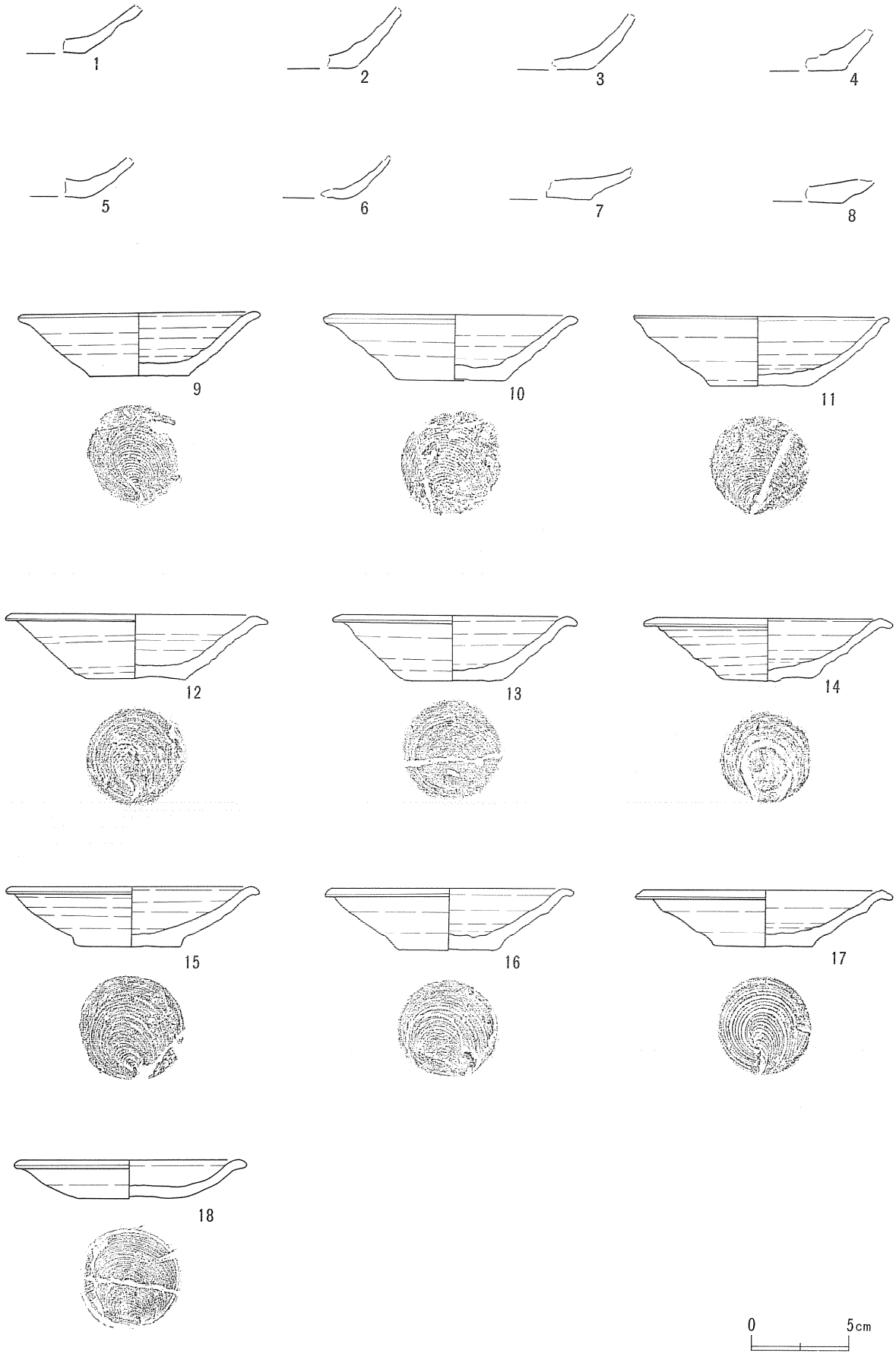


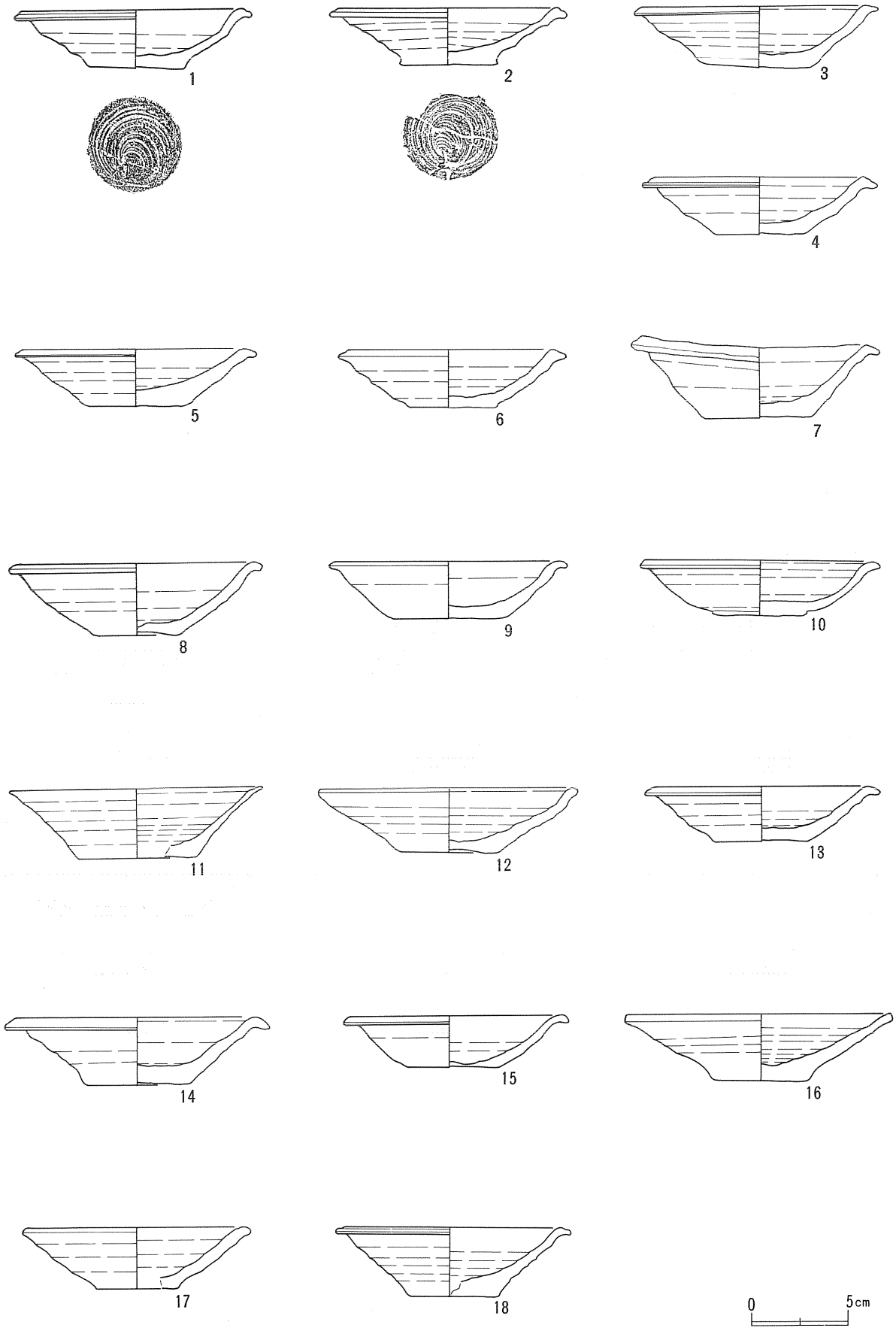
第268図　遺構出土土器類(68)（SK25）



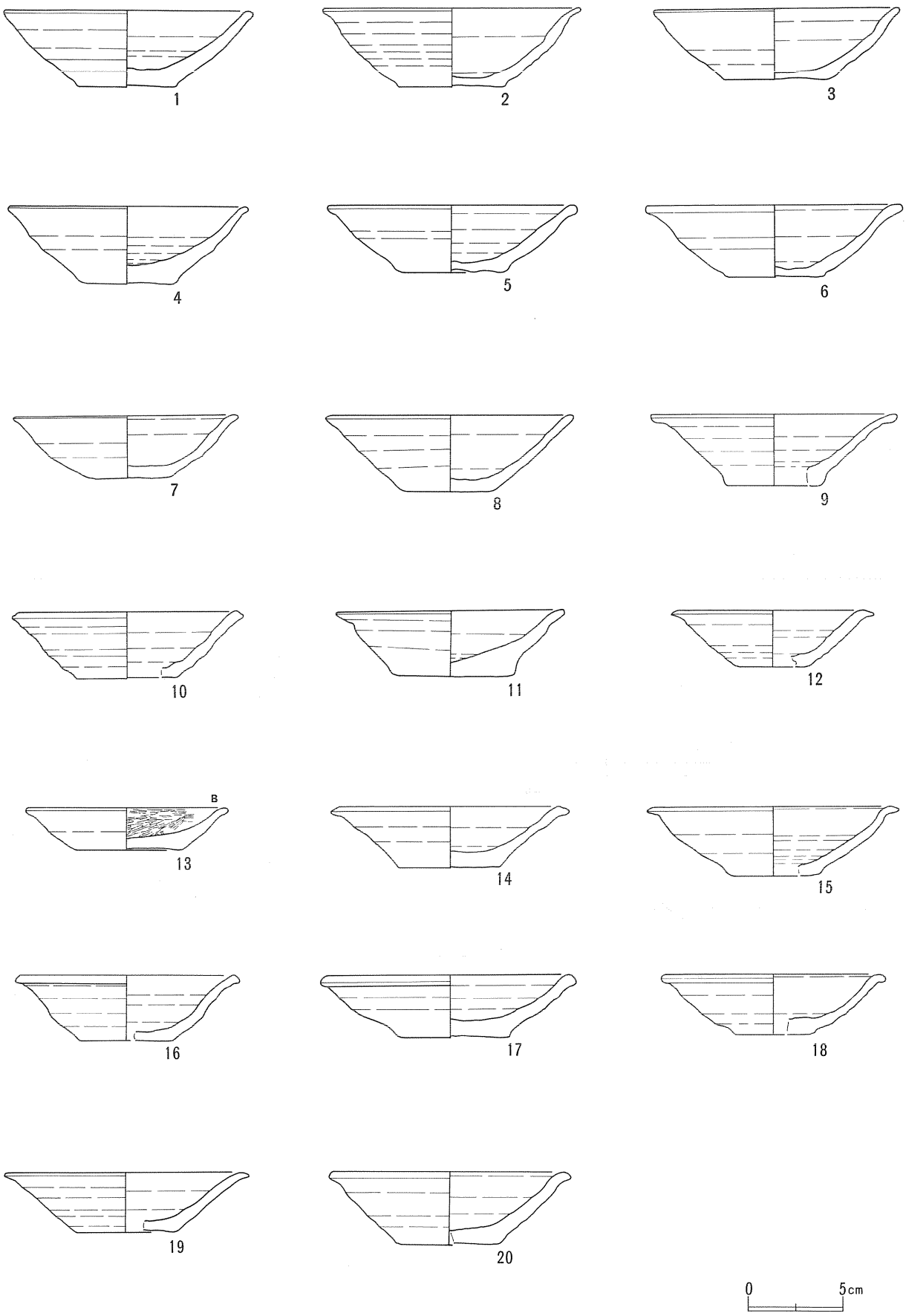
第269図　遺構出土土器類(69)（SK25）



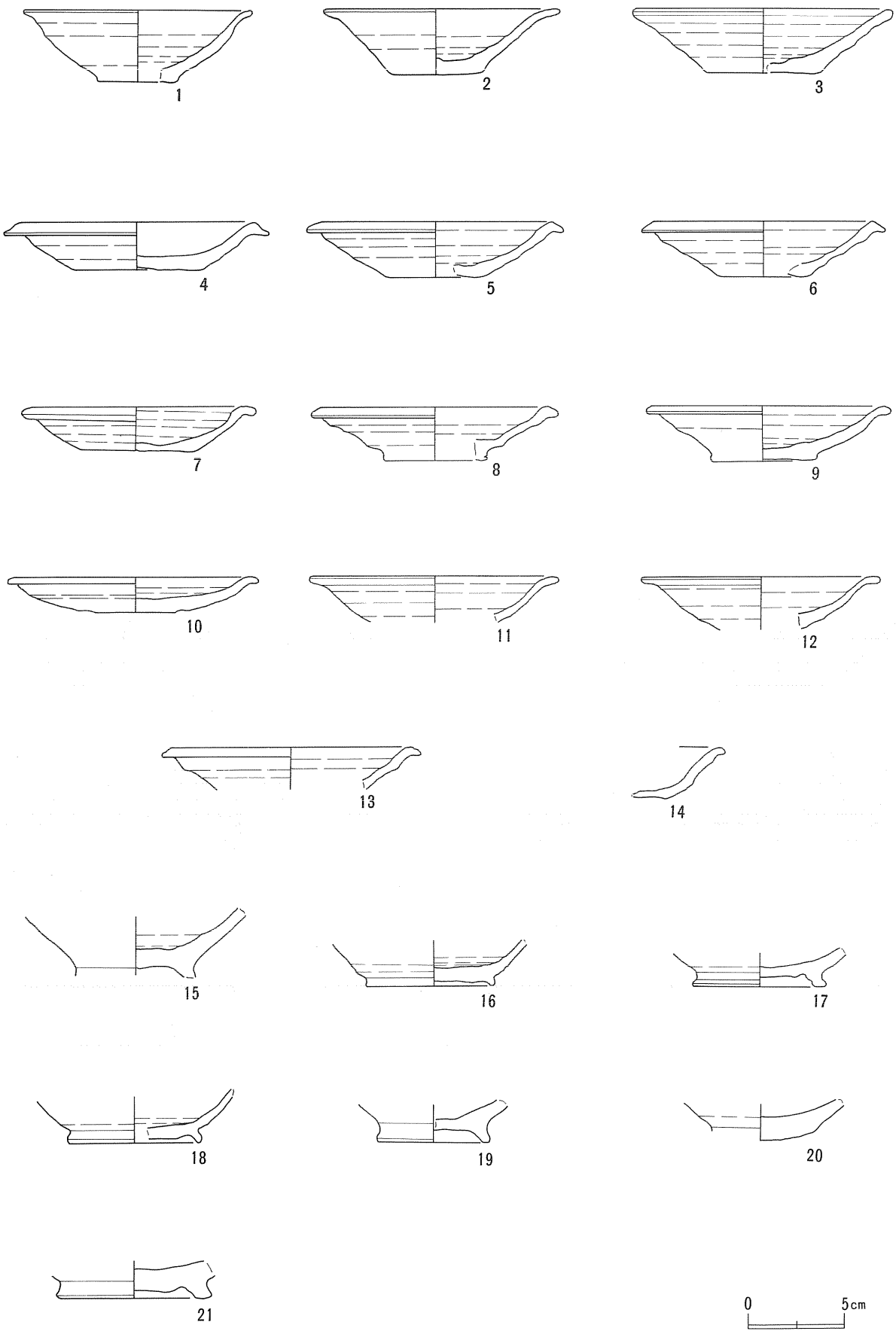
第270図　遺構出土土器類(70)（SK25）



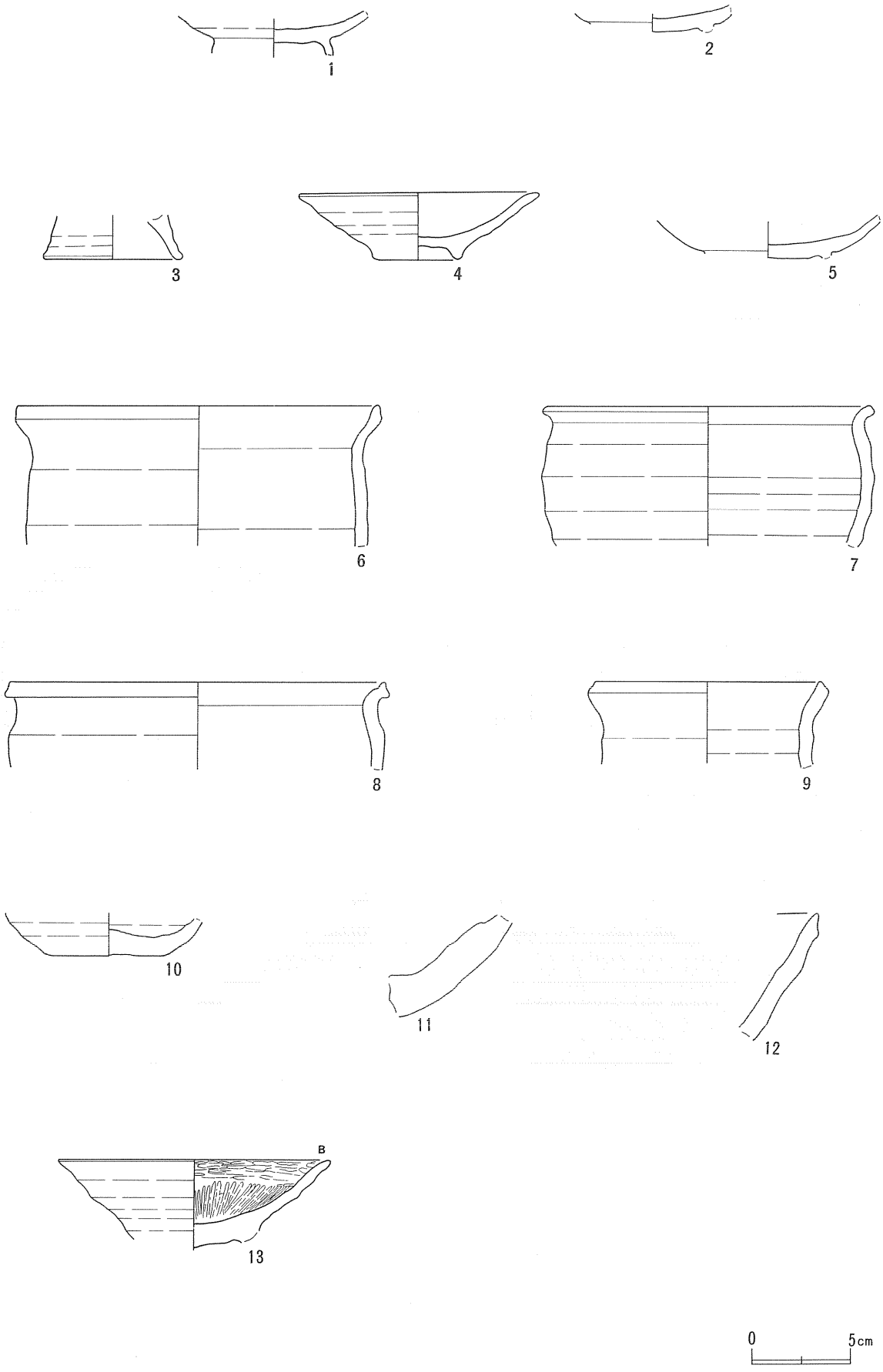
第271図　遺構出土土器類(71)（SK25）



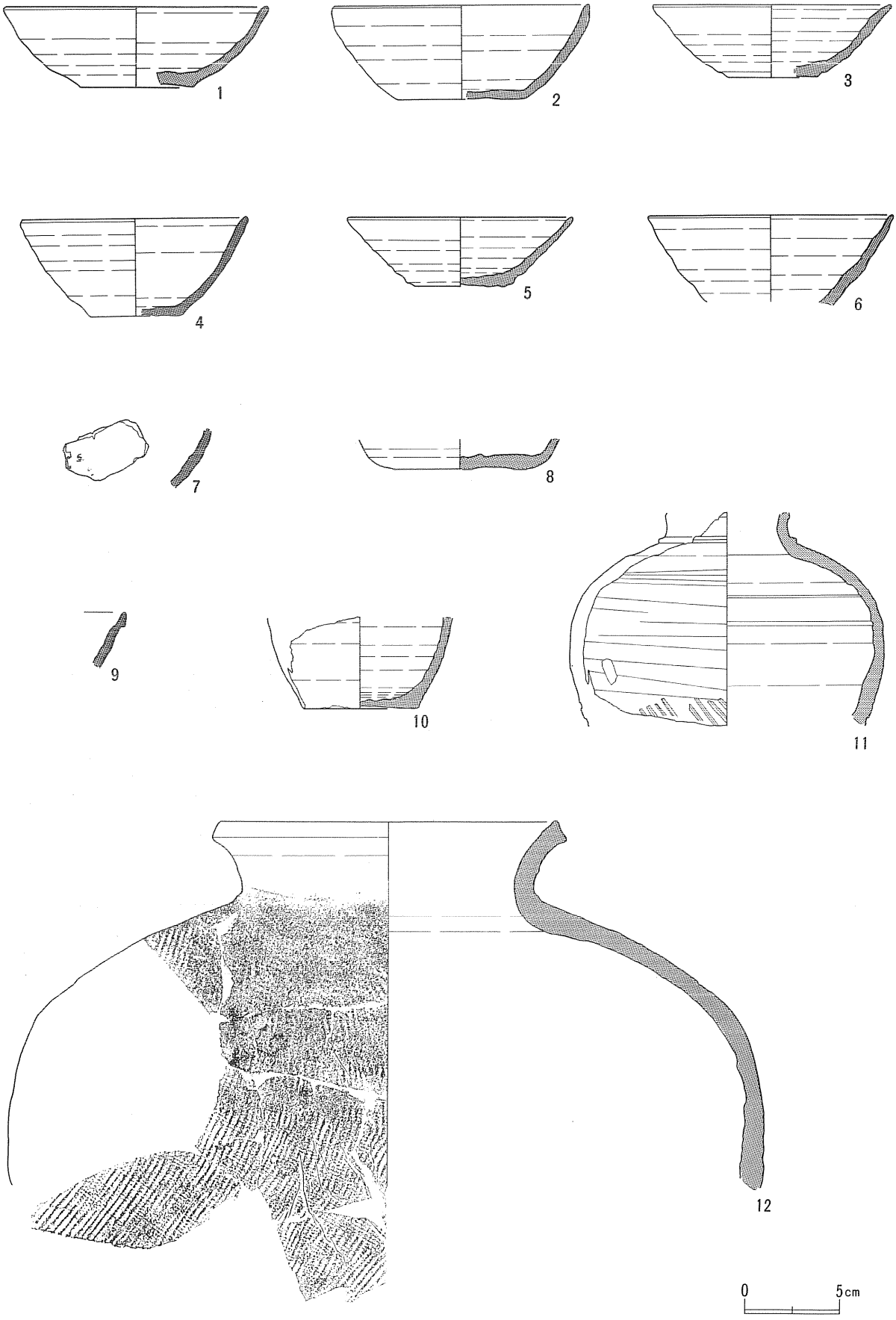
第272図　遺構出土土器類(72)（SK25）



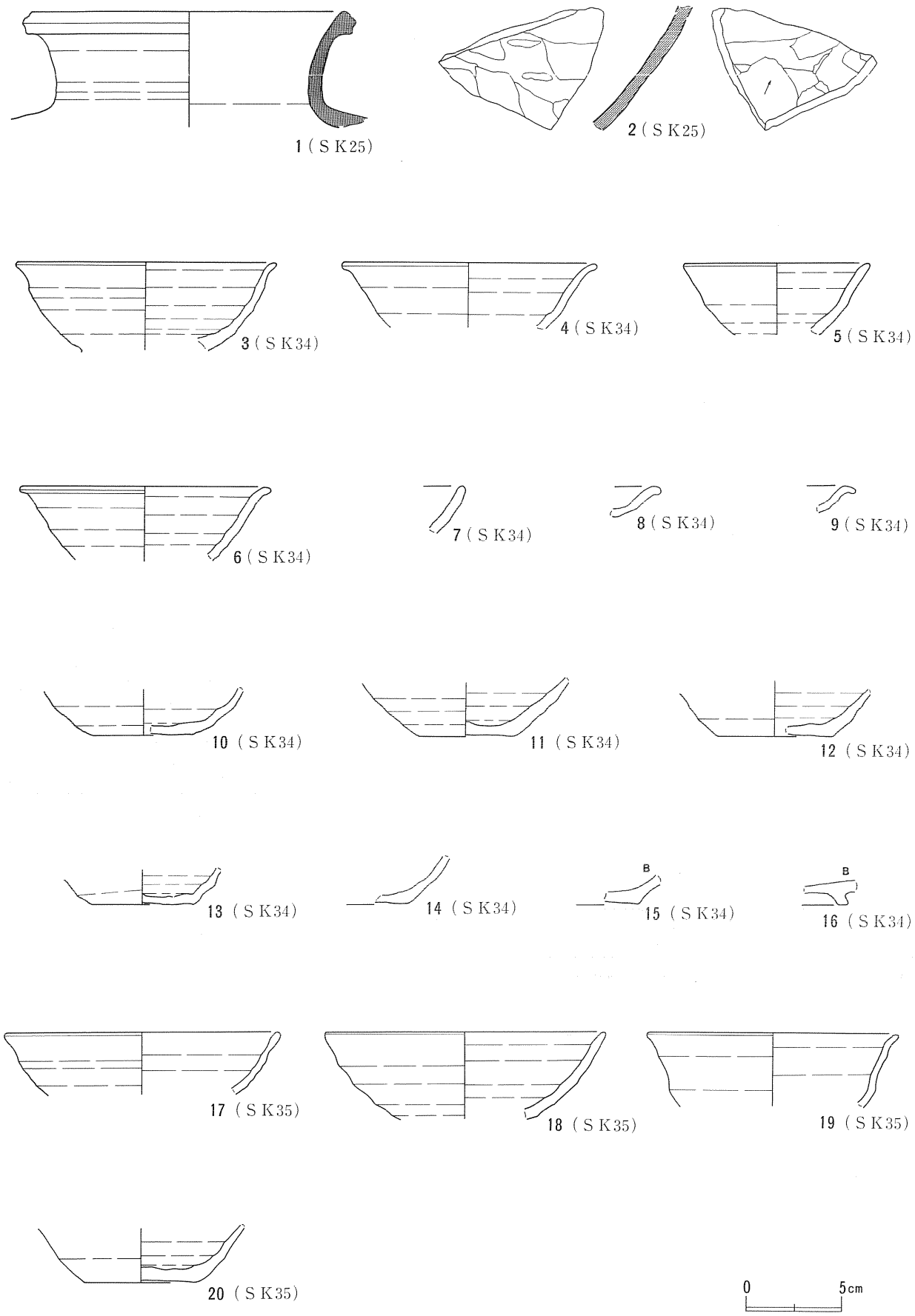
第273図　遺構出土土器類(73)（SK25）



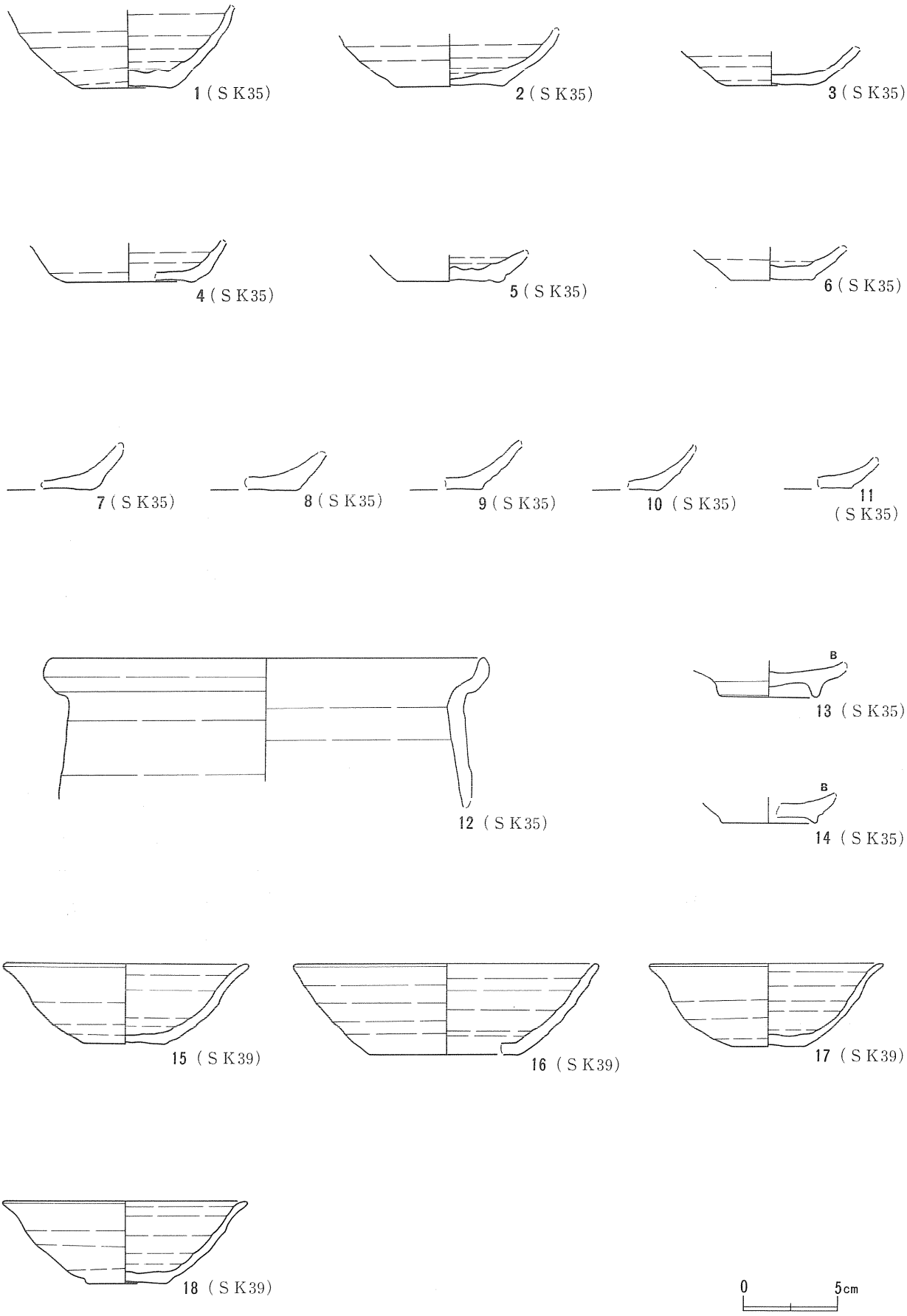
第274図　遺構出土土器類(74)（SK25）



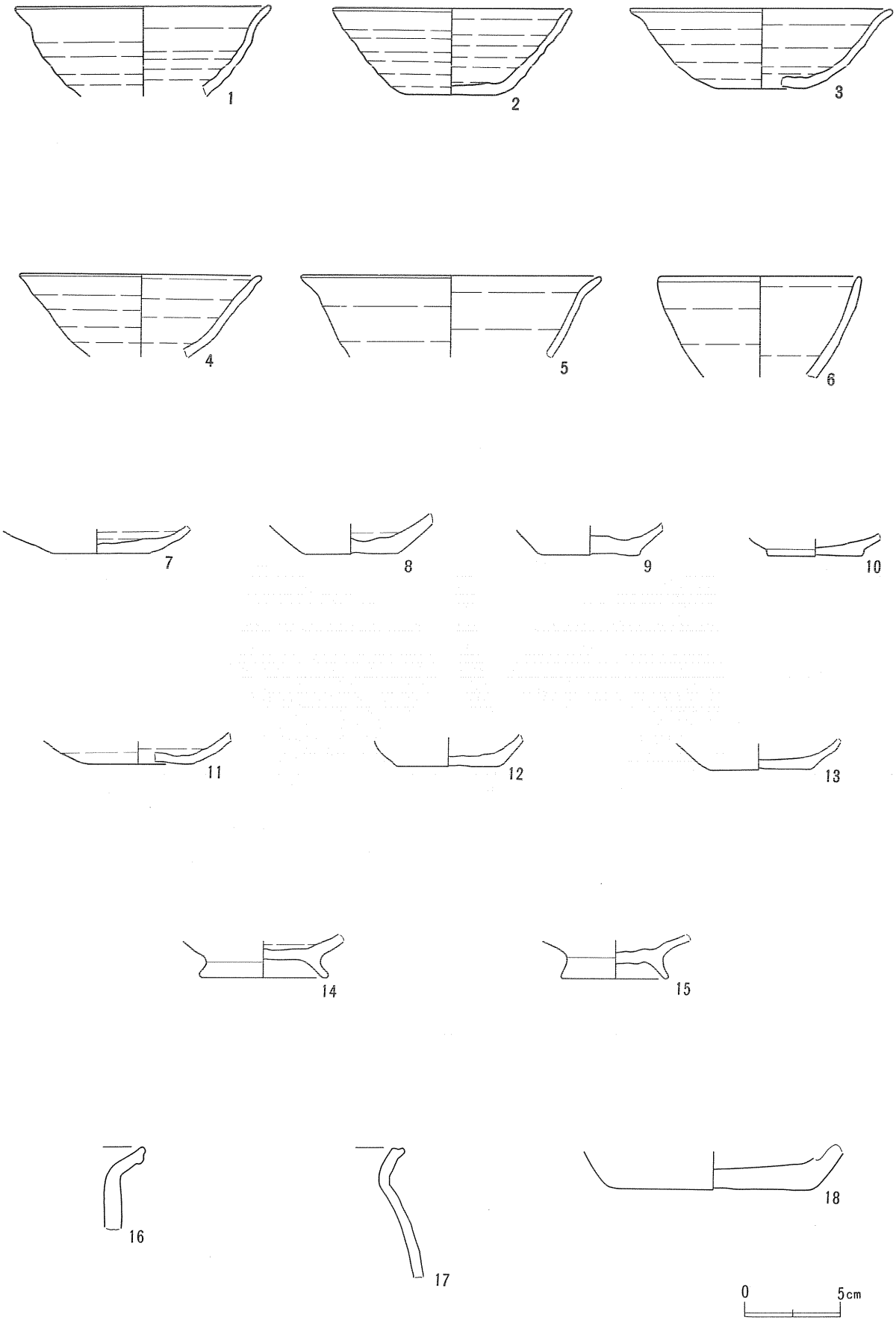
第275図　遺構出土土器類(75)（SK25）



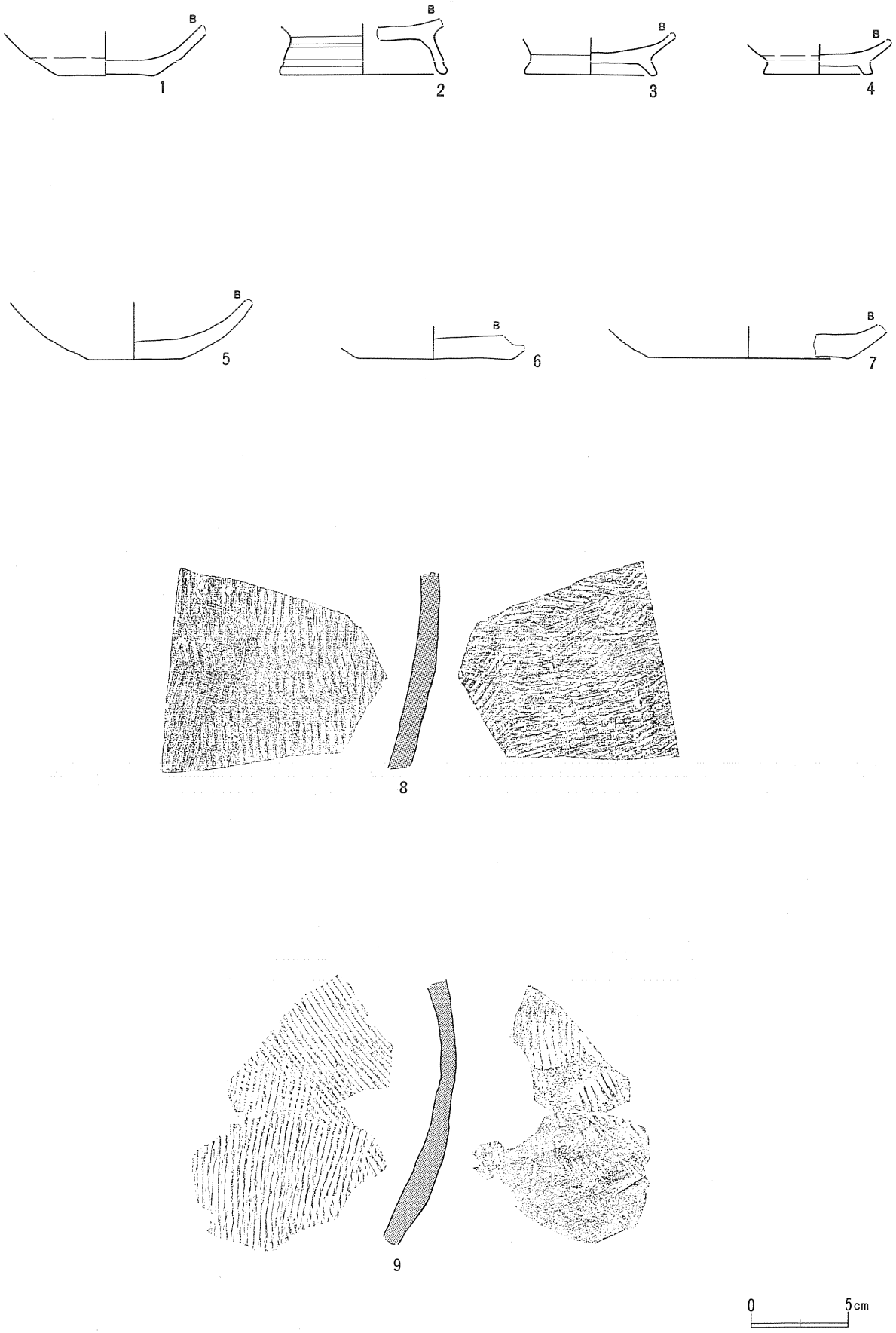
第276図　遺構出土土器類(76)（SK25・34・35）



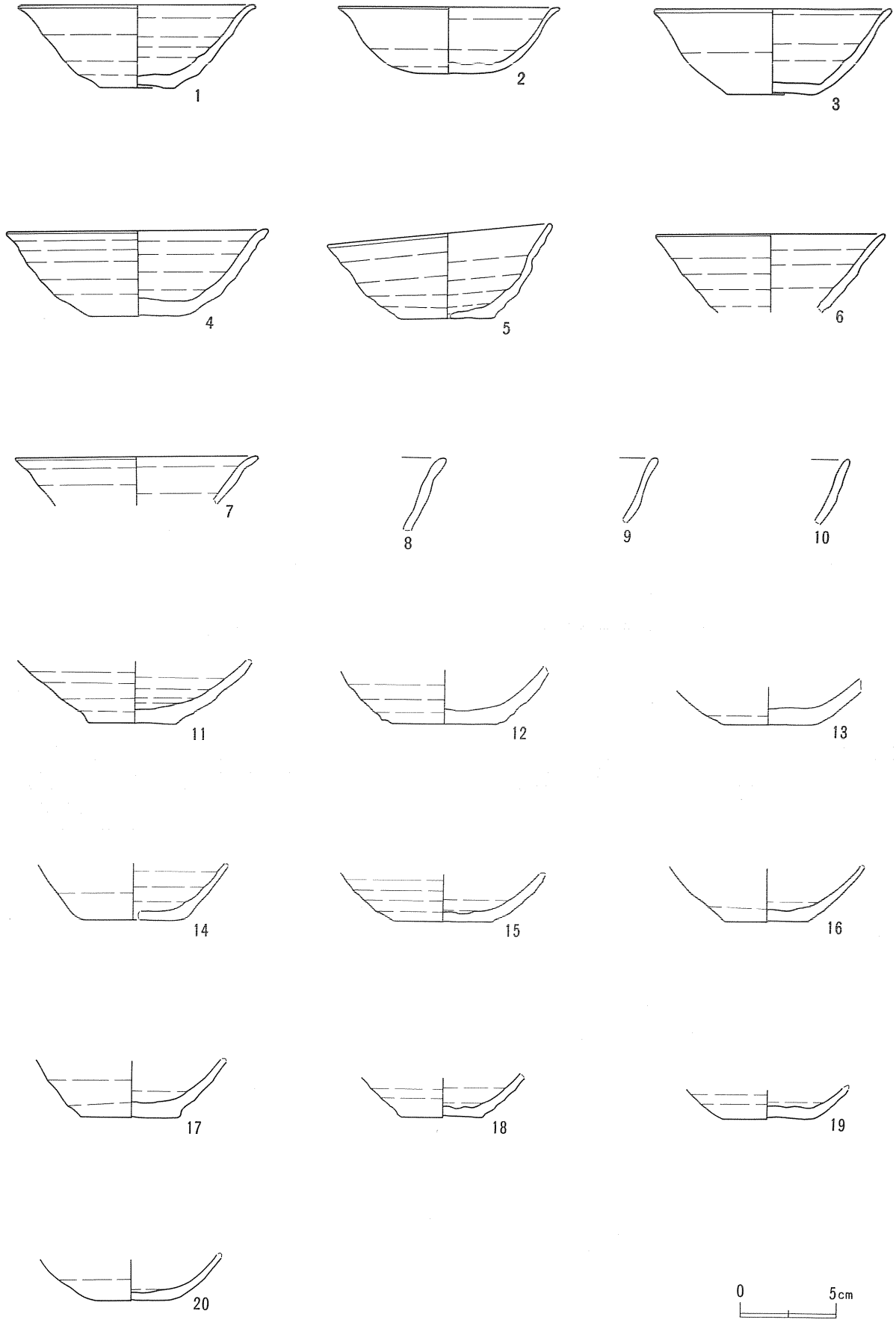
第277図　遺構出土土器類(77)（SK35・39）



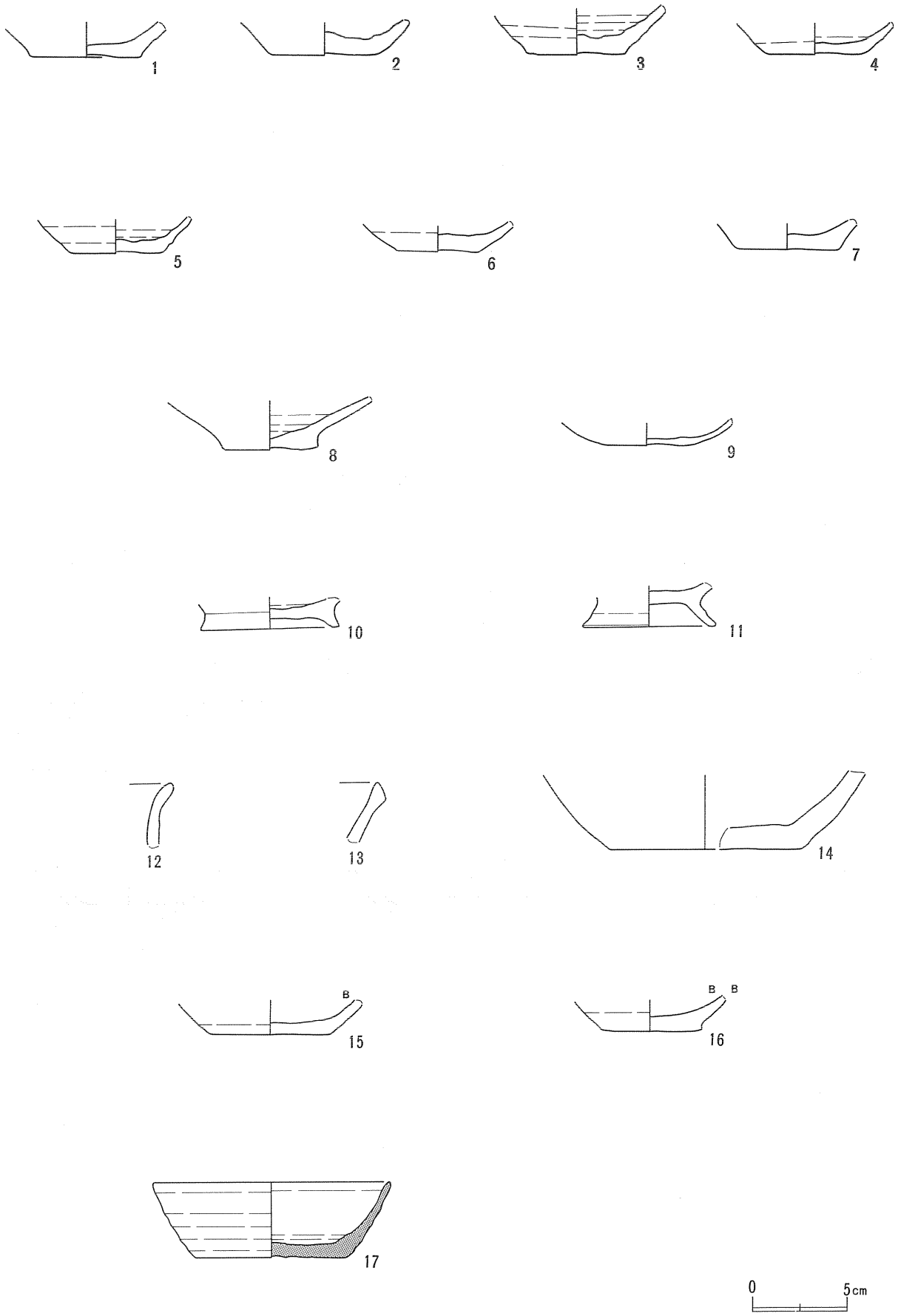
第278図　遺構出土土器類(78)（SK39）



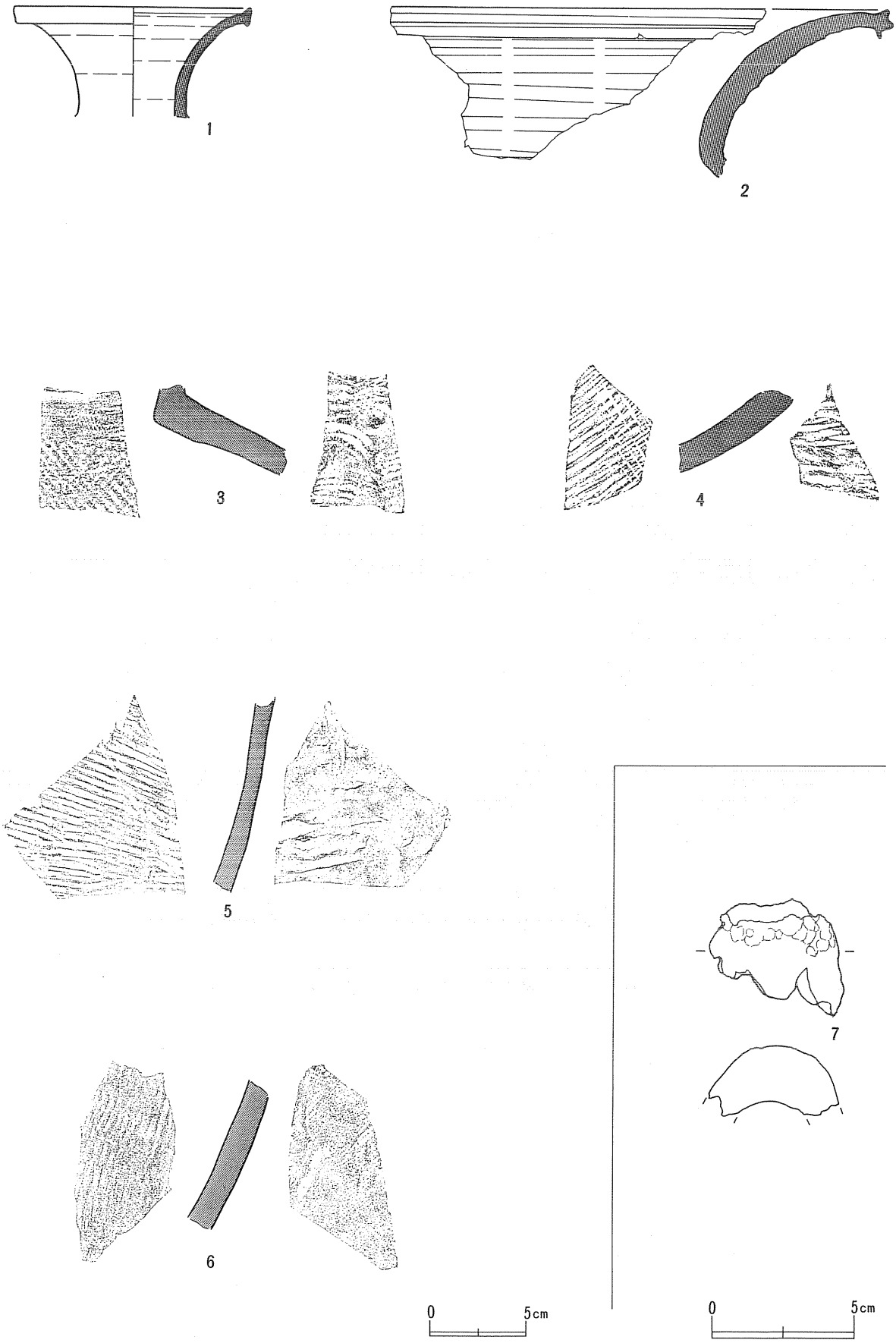
第279図　遺構出土土器類(79)（SK39）



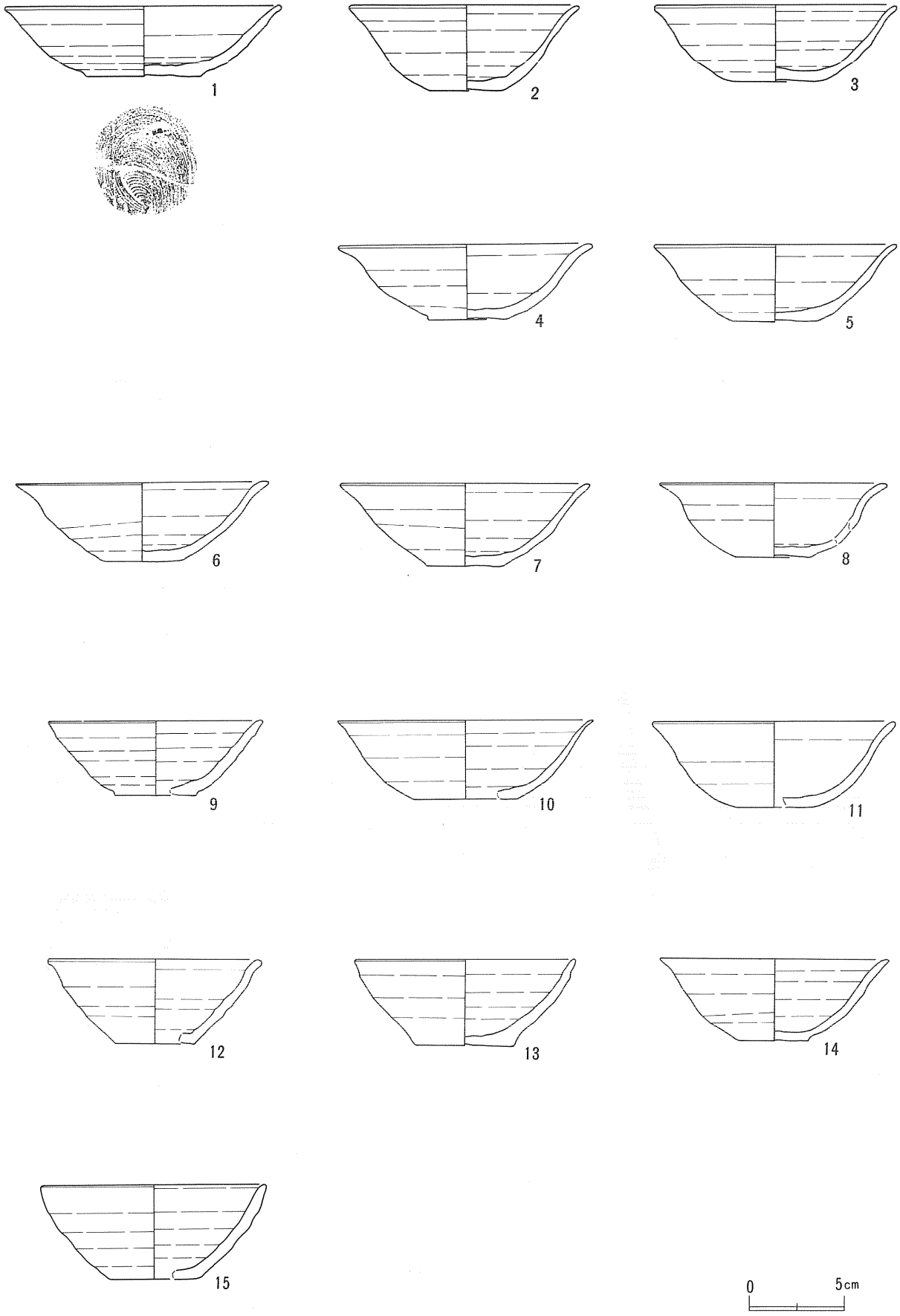
第280図　遺構出土土器類(80)（SK52）



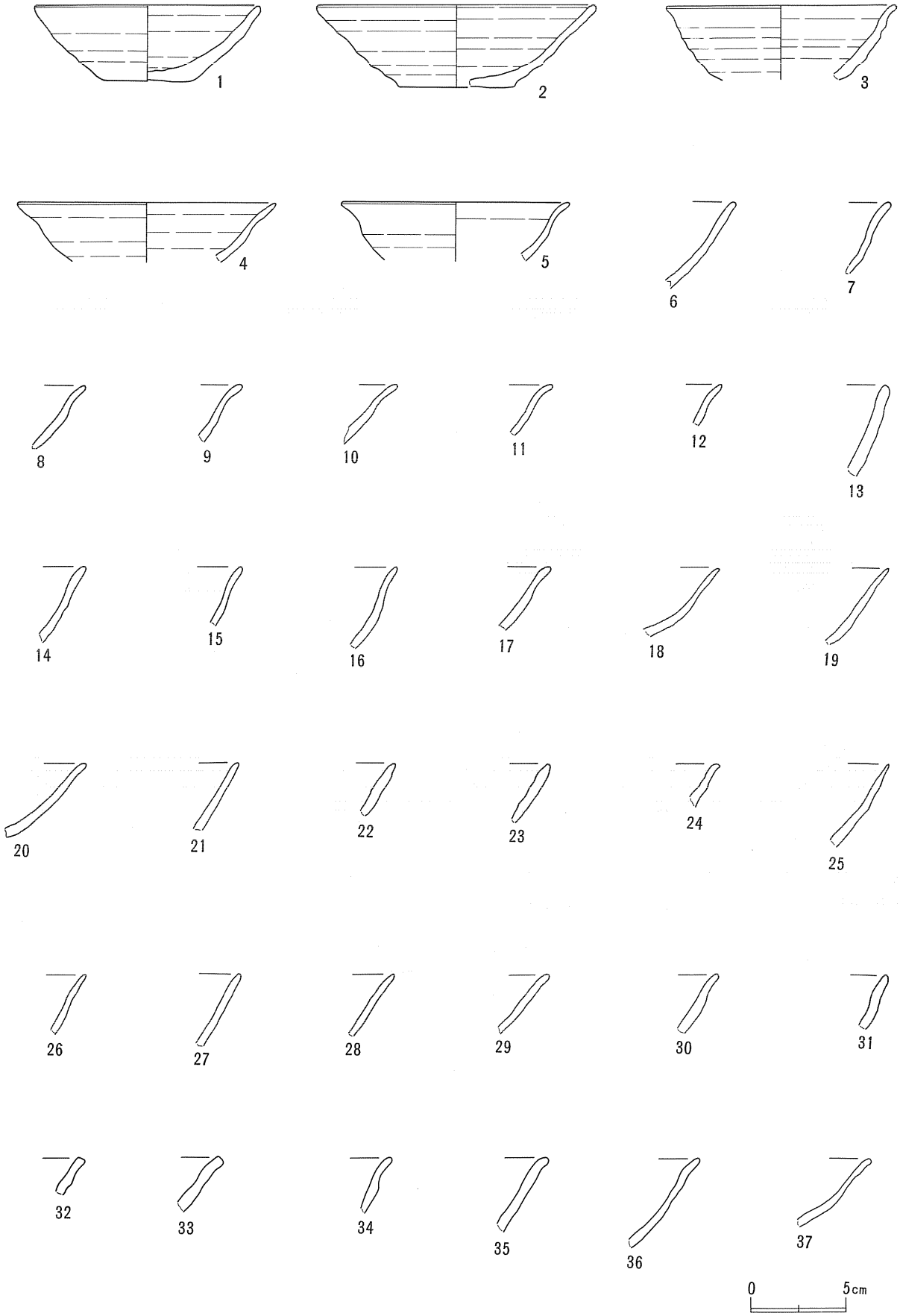
第281図　遺構出土土器類(81)（SK52）



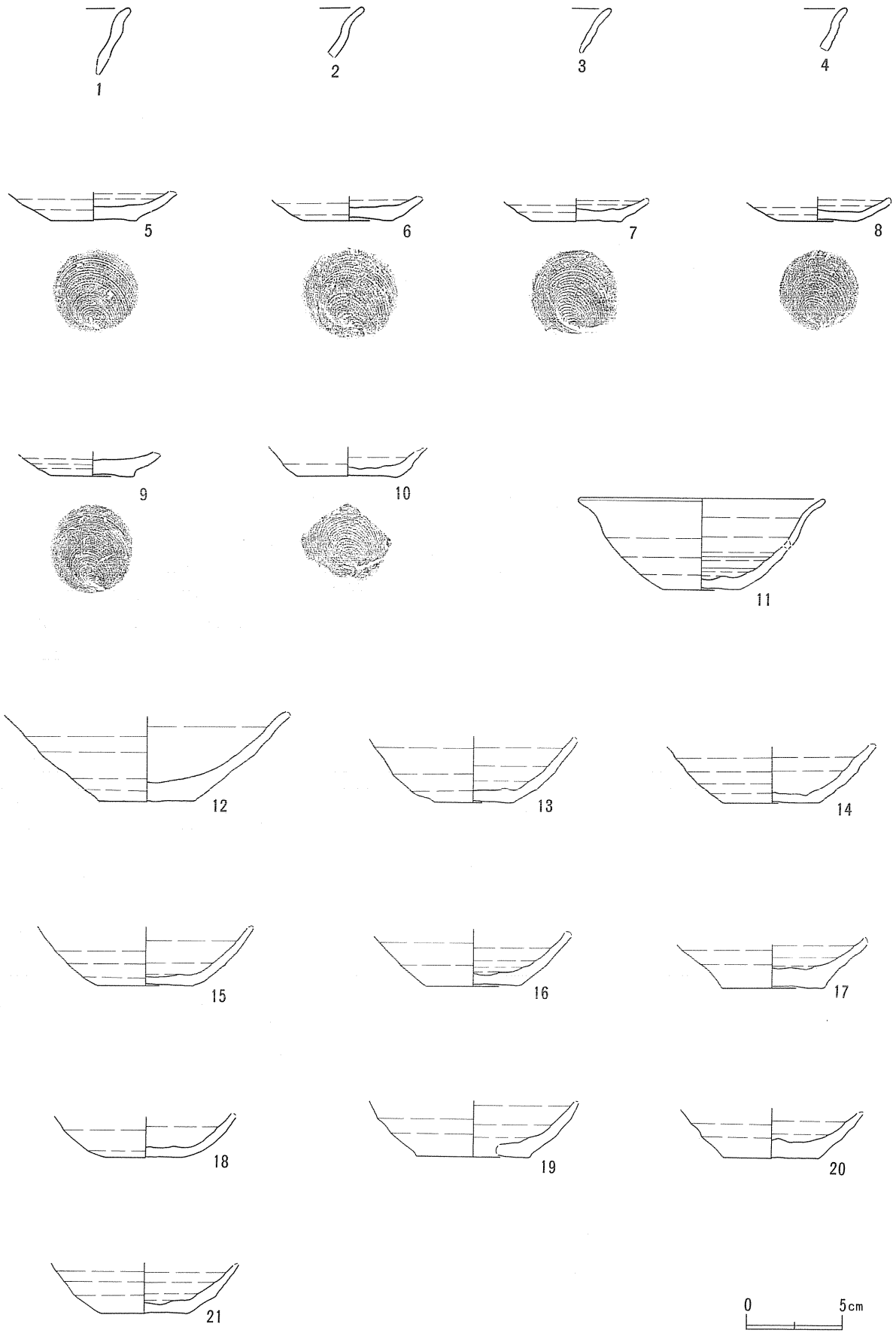
第282図　遺構出土土器類(82)（SK52）



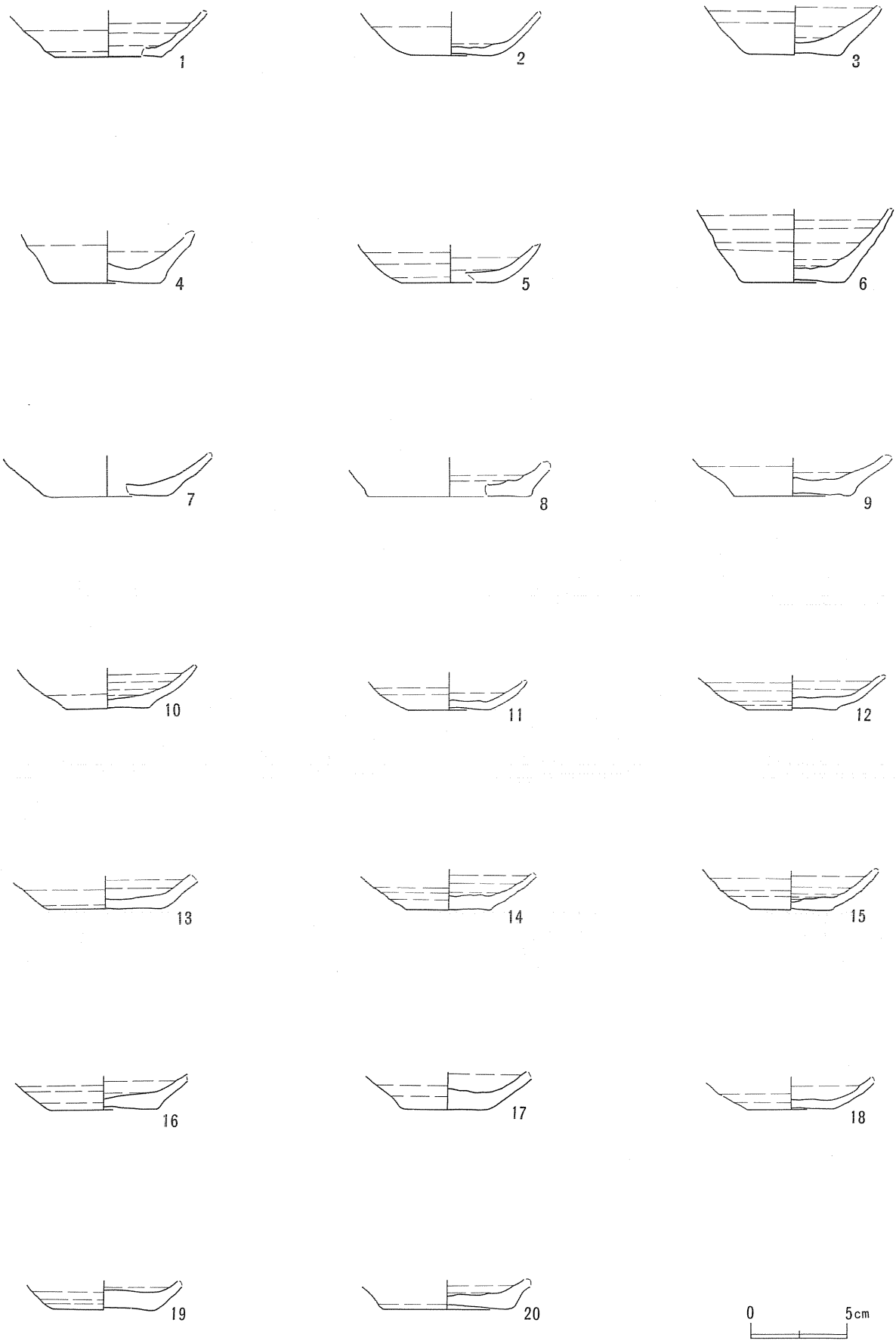
第283図　遺構出土土器類(83)（SD01A）



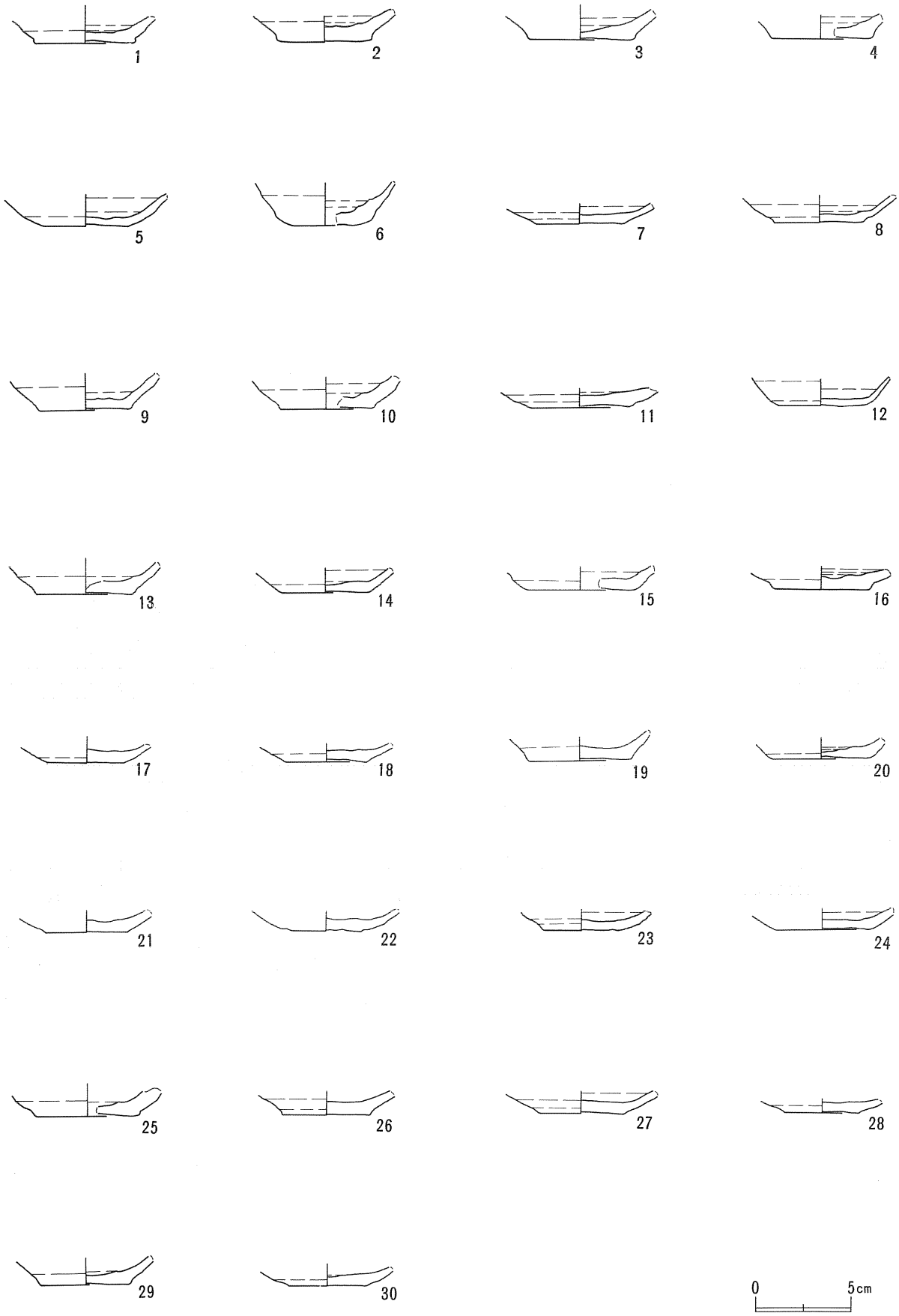
第284図　遺構出土土器類(84)（SD01A）



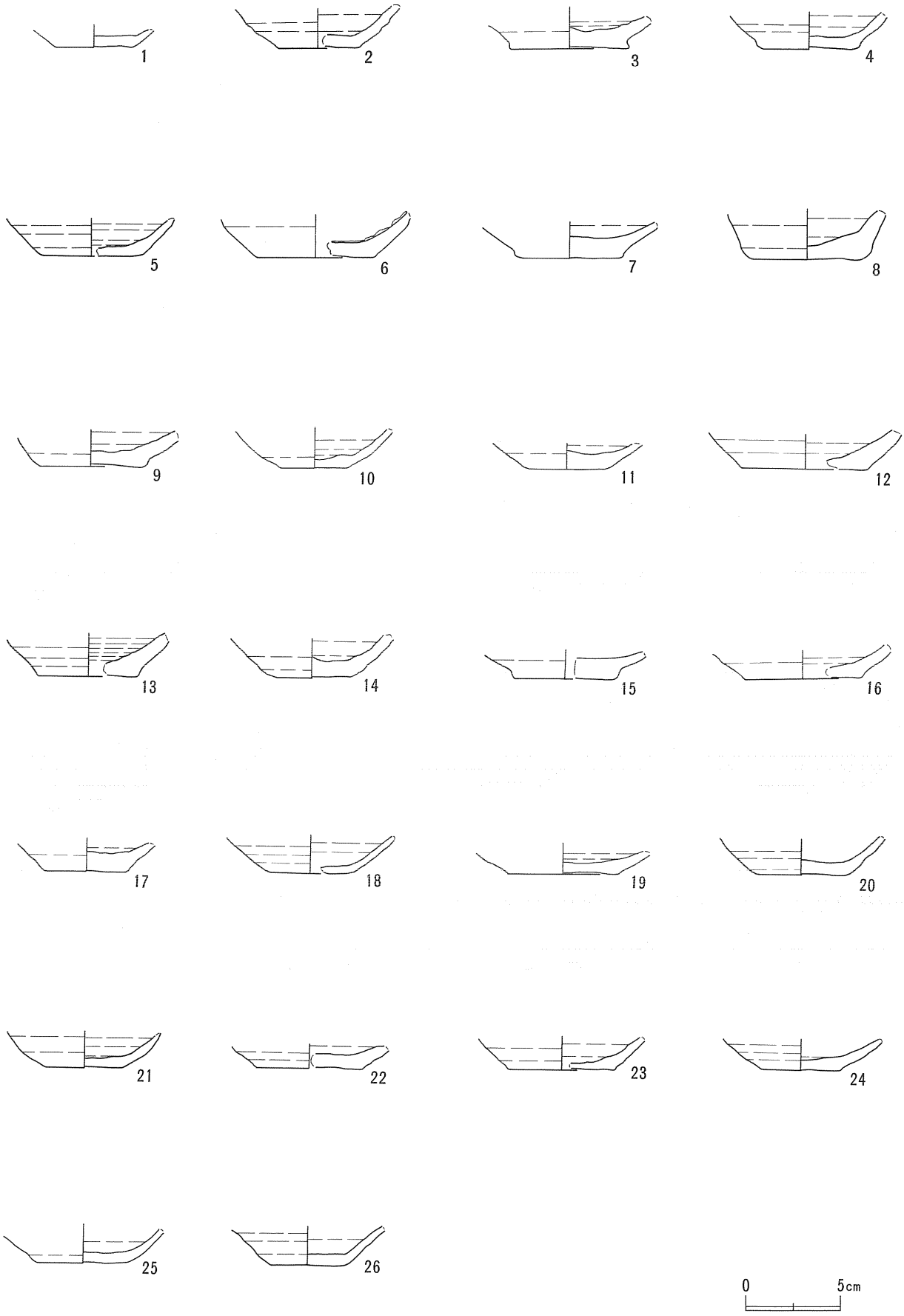
第285図　遺構出土土器類(85)（SD01A）



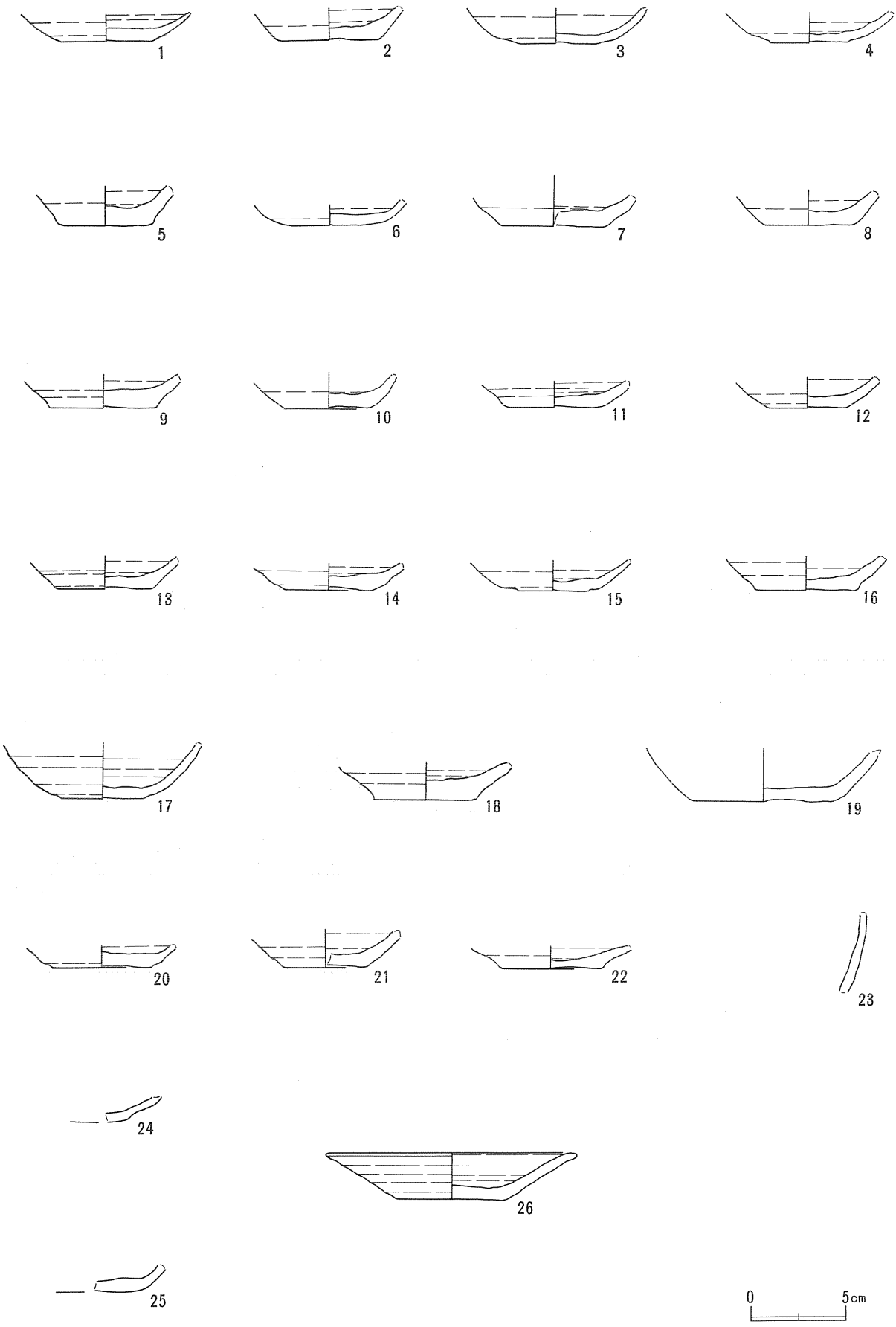
第286図　遺構出土土器類(86)（SD01A）



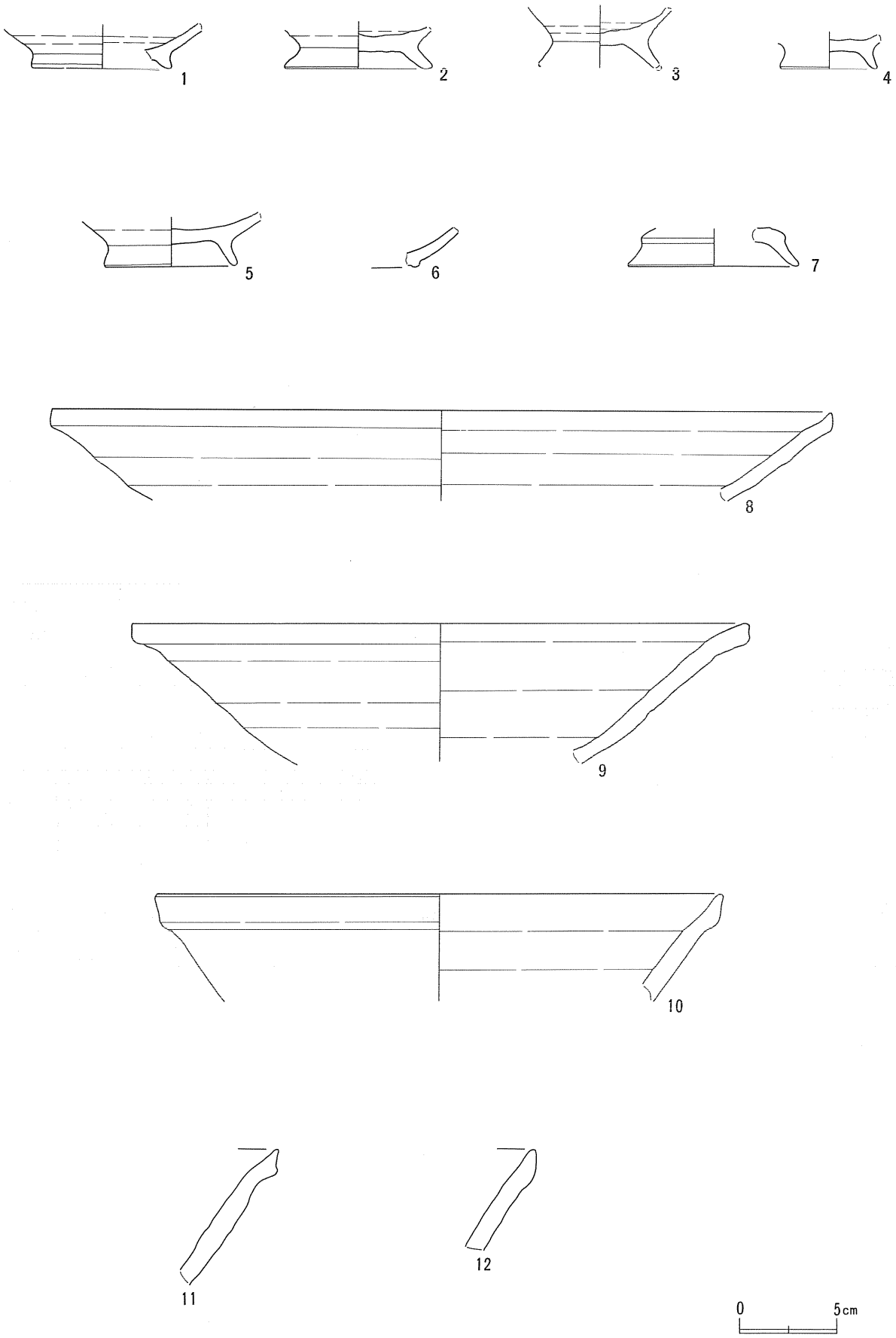
第287図　遺構出土土器類(87)（SD01A）



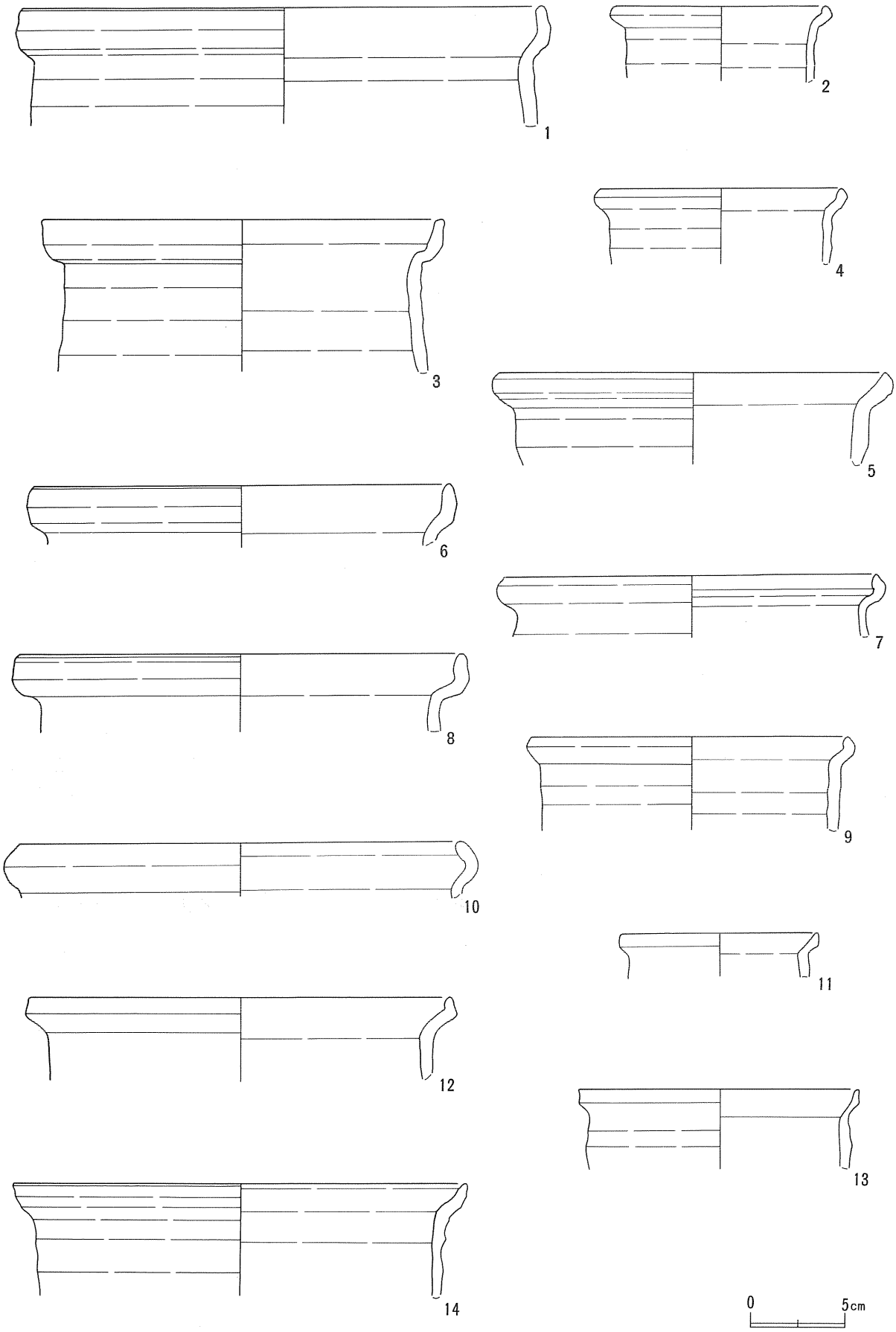
第288図　遺構出土土器類(88)（SD01A）



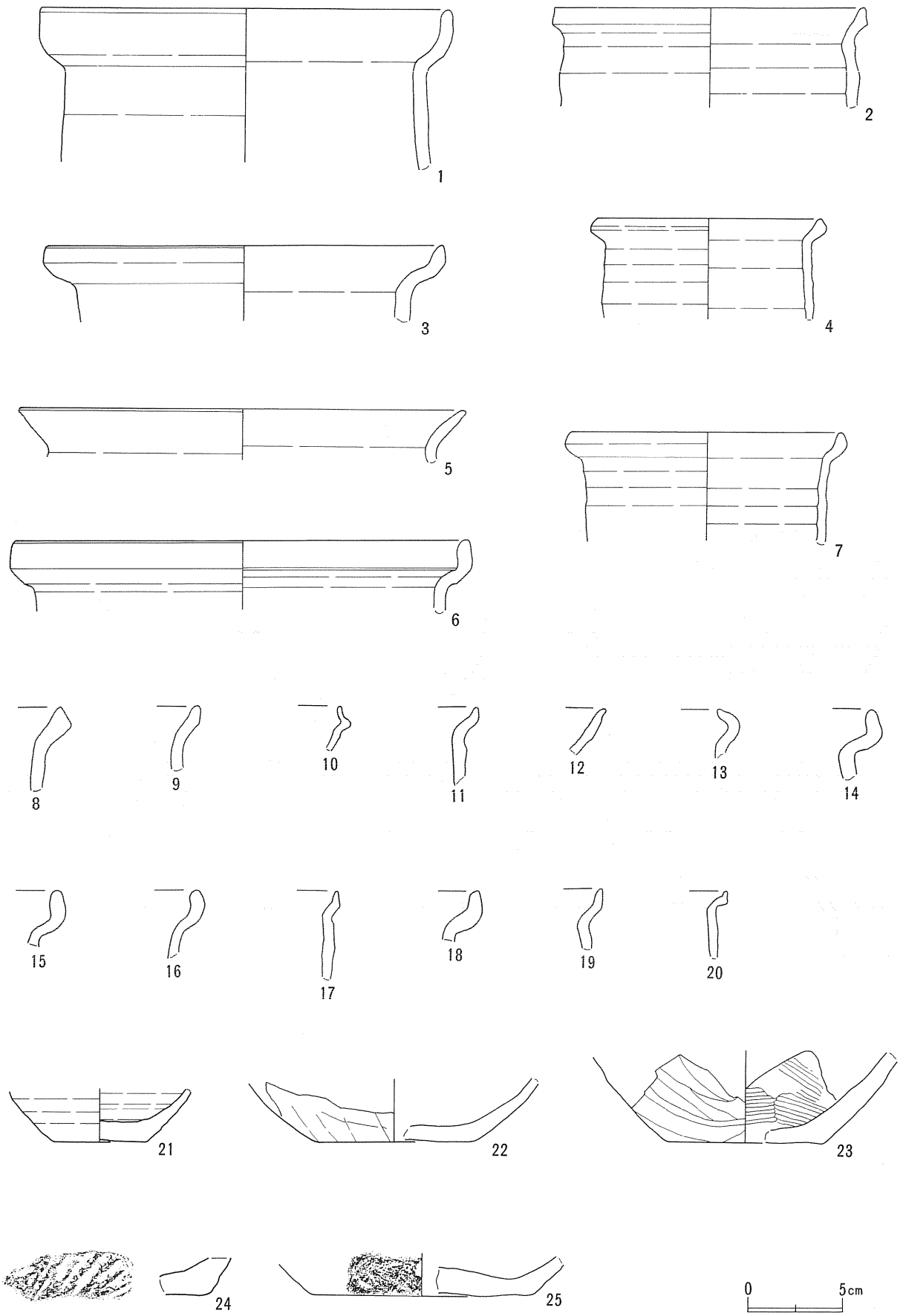
第289図　遺構出土土器類(89)（SD01A）



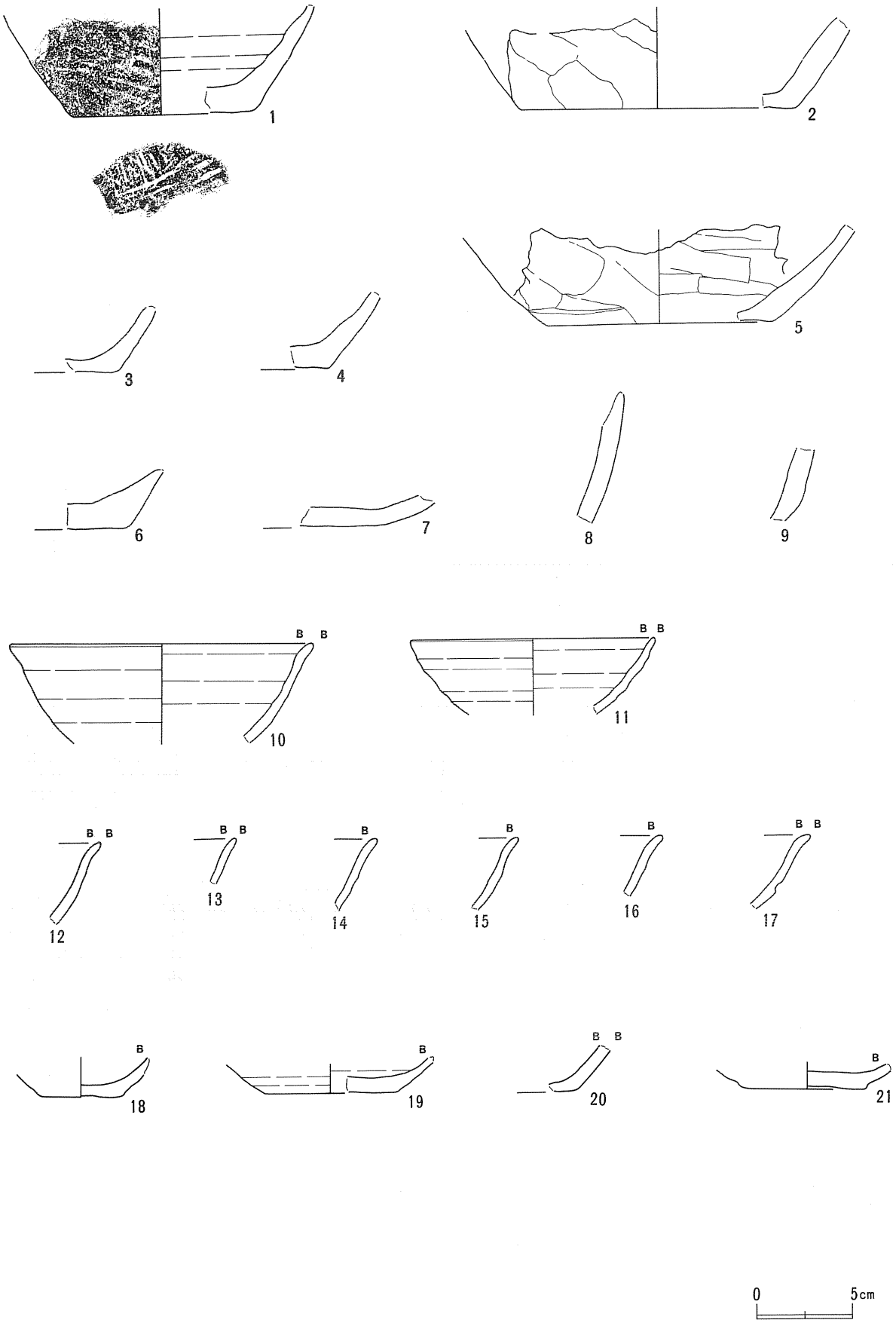
第290図　遺構出土土器類(90)（SD01A）



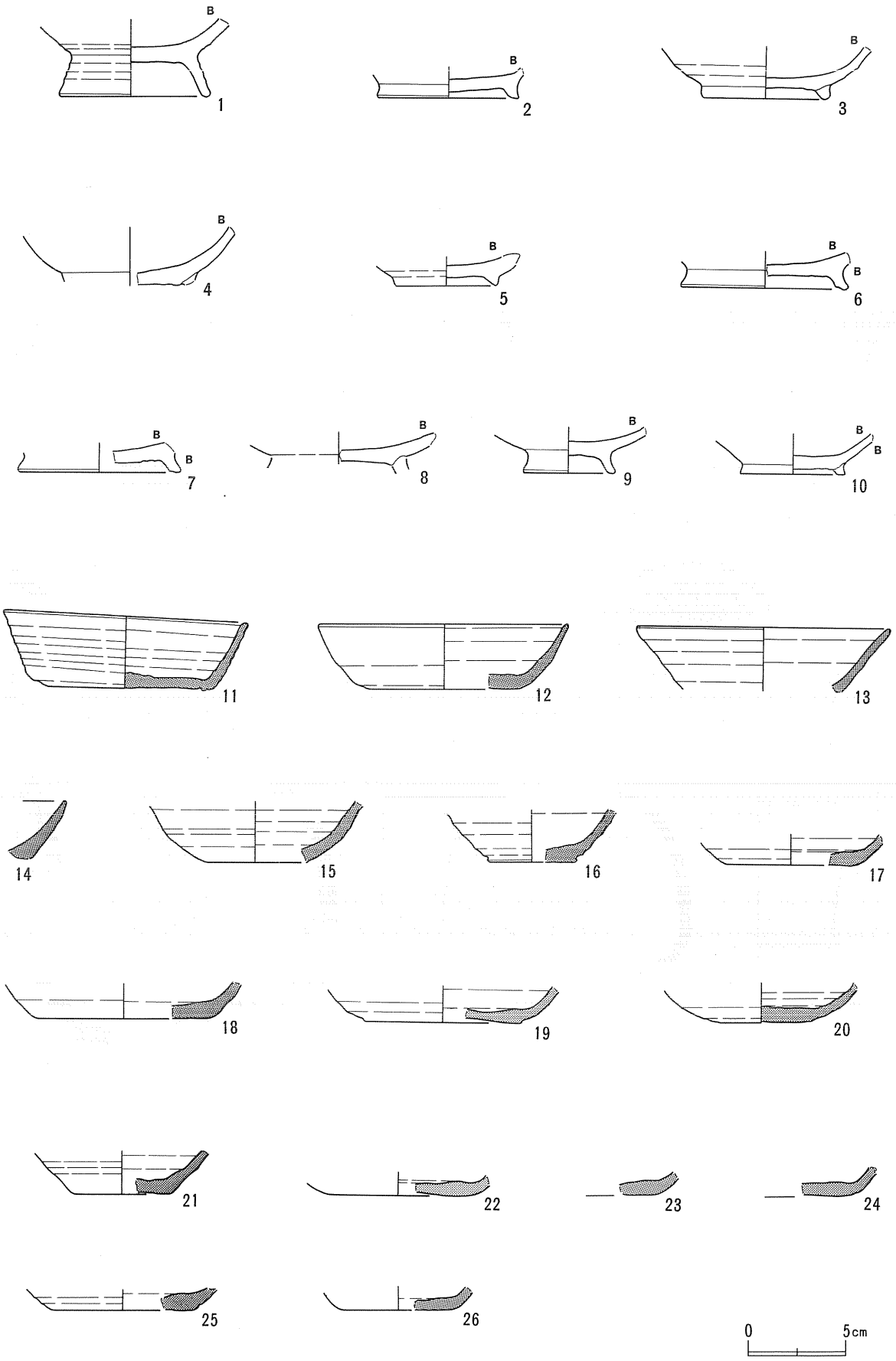
第291図　遺構出土土器類(91)（SD01A）



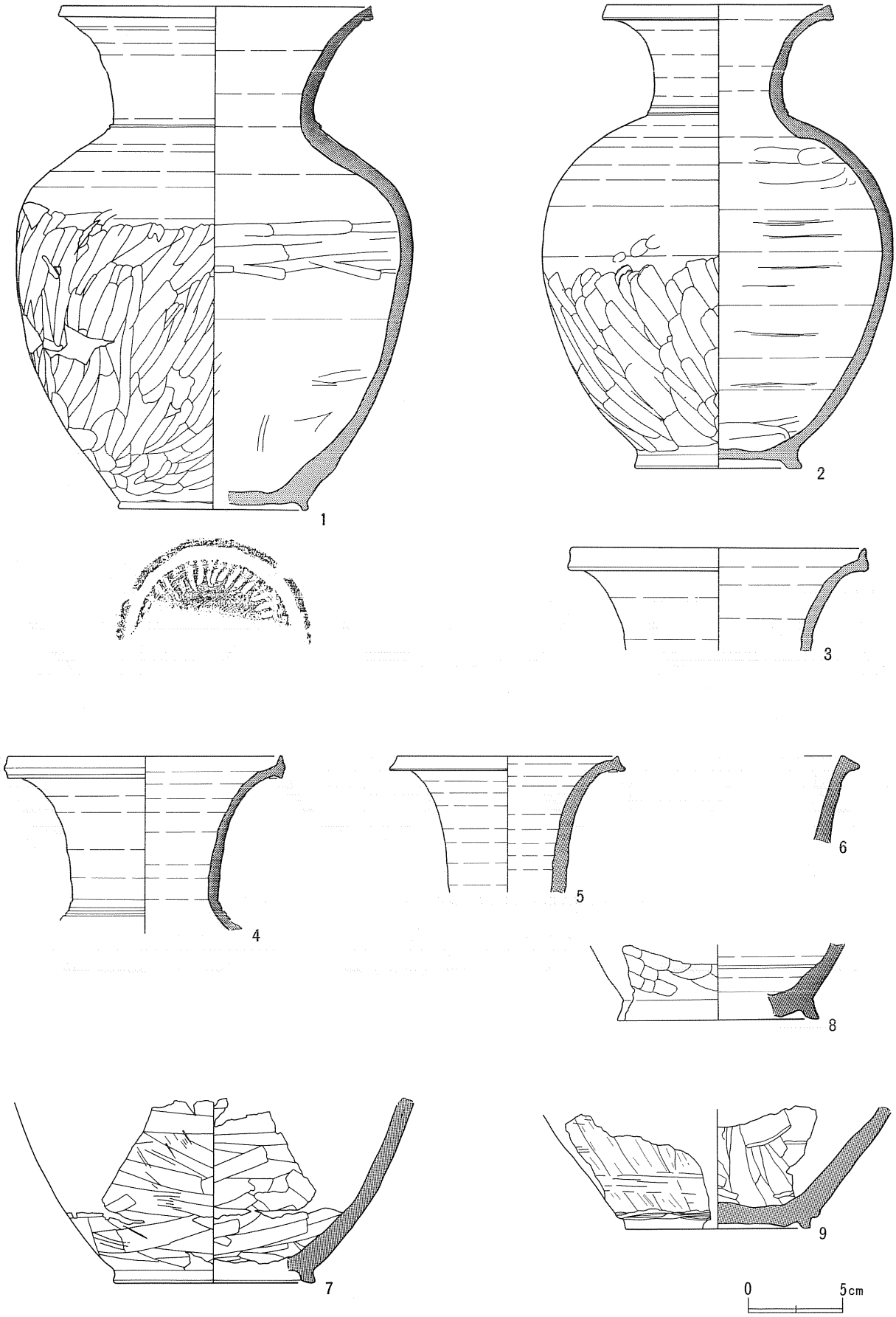
第292図　遺構出土土器類(92)（SD01A）



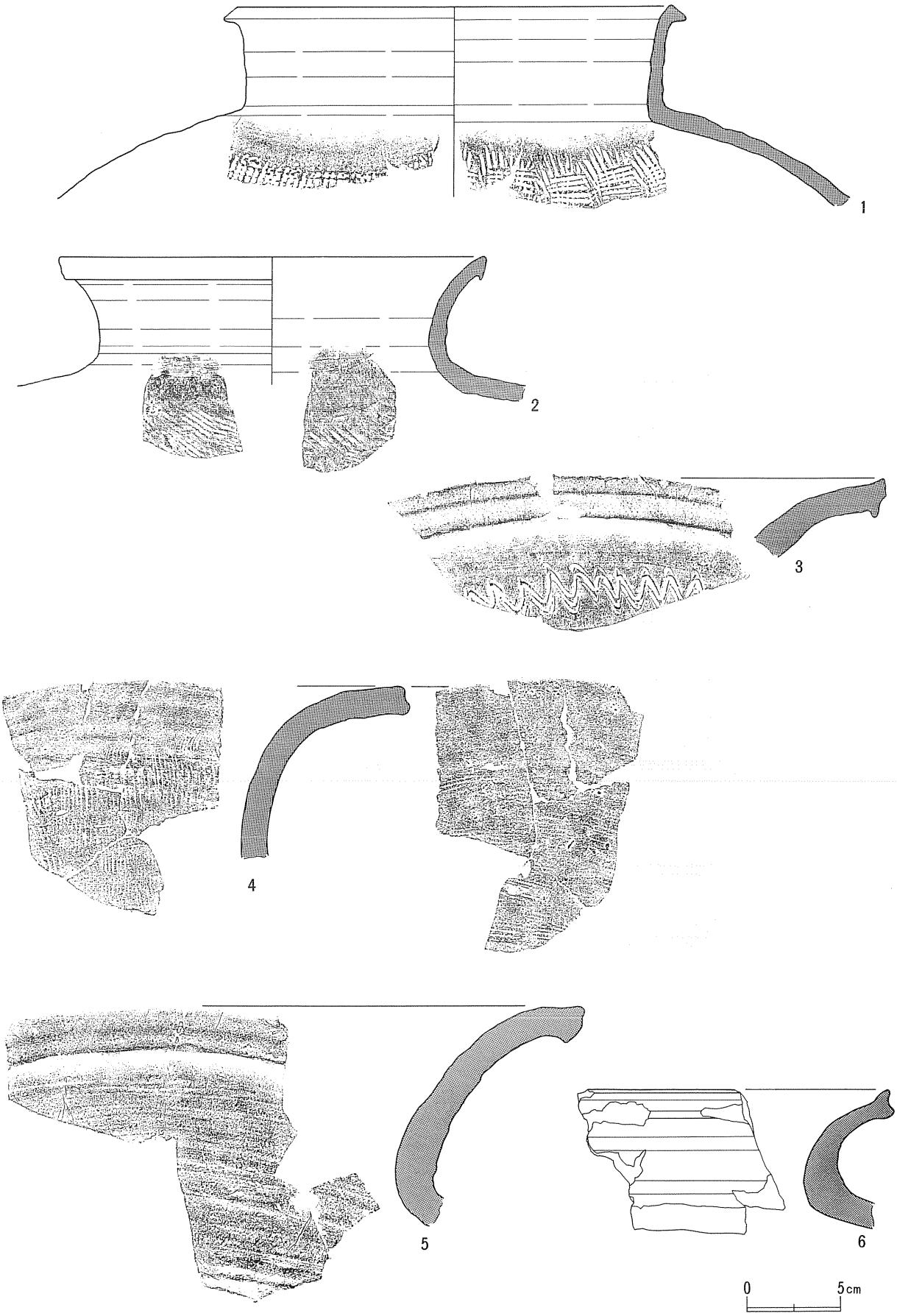
第293図　遺構出土土器類(93)（SD01A）



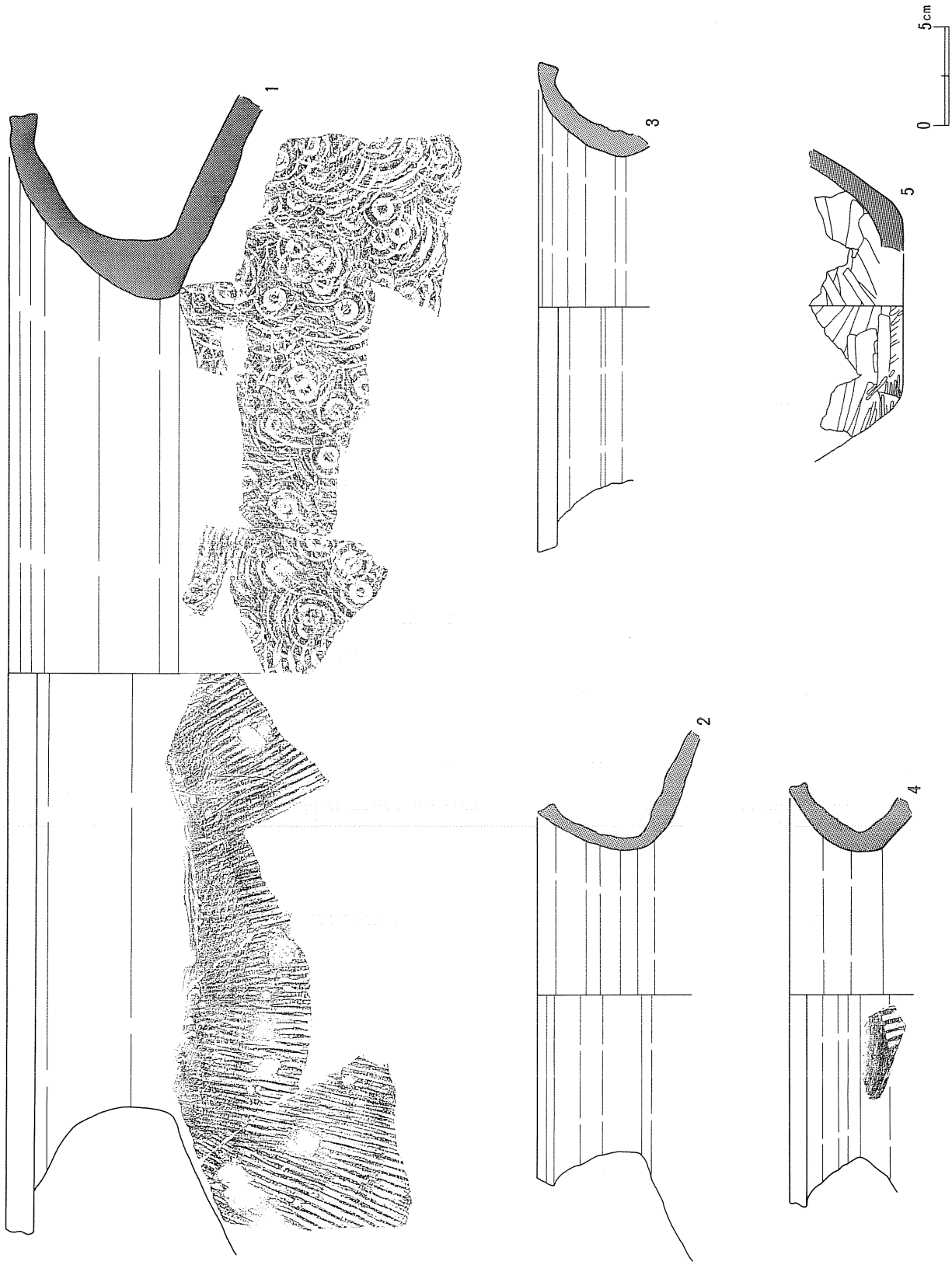
第294図　遺構出土土器類(94)（SD01A）



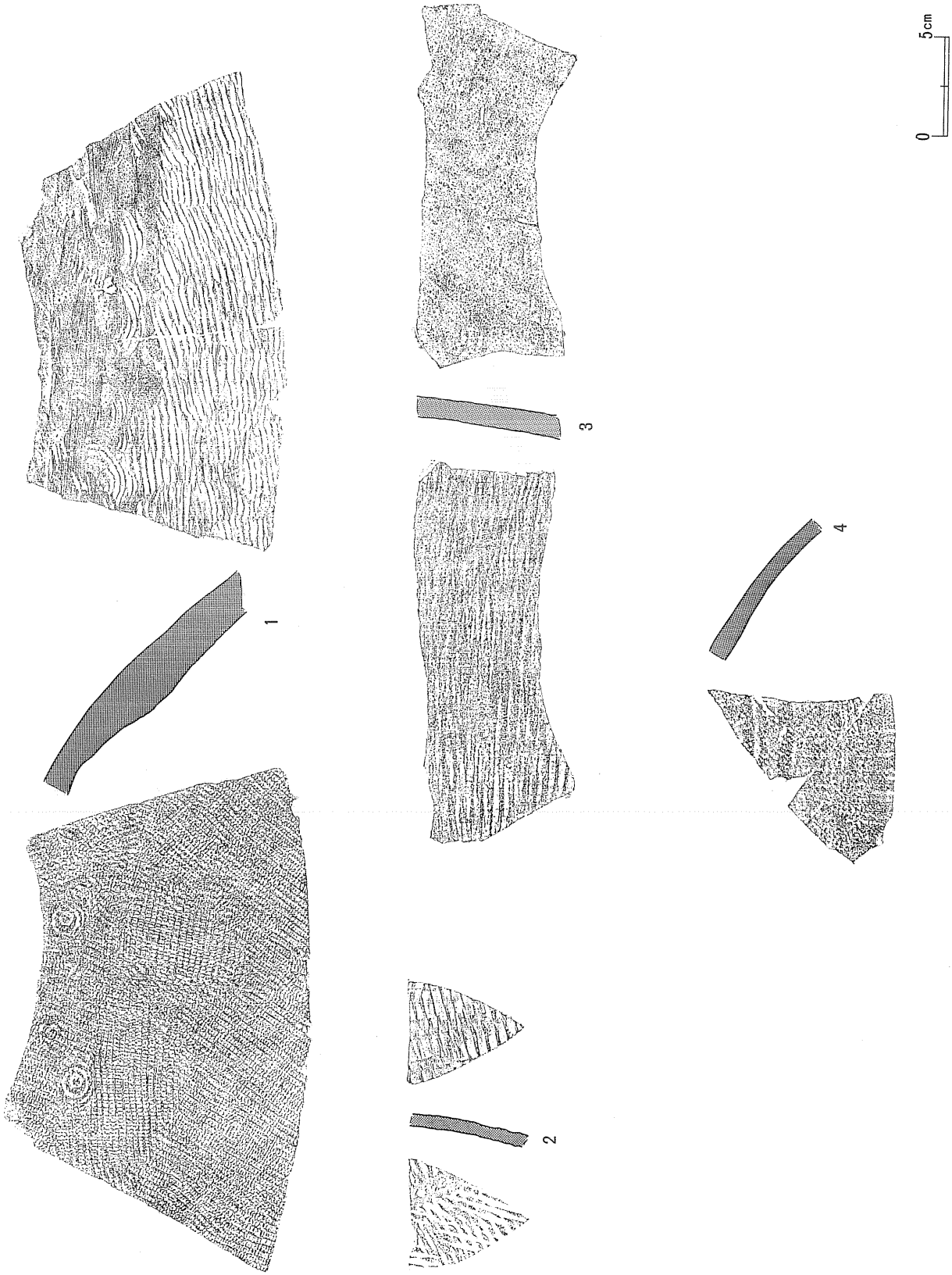
第295図　遺構出土土器類(95)（SD01A）



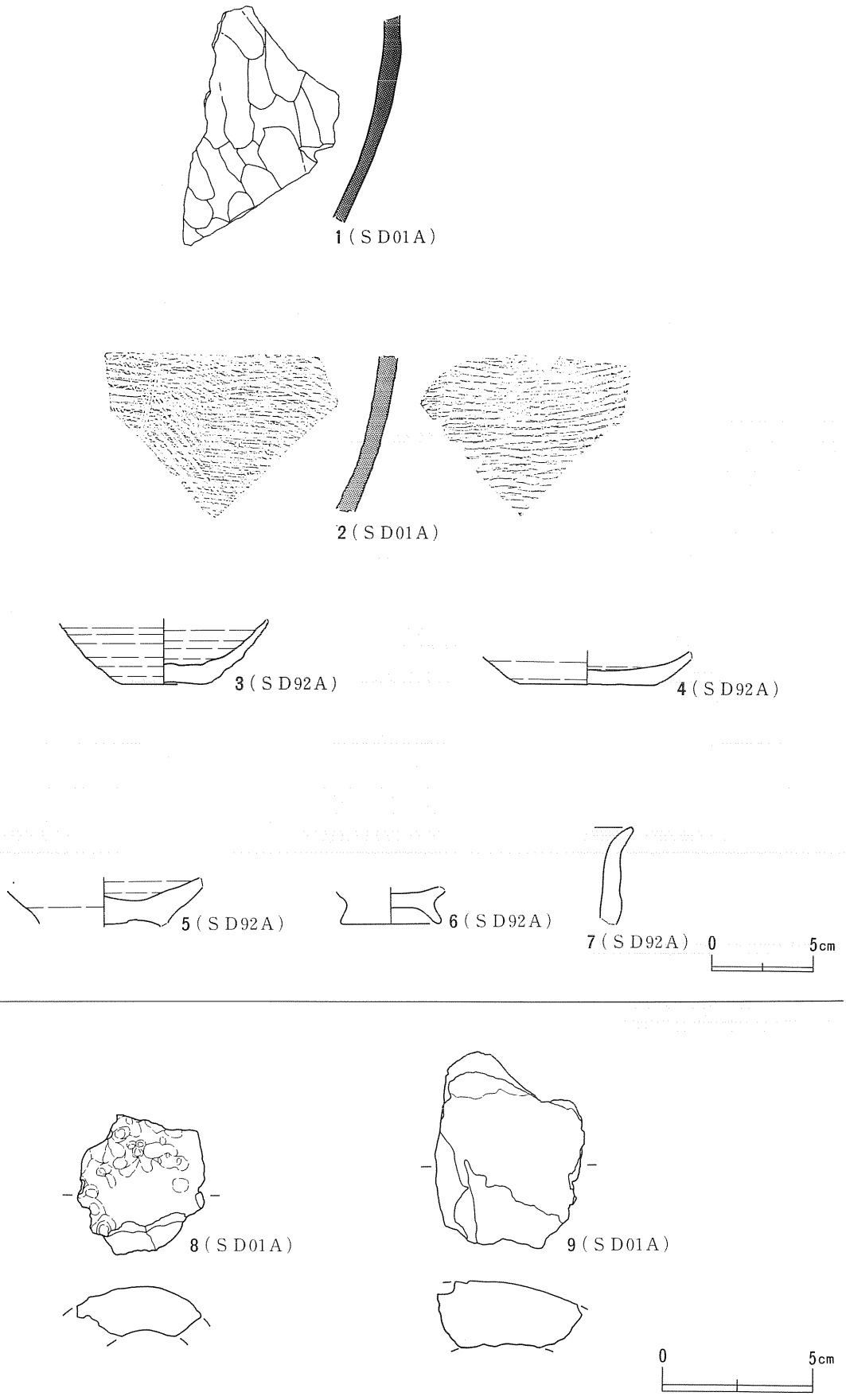
第296図　遺構出土土器類(96)（SD01A）



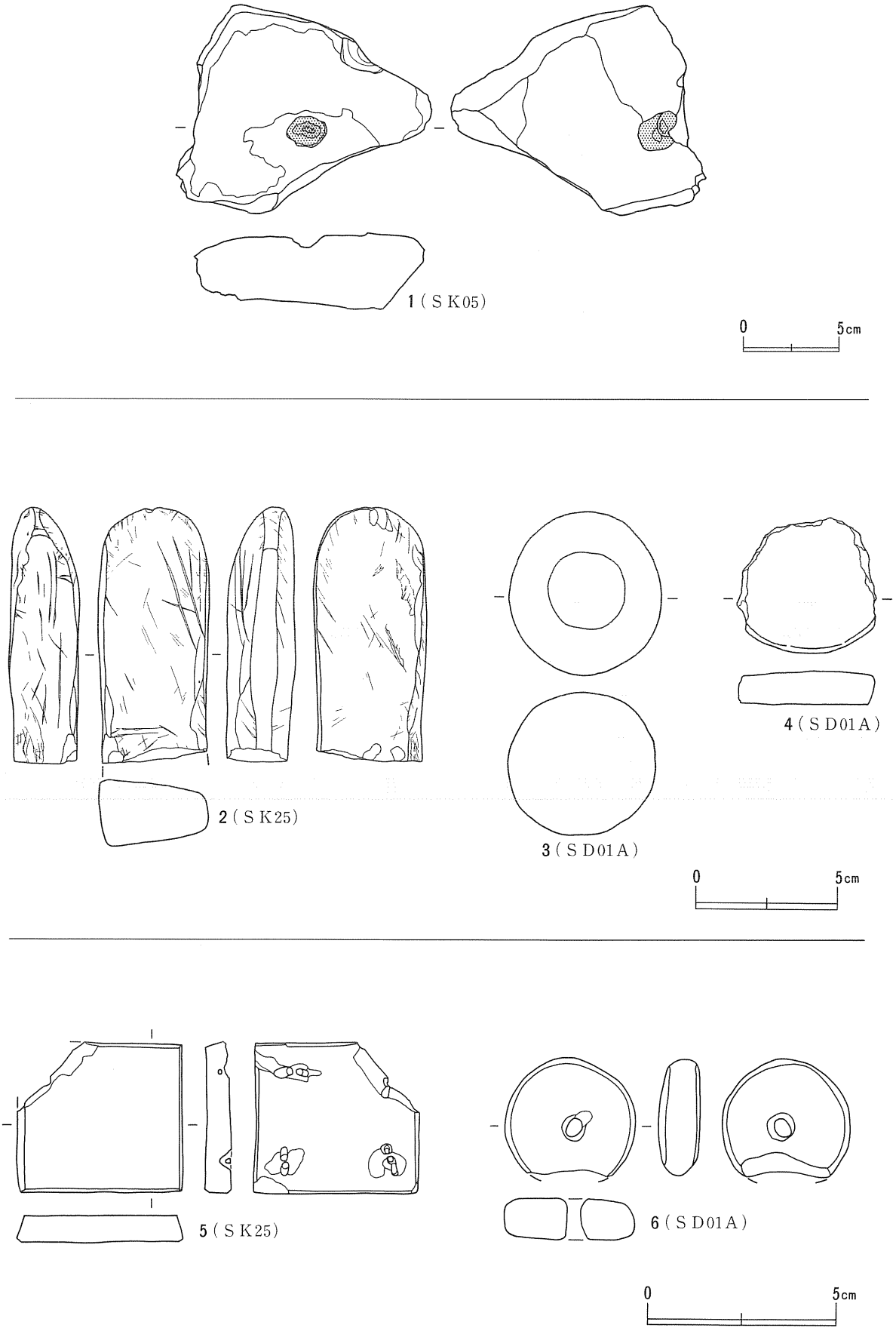
第297図　遺構出土土器類(97)（SD01A）



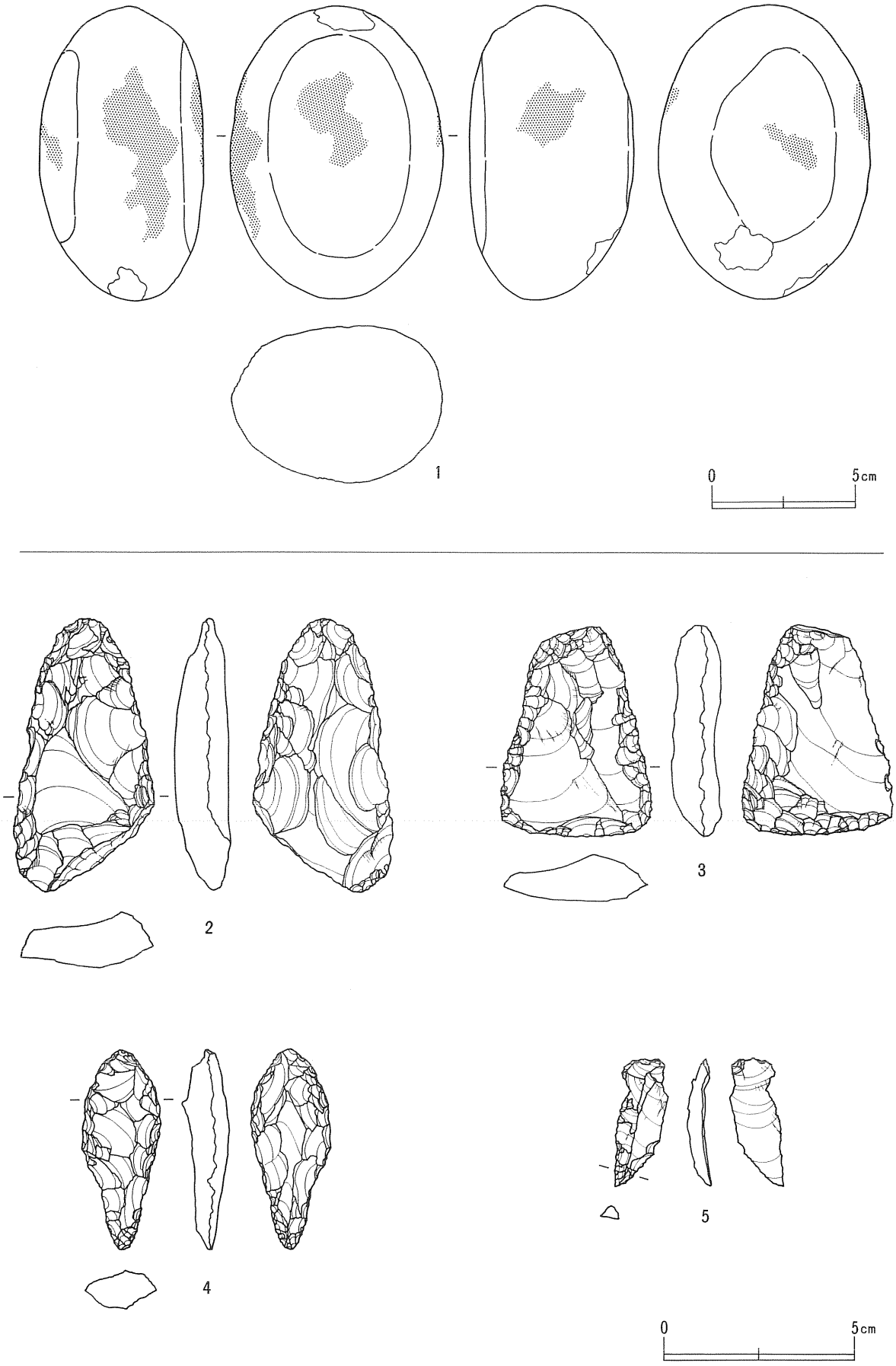
第298図　遺構出土土器類(98)（SD01A）



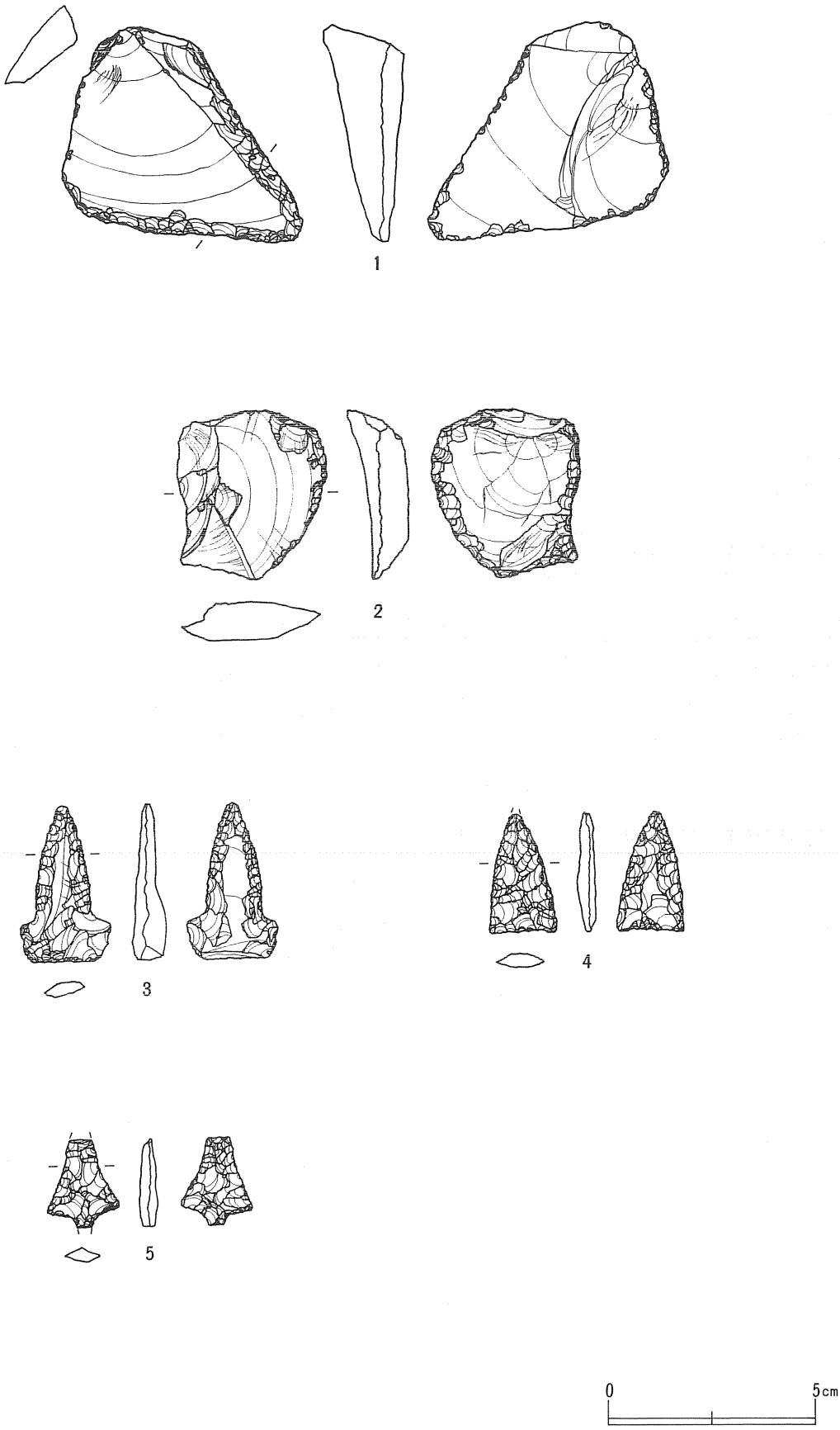
第299図　遺構出土土器類(99)（SD01A･92A）



第300図　遺構出土石器類(22)（SK05・25、SD01A）

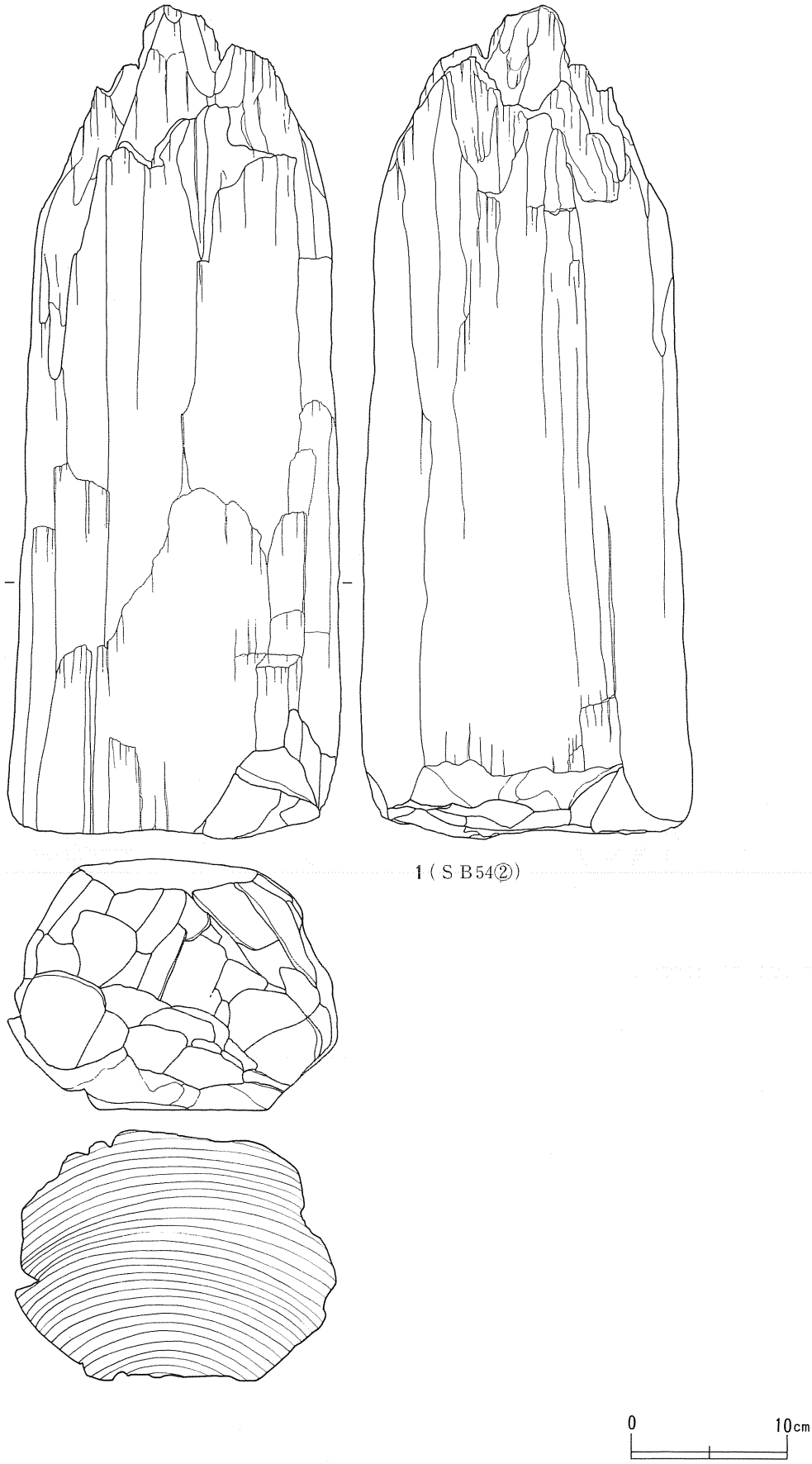


第301図　遺構出土石器類(23)（SD01A）

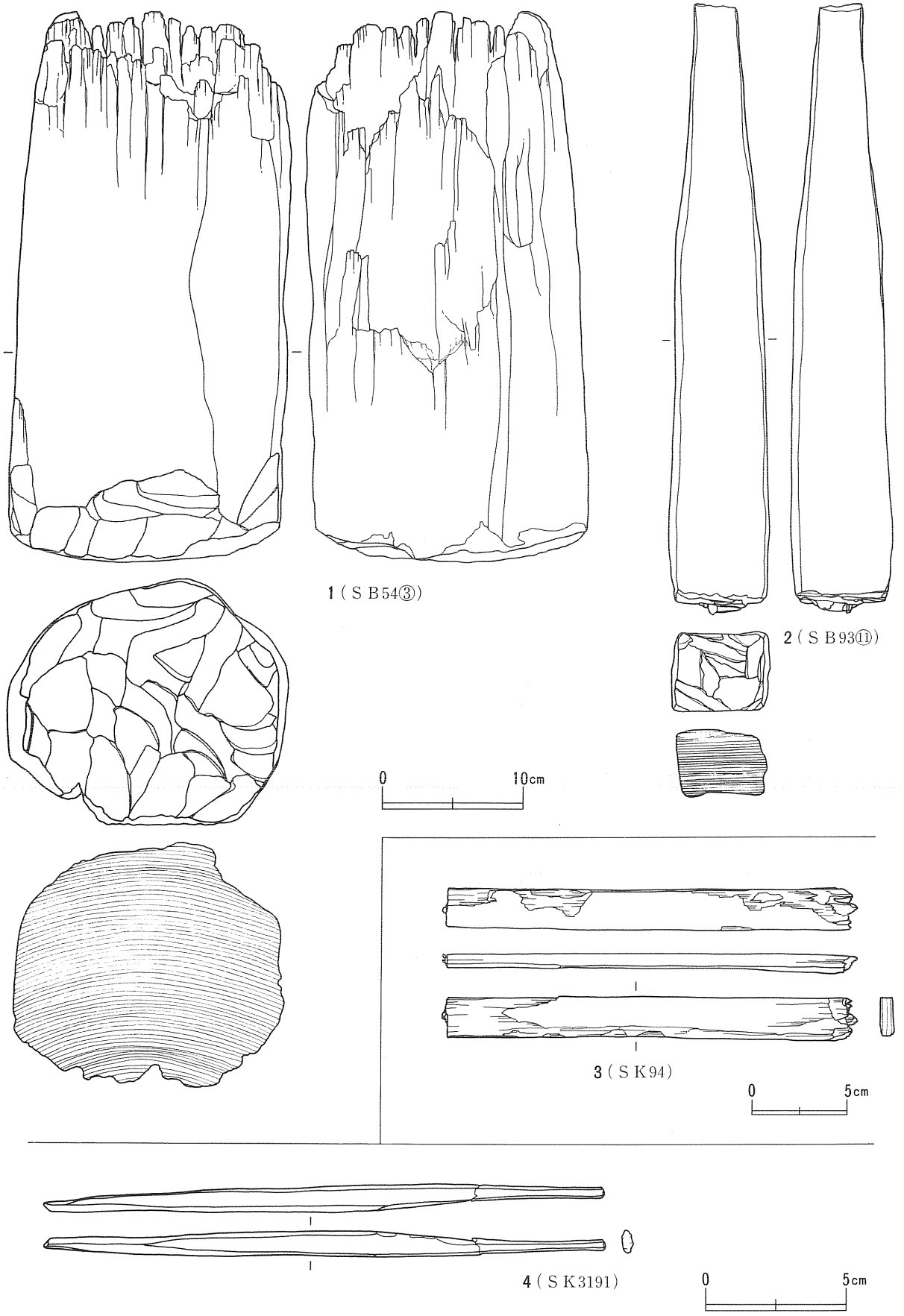


第302図　遺構出土石器類(24)（SD92A）

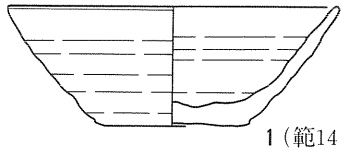
第303図　遺構出土木製品（１）（SB33・54）

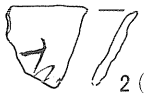


第304図　遺構出土木製品（２）（SB54）



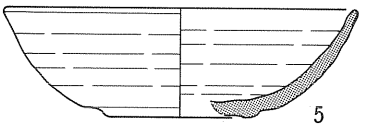
第305図　遺構出土木製品（３）（SB54・93、SK94・3191）

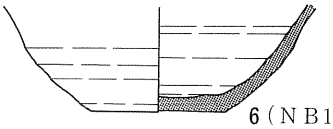

1（範14トレンチ）

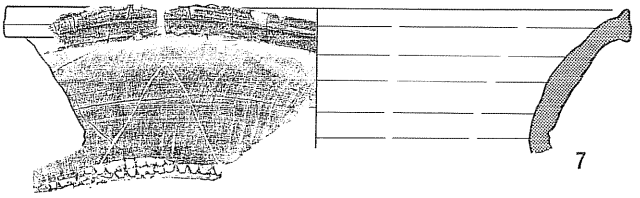

2（ＭＥ98）

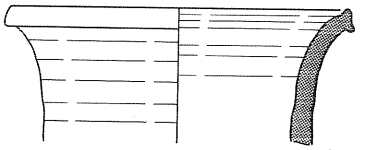
3（範2トレンチ）

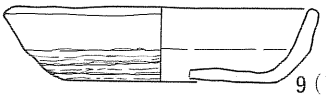
4

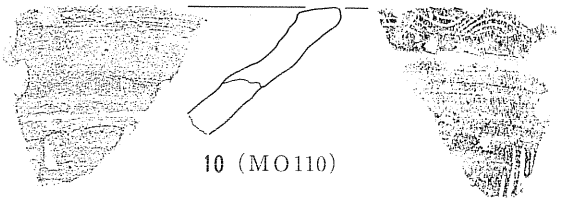

5

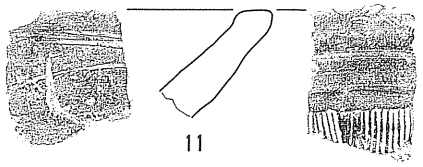

6（ＮＢ128）


7


8


9（ＭＰ116）

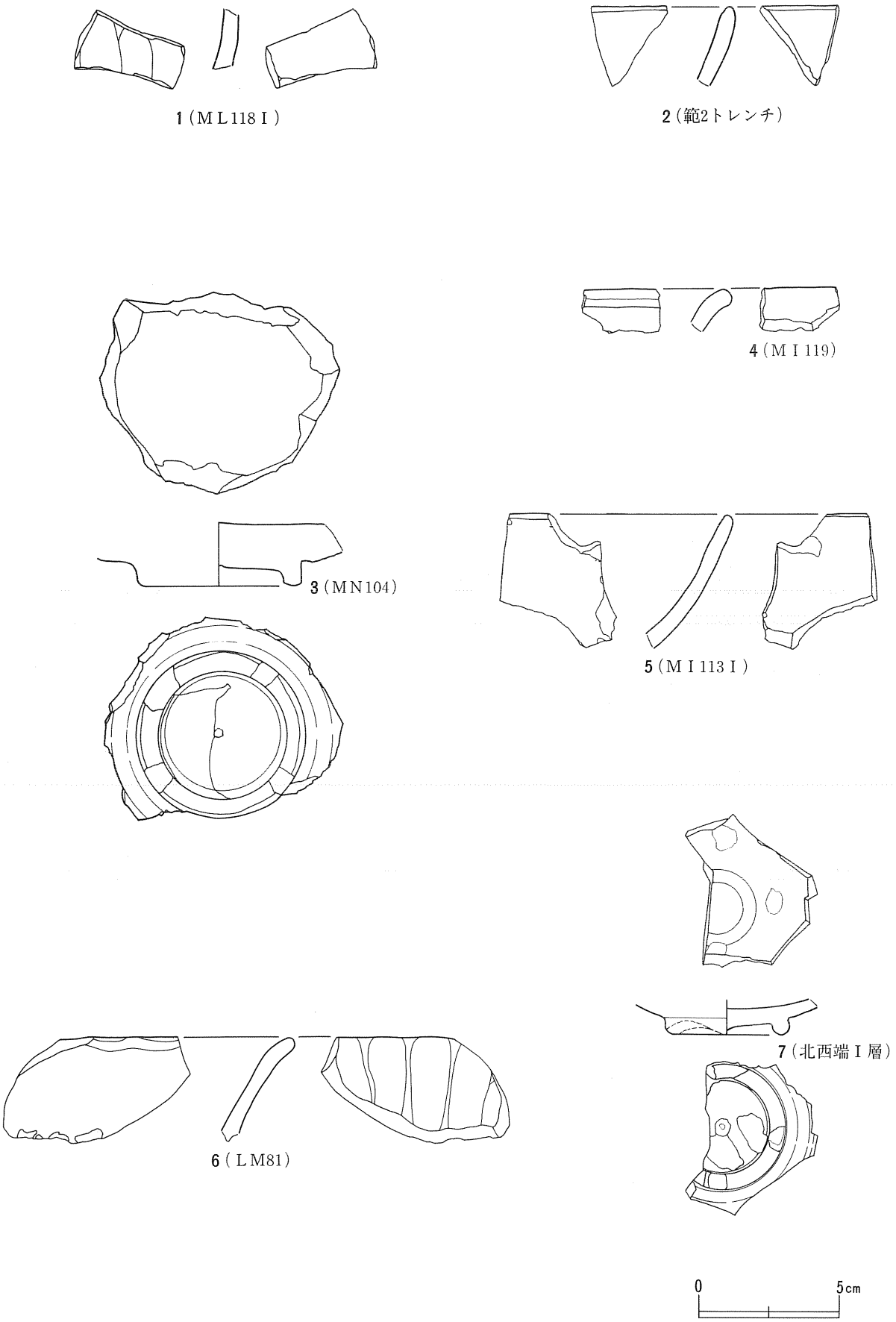

10（ＭＯ110）


11

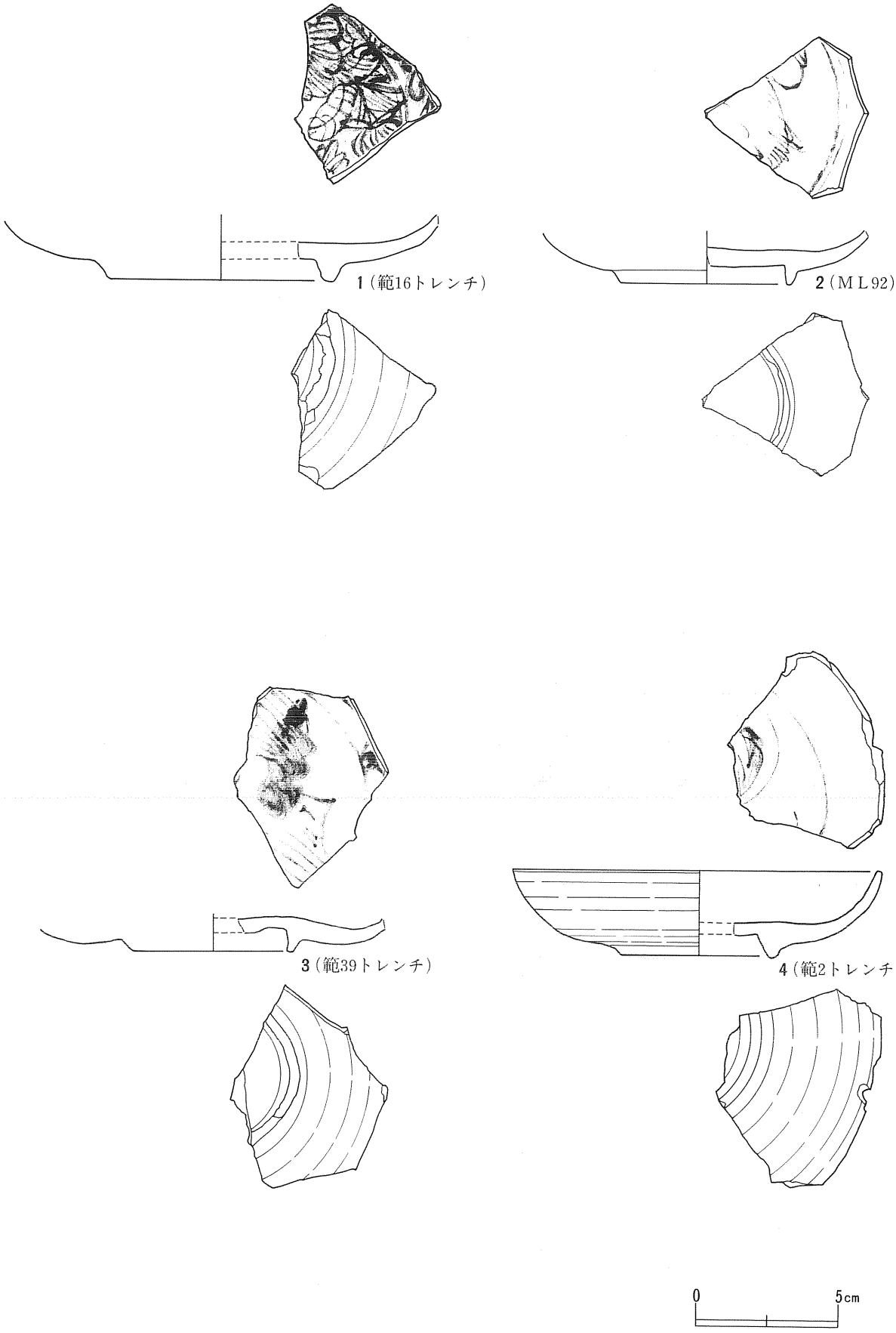
12（ＭＱ117）

0　5cm

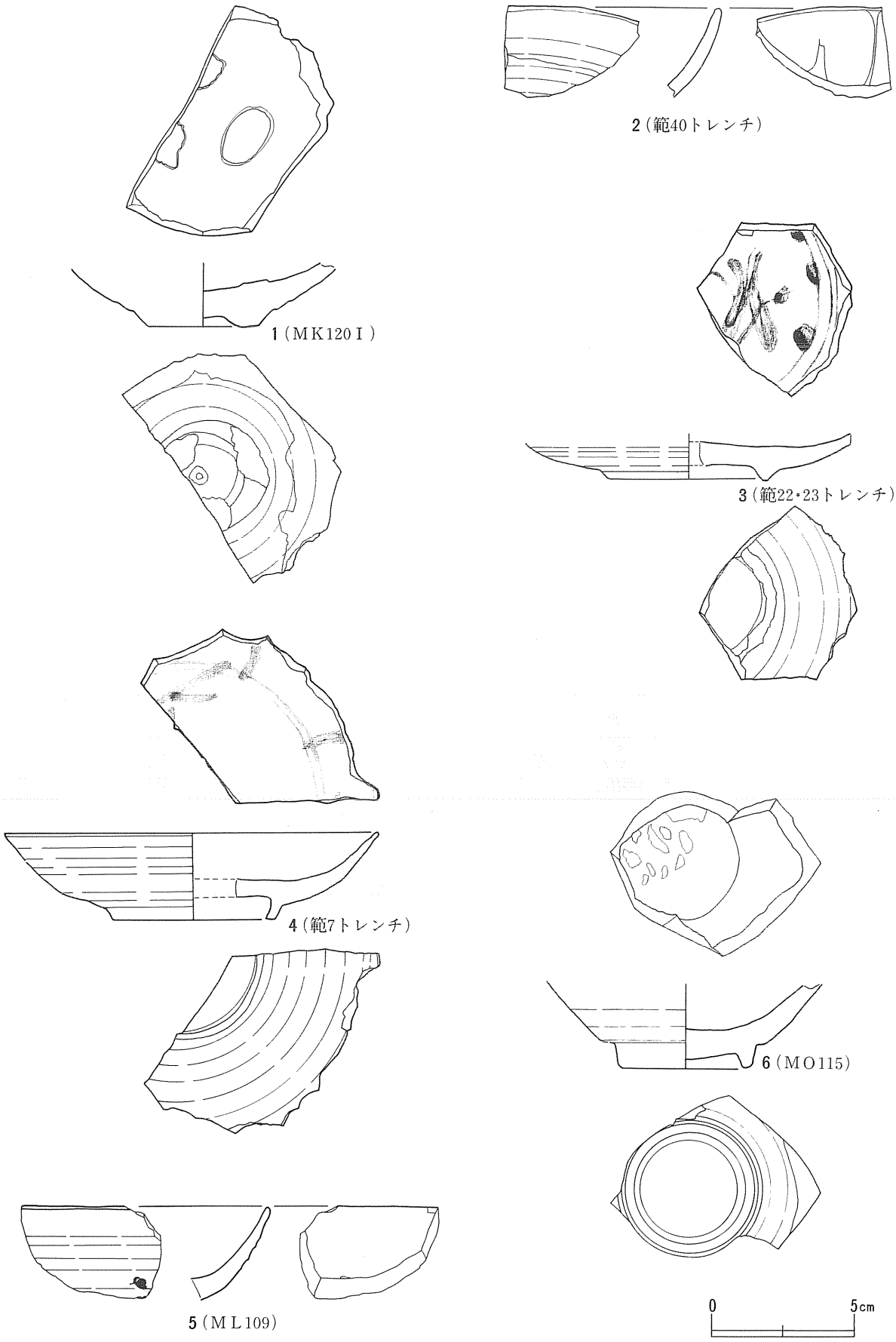
第306図　遺構外出土土器類(11)（土師器・須恵器・かわらけ・陶磁器）



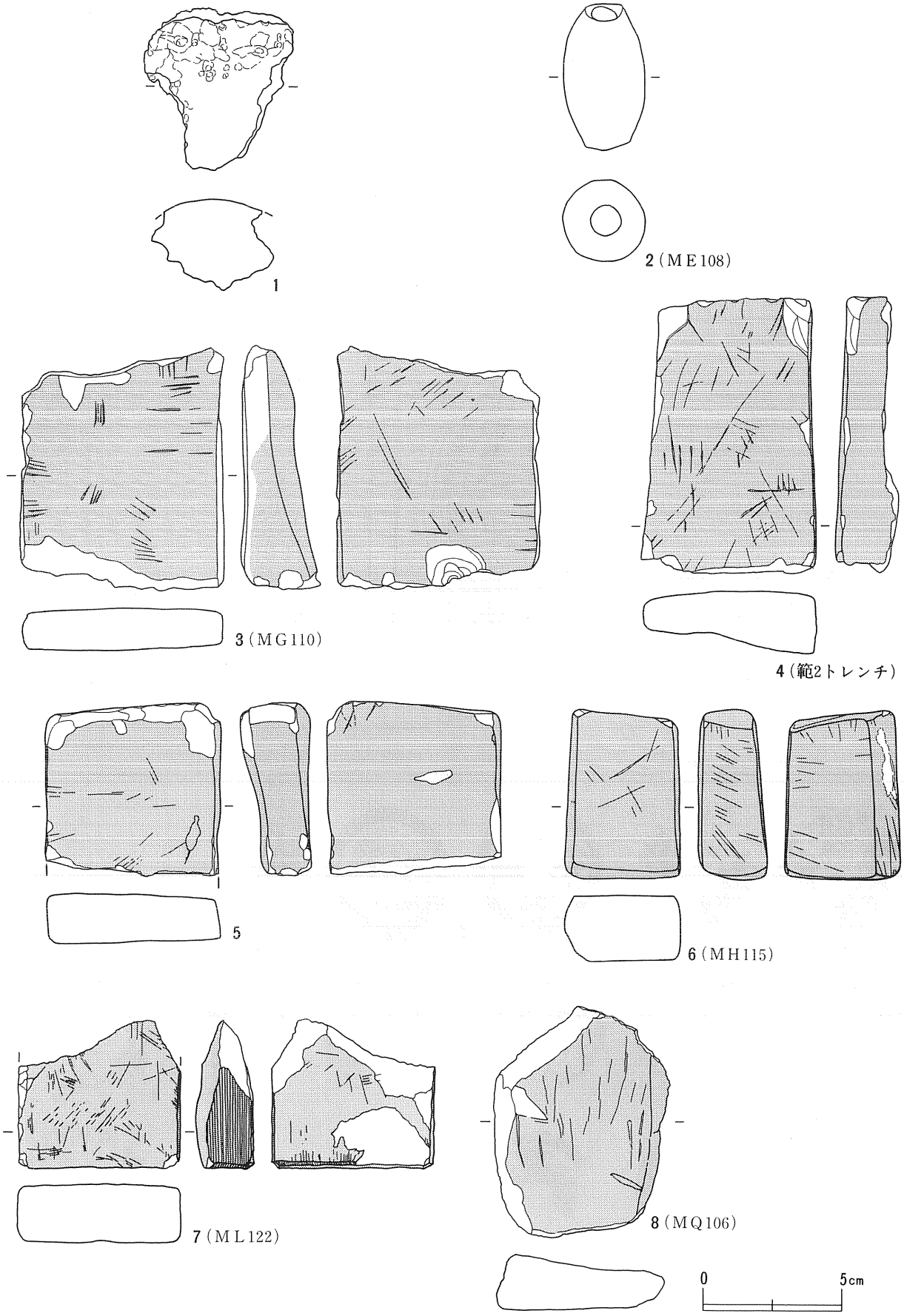
第307図　遺構外出土土器類(12)（陶磁器）



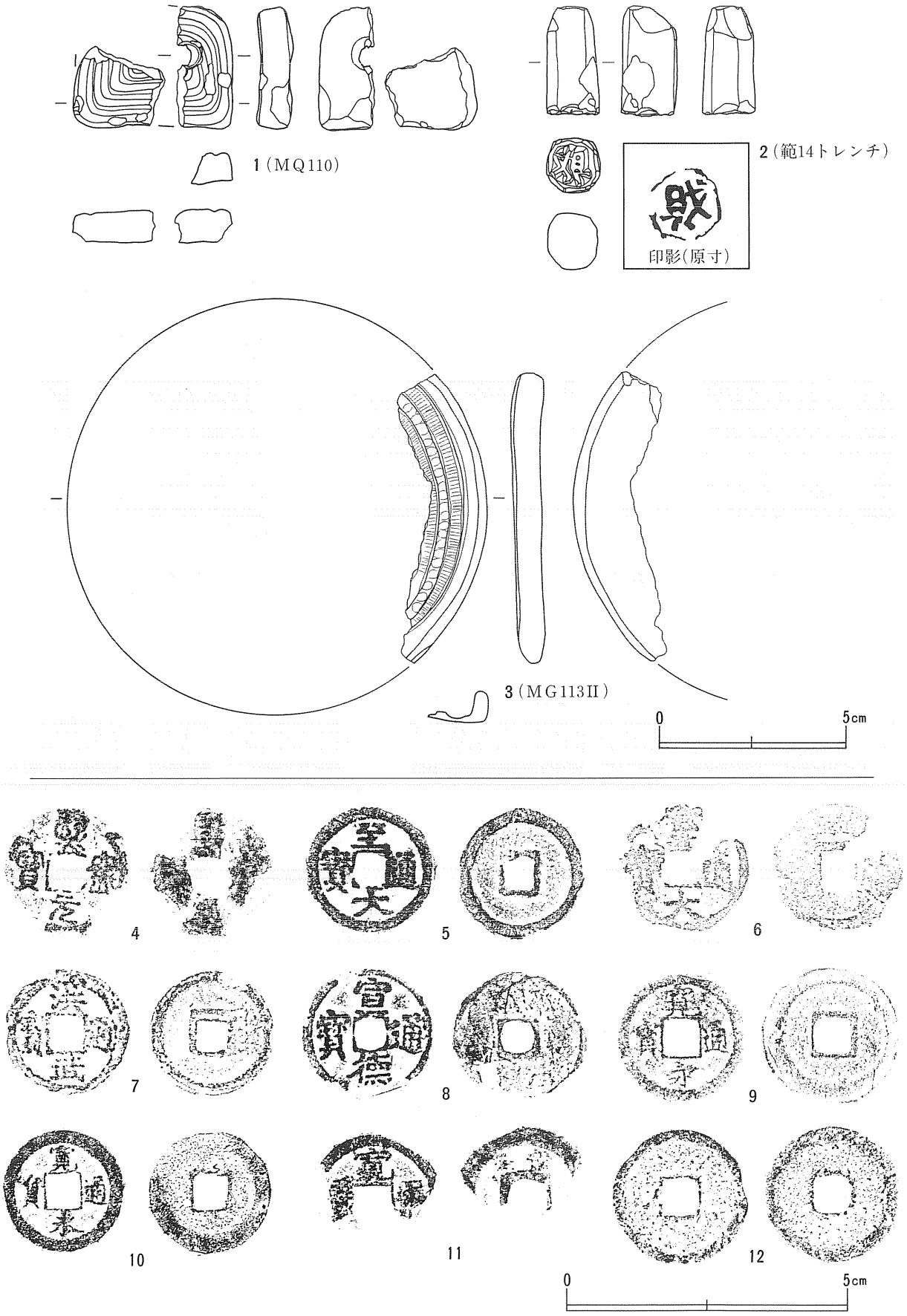
第308図　遺構外出土土器類(13)（陶磁器）



第309図　遺構外出土土器類(14)（陶磁器）



第310図　遺構外出土土器類(15)（フイゴ羽口・土錘）**・遺構外出土石器類(31)**（砥石）



第311図　遺構外出土石器類(32)（有孔石製品・印章）**・遺構外出土金属製品**（鏡片・銭貨）

「第３節　古代以降の遺構と遺物」 観察表凡例

１．柱穴観察表において、「番号」とは所在区ごとに付した柱穴番号を指す。たとえば、本文でMP 100 SKP 2と記した柱穴は、観察表においては「所在区」欄ではMP 100、「番号」欄では２の柱穴に相当する。また、「帰属する建物」欄の◯内に示した数字たとえば⑤は、本文中で５号柱穴と記した柱穴を意味し、建物ごとに付した柱穴番号を指す。

２．本節で扱った土器類の観察表は基本的に坏・皿類（第64～74表）とそれ以外の甕・壺等の器種（第75～77表）とに分けて掲載した。

３．古代土器における種別については、第３章第４節３の分類に従った。

４．古代土器における底部切り離しの技法において、「回糸」とあるのは回転糸切り技法、「静糸」とあるのは静止糸切り技法である。なお、回転糸切り技法については、（　）内にロクロ回転方向を付した。（　）のないものは摩滅などにより方向が不明のものを指す。

５．古代土器坏・皿類における底径指数、高径指数は本書では次のように定めた。
・底径指数＝底径÷口径　　（口径を１としたときの底径の値）
・高径指数＝器高÷口径　　（口径を１としたときの器高の値）

６．土器類の観察表において、遺構内出土遺物については「出土地点」欄では遺構名を付した。遺構内出土とみなしたなかで「SI 63 B竈」とあるのは同住居カマド周囲、「SI 63 B東」とあるのはSI 63 B東側攪乱の意である。遺構外出土遺物については原則として出土区もしくは範囲確認時トレンチ番号を掲載した。

所在区	柱穴番号	径または辺長(cm)	平面形状	深さ(cm)	底面標高(m)	覆土および柱痕跡確認状況	重複遺構の切り合い関係	帰属する建物	出土遺物
LO77	1	24×24	隅丸方形	17	35.45	断面図参照	—	SB93①	
LP77	1	23×23	隅丸方形	7	35.58	断面図参照	—	SB93⑧	
LO78	1	24×24	隅丸方形	16	35.47	断面図参照	—	SB93②	
	2	24×24	隅丸方形	17	35.43	断面図参照	—	SB93③	
	3	34×22	楕円形	24	35.12	断面図参照	—	SB93⑨	
LP78	1	23×23	隅丸方形	6	35.56	断面図参照	—	SB93⑤	
	2	13×13	隅丸方形	4	35.60	断面図参照	—	SB93⑩	
LN79	1	24×24	隅丸方形	18	35.44	断面図参照	—	SB93④	
LO79	1	22×22	隅丸方形	11	35.54	断面図参照	—	SB93⑥	
	2	24×24	円形	6	35.58	断面図参照	—	SB93⑦	板材
	3	13×13	隅丸方形	20	35.23	断面図参照	—	SB93⑪	角柱
LP79	1	20×20	隅丸方形	30	35.32	断面図参照	—	SB93⑫	
MI92	1	30×15	不整形	3	35.47	褐灰色土単一層	—		
ML92	1	20×20	不整円形	13	35.31	灰黄褐色土単一層	—		
	2	30×30	不整楕円形	6	35.40	黒褐色土単一層	—		
MH93	1	30×22	楕円形	8	35.43	黒褐色土単一層	—		
MM93	1	50×50	不整形	10	35.34	褐灰色土単一層	—		
MJ95	1	30×30	不整形	12	35.42	褐灰色土単一層	SD01Bを切る		
MK95	1	26×30	隅丸方形	48	34.93				縄文土器
ML95	1	26×26	不整形	7	35.33	黒褐色土単一層	—		
	2	28×14	楕円形	7	35.32	黒褐色土単一層	—		
MI96	1	15×10	楕円形	8	35.42	黒褐色土単一層	—		
	2	15×12	楕円形	6	35.45	褐灰色土単一層	—		
	3	10×10	不整円形	10	35.40	褐灰色土単一層	—		
	4	30×30	不整方形	22	35.28	黒褐色土単一層	—		
MJ96	1	45×20	不整形	4	35.48	黒褐色土単一層	—		
	2	55×55	不整形	6	35.48	黒褐色土単一層	—		
	3	10×10	不整円形	9	35.44	黒褐色土単一層	—		
	4	28×22	楕円形	13	35.39	黒褐色土単一層	—		
	5	40×40	円形	18	35.32	柱痕跡(黒褐色土)確認、掘形黒褐色土	—		
	6	10×10	方形	8	35.42	黒褐色土単一層	—		
	7	10×10	方形	15	35.34	黒褐色土単一層	—		
MK96	1	22×22	円形	5	35.37	黒褐色土単一層	SD01Bを切る		
	2	30×23	楕円形	15	35.24		—		
ML96	1	25×25	不整方形	6	35.34	黒褐色土単一層	—		
MM96	1	28×22	楕円形	10	35.24	黒褐色土単一層	—		
	2	20×20	不整形	9	35.36	黒褐色土単一層	—		
MN96	1	28×25	不整円形	22	35.22				
MI97	2	15×15	不整形	5	35.45	黒褐色土単一層	—		
	3	10×10	円形	7	35.44	黒褐色土単一層	—		
	4	15×15	円形	13	35.37	褐灰色土単一層	—		
	5	14×14	円形	6	35.43	褐灰色土単一層	—		
	6	15×10	楕円形	5	35.44	褐灰色土単一層	—		
	7	20×8	不整形	5	35.44	褐灰色土単一層	—		
	8	10×10	円形	12	35.38	褐灰色土単一層	—		
	9	10×7	楕円形	4	35.46	灰黄褐色土単一層	—		
	10	15×12	楕円形	12	35.37	灰黄褐色土単一層	—		
MJ97	1	14×14	不整円形	12	35.36	褐灰色土単一層	—		
	2	12×12	円形	7	35.42	褐灰色土単一層	—		
	3	12×12	不整方形	10	35.39	褐灰色土単一層	—		
	4	14×14	円形	21	35.30	褐灰色土単一層	—		
	5	13×13	不整円形	7	35.43	褐灰色土単一層	—		
	6	16×16	不整方形	6	35.46	黒褐色土単一層	—		

第48表　柱穴一覧(10)　(古代以降)

所在区	柱穴番号	径または辺長(cm)	平面形状	深さ(cm)	底面標高(m)	覆土および柱痕跡確認状況	重複遺構の切り合い関係	帰属する建物	出土遺物
MJ 97	7	10×10	不整方形	5	35.45	黒褐色土単一層	—		
	8	18×10	楕円形	4	35.46	黒褐色土単一層	—		
ML 97	1	17×17	円形	4	35.40	黒褐色土単一層	SKP 2を切る		
	2	22×17	不整円形	13	35.31	黒褐色土単一層	SKP 1に切られる		
	3	36×36	不整円形	20	35.23	黒褐色土単一層	—		
MM 97	1	20×14	楕円形	6	35.40	黒褐色土単一層	—		
	2	10×10	方形	15	35.31	灰黄褐色土単一層	SKP 3を切る		
	3	14×10	長方形	8	35.38	黒褐色土単一層	SKP 2に切られる		
MH 98	1	20×20	円形	10	35.37	黒褐色土単一層	—	SB 136⑤	
MI 98	1	20×20	不整円形	12	35.37	黒褐色土単一層	—	SB 136③	
	2	10×10	円形	13	35.38	褐灰色土単一層	—		
	3	20×20	不整円形	7	35.40		—	SB 136④	
	4	10×10	円形	2	35.47	黒褐色土単一層	—		
MJ 98	1	15×15	円形	8	35.45	褐灰色土単一層	—		
	2	12×12	方形	10	35.43	褐灰色土単一層	—		
	3	20×20	方形	5	35.41		—	SB 136①	
	4	22×22	円形	13	35.36	黒褐色土単一層	—	SB 136②	
	5	14×14	円形	10	35.37	黒褐色土単一層	—		
	6	24×14	楕円形	7	35.45	褐灰色土単一層	—		
MK 98	1	25×14	楕円形			褐灰色土単一層	—		
MN 98	1	22×16	楕円形	8	35.36	黒褐色土単一層	—	SB 61⑭	
	2	28×15	不整円形	7	35.38	黒褐色土単一層	—	SB 61⑮	
MO 98	1	20×20	円形	14	35.32	黒褐色土単一層	—	SB 61⑥	
MH 99	1	28×22	楕円形	20	35.25	黒褐色土単一層	—	SB 136⑩	
	2	22×18	不整方形	13	35.33	黒褐色土単一層	—		
MI 99	1	30×30	不整方形	35	35.31	黒褐色土単一層	—	SB 136⑧	
	2	36×28	長方形	31	35.17	黒褐色土単一層	—	SB 136⑨	
	3	18×12	楕円形	23	35.27	黒褐色土単一層	—		
	4	13×13	不整方形	15	35.31	黒褐色土単一層	—		
MJ 99	1	22×22	円形	15	35.35	黒褐色土単一層	—	SB 136⑦	須恵器
	2	14×14	円形	3	35.46	黒褐色土単一層	—		
	3	22×22	円形	6	35.43	黒褐色土単一層	—	SB 136⑥	
	4	14×14	円形	13	35.35	黒褐色土単一層	—		
	5	14×14	円形	11	35.37	灰黄褐色土単一層	—		
	6	13×13	円形	5	35.42	黒褐色土単一層	—		
	7	30×22	小判形	19	35.29	黒褐色土単一層	—		
	8	25×25	円形	31	35.15	黒褐色土単一層	—		
MK 99	1	15×15	円形	8	35.39	黒褐色土単一層	—		
MM 99	1	12×12	円形	2	35.44	黒褐色土単一層	—		
	2	24×24	円形	8	35.31		—	SB 61⑫	
MN 99	1	20×20	円形	28	35.02	断面図参照	—	SB 61⑪	
	2	30×24	楕円形	8	35.36	断面図参照	—		
	3	22×22	不整円形	26	35.19	黒褐色土単一層	—		土師器
	4	26×20	楕円形	13	35.32	黒褐色土単一層	—		
MO 99	1	30×20	楕円形	8	35.38	断面図参照	—	SB 61⑤	
	2	32×20	楕円形	6	35.44	断面図参照	—		
	3	50×20	不整形	9	35.37	黒褐色土単一層	—	SB 61④	
	4	20×20	円形	12	35.32	断面図参照	SKP 5を切る	SB 61③	
	5	16×16	円形	3	35.41	断面図参照	SKP 4に切られる		
MP 99	1	36×32	不整方形	10	35.30	断面図参照	—	SB 135③	
	2	34×34	円形	22	35.15	断面図参照	—	SB 135②	
	3	42×42	方形	16	35.34	断面図参照	—	SB 135①	
MF 100	1	12×12	円形	6	35.37	褐灰色土単一層	—		
	2	16×12	楕円形	7	35.37	黒褐色土単一層	—		

第49表　柱穴一覧(11)　(古代以降)

所在区	柱穴番号	径または辺長(cm)	平面形状	深さ(cm)	底面標高(m)	覆土および柱痕跡確認状況	重複遺構の切り合い関係	帰属する建物	出土遺物
MF 100	3	16×16	円形	14	35.33	黒褐色土単一層	—		
MG 100	1	16×16	円形	3	35.46		—		
	2	12×12	円形	9	35.41	黒褐色土単一層	—		
	3	14×14	円形	9	35.41	黒褐色土単一層	—		
MH 100	1	40×40	不整形	22	35.28	柱痕跡(黒褐色土)確認、掘形Ⅲ層混じり黒褐色土	—	SB 59⑱	
	2	16×10	楕円形	15	35.36	黒褐色土単一層	—		
	3	15×15	円形	12	35.39	黒褐色土単一層	—		
	4	15×15	方形	10	35.40	黒褐色土単一層	—		
	5	18×18	不整形	18	35.33	黒褐色土単一層	—		
	6	22×8	不整形	2	35.47	黒褐色土単一層	—		
	7	12×10	円形	11	35.38	黒褐色土単一層	—		
MI 100	1	50×50	方形	13	35.35	断面図参照	—	SB 59①	土師器、須恵器、礫
	2	22×22	方形	24	35.26	黒褐色土単一層	—	SB 60④	土師器
	3	30×30	方形	18	35.34	黒褐色土単一層	SKP 10に切られる	SB 59㉙	土師器
	4	38×26	楕円形	4	35.46	黒褐色土単一層	—		
	5	16×16	円形	6	35.46	黒褐色土単一層	—		
	6	30×20	楕円形	28	35.25	黒褐色土単一層	—		土師器
	7	34×26	楕円形	19	35.33	黒褐色土単一層	—	SB 59㉚	土師器
	8	18×10	楕円形	6	35.45	黒褐色土単一層	—		
	9	26×26	円形	13	35.38	黒褐色土単一層	—	SB 59㉛	土師器
	10	50×30	不整形	8	35.34	黒褐色土単一層	SKP 3を切る		土師器
	11	46×35	不整形	28	35.23	断面図参照	—	SB 59㉜	礎石？
MJ 100	1	24×20	隅丸方形	31	35.18	灰黄褐色土単一層	—	SB 60③	
	2	25×25	隅丸方形	27	35.18	褐灰色土単一層	—	SB 60②	
	3	18×18	円形	13	35.36		—		
	4	44×44	隅丸方形	21	35.31	断面図参照	—	SB 59⑧	土師器
	5	22×15	楕円形	11	35.40	黒褐色土単一層	—		
	6	22×15	楕円形	13	35.38	黒褐色土単一層	—		
	7	50×50	不整形	8	35.43	断面図参照	SKP 8に切られる	SB 59⑦	土師器
	8	16×12	楕円形	8	35.31	断面図参照	SKP 7を切る		
	9	20×12	楕円形	9	35.40	黒褐色土単一層	—		
	10	18×10	長方形	6	35.44	黒褐色土単一層	—		
	11	20×20	方形	5	35.47	黒褐色土単一層	—		
	12	15×15	隅丸方形	23	35.29	黒褐色土単一層	—		
	13	15×15	円形	4	35.36	褐灰色土単一層	—		
MK 100	1	22×22	方形	10	35.36	黒褐色土単一層	—	SB 60①	
	2	15×15	方形	22	35.27	黒褐色土単一層	—		
	3	14×14	円形	4	35.45	黒褐色土単一層	—		
	4	16×16	不整形	7	35.44	黒褐色土単一層	—		
	5	10×10	方形	13	35.37	黒褐色土単一層	—		
	7	12×12	方形	13	35.37	黒褐色土単一層	—		
	8	12×12	方形	7	35.42	黒褐色土単一層	—		
	9	16×16	円形	10	35.40	黒褐色土単一層	—		
	10	16×16	不整形	5	35.44	黒褐色土単一層	—		
	11	27×19	不整楕円形	10	35.40	黒褐色土単一層	—		
	12	17×14	不整円形	13	35.38	黒褐色土単一層	—		
	13	13×11	不整方形	15	35.36	黒褐色土単一層	—		
MM 100	1	10×10	円形	3	35.32		—		
	2	12×12	円形	1	35.34		—		
	3	25×25	円形	20	35.15	断面図参照	—		
MN 100	1	30×20	楕円形	16	35.29	黒褐色土単一層	SKP 5を切る		土師器
	2	30×24	楕円形	14	35.29	断面図参照	—		
	3	26×22	不整方形	30	35.05	断面図参照	—	SB 61⑨	

第50表　柱穴一覧(12)　(古代以降)

所在区	柱穴番号	径または辺長(cm)	平面形状	深さ(cm)	底面標高(m)	覆土および柱痕跡確認状況	重複遺構の切り合い関係	帰属する建物	出土遺物
MN 100	4	24×24	不整形	17	35.31	黒褐色土単一層	—		
	5	30×20	小判形	10	35.24	断面図参照	SKP 1に切られる	SB 61⑩	
MO 100	1	22×14	小判形	31	35.15	褐灰色土単一層	—		
MP 100	1	50×50	隅丸方形	10	35.32	断面図参照	—	SB 135⑥	
	2	60×52	隅丸方形	8	35.35	断面図参照	—	SB 135⑤	
	3	25×25	不整形	21	35.34	断面図参照	—	SB 61②	
	4	68×40	不整形	54	34.93	Ⅲ層混じり黒色土単一層	—		礫
MQ 100	1	54×50	不整方形	14	35.28	断面図参照	—	SB 135④	
MG 101	1	12×12	円形	6	35.42	黒褐色土単一層	—		
	2	18×14	小判形	9	35.39	黒褐色土単一層	—		
	3	16×16	円形	3	35.47	黒褐色土単一層	—		
	4	26×18	不整形	3	35.48	黒褐色土単一層	—		
MH 101	1	16×16	円形	19	35.31	黒褐色土単一層	—		炭
	4	16×16	円形	11	35.39	黒褐色土単一層	—		
	5	14×14	円形	13	35.37	黒褐色土単一層	—		
	6	40×40	不整形	8	35.42	黒褐色土単一層	SKP 7に切られる		
	7	30×30	不整方形	8	35.42	黒褐色土単一層	SKP 6を切る		土師器
	8	18×18	円形	22	35.34	褐灰色土単一層	—		
	9	12×12	円形	4	35.44	黒褐色土単一層	—		
	10	10×10	円形	10	35.40	黒褐色土単一層	—		
	11	12×12	円形	10	35.40	黒褐色土単一層	—		
	12	16×12	楕円形	6	35.43	黒褐色土単一層	—		
MI 101	1	22×22	方形	25	35.32	断面図参照	—	SB 60⑧	
	2	20×20	不整形	11	35.40	黒褐色土単一層	—		
	3	38×28	不整形	22	35.29	断面図参照	SKP 10を切る	SB 59⑳	土師器
	4	16×16	円形	12	35.39	黒褐色土単一層	—		
	5	10×10	円形	5	35.45	黒褐色土単一層	—		
	6	60×60	不整方形	24	35.09	断面図参照	SKP 8・SKP 9に切られる	SB 59②	土師器、須恵器
	7	18×18	円形	27	35.21	黒褐色土単一層	—	SB 59⑲	土師器
	8	26×20	方形	30	35.20	断面図参照	SKP 6を切る	SB 60⑩	
	9	22×22	方形	42	35.06	黒褐色土単一層	SKP 6を切る		土師器、内黒
	10	30×30	不整形	7	35.44	黒褐色土単一層	SKP 3に切られる		
MJ 101	1	64×64	不整方形	12	35.20	断面図参照	—	SB 59③	土師器、内黒、須恵器
	2	20×20	方形	20	35.26	黒褐色土単一層	—	SB 59⑭ SB 60⑥	土師器
	3	22×22	方形	26	35.19	黒褐色土単一層	—	SB 60⑦	
MK 101	1	56×56	不整形	32	35.13	断面図参照	—	SB 59⑪	土師器、須恵器、礫
	2	30×30	円形	7	35.42	黒褐色土単一層	—		
	3	22×22	円形	24	35.26	灰黄褐色土単一層	—	SB 60⑤	
	4	26×26	楕円形	23	35.25	黒色土単一層	—		
	5	16×16	方形	27	35.25	黒褐色土単一層	—		
	6	22×18	長方形	28	35.24	褐灰色土単一層	—		
	7	20×16	楕円形	4	35.46	黒褐色土単一層	—		
	8	30×24	不整円形	33	35.17	黒褐色土単一層	—	SB 59⑩ SB 60⑨	土師器
	9	52×45	不整円形	22	35.26	断面図参照	—	SB 59⑨	須恵器
MM 101	1	26×15	不整形	5	35.42	黒褐色土単一層	—		
	2	16×16	円形	4	35.40	黒褐色土単一層	—		
MN 101	1	20×20	円形	27	35.20	黒褐色土単一層	—		
	2	22×22	円形	20	35.26	断面図参照	—	SB 61⑧	
	3	26×26	方形	36	35.12	断面図参照	—		
	4	38×32	楕円形	3	35.43	黒褐色土単一層	—		
	5	20×20	方形	20	35.26	断面図参照	—	SB 61⑦	土師器

第51表　柱穴一覧(13)　(古代以降)

所在区	柱穴番号	径または辺長(cm)	平面形状	深さ(cm)	底面標高(m)	覆土および柱痕跡確認状況	重複遺構の切り合い関係	帰属する建物	出土遺物
MN 101	6	44×30	長方形	19	35.24	断面図参照	—		
	7	20×20	方形	10	35.40	黒褐色土単一層	—		
MO 101	1	30×30	円形	15	35.35	黒褐色土単一層	—		
	2	34×34	不整形	13	35.33	断面図参照	—	SB 61⑬	
MP 101	1	36×24	楕円形	9	35.39	断面図参照	—	SB 61①	土師器
ME 102	1	26×18	不整長方形	12	35.37		—		
	2	19×15	不整円形	7	35.40		—		
MF 102	1	23×23	不整方形	12	35.40	黒褐色土単一層	—		
MH 102	1	16×10	楕円形	2	35.48	黒褐色土単一層	—		
	2	26×20	楕円形	8	35.41	黒褐色土単一層	—		
	4	15×15	円形	5	35.42	黒褐色土単一層	—		
MI 102	1	36×28	楕円形	23	35.26	黒褐色土単一層	—	SB 59㉑	土師器
MJ 102	1	34×26	楕円形	14	35.35	黒褐色土単一層	—		
	2	74×61	不整楕円形	24	35.28	断面図参照	—	SB 59④	土師器、内黒、須恵器
	3	26×26	不整形	12	35.40	断面図参照	—		土師器
MK 102	1	46×46	円形	30	35.13	断面図参照	—	SB 59⑫	土師器、内黒、須恵器
	2	50×40	不整形	6	35.41	断面図参照	—		
	3	30×30	不整形	11	35.40	黒褐色土単一層	SKP 4に切られる		土師器
	4	36×36	不整方形	8	35.41	断面図参照	SKP 3を切る	SB 59⑮	土師器
ML 102	1	22×22	円形	5	35.45	黒褐色土単一層	—		
	2	30×20	楕円形	3	35.42	黒褐色土単一層	—		
MM 102	1	16×16	円形	5	35.45	黒褐色土単一層	—		
	2	34×34	不整形	16	35.30	断面図参照	—		
	3	18×18	隅丸方形	15	35.35	黒褐色土単一層	—		
	4	10×10	不整形	10	35.39	褐灰色土単一層	—		
	5	75×50	楕円形	22	35.28	黒褐色土単一層	—		
	6	26×26	楕円形	9	35.36	黒褐色土単一層	—		
	7	20×16	長方形	3	35.45	黒褐色土単一層	—		
MN 102	1	22×20	楕円形	12	35.40	黒色土単一層			
MP 102	1	50×30	楕円形	38	35.12	黒色土単一層	—	SB 23⑧	
	3	20×20	円形	3	35.16	黒褐色土単一層	—	SB 23⑦	
	4	35×25	小判形	13	35.41	黒褐色土単一層	—	SB 23⑩	
MQ 102	1	23×23	略円形	23	35.27	黒色土単一層	—	SB 23④	
	2	30×30	隅丸方形	20	35.30	黒色土単一層	—	SB 23③	土師器
	3	20×20	不整円形	4		黒褐色土単一層	—		
ME 103	1	17×17	不整方形	6	35.38	褐灰色土単一層	—		
MF 103	1	40×30	不整方形	9	35.37	柱痕跡(褐灰色土)確認、掘形黒褐色土	—		
	2	14×14	円形	17	35.32	褐灰色土単一層	—		
	3	18×15	不整方形	19	35.29	褐灰色土単一層	—		
MG 103	1	16×13	楕円形	17	35.34	褐灰色土単一層	—		
	2	14×14	円形	18	35.33	褐灰色土単一層	—		
	3	14×14	楕円形	15	35.35		—		
	4	22×22	不整方形	6	35.38		—		
MI 103	1	50×40	楕円形	13	35.36	断面図参照	—	SB 59㉕	
MJ 103	1	16×16	不整円形	7	35.42	黒褐色土単一層	—		土師器
	2	35×32	楕円形	21	35.31	断面図参照	SKP 6に切られる	SB 59㉓	土師器
	3	40×40	隅丸方形	13	35.36	黒褐色土単一層	—	SB 59㉖	須恵器
	4	50×40	円形	10	35.41	暗褐色土単一層	—	SB 59⑥	土師器
	5	10×20	不整形	8	35.43	黒褐色土単一層	—		
	6	20×30	楕円形	19	35.39	断面図参照	SKP 2を切る	SB 161④	フイゴ羽口
	7	60×50	楕円形	20	35.31	断面図参照	SKP 9に切られる	SB 59⑤	土師器
	8	27×27	楕円形	10	35.39	黒褐色土単一層	—	SB 59㉒	
	9	30×20	楕円形	14	35.38	黒褐色土単一層	SKP 7を切る		

第52表　柱穴一覧(14)　(古代以降)

所在区	柱穴番号	径または辺長(cm)	平面形状	深さ(cm)	底面標高(m)	覆土および柱痕跡確認状況	重複遺構の切り合い関係	帰属する建物	出土遺物
MK 103	1	40×30	方形	8	35.44	黒褐色土単一層	—		土師器
	2	23×10	円形	4	35.50	黒褐色土単一層	—		
	3	15×15	円形	20	35.43	黒褐色土単一層	—		
	4	50×30	楕円形	24	35.28	断面図参照	—	SB 59⑰	
	5	20×20	円形	12	35.39	黒褐色土単一層	—		土師器
	6	45×45	円形	18	35.34	断面図参照	—	SB 59⑯	土師器
	7	26×26	楕円形	5	35.45	黒褐色土単一層	—		
	8	25× 9	楕円形	3	35.47	黒褐色土単一層	—		
	9	26×29	不整円形	23	35.30	黒褐色土単一層	—		
ML 103	1	40×40	円形	24	35.27	断面図参照	—		
	2	25×25	楕円形	7	35.45	黒褐色土単一層	—	SB 59㉔	
	3	20×15	楕円形	5	35.46	黒褐色土単一層	—		
	4	30×30	円形	10	35.34	断面図参照	—	SB 59⑬	土師器
MN 103	2	10×10	楕円形	3	35.47	黒褐色土単一層	—		
	3	15×10	楕円形	6	35.44	黒褐色土単一層	—		
	4	20×20	隅丸方形	20	35.30	黒褐色土単一層	—		
MO 103	1	27×20	小判形	7	35.43	黒色土単一層	SKP 4を切る		
	4	25×25	円形	11	35.40	黒色土単一層	SKP 1に切られる		
	10	20×20	円形	6	35.35	断面図参照	—		
MP 103	1	30×30	円形	14	35.34	黒色土単一層	—	SB 23⑤	
	3	25×25	楕円形	29	35.19	黒色土単一層	—	SB 23⑥	
	4	35×35	不整円形	15	35.19	黒色土単一層	—	SB 23⑨	
MQ 103	1	30×30	円形	17	35.32	黒色土単一層	—	SB 23①	
	2	23×23	不整円形	22	35.28	黒色土単一層	—	SB 23②	
MF 104	1	15×10	楕円形	16	35.27	暗褐色土単一層	—		
	2	15×15	円形	7	35.28	褐灰色土単一層	—		
	4	20×20	円形	21	35.16	暗褐色土単一層	—		
	5	15×15	円形	16	35.20		—		
	6	20×20	円形	10	35.38	黒褐色土単一層	—		
MG 104	1	19×19	方形	10	35.39	黒褐色土単一層	—		
	2	15×15	不整円形	17	35.32	黒褐色土単一層	—		
	3	13×13	不整円形	5	35.44	柱痕跡(黒褐色土)確認、掘形暗褐色土	—		
	4	20×15	楕円形	5	35.43	黒褐色土単一層	—		
	5	18×18	不整形	5	35.40	黒褐色土単一層	—		
MH 104	1	32×15	円形	3	35.44	黒褐色土単一層	—		
	2	18×15	楕円形	4	35.45	黒褐色土単一層	—		
	4	23×15	不整円形	4	35.49	灰黄褐色土単一層	—		
MJ 104	1	40×25	不整形	17	35.32	黒褐色土単一層	—	SB 161②	
	2	30×30	円形	20	35.31	黒褐色土単一層	—		
	3	40×30	楕円形	17	35.31	暗褐色土単一層	—	SB 59㉗ SB 161⑧	
	4	30×20	楕円形	8	35.41	黒褐色土単一層	—		
	5	30×30	円形	12	35.37	暗褐色土単一層	—		
	6	20×20	円形	11	35.38	暗褐色土単一層	—		
	7	32×32	方形	24	35.27	断面図参照	—		土師器
	8	40×40	方形	34	35.17	断面図参照	—	SB 59㉘ SB 161⑦	土師器
	10	40×30	楕円形	14	35.37	暗褐色土単一層	—	SB 59㉔ SB 161③	
MK 104	1	40×25	楕円形	24	35.24	断面図参照	—		土師器、須恵器
	2	35×35	円形	30	35.21	柱痕跡確認	—	SB 59㉝	土師器
	3	15×15	円形	12	35.38	黒褐色土単一層	—		土師器
	4	35×30	円形	19	35.32	黒褐色土単一層	—		
ML 104	1	35×30	不整方形	28	35.16		—		土師器

第53表　柱穴一覧(15)　(古代以降)

所在区	柱穴番号	径または辺長(cm)	平面形状	深さ(cm)	底面標高(m)	覆土および柱痕跡確認状況	重複遺構の切り合い関係	帰属する建物	出土遺物
ML 104	2	30×27	不整円形	8	35.39	黒褐色土単一層	—		
	3	17×17	不整円形	5	35.45	黒褐色土単一層	—		
MM 104	1	15×15	円形	6	35.35	黒褐色土単一層	—		土師器、内黒
MN 104	1	20×20	円形	16	35.33	黒褐色土単一層	—		
	2	15×15	円形	5	35.38	黒色土単一層	—		
MO 104	2	20×10	楕円形	8	35.40	黒褐色土単一層	—		
MP 104	1	38×30	楕円形	14	35.28	黒褐色土単一層	—	SB 24②	
	2	25×25	不整形	17	35.28	黒色土単一層	—	SB 24①	
MQ 104	1	20×20	円形	7	35.39	黒色土単一層	—	SB 24④	
	2	15×20	楕円形	16	35.31	黒色土単一層	—	SB 24⑤	土師器
	4	16×16	隅丸方形	19	35.28	暗褐色土単一層	—	SB 24⑦	土師器
ME 105	1	11×11	不整円形	4	35.27	暗褐色土単一層	—		
MF 105	1	20×20	円形	3	35.33	暗褐色土単一層	—		
	2	10×20	不整形	5	35.33	暗褐色土単一層	—		
	5	30×20	不整円形	7	35.39	暗褐色土単一層	—		
	6	15×15	円形	15	35.27	暗褐色土単一層	—		
	7	15×10	楕円形	4	35.39	暗褐色土単一層	—		
	8	16×16	円形	10	35.32	黒褐色土単一層	—		
MG 105	1	11×11	円形	4	35.43				
	2	8 ×13	不整形	8	35.31	黒褐色土単一層	—		
	3	13×13	円形	13	35.30	黒褐色土単一層	—		
	4	14×14	円形	10	35.31	黒褐色土単一層	—		
MJ 105	1	21×15	楕円形	9	35.38	黒褐色土単一層	—		
	4	20×20	不整形	18	35.36	断面図参照	SKP 5に切られる		
	5	30×30	円形	25	35.22	断面図参照	SKP 4を切る	SB 161⑤	
	6	30×30	不整形	26	35.20	断面図参照	—	SB 161⑥	
MK 105	1	32×32	隅丸方形	25	35.26	黒褐色土単一層	—		土師器
	2	14×14	円形	7	35.37	黒褐色土単一層	—		
	3	35×25	楕円形	22	35.23	断面図参照	—	SB 161①	
	5	14×14	円形	15	35.32	黒褐色土単一層	—		
	6	25×20	楕円形	17	35.30	黒褐色土単一層	—	SB 153㉒	
ML 105	1	20×20	円形	4	35.41	黒褐色土単一層	—	SB 153⑯	土師器
	2	20×25	円形	16	35.31	黒褐色土単一層	—	SB 153⑮	
	3	27×30	楕円形	18	35.29	暗褐色土単一層	—	SB 153⑭	
	4	17×17	円形	19	35.26	黒褐色土単一層	—		土師器
	5	23×23	方形	22	35.25	黒褐色土単一層	—	SB 153⑰	
	6	35×45	方形	21	35.23	黒色土単一層	—	SB 152⑥	土師器
	7	10×10	不整形	10	35.39	黒褐色土単一層	—		
MM 105	1	39×39	円形	16	35.30	柱痕跡確認	—	SB 152③	土師器
	2	50×45	不整方形	27	35.20	黒褐色土単一層	—	SB 152⑤	
	3	25×25	方形	20	35.16	黒褐色土単一層	—	SB 152②	
MN 105	3	20×30	不整形	7	35.37	黒色土単一層	—		土師器
	4	26×30	不整円形	12	35.35	黒色土単一層	—		
	5	26×20	楕円形	15	35.33	黒色土単一層	SKP 8に切られる		土師器
	6	30×40	楕円形	18	35.20	断面図参照	旧水田水路に切られる	SB 33⑧	
	7	23×15	楕円形	7	35.36		SKP 9に切られる		
	8	16×20	不整円形	17	35.26	黒褐色土単一層	SKP 5を切る		
	9	20×20	方形	20	35.15	断面図参照	SKP 7を切る		
MO 105	1	22×22	方形	7	35.40	黒色土単一層	—		土師器
	2	32×30	円形	12	35.34	黒色土単一層	—	SB 33④	土師器
	3	30×25	円形	19	35.28	黒色土単一層	—	SB 33③	
	4	17×17	円形	13	35.34	黒色土単一層	—		
	5	30×25	楕円形	19	35.29	黒色土単一層	—	SB 33⑩	土師器

第54表　柱穴一覧(16)　(古代以降)

所在区	柱穴番号	径または辺長(cm)	平面形状	深さ(cm)	底面標高(m)	覆土および柱痕跡確認状況	重複遺構の切り合い関係	帰属する建物	出土遺物
MO 105	6	20×30	楕円形	6	35.42	黒色土単一層	—		
	7	18×22	楕円形	6	35.41	黒色土単一層	—		土師器
MP 105	1	30×27	円形	8	35.40	黒褐色土単一層	SKP 5を切る		
	2	40×25	楕円形	27	35.20	黒褐色土単一層	SKP 6を切る	SB 24③	
	3	35×35	円形	30	35.16	黒色土単一層	—	SB 28①	土師器
	4	22×20	楕円形	29	35.16	黒褐色土単一層	—		
	5	20×30	楕円形	6	35.19	黒褐色土単一層	SKP 1に切られる		
	6	15×23	楕円形	5	35.41	黒褐色土単一層	SKP 2に切られる		
MQ 105	1	20×14	楕円形	10	35.37	黒色土単一層	SKP 5に切られる		
	2	22×32	隅丸方形	15	35.31	黒色土単一層	—	SB 24⑧	
	3	30×30	円形	15	35.30	黒色土単一層	—	SB 24⑥	土師器
	4	24×20	不整円形	29	35.20	黒褐色土単一層	—	SB 28⑨	
	5	24×20	不整円形	13	35.35	黒色土単一層	SKP 1を切る		
	6	30×20	不整形	7	35.39	黒色土単一層	—	SB 28⑤	
	7	26×22	楕円形	9	35.41	黒褐色土単一層	—		
MR 105	1	20×20	円形	15	35.33	暗褐色土単一層	—	SB 28⑥	
ME 106	1	15×15	円形	15	35.15	暗褐色土単一層	—		
	2	23×23	円形	17	35.15	褐灰色土単一層	—		
	3	20×20	円形	16	35.15		—		
	5	20×14	楕円形	12	35.19	黒褐色土単一層	—		
	7	15×15	円形	9	35.18	暗褐色土単一層	—		
	8	15×15	円形	8	35.23		—		
	9	13×13	円形	10	35.24	暗褐色土単一層	—		
MF 106	1	20×13	楕円形	14	35.20	暗褐色土単一層	—		
	2	22×22	円形	12	35.25	褐灰色土単一層	—		
	4	15×15	円形	12	35.20	暗褐色土単一層	—		
	6	25×16	楕円形	6	35.27	暗褐色土単一層	—		
	7	25×18	楕円形	17	35.21	黒褐色土単一層	—		
	8	30×15	不整形	10	35.27	黒褐色土単一層	—		
	9	15×13	楕円形	6	35.30	暗褐色土単一層	—		
	10	15×10	楕円形	4	35.29	黒褐色土単一層	—		
	11	16×10	楕円形	9	35.26		—		
	12	13× 9	円形	3	35.27	暗褐色土単一層	—		
	13	14×14	円形	4	35.28	暗褐色土単一層	—		
MH 106	1	22×22	円形	26	35.14	暗褐色土単一層	—		
	2	13×13	不整形	4	35.38	褐灰色土単一層	—		
	3	13×13	不整形	2	35.41	褐灰色土単一層	—		
MK 106	1	20×20	円形	17	35.29	黒褐色土単一層	—		
	2	25×25	円形	22	35.26	黒褐色土単一層	—	SB 153③	
	3	30×25	楕円形	22	35.25	黒褐色土単一層	SKP 6に切られる	SB 153⑳	
	4	20×26	隅丸方形	13	35.33	黒褐色土単一層	—	SB 153㉑	
	6	16×16	円形	15	35.32	暗褐色土単一層	SKP 3を切る		
	7	20×20	円形	6	35.38	黒褐色土単一層	—		
ML 106	1	25×23	楕円形	18	35.31	暗褐色土単一層	—	SB 153①	
	2	55×35	方形	22	35.27	黒褐色土単一層	—	SB 153⑬	
	3	25×32	楕円形	16	35.32	黒色土単一層	—		
	4	30×30	円形	6	35.42	黒褐色土単一層	—	SB 153②	
	5	19×19	楕円形	5	35.42	黒褐色土単一層	—	SB 153⑦	
	6	13×16	楕円形	15	35.33	黒色土単一層	—		
	7	10×10	円形	14	35.33	黒褐色土単一層	—		
	9	15×15	正方形	8	35.37	黒褐色土単一層	—		
	10	16×16	円形	66	34.82	断面図参照	—		柱材、石器
MM 106	1	42×35	楕円形	26	35.17	黒褐色土単一層	—	SB 152④	土師器
	2	40×40	不整円形	9	35.40	黒褐色土単一層	—	SB 153⑫	須恵器

第55表　柱穴一覧(17)　(古代以降)

所在区	柱穴番号	径または辺長(cm)	平面形状	深さ(cm)	底面標高(m)	覆土および柱痕跡確認状況	重複遺構の切り合い関係	帰属する建物	出土遺物
MM 106	3	40×40	不整形	14	35.31	暗褐色土単一層	—	SB 153⑥	
	4	28×25	不整円形	15	35.32	黒褐色土単一層	—	SB 152①	
	5	30×25	不整楕円形	18	35.31	断面図参照	—	SB 153④	
MN 106	1	23×23	円形	4	35.32	黒褐色土単一層	—		
	2	25×25	楕円形	14	35.27	黒褐色土単一層	—	SB 33⑥	
	3	32×23	楕円形	13	35.27	断面図参照	SKP 4に切られる	SB 33⑦	
	4	20×20	円形	20	35.20	断面図参照	SKP 3を切る		
	5	16×16	円形	14	35.29	黒褐色土単一層	—		
MP 106	1	34×35	楕円形	23	35.25	断面図参照	—	SB 33②	土師器
	2	50×40	不整形	18	35.31	黒褐色土単一層	—	SB 33①	
	3	30×30	円形	11	35.35	黒褐色土単一層	—		
MQ 106	1	30×30	方形	22	35.27	黒褐色土単一層	—	SB 28⑩	
	2	37×24	楕円形	18	35.29	暗褐色土単一層	—	SB 28⑪	
	3	40×30	楕円形	26	35.19	断面図参照	—	SB 28③	
	4	18×18	円形	24	35.25	黒褐色土単一層	—		
	5	38×38	不整形	26	35.21	断面図参照	—	SB 28②	
MR 106	1	40×30	不整形	18	35.31	断面図参照	—	SB 28⑦	土師器
	2	22×22	不整形	4	35.35	暗褐色土単一層	—		
	3	22×22	円形	10	35.39	暗褐色土単一層	—	SB 28⑧	
ME 107	1	10×10	円形	3	35.28	暗褐色土単一層	—		
	2	12×12	円形	11	35.16	暗褐色土単一層	—		
	3	12×12	円形	5	35.26	暗褐色土単一層	—		
	4	17×17	不整円形	16	35.17	暗褐色土単一層	—		
	5	16×13	楕円形	5	35.25	暗褐色土単一層	—		
	6	10×10	円形	5	35.28	暗褐色土単一層	—		
	7	30×23	不整形	10	35.19	暗褐色土単一層	—		
	8	13×13	不整形	3	35.26	暗褐色土単一層	—		
	9	18×18	不整円形	15	35.13	暗褐色土単一層	—		
	10	11×11	円形	8	35.20	暗褐色土単一層	—		
	11	12×12	円形	3	35.25	暗褐色土単一層	—		
MF 107	1	14×14	円形	3	35.31	暗褐色土単一層	—		
	2	20×12	楕円形	8	35.25	褐灰色土単一層	—		
	3	20×20	円形	10	35.22	黒褐色土単一層	—		
	6	20×17	楕円形	3	35.29	褐灰色土単一層	—		
MG 107	1	15×15	円形	19	35.19	暗褐色土単一層	—		
	2	16×16	不整円形	13	35.19	黒褐色土単一層	—		
	3	12×12	円形	10	35.20	黒褐色土単一層	—		
	4	14×11	楕円形	12	35.22	黒褐色土単一層	—		
	6	22×16	不整形	5	35.27	暗褐色土単一層	—		
MH 107	1	17×17	不整円形	13	35.23	褐灰色土単一層	—		
	2	16×16	円形	7	35.28	褐灰色土単一層	—		
MI 107	3	26×18	不整形	12	35.31	黒褐色土単一層	—		
MK 107	1	36×30	不整方形	13	35.32	黒褐色土単一層	—	SB 153⑲	
	2	32×30	円形	26	35.26	断面図参照	—	SB 153⑱	石器
	3	36×18	不整方形	4	35.43	黒褐色土単一層	SD 01 Aに切られる		土師器
ML 107	1	10×10	円形	2	35.36	暗褐色土単一層	—		
	2	30×34	不整方形	19	35.30	上→黒褐色土 下→暗褐色土	—	SB 153⑤	柱材
MM 107	1	40×20	不整形	6	35.41	黒褐色土単一層	—	SB 153⑩	
	2	22×20	方形	10	35.39	黒褐色土単一層	—	SB 153⑨	
	3	24×22	不整方形	7	35.44	黒褐色土単一層	—	SB 153⑧	
	4	26×17	楕円形	5	35.45	暗褐色土単一層	—		土師器
	5	48×28	不整形	21	35.29	暗褐色土単一層	—	SB 153⑪	
MN 107	1	22×30	楕円形	10	35.36	暗褐色土単一層	MO 107 SKP 2に切られる	SB 33⑤	土師器

第56表　柱穴一覧(18)　(古代以降)

所在区	柱穴番号	径または辺長(cm)	平面形状	深さ(cm)	底面標高(m)	覆土および柱痕跡確認状況	重複遺構の切り合い関係	帰属する建物	出土遺物
MO 107	1	30×30	円形	20	35.29	暗褐色土単一層	—	SB 33⑨	
	2	26×26	円形	11	35.36	暗褐色土単一層	MN 107 SKP 1 を切る		
	3	44×44	不整円形	19	35.30	断面図参照	—		
	4	21×21	不整円形	6	35.42	暗褐色土単一層	—		
MP 107	1	20×20	円形	7	35.40	黒褐色土単一層	—		
MQ 107	1	30×30	円形	31	35.17	断面図参照	—	SB 28④	土師器、近世陶器
	2	22×13	楕円形	48	35.04	断面図参照	—		
	3	23×23	円形	20	35.28	黒褐色土単一層	—		土師器
MR 107	1	40×28	不整形	11	35.36	暗褐色土単一層	—		
ME 108	1	25×12	不整楕円形	8	35.18	暗褐色土単一層	—		
	2	27×27	不整形	10	35.15	褐灰色土単一層	—		
	3	12×12	不整形	10	35.15	褐灰色土単一層	—		
	4	20×20	不整形	10	35.15	褐灰色土単一層	—		
MF 108	1	18×11	不整円形	3	35.23	暗褐色土単一層	—		
	2	11×11	円形	10	35.08	暗褐色土単一層	—		
	3	13×13	円形	13	35.10	褐灰色土単一層	—		
	4	20×20	不整円形	15	35.18	褐灰色土単一層	—		
	5	17×17	円形	7	35.13	褐灰色土単一層	—		
	6	9×12	不整円形	3	35.13	褐灰色土単一層	—		
	7	16×16	円形	23	35.03	褐灰色土単一層	—		
	8	15×15	円形	10	35.13	褐灰色土単一層	—		
	9	14×14	小判形	6	35.20	褐灰色土単一層	—		
	10	13×13	円形	10	35.15	褐灰色土単一層	—		
	11	18×18	円形	18	35.12	暗褐色土単一層	—		
	12	26×20	不整円形	23	35.04	暗褐色土単一層	—		
	13	19×19	楕円形	9	35.07	褐灰色土単一層	—		
	14	26×26	不整円形	10	35.09	褐灰色土単一層	—		
	15	22×18	不整楕円形	5	35.08	褐灰色土単一層	—		
	16	15×15	不整方形	12	35.12	褐灰色土単一層	—		
	17	17×17	不整円形	6	35.07	褐灰色土単一層	—		
	18	19×19	不整円形	16	35.05	褐灰色土単一層	—		
	19	13×13	円形	6	35.12	褐灰色土単一層	—		
MG 108	1	14×14	円形	10	35.03	暗褐色土単一層	—		
	3	23×17	小判形	8	35.09	暗褐色土単一層	—		
	4	14×14	円形	5	35.23	褐灰色土単一層	—		
	5	20×17	円形	5	35.19	暗褐色土単一層	—		
	6	10×10	円形	3	35.18	暗褐色土単一層	—		
	7	15×15	円形	11	35.06	褐灰色土単一層	—		
	8	15×15	不整形	6	35.11	暗褐色土単一層	SKP 11に切られる		
	9	15×15	円形	5	35.20	褐灰色土単一層	—		
	10	18×18	不整円形	6	35.19		—		
	11	13×13	不整形	6	35.11	暗褐色土単一層	SKP 8 を切る		
MH 108	1	12×12	円形	5	35.23	黒褐色土単一層	—		
	2	16×16	不整円形	5	35.24	黒褐色土単一層	—		
	3	18×18	円形	12	35.28	黒褐色土単一層	—		
	4	23×10	楕円形	3	35.27	褐灰色土単一層	—		
	5	22×22	円形	11	35.12	黒褐色土単一層	—		
ML 108	1	28×28	円形	5	35.40	黒褐色土単一層	—		土師器
	2	19×19	不整方形	1	35.47	黒褐色土単一層	—		土師器
	4	18×18	円形	12	35.36	黒褐色土単一層	—		
	5	12×12	円形	13	35.37	黒褐色土単一層	—		
	6	24×12	楕円形	6	35.45	黒褐色土単一層	—		
MM 108	1	22×22	円形	9	35.31	黒褐色土単一層	—		

第57表　柱穴一覧(19)　(古代以降)

所在区	柱穴番号	径または辺長(cm)	平面形状	深さ(cm)	底面標高(m)	覆土および柱痕跡確認状況	重複遺構の切り合い関係	帰属する建物	出土遺物
MM 108	2	14×14	円形	8	35.43	黒褐色土単一層	—		
	3	16×16	円形	10	35.40	黒褐色土単一層	—		
MN 108	1	34×21	楕円形	17	35.30	黒褐色土単一層	—		
MO 108	1	26×26	円形	5	35.41	黒褐色土単一層	—		
	2	25×10	不整形	8	35.38	暗褐色土単一層	—		
	3	10×10	円形	7	35.43	黒褐色土単一層	—		
MP 108	1	28×28	不整円形	15	35.31	黒褐色土単一層	—		
	2	18×18	不整円形	11	35.36	暗褐色土単一層	—		
	3	24×24	円形	8	35.40	暗褐色土単一層	—		
	4	20×15	不整形	8	35.38	黒褐色土単一層	—		
MQ 108	1	20×20	円形	23	35.31	暗褐色土単一層	SKP 2に切られる		
	2	25×25	円形	22	35.21	断面図参照	SKP 1を切る	SB 53④	
	3	22×22	不整円形	10	35.31	黒褐色土単一層	—	SB 53⑪	
	4	15×15	正方形	5	35.46	黒褐色土単一層	—		
MF 109	1	22×22	楕円形	7	35.09	褐灰色土単一層	—		
MG 109	1	15×15	円形	3	35.23	褐灰色土単一層	—		
	2	15×15	円形	6	35.22	褐灰色土単一層	—		
	3	13×13	不整円形	2	35.23	褐灰色土単一層	—		
	4	18×18	円形	9	35.14	褐灰色土単一層	—		
	5	16×16	不整円形	10	35.15	褐灰色土単一層	—		
	6	14×14	不整円形	6	35.17	褐灰色土単一層	—		
MH 109	4	38×38	楕円形	7	35.26	黒褐色土単一層	—		
	5	38×21	円形	11	35.34	黒褐色土単一層	—		
MI 109	1	20×20	不整形	12	35.38	黒褐色土単一層	—		
	2	15×15	円形	11	35.35	黒褐色土単一層	—		
	3	14×14	円形	10	35.34	黒褐色土単一層	—		
	4	34×34	円形	13	35.34		—		
	5	23×16	楕円形	5	35.33	黒褐色土単一層	—		
	6	32×22	楕円形	6	35.33	黒褐色土単一層	—		
MK 109	1	30×30	不整円形	33	35.10	黒褐色土単一層	SD 01 Aに切られる	SB 62②	
	2	40×40	略円形	43	35.06		—	SB 62③	土師器
ML 109	1	32×32	円形	7	35.40	暗褐色土単一層	—		
	2	14×16	不整方形	9	35.42	黒褐色土単一層	—		
	3	14×16	不整方形	21	35.29	黒褐色土単一層	—	SB 62①	
MM 109	1	38×38	円形	20	35.32	断面図参照	—	SB 54⑤	土師器
	2	18×18	楕円形	6	35.44	暗褐色土単一層	—		
MN 109	1	40×40	円形	26	35.40	断面図参照	—	SB 54④	柱材
	2	18×18	円形	4	35.37	暗褐色土単一層	—		
	3	34×29	楕円形	43	34.86		旧水田水路に切られる	SB 54③	柱材
MO 109	1	26×26	不整円形	24		黒褐色土単一層	—	SB 54②	柱材
	2	19×11	楕円形	14	35.33	黒褐色土単一層	—		
	3	27×21	不整楕円形	11	35.17	黒褐色土単一層	—		
	4	14×14	不整形	9	35.37	黒褐色土単一層	—		
	5	19×19	方形	8	35.43	黒褐色土単一層	—		土師器
	6	24×26	不整形	4	35.37	黒褐色土単一層	—		
	7	15×11	楕円形	6	35.30	黒褐色土単一層	—		
	8	20×20	円形	4	35.44	褐色土単一層	—		
	9	26×26	円形	27	35.45	黒褐色土単一層	—		
	10	20×14	楕円形	9	34.94	黒褐色土単一層	—		
MP 109	1	42×42	円形	40	35.07	断面図参照	—	SB 54①	柱材、土師器
	2	44×33	不整形	15	35.28	黒褐色土単一層	—	SB 53⑧	
	3	19×19	円形	7	35.43	黒褐色土単一層	SKP 4を切る		
	4	20×20	不整形	7	35.41	黒褐色土単一層	SKP 3に切られる	SB 53⑫	

第58表　柱穴一覧(20)　(古代以降)

所在区	柱穴番号	径または辺長(cm)	平面形状	深さ(cm)	底面標高(m)	覆土および柱痕跡確認状況	重複遺構の切り合い関係	帰属する建物	出土遺物
MP 109	5	34×30	不整円形	13	35.35	灰黄褐色土単一層	—		
	6	33×25	楕円形	19	35.27	黒褐色土単一層	—	SB 53⑦	
	7	35×35	円形	29	35.23	断面図参照	—	SB 54⑪	柱材、土師器
	9	36×32	円形	9	35.37	断面図参照	SKP 12を切る	SB 53⑥	
	11	29×20	不整方形	3	35.44	黒褐色土単一層	—		
	12	24×24	円形	3	35.41	黒褐色土単一層	SKP 9に切られる		
	13	20×12	不整形	13	35.29	黒褐色土単一層	—		
	14	23×17	不整形	23	35.25	黒褐色土単一層	—		
	15	19×9	略長方形	14	35.26	黒褐色土単一層	—		
	16	13×13	円形	4	35.46	黒褐色土単一層	—		
	17	22×22	円形	6	35.42	黒褐色土単一層	—		
	18	17×14	不整方形	23	35.24	黒褐色土単一層	—		
	19	24×24	円形	8	35.40	黒褐色土単一層	—		
MQ 109	1	72×47	不整形	26	35.18	断面図参照	2基の柱穴の切り合いか？	SB 53⑩	柱材？、土師器
	2	50×35	楕円形	35	35.14	黒褐色土単一層		SB 53③	柱材
	3	45×30	不整円形	17	35.28	断面図参照	—	SB 53⑭	
	4	32×24	不整円形	3	35.44	黒褐色土単一層	—		
	5	45×45	不整形	3	35.43	黒褐色土単一層	—		
	6	40×32	楕円形	9	35.36	黒褐色土単一層	—		
	7	40×30	楕円形	18	35.32	黒褐色土単一層	—		
	8	45×40	楕円形	25	35.22	断面図参照	—	SB 53②	
	9	25×25	不整円形	3	35.45	黒褐色土単一層	SKP 12に切られる	SB 53⑮	
	10	23×20	不整方形	26	35.20	黒褐色土単一層	—	SB 82①	
	12	28×15	不整楕円形	3	35.45	黒褐色土単一層	SKP 9を切る		
	13	20×10	楕円形	3	35.45	黒褐色土単一層	—		
MR 109	1	23×28	楕円形	28	35.19	褐灰色土単一層	—	SB 82④	土師器
	2	37×32	長方形	19	35.24	断面図参照	—	SB 82⑥	土師器
	3	30×30	不整円形	23	35.25	黒褐色土単一層	—	SB 82③	
	4	18×18	円形	21	35.25	黒褐色土単一層	—	SB 82⑤	
	5	16×16	円形	21	35.27	黒褐色土単一層	—	SB 82②	
MG 110	1	19×19	円形	21	35.05				
	2	20×17	円形	11	35.15				
	3	18×17	円形	11	35.15				
MH 110	3	18×18	不整円形	20	35.08	褐灰色土単一層	—		
	4	18×18	円形	20	35.05	褐灰色土単一層	—		
	5	23×23	円形	20	35.05	褐灰色土単一層	—		
	6	21×21	小判形	4	35.21	褐灰色土単一層	—		
	7	20×18	方形	8	35.23	褐灰色土単一層	—		
	8	20×20	円形	6	35.20	褐灰色土単一層	—		
	9	23×11	不整方形	3	35.20	褐灰色土単一層	—		
MK 110	3	28×24	隅丸方形	38	35.10		—	SB 62⑥	
ML 110	1	31×23	楕円形	27	35.11	灰褐色土単一層	—	SB 62④	土師器
	2	30×25	円形	21	35.27	黒褐色土単一層	—	SB 62⑤	土師器
MM 110	1	24×24	不整楕円形	6	35.41	褐灰色土単一層	—		
	3	12×12	不整形	9	35.41	暗褐色土単一層	—	SB 54⑭	
MN 110	1	36×36	円形	14	35.36	断面図参照	—		土師器
	2	41×41	円形	13	35.07	断面図参照	—	SB 54⑨	柱材、土師器、須恵器
	3	35×28	不整円形	42	35.04	断面図参照	—	SB 54⑬	柱材、土師器
	6	18×18	不整形	10	35.39		—		
MO 110	1	20×20	不整形	2	35.46	黒褐色土単一層	—		
	2	18×11	楕円形	11	35.38	黒褐色土単一層	—	SB 54⑫	
	3	30×20	不整円形	10	35.33	黒褐色土単一層	—		土師器
	4	22×22	円形	6	35.45		—		

第59表　柱穴一覧(21)　(古代以降)

所在区	柱穴番号	径または辺長(cm)	平面形状	深さ(cm)	底面標高(m)	覆土および柱痕跡確認状況	重複遺構の切り合い関係	帰属する建物	出土遺物
MO 110	5	42×42	円形	20	35.08	断面図参照	—	SB 54⑦	
	6	32×24	不整形	4	35.37	黒褐色土単一層	—		土師器
	7	32×27	円形	16	35.30	断面図参照	—		土師器
	8	37×28	円形	6	35.44	褐灰色土単一層	—		
	9	25×22	不整形	4	35.45		旧水田水路に切られる		
	10	28×25	不整形	18	34.94		旧水田水路に切られる	SB 54⑧	柱材
MP 110	1	36×24	方形	17	35.27	暗褐色土単一層	—	SB 53⑬	土師器
	2	23×16	不整形	4	35.46		—		
	3	34×15	不整形	17	35.44	黒褐色土単一層	—		
	4	40×35	方形	36	35.07			SB 55⑤	
	5	29×18	小判形	4	35.44	断面図参照	SKP 13を切る		
	6	40×20	長方形	12	35.32	黒褐色土単一層	—	SB 53⑤	
	7	58×42	方形	44	35.04	断面図参照	—	SB 54⑥	柱材
	8	20×20	円形	10	35.37	黒褐色土単一層	—		
	9	38×20	不整形	12	35.36	黒褐色土単一層	—		
	10	26×43	方形	50	35.02	断面図参照	—	SB 55④	
	11	18×18	円形	30	35.20	黒褐色土単一層	—		
	12	17×17	円形	8	35.40	黒褐色土単一層	—		
	13	46×33	楕円形	6	35.37	断面図参照	SKP 5に切られる		
MQ 110	1	36×24	楕円形	11	35.35	黒褐色土単一層	—	SB 53⑨	土師器
	2	23×10	楕円形	5	35.41	黒褐色土単一層	—		
	3	20×20	円形	12	35.30	黒褐色土単一層	—	SB 53①	
	4	13×13	円形	26	35.24	黒褐色土単一層	—		
	5	50×60	不整円形	35	35.16	断面図参照	—	SB 55②	
	6	62×52	円形	31	35.15	黒褐色土単一層	—	SB 55③	
	7	24×24	不整方形	11	35.37	黒褐色土単一層	—	SB 53⑰	
	8	38×25	小判形	17	35.32	黒褐色土単一層	—	SB 53⑯	
	9	30×28	円形	3	35.43	黒褐色土単一層	—		
	10	32×32	円形	9	35.40	黒褐色土単一層	—		
MR 110	1	48×48	円形	29	35.21	黒褐色土単一層	—	SB 55⑰	土師器
	2	38×38	円形	25	35.21	断面図参照	—	SB 55①	柱材
MG 111	1	25×17	不整楕円形	17	35.09		—		
	2	24×24	不整円形	23	35.03		—		
	3	20×20	円形	34	34.91		—		
	4	15×15	円形	17	35.08		—		
	5	14×14	円形	15	35.13		—		
	6	18×15	不整方形	22	35.09		—		
MI 111	1	26×13	不整形	3	35.31	褐灰色土単一層	—		
	2	30×18	不整形	6	35.30	褐灰色土単一層	—		
MM 111	1	44×40	不整円形	16	35.28	断面図参照	—		土師器、内黒
	2	18×18	円形	16	35.28	黒褐色土単一層	—		
	3	31×31	円形	16	35.31	黒褐色土単一層	—		土師器
MN 111	1	42×42	円形	19	35.31	断面図参照	—	SB 54⑩	
	2	19×16	不整円形	6	35.43	黒褐色土単一層	—		
	3	68×20	長楕円形	10	35.37	黒褐色土単一層	—		
	4	40×32	不整形	16	35.26	黒褐色土単一層	—		
	5	38×28	不整形	20	35.27	黒褐色土単一層	—		土師器
	6	18×15	方形	20	35.28	黒褐色土単一層	—		土師器
	7	20×24	方形	27	35.19	断面図参照	—		土師器
	8	26×20	方形	14	35.35	断面図参照	—		
	9	70×43	不整形	27	35.11	断面図参照	—	SB 55⑧	土師器
	10	20×11	方形	7	35.37	黒褐色土単一層	—		
MO 111	1	56×42	不整方形	39	35.25	断面図参照	—	SB 55⑳	土師器、内黒

第60表　柱穴一覧(22)　(古代以降)

所在区	柱穴番号	径または辺長(cm)	平面形状	深さ(cm)	底面標高(m)	覆土および柱痕跡確認状況	重複遺構の切り合い関係	帰属する建物	出土遺物
MO 111	2	40×40	円形	40	35.08	断面図参照	—	SB 55⑦	土師器、内黒、炭
	3	45×34	不整方形	33	35.13	断面図参照	—	SB 55㉑	土師器
MP 111	1	40×35	隅丸方形	40	35.08	断面図参照	—	SB 55⑥	
	2	40×40	方形	45	35.04	断面図参照	—	SB 55⑭	土師器
	3	50×30	楕円形	44	35.04	断面図参照	—	SB 55⑬	
	4	47×35	楕円形	8	35.41	黒褐色土単一層	—		
	5	14×19	不整形	5	35.39	黒褐色土単一層	—		
	6	21×21	不整形	11	35.34	黒褐色土単一層	—		
MQ 111	1	36×36	方形	40	35.08	断面図参照	—	SB 55⑱	
	2	50×36	楕円形	10	35.38	黒褐色土単一層	—		
	3	60×50	不整円形	29	35.14	断面図参照	—	SB 55⑪	
	4	54×44	不整円形	40	36.00	断面図参照	—	SB 55⑫	土師器
	5	25×25	円形	12	35.36	黒褐色土単一層	—		土師器
	6	42×38	不整方形	25	35.15	断面図参照	—	SB 55⑲	土師器
MR 111	1	44×34	不整長方形	29	35.18	断面図参照	—	SB 55⑨	柱材、土師器
	2	40×34	不整形	24	35.26	断面図参照	—	SB 56③	
	3	24×24	円形	10	35.34	黒褐色土単一層	—	SB 56②	
	4	58×40	不整楕円形	21	35.21	断面図参照	—	SB 56⑤	
	5	22×18	不整円形	7	35.42	黒褐色土単一層	—	SB 56⑦	
	6	46×40	不整円形	28	35.10	断面図参照	SK 42を切る？	SB 55⑩	土師器
	7	16×16	円形	4	35.42	黒褐色土単一層	—		
MS 111	1	45×35	不整形	32	35.17	断面図参照	—	SB 56⑥	
	2	43×43	方形	20	35.13	断面図参照	—	SB 56④	
	3	40×33	不整楕円形	33	35.16	断面図参照	—	SB 56①	
MM 112	1	60×60	円形	18	35.27	褐灰色土単一層	旧水田水路に切られる		
MN 112	1	58×58	不整円形	7	35.40	褐灰色土単一層	—		土師器
MO 112	1	46×46	不整方形	31	35.10	断面図参照	—	SB 55⑮	土師器、内黒、須恵器
	2	42×43	不整方形	25	35.24	黒褐色土単一層	—	SB 55⑯	土師器
MQ 112	1	14×24	楕円形	23	35.28	褐灰色土単一層	—		
MR 112	1	18×18	不整円形	14	35.29	褐灰色土単一層	—		
	2	16×16	不整形	14	35.33	褐灰色土単一層	—		
	3	18×18	円形	3	35.41		—	SB 57⑤	
	4	32×32	円形	7	35.36	褐灰色土単一層	—	SB 57⑥	
	5	16×16	円形	8	35.36		—		
MS 112	2	25×20	楕円形	24	35.20	黒褐色土単一層	—	SB 57⑧	
	3	40×35	円形	42	35.01	黒褐色土単一層	—	SB 57③	
	4	14×14	円形	11	35.29	褐灰色土単一層	—		
	5	24×24	不整円形	12	35.31	黒褐色土単一層	—	SB 57②	
MH 113	1	15×15	円形	10	35.18	黒褐色土単一層	—		
MI 113	1	36×22	楕円形	5	35.41	黒色土単一層	—		
MJ 113	1	40×26	長方形	8	35.36	黒色土単一層	—		
MP 113	1	16×16	円形	13	35.34	黒褐色土単一層	—		
	2	16×16	円形	16	35.32	黒褐色土単一層	—		
	3	15×15	円形	15	35.32	黒褐色土単一層	—		土師器
	4	14×14	円形	10	35.36	黒褐色土単一層	—		
	5	24×18	楕円形	12	35.35	黒褐色土単一層	—		
	6	24×14	不整形	13	35.34	黒褐色土単一層	—		
	7	10×10	円形	13	35.34	黒褐色土単一層	—		
	8	17×17	円形	15	35.21	黒褐色土単一層	—		
	11	15×15	円形	15	35.31	黒褐色土単一層	—		
	12	13×13	円形	11	35.35	黒褐色土単一層	—		
	13	32×16	長楕円形	14	35.31	黒褐色土単一層	—		
	14	11×11	円形	4	35.43	黒褐色土単一層	—		

第61表　柱穴一覧(23)　(古代以降)

所在区	柱穴番号	径または辺長(cm)	平面形状	深さ(cm)	底面標高(m)	覆土および柱痕跡確認状況	重複遺構の切り合い関係	帰属する建物	出土遺物
MP113	15	14×14	円形	4	35.43		—		
MQ113	1	17×17	円形	6	35.41	黒褐色土単一層	—		
	2	14×14	円形	11	35.35	黒褐色土単一層	—		
	3	16×16	円形	12	35.35	黒褐色土単一層	—		
	4	11×11	円形	13	35.33	黒褐色土単一層	—		
	5	14×14	円形	5	35.42	黒褐色土単一層	—		
	7	14×14	円形	17	35.29	黒褐色土単一層	—		
MR113	1	48×34	不整形	14	35.29	断面図参照	—	SB81⑨	
	2	34×40	方形	20	35.16	断面図参照	—	SB58①	
	3	20×24	楕円形	5	35.39	黒褐色土単一層	—	SB57④	
	4	14×14	円形	6	35.40	褐灰色土単一層	—		
	5	12×12	円形	10	35.38	褐灰色土単一層	—		
	6	14×14	不整円形	16	35.31	褐灰色土単一層	—		
MS113	1	41×36	不整形	14	35.30	断面図参照	—	SB81③	
	2	24×18	不整円形	7	35.36		—		
	3	20×20	円形	8	35.35	黒褐色土単一層	—	SB57①	
	4	20×20	円形	11	35.33		—	SB57⑦	
MI114	1	17×24	不整円形	8	35.25	黒褐色土単一層	—		
	2	28×16	楕円形	8	35.26	黒褐色土単一層	—		
	3	20×20	円形	6	35.27	黒褐色土単一層	—		
MO114	1	46×30	不整形	25	35.22	黒褐色土単一層	—	SB58⑤	
	2	56×56	不整形	45	34.94	断面図参照	—	SB58⑥	土師器
MP114	1	10×10	円形	5	35.42	黒褐色土単一層	—		
	2	13×13	円形	9	35.37	黒褐色土単一層	—		
	3	41×54	不整方形	39	34.90	黒褐色土単一層	—	SB58④	
MQ114	1	43×43	円形	12	35.32	断面図参照	—	SB58②	
	2	18×18	円形	11	35.33	黒褐色土単一層	—		
	3	16×16	隅丸方形	7	35.35	黒褐色土単一層	—		
	4	15×15	円形	13	35.32	黒褐色土単一層	—		
	5	30×34	隅丸方形	8	35.35	断面図参照	—	SB58⑭	
	6	24×15	楕円形	11	35.28	黒褐色土単一層	—		
	7	24×15	不整方形	8	35.34	黒褐色土単一層	—		
	8	16×16	円形	12	35.20	黒褐色土単一層	—		
	9	10×14	不整形	9	35.31	黒褐色土単一層	—		
	10	48×48	円形	18	35.26	断面図参照	—	SB58⑮	
	11	17×16	不整円形	8	35.38	黒褐色土単一層	—		
	12	15×15	円形	14	35.32	黒褐色土単一層	—		
	13	32×27	不整形	20	35.25	黒褐色土単一層	—		
	14	15×15	円形	10	35.35	黒褐色土単一層	—		
	15	22×21	不整形	8	35.25	黒褐色土単一層	—		
	16	47×42	不整円形	38	35.11	断面図参照	—	SB58③	土師器
	17	13×13	不整形	11	35.36	黒褐色土単一層	—		
	18	10×10	円形	14	35.31	黒褐色土単一層	—		
	19	10×10	円形	4	35.40	黒褐色土単一層	—		
	20	20×15	楕円形	12	35.31	黒褐色土単一層	—		
	21	20×15	楕円形	11	35.32		—		
MR114	1	41×37	不整形	13	35.23	黒褐色土単一層	—	SB81⑥	
	2	54×40	長方形	24	35.14	断面図参照	—	SB58⑬	土師器
	3	36×23	楕円形	14	35.27	黒褐色土単一層	—	SB81⑤	
	4	41×28	不整楕円形	11	35.30	黒褐色土単一層	—	SB81④	
MS114	1	33×33	円形	20	35.20	断面図参照	—	SB81⑧	
	2	34×40	不整円形	20	35.27	断面図参照	—	SB81①	
	3	44×35	楕円形	20	35.25	黒褐色土単一層	—	SB81⑦	
	4	29×37	不整形	11	35.34	黒褐色土単一層	—	SB81②	土師器、須恵器、陶器

第62表　柱穴一覧(24)　(古代以降)

所在区	柱穴番号	径または辺長(cm)	平面形状	深さ(cm)	底面標高(m)	覆土および柱痕跡確認状況	重複遺構の切り合い関係	帰属する建物	出土遺物
MJ 115	1	25×20	不整円形	9	35.28	黒褐色土単一層	—		
MO 115	1	42×42	不整形	22	35.12	断面図参照	—	SB 58⑰	
	2	20×20	不整形	5	35.33	黒色土単一層	—		
	3	56×40	不整楕円形	30	35.02	断面図参照	—	SB 58⑫	
MP 115	3	46×46	不整方形	30	35.03	断面図参照	—	SB 58⑩	土師器
	4	21×21	円形	26	35.16	黒褐色土単一層	—		
	5	19×16	円形	8	35.34	黒褐色土単一層	—		
	6	26×26	不整形	9	35.33	黒褐色土単一層	—		
	7	40×35	隅丸方形	14	35.17	黒褐色土単一層	—	SB 58⑯	
	8	50×30	不整形	20	35.22	黒褐色土単一層	—		
	9	44×34	不整形	15	35.16	灰黄褐色土単一層	—	SB 58⑪	柱材
MQ 115	1	37×38	不整方形	14	35.29	断面図参照	—	SB 58⑧	
	2	27×20	不整形	12	35.30		—		
	3	28×10	不整形	4	35.39		—		
	4	22×16	不整形	19	35.25	黒褐色土単一層	—		
	5	28×18	不整形	24	35.20	黒褐色土単一層	—		
	6	20×20	円形	16	35.29	黒褐色土単一層	—		
	7	18×18	円形	11	35.32	黒褐色土単一層	—		
	8	14×14	円形	14	35.29	黒褐色土単一層	—		
	9	52×70	不整形	30	35.09	断面図参照	—	SB 58⑨	
	13	13×13	円形	8	35.35	黒褐色土単一層	—		
	14	14×14	円形	3	35.41	黒褐色土単一層	—		
	15	16×12	円形	6	35.34	黒褐色土単一層	—		
	16	20×15	楕円形	3	35.37	黒褐色土単一層	—		
	17	16×11	不整形	12	35.31	黒褐色土単一層	—		
	18	22×13	楕円形	9	35.35	黒褐色土単一層	—		
	19	24×17	円形	15	35.27	黒褐色土単一層	—		
	20	30×20	楕円形	18	35.23	黒褐色土単一層	—		
	21	21×32	不整方形	9	35.35	黒褐色土単一層	—		
	22	17×11	円形	27	35.15	黒褐色土単一層	—		
	23	26×21	円形	13	35.29	黒褐色土単一層	—		
MR 115	1	26×26	円形	11	35.31		—		
	2	23×16	不整形	16	35.25	黒褐色土単一層	—		
	4	18×12	不整形	6	35.36	黒褐色土単一層	—		
	5	14×14	円形	11	35.30	黒褐色土単一層	—		
	6	15×15	円形	7	35.35	黒褐色土単一層	—		
	7	16×16	不整円形	12	35.31	黒褐色土単一層	SKP 8を切る		
	8	15×15	不整円形	12	35.30	黒褐色土単一層	SKP 7に切られる		
	9	23×23	円形	12	35.30	黒褐色土単一層	—		
	10	18×18	不整円形	9	35.30	黒褐色土単一層	—		
	11	25×22	円形	17	35.23	黒褐色土単一層	—		
	12	20×17	円形	6	35.34		—		
	13	20×20	円形	19	35.24		—		
	14	19×16	円形	17	35.26		—		
	15	27×27	円形	20	35.15		—	SB 58⑦	
MR 116	3	18×18	円形	17	35.27	黒褐色土単一層	—		
NB 129	1	47×20	不整形	38	34.89	断面図参照	—	SB 116⑦	
	2	42×32	不整形	30	34.91	断面図参照	—	SB 116①	
NA 130	1	60×32	不整形	19	35.03	断面図参照	—	SB 116③	
NB 130	1	38×30	不整楕円形	28	34.98	断面図参照	—	SB 116⑤	
	2	45×25	不整形	31	34.92	断面図参照	—	SB 116⑧	
	3	43×23	不整楕円形	44	34.83	断面図参照	—	SB 116②	
NC 130	1	50×32	不整形	40	34.90	断面図参照	—	SB 116④	
NB 131	1	40×28	不整形	30	34.97	断面図参照	—	SB 116⑥	

第63表　柱穴一覧(25)　(古代以降)

挿図番号	遺物番号	出土地点	種別	器種	残存部位	口径	底径	器高	底径指数	高径指数	台高	台径	外底部・台部特徴	器面特徴	備考
241	1	SB28①	土師器	坏	底	－	5.2	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
241	2	SB33④	土師器	坏	底	－	5.2	－	－	－	－	－	摩滅	内外面ロクロナデ	
241	3	SB55⑧	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－			内外面ロクロナデ	
241	4	SB55⑥	土師器	坏	底	－	－	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
241	5	SB55⑦	内黒	有台坏	底	－	5.1	－	－	－	2.0	5.8	切離不明→ナデ→付高台	内面ミガキ、外面ロクロナデ	
241	6	SB58⑬	土師器	坏	全	－	5.8	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
241	7	SB59②	土師器	坏	口～底	－	－	－	－	－	－	－	回糸(左)	内外面ロクロナデ	
241	8	SB59④	土師器	坏	口～胴	12.5	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
241	9	SB59④	土師器	坏	口～底	－	4.1	－	－	－	－	－	摩滅	内外面ロクロナデ	
241	10	SB59⑥	土師器	坏	口～底	－	4.5	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
241	11	SB59⑪	土師器	坏	胴～底	－	4.4	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
241	12	SB59⑫	土師器	坏	全	13.2	5.1	4.2	0.39	0.32	－	－	切離不明→ヘラナデ	内外面ロクロナデ	
241	13	SB59⑫	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
241	14	SB59⑫	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
241	15	SB59㉓	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
241	16	SB59㉚	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		摩滅	
241	17	SB59㉛	土師器	坏	底	－	5.0	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
241	21	SB59㉒	内黒	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内面ミガキ、外面ロクロナデ	
241	22	SB59③	両黒	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ミガキ	
241	23	SB59④	両黒	有台坏	底	－	5.9	－	－	－	0.7	6.0	切離不明	内外面ミガキ	
241	24	SB59④	内黒	有台坏	底	－	7.1	－	－	－	0.9	6.8	切離不明	内面ミガキ	
241	26	SB60③	土師器	坏	胴～底	－	－	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
241	27	SB61⑦	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
246	5	MK95SKP 1	縄文土器	深鉢	胴									外面RL N→渦巻状沈線	大木８ｂ式
246	6	MJ102SKP 3	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
246	7	MJ102SKP 3	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
246	8	MO103SKP10	内黒	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内面ミガキ、外面ロクロナデ	
246	10	MO104SKP 2	須恵器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
246	11	MO105SKP 1	土師器	坏	底	－	6.0	－	－	－	－	－		摩滅	
246	12	MQ107SKP 3	土師器	坏	底	－	4.8	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
246	13	MO110SKP 6	土師器	坏	底	－	－	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
246	14	MM111SKP 3	土師器	皿	底	－	5.2	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
247	1	SI63B竈	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	内タール付着
247	2	SI63B竈	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	内タール付着
247	3	SI63B竈	土師器	坏	胴～底	－	5.4	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
247	4	SI63B竈	土師器	坏	胴～底	－	6.1	－	－	－	－	－	回糸(右)	内面摩滅、外面ロクロナデ	
247	5	SI63B竈	土師器	坏	胴～底	－	5.1	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
247	6	SI63B竈	土師器	坏	胴～底	－	5.2	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
247	7	SI63B竈	土師器	坏	胴～底	－	4.8	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
247	8	SI63B竈	土師器	坏	胴～底	－	5.2	－	－	－	－	－	回糸(右)	内面ロクロナデ、外面摩滅	
247	9	SI63B竈	土師器	坏	胴～底	－	5.2	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
247	10	SI63B竈	土師器	坏	胴～底	－	5.6	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
247	11	SI63B竈	土師器	坏	胴～底	－	5.6	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
247	12	SI63B竈	土師器	坏	胴～底	－	5.4	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
247	13	SI63B竈	土師器	坏	胴～底	－	5.0	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
247	14	SI63B	土師器	坏	胴～底	－	5.7	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	底「一」状圧痕
247	15	SI63B	土師器	坏	胴～底	－	4.9	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
247	16	SI63B東	土師器	坏	胴～底	－	5.0	－	－	－	－	－	回糸(左)	摩滅	
247	17	SI63B	土師器	皿	胴～底	－	5.1	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
247	18	SI63B	土師器	皿	口～底	12.2	5.6	3.0	0.46	0.25	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	外タール付着
247	19	SI63B竈	土師器	皿	胴～底	－	5.6	－	－	－	－	－	切り離し不明	内面ロクロナデ、外面摩滅	
247	20	SI63B竈	須恵器	坏	胴～底	－	7.4	－	－	－	－	－	切り離し不明	内面ロクロナデ、外面ナデ	
248	1	SKI63C	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		摩滅	
248	2	SKI63C	土師器	坏	胴～底	－	5.6	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
248	3	SKI63C	土師器	坏	胴～底	－	5.8	－	－	－	－	－	回糸(右)	内面摩滅、外面ロクロナデ	
248	4	SKI63C	土師器	坏	底	－	5.4	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
248	5	SKI63C	土師器	皿	胴	－	－	－	－	－	－	－		摩滅	
248	6	SKI63C	土師器	皿	底	－	5.0	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	
248	7	SKI63C	土師器	皿	底	－	6.0	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
248	14	SKI64	土師器	坏	口～底	12.0	4.5	5.1	0.38	0.43	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
248	15	SKI64	土師器	坏	口～底	12.8	5.0	5.7	0.39	0.45	－	－	切り離し不明	摩滅	
248	16	SKI64	土師器	坏	口	14.4	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
248	17	SKI64	土師器	皿	全	12.5	4.3	3.6	0.34	0.29	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
248	18	SKI64	土師器	皿	全	13.5	5.3	2.3	0.39	0.17	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
249	1	SKI65	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
249	2	SKI65	土師器	坏	胴～底	－	－	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
249	4	SKI65	須恵器	坏	底	－	－	4.5	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
249	5	SK99	土師器	坏	底	－	5.5	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
249	6	SK140	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
249	7	SK140	土師器	坏	胴～底	－	5.5	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
249	8	SK140	土師器	坏	底	－	4.9	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
249	10	SK3191	縄文土器	深鉢	口									沈線・単軸絡条体第１類R-T	縄文後期
250	1	SN68	土師器	坏	全	12.4	5.7	5.3	0.46	0.43	－	－	回糸(右)	摩滅	
250	2	SN68	土師器	坏	口～底	13.6	5.7	4.9	0.42	0.36	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
250	3	SN68	土師器	坏	胴～底	－	4.9	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	

第64表　土器類(坏等)観察表(１)

挿図番号	遺物番号	出土地点	種別	器種	残存部位	口径	底径	器高	底径指数	高径指数	台高	台径	外底部／台部特徴	器面特徴	備考
250	4	SN68	土師器	坏	底	－	6.3	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	内外面タール付着
250	5	SK08	土師器	坏	口	12.9	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
250	6	SK08	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		摩滅	
250	7	SK08	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		摩滅	
250	8	SK08	土師器	坏	胴～底	－	5.8	－	－	－	－	－	摩滅	摩滅	
250	10	SK08	両黒	坏	口	12.7	－	－	－	－	－	－		内外面ミガキ	
250	11	SK08	内黒	坏	口	13.9	－	－	－	－	－	－		内面ミガキ、外面ロクロナデ	
250	12	SK08	内黒	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内面ミガキ、外面不明	
250	13	SK08	内黒	坏	底	－	6.5	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	
250	14	SK08	両黒	有台坏	胴～底	－	7.2	－	－	－	0.6	7.0	回糸→付高台	内面ミガキ、外面ナデ	
251	1	SK05	土師器	坏	口～底	12.3	5.3	5.9	0.43	0.48	－	－	摩滅	内外面ロクロナデ	
251	2	SK05	土師器	坏	全	12.1	4.7	4.3	0.39	0.36	－	－	摩滅	内面ミガキ、外面ロクロナデ	
251	3	SK05	土師器	坏	全	12.5	4.4	4.4	0.35	0.35	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
251	4	SK05	土師器	坏	口	11.8	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	タール付着
251	5	SK05	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
251	6	SK05	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
251	7	SK05	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
251	8	SK05	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
251	9	SK05	土師器	坏	口	11.7	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
251	10	SK05	土師器	坏	胴～底	－	5.6	－	－	－	－	－	摩滅	摩滅	
251	11	SK05	土師器	坏	胴～底	－	4.7	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
251	12	SK05	土師器	坏	胴～底	－	4.5	－	－	－	－	－	摩滅	摩滅	
251	13	SK05	土師器	坏	胴～底	－	4.2	－	－	－	－	－	摩滅	摩滅	
251	14	SK05	土師器	坏	胴～底	－	4.6	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
251	15	SK05	土師器	坏	胴～底	－	5.7	－	－	－	－	－	回糸、線刻	内外面ロクロナデ	外面胴下に線刻
251	16	SK05	土師器	坏	胴～底	－	4.9	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
251	17	SK05	土師器	坏	胴～底	－	5.0	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
251	18	SK05	土師器	坏	胴～底	－	5.2	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
251	19	SK05	土師器	坏	胴～底	－	5.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
251	20	SK05	土師器	坏	胴～底	－	4.5	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
251	21	SK05	土師器	坏	胴～底	－	5.2	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
251	22	SK05	土師器	坏	胴～底	－	4.4	－	－	－	－	－	摩滅	摩滅	
251	23	SK05	土師器	坏	胴～底	－	4.2	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
251	24	SK05	土師器	坏	胴～底	－	5.9	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
251	25	SK05	土師器	坏	胴～底	－	4.9	－	－	－	－	－	摩滅	摩滅	
251	26	SK05	土師器	坏	胴～底	－	5.4	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	
251	27	SK05	土師器	坏	胴～底	－	5.5	－	－	－	－	－	摩滅	摩滅	
251	28	SK05	土師器	坏	胴～底	－	4.9	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
252	1	SK05	土師器	坏	胴～底	－	4.4	－	－	－	－	－	摩滅	内外面ロクロナデ	
252	2	SK05	土師器	坏	胴～底	－	5.0	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
252	3	SK05	土師器	坏	胴～底	－	5.7	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
252	4	SK05	土師器	坏	底	－	4.1	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
252	5	SK05	土師器	坏	胴～底	－	4.8	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
252	6	SK05	土師器	坏	胴～底	－	4.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
252	7	SK05	土師器	坏	胴～底	－	4.5	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
252	8	SK05	土師器	坏	底	－	5.1	－	－	－	－	－	摩滅	内外面ロクロナデ	
252	9	SK05	土師器	坏	胴～底	－	3.8	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
252	10	SK05	土師器	有台坏	底	－	6.0	－	－	－	0.3	6.4	回糸→ナデ→付高台	摩滅	
252	11	SK05	土師器	皿	口～底	12.4	5.3	3.0	0.43	0.24	－	－	摩滅	摩滅	
252	12	SK05	土師器	皿	口～底	11.6	5.1	3.1	0.44	0.27	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
252	13	SK05	土師器	皿	口～底	11.0	4.9	3.0	0.45	0.27	－	－	不明	内外面ロクロナデ	
252	14	SK05	土師器	皿	口～胴	13.9	－	－	－	－	－	－		摩滅	
252	15	SK05	土師器	皿	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
252	16	SK05	土師器	皿	口	11.7	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
252	17	SK05	土師器	皿	底	－	5.8	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	内面漆固着
252	18	SK05	土師器	皿	底	－	4.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
252	19	SK05	土師器	皿	胴～底	－	5.2	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
252	20	SK05	土師器	皿	胴～底	－	4.8	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	
252	21	SK05	土師器	皿	底	－	5.6	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
252	22	SK05	土師器	皿	底	－	4.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
252	24	SK05	土師器	有台盤	台～底	－	10.9	－	－	－	3.4	13.2	付高台、透かし孔	内外面ナデ	
254	1	SK05	両黒	坏	口～底	11.4	5.3	4.8	0.46	0.42	－	－	摩滅	内外面ミガキ	
254	2	SK05	内黒	坏	口	15.1	－	－	－	－	－	－		内面ミガキ、外面ロクロナデ	
254	3	SK05	両黒	有台坏	口～底	14.1	6.5	6.9	0.46	0.49	1.7	6.7	付高台？	内面ミガキ、外面ロクロナデ	
254	4	SK05	内黒	有台坏	底	－	6.9	－	－	－	1.2	7.1		内外面ロクロナデ→ミガキ	
254	5	SK05	内黒	有台坏	底	－	6.5	－	－	－	0.7	6.8	切離不明→付高台	摩滅	
254	6	SK05	内黒	有台坏	底	－	5.7	－	－	－	－	－	切離不明→ナデ→付高台	内面ミガキ、外面ロクロナデ	
254	7	SK05	内黒	有台坏	底	－	5.1	－	－	－	0.9	6.3	回糸→付高台	摩滅	
254	8	SK05	両黒	有台坏	底	－	8.1	－	－	－	0.7	8.3	切離不明→ナデ→付高台	摩滅	
254	9	SK05	内黒	有台坏	底	－	6.2	－	－	－	－	－	切離不明→ナデ→付高台	内面ミガキ、外面摩滅	
254	10	SK05	内黒	皿	口	12.5	－	－	－	－	－	－		内面ミガキ、外面ロクロナデ	
254	11	SK05	内黒	皿	口	－	－	－	－	－	－	－		内面ミガキ、外面ロクロナデ	
254	12	SK05	内黒	有台皿	底	－	6.9	－	－	－	0.7	6.9	切離不明→ナデ→付高台	摩滅	
254	14	SK05	須恵器	坏	全	16.6	7.7	6.3	0.46	0.38	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
254	15	SK05	須恵器	坏	全	12.8	8.2	3.9	0.64	0.30	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	

第65表　土器類(坏等)観察表(２)

挿図番号	遺物番号	出土地点	種別	器種	残存部位	口径	底径	器高	底径指数	高径指数	台高	台径	外底部／台部特徴	器面特徴	備考
254	16	SK05	須恵器	坏	ロ～底	11.8	7.8	3.9	0.66	0.33	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
254	17	SK05	須恵器	坏	底	－	9.3	－	－	－	－	－	切り離し不明	不明	
254	18	SK05	須恵器	坏	底	－	－	－	－	－	－	－	摩滅	摩滅	
254	19	SK05	須恵器	坏	胴～底	－	－	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
258	1	SK25	土師器	坏	全	13.5	5.9	5.5	0.44	0.41	－	－	回糸(右)	摩滅	
258	2	SK25	土師器	坏	全	15.7	6.4	5.8	0.41	0.37	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
258	3	SK25	土師器	坏	全	13.7	5.8	5.5	0.44	0.40	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
258	4	SK25	土師器	坏	全	12.6	5.6	5.7	0.44	0.45	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
258	5	SK25	土師器	坏	全	13.0	5.5	5.6	0.42	0.43	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
258	6	SK25	土師器	坏	全	12.1	5.2	5.2	0.43	0.43	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
258	7	SK25	土師器	坏	全	13.2	5.6	4.6	0.42	0.35	－	－	回糸	摩滅	
258	8	SK25	土師器	坏	全	12.8	5.8	4.8	0.45	0.38	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
258	9	SK25	土師器	坏	全	12.5	5.9	4.7	0.47	0.38	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
258	10	SK25	土師器	坏	全	12.3	5.3	5.8	0.43	0.47	－	－	回糸(右)	摩滅	
258	11	SK25	土師器	坏	全	11.8	5.3	4.1	0.45	0.35	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
259	1	SK25	土師器	坏	全	12.0	5.8	5.2	0.48	0.43	－	－	回糸(右)	内面ロクロナデ、外面摩滅	
259	2	SK25	土師器	坏	全	12.3	5.5	4.8	0.45	0.39	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
259	3	SK25	土師器	坏	全	12.2	4.6	4.8	0.38	0.39	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
259	4	SK25	土師器	坏	全	13.1	5.5	4.3	0.42	0.33	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
259	5	SK25	土師器	坏	全	12.5	5.0	5.6	0.40	0.45	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
259	6	SK25	土師器	坏	全	11.8	5.4	5.3	0.46	0.45	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
259	7	SK25	土師器	坏	全	11.9	5.1	4.9	0.43	0.41	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
259	8	SK25	土師器	坏	全	13.0	4.7	4.3	0.36	0.33	－	－	回糸(右)	摩滅	
259	9	SK25	土師器	坏	全	12.3	5.6	5.0	0.46	0.41	－	－	回糸(右)	内面ロクロナデ、外面摩滅	
259	10	SK25	土師器	坏	全	11.9	5.2	4.9	0.44	0.41	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
259	11	SK25	土師器	坏	全	12.2	4.6	5.4	0.38	0.44	－	－	回糸	摩滅	
259	12	SK25	土師器	坏	全	12.7	5.7	5.1	0.45	0.40	－	－	切り離し不明	摩滅	
259	13	SK25	土師器	坏	ロ～底	12.3	4.5	5.4	0.37	0.44	－	－		内外面ロクロナデ	
259	14	SK25	土師器	坏	ロ～底	11.1	4.6	4.1	0.41	0.37	－	－	回糸(右)	摩滅	
260	1	SK25	土師器	坏	ロ～底	12.1	4.7	5.3	0.39	0.44	－	－	回糸	摩滅	
260	2	SK25	土師器	坏	全	12.1	5.0	4.6	0.41	0.28	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
260	3	SK25	土師器	坏	全	12.0	5.2	5.3	0.43	0.44	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
260	4	SK25	土師器	坏	ロ～底	11.6	5.0	5.6	0.43	0.48	－	－	回糸(右)	摩滅	
260	5	SK25	土師器	坏	全	13.3	5.3	6.2	0.40	0.47	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
260	6	SK25	土師器	坏	ロ～底	11.8	5.3	5.3	0.45	0.45	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
260	7	SK25	土師器	坏	ロ～底	12.8	4.5	5.9	0.35	0.46	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
260	8	SK25	土師器	坏	ロ～底	12.3	5.2	5.4	0.42	0.44	－	－	回糸	内面ロクロナデ、外面摩滅	
260	9	SK25	土師器	坏	全	12.7	5.6	5.0	0.44	0.39	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
260	10	SK25	土師器	坏	ロ～底	11.8	5.5	5.2	0.47	0.44	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
260	11	SK25	土師器	坏	ロ～底	11.8	5.8	5.4	0.49	0.46	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
260	12	SK25	土師器	坏	全	11.6	4.9	5.2	0.42	0.45	－	－	回糸(右)	摩滅	
260	13	SK25	土師器	坏	ロ～底	11.6	5.1	5.1	0.44	0.44	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
260	14	SK25	土師器	坏	全	11.3	4.8	5.3	0.42	0.47	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
260	15	SK25	土師器	坏	全	12.6	5.3	5.4	0.42	0.43	－	－	回糸(右)	摩滅	
260	16	SK25	土師器	坏	全	12.4	5.3	5.7	0.43	0.46	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
260	17	SK25	土師器	坏	全	11.3	5.6	4.4	0.50	0.39	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
261	1	SK25	土師器	坏	ロ～底	11.9	5.4	5.0	0.45	0.42	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
261	2	SK25	土師器	坏	全	12.4	5.7	4.9	0.46	0.40	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
261	3	SK25	土師器	坏	全	15.2	4.9	6.3	0.32	0.41	－	－	切り離し不明	摩滅	
261	4	SK25	土師器	坏	ロ～底	11.6	4.4	5.2	0.38	0.45	－	－	回糸	摩滅	
261	5	SK25	土師器	坏	全	12.8	5.6	4.6	0.44	0.36	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
261	6	SK25	土師器	坏	ロ～底	12.7	5.4	4.3	0.43	0.34	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
261	7	SK25	土師器	坏	全	12.0	4.8	5.6	0.40	0.47	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
261	8	SK25	土師器	坏	全	13.4	6.1	4.7	0.46	0.35	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
261	9	SK25	土師器	坏	全	13.0	5.0	5.1	0.38	0.39	－	－	回糸(右)	摩滅	
261	10	SK25	土師器	坏	全	11.8	5.3	5.6	0.45	0.47	－	－	回糸(右)	摩滅	
261	11	SK25	土師器	坏	全	12.4	4.8	4.3	0.39	0.35	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
261	12	SK25	土師器	坏	全	13.1	5.3	4.9	0.40	0.37	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
261	13	SK25	土師器	坏	全	12.2	5.6	5.4	0.46	0.44	－	－	切り離し不明	摩滅	
261	14	SK25	土師器	坏	ロ～底	13.5	5.2	5.2	0.39	0.39	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
261	15	SK25	土師器	坏	全	13.3	4.9	4.5	0.37	0.34	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
261	16	SK25	両黒	坏	全	13.1	5.9	5.6	0.45	0.43	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
261	17	SK25	土師器	坏	全	12.4	6.0	5.0	0.48	0.40	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
261	18	SK25	土師器	坏	ロ～底	12.2	5.0	4.4	0.41	0.36	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
262	1	SK25	土師器	坏	ロ～底	12.9	4.8	5.3	0.37	0.41	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
262	2	SK25	土師器	坏	全	13.4	5.8	5.5	0.43	0.41	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
262	3	SK25	土師器	坏	ロ～底	12.4	5.7	4.4	0.46	0.35	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
262	4	SK25	土師器	坏	ロ～底	13.1	6.3	4.9	0.48	0.37	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
262	5	SK25	土師器	坏	ロ～底	12.1	4.1	4.9	0.34	0.40	－	－	切り離し不明	摩滅	
262	6	SK25	土師器	坏	全	12.4	6.1	4.4	0.49	0.35	－	－	回糸(右)	内面ロクロナデ、外面摩滅	
262	7	SK25	土師器	坏	ロ～底	12.9	5.4	4.5	0.42	0.35	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
262	8	SK25	土師器	坏	ロ～底	12.5	6.6	5.1	0.53	0.41	－	－	切り離し不明	摩滅	
262	9	SK25	土師器	坏	全	11.4	4.5	4.5	0.39	0.39	－	－	回糸(右)	摩滅	
262	10	SK25	土師器	坏	全	13.0	6.1	4.7	0.47	0.36	－	－	回糸	摩滅	
262	11	SK25	土師器	坏	全	12.9	4.9	4.3	0.38	0.33	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	

第66表　土器類(坏等)観察表(３)

挿図番号	遺物番号	出土地点	種別	器種	残存部位	口径	底径	器高	底径指数	高径指数	台高	台径	外底部／台部特徴	器面特徴	備考
262	12	SK25	土師器	坏	全	12.0	5.3	4.9	0.44	0.41	－	－	回糸	摩滅	
262	13	SK25	土師器	坏	口～底	12.5	5.1	4.6	0.41	0.37	－	－	切り離し不明	摩滅	
262	14	SK25	土師器	坏	口～底	12.3	5.4	4.3	0.44	0.35	－	－	切り離し不明	摩滅	
262	15	SK25	土師器	坏	全	12.8	4.8	4.6	0.38	0.36	－	－	切り離し不明	摩滅	
262	16	SK25	土師器	坏	全	12.8	4.8	4.8	0.38	0.38	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
262	17	SK25	土師器	坏	口～底	14.5	5.6	4.8	0.39	0.33	－	－	切り離し不明	摩滅	
263	1	SK25	土師器	坏	口	14.3	－	－	－	－	－	－		摩滅	
263	2	SK25	土師器	坏	口	12.8	－	－	－	－	－	－		摩滅	
263	3	SK25	土師器	坏	口	11.9	－	－	－	－	－	－		摩滅	
263	4	SK25	土師器	坏	口	11.6	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
263	5	SK25	土師器	坏	口	12.8	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
263	6	SK25	土師器	坏	口	10.5	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
263	7	SK25	土師器	坏	口	11.7	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
263	8	SK25	土師器	坏	口	12.4	－	－	－	－	－	－		摩滅	
263	9	SK25	土師器	坏	口～底	－	－	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
263	10	SK25	土師器	坏	口～底	－	－	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	
263	11	SK25	土師器	坏	口～底	－	－	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
263	12	SK25	土師器	坏	口～底	－	－	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
263	13	SK25	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		摩滅	
263	14	SK25	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		摩滅	内タール付着
263	15	SK25	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		摩滅	
263	16	SK25	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		摩滅	
263	17	SK25	土師器	坏	口～底	－	－	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	
263	18	SK25	土師器	坏	口～底	－	－	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
263	19	SK25	土師器	坏	口～底	－	－	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
263	20	SK25	土師器	坏	口～底	－	－	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
263	21	SK25	土師器	坏	口～底	－	－	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	
263	22	SK25	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内面ロクロナデ、外面摩滅	
263	23	SK25	土師器	坏	口～底	－	－	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
263	24	SK25	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		摩滅	
263	25	SK25	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		摩滅	
263	26	SK25	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		摩滅	
263	27	SK25	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		摩滅	
263	28	SK25	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内面ロクロナデ、外面摩滅	
263	29	SK25	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
263	30	SK25	内黒	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内面ミガキ、外面ロクロナデ	
263	31	SK25	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
263	32	SK25	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
264	1	SK25	土師器	坏	胴～底	－	4.9	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
264	2	SK25	土師器	坏	胴～底	－	5.0	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
264	3	SK25	土師器	坏	胴～底	－	5.8	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
264	4	SK25	土師器	坏	胴～底	－	5.1	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
264	5	SK25	土師器	坏	胴～底	－	5.1	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
264	6	SK25	土師器	坏	胴～底	－	5.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
264	7	SK25	土師器	坏	胴～底	－	5.9	－	－	－	－	－	回糸(右)	内面ロクロナデ、外面摩滅	
264	8	SK25	土師器	坏	胴～底	－	5.8	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
264	9	SK25	土師器	坏	胴～底	－	5.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
264	10	SK25	土師器	坏	胴～底	－	5.5	－	－	－	－	－	回糸(右)	内面ロクロナデ、外面摩滅	
264	11	SK25	土師器	坏	胴～底	－	4.9	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
264	12	SK25	土師器	坏	胴～底	－	5.0	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
264	13	SK25	土師器	坏	胴～底	－	4.7	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
265	1	SK25	土師器	坏	胴～底	－	5.5	－	－	－	－	－	回糸(右)	内面ロクロナデ、外面摩滅	
265	2	SK25	土師器	坏	胴～底	－	4.7	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
265	3	SK25	土師器	坏	胴～底	－	5.4	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
265	4	SK25	土師器	坏	胴～底	－	4.5	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
265	5	SK25	土師器	坏	胴～底	－	5.5	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
265	6	SK25	土師器	坏	胴～底	－	5.2	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
265	7	SK25	土師器	坏	胴～底	－	5.1	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
265	8	SK25	土師器	坏	底	－	4.8	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
265	9	SK25	土師器	坏	底	－	5.0	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
265	10	SK25	土師器	坏	胴～底	－	5.7	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
265	11	SK25	土師器	坏	胴～底	－	5.0	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
265	12	SK25	土師器	坏	胴～底	－	4.2	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
265	13	SK25	土師器	坏	胴～底	－	5.2	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	
265	14	SK25	土師器	坏	胴～底	－	5.7	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
265	15	SK25	土師器	坏	胴～底	－	5.2	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	
265	16	SK25	土師器	坏	胴～底	－	5.9	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
265	17	SK25	土師器	坏	胴～底	－	4.9	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
266	1	SK25	土師器	坏	胴～底	－	4.9	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
266	2	SK25	土師器	坏	胴～底	－	4.8	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
266	3	SK25	土師器	坏	胴～底	－	5.4	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
266	4	SK25	土師器	坏	胴～底	－	5.3	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
266	5	SK25	土師器	坏	胴～底	－	5.0	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
266	6	SK25	土師器	坏	胴～底	－	5.5	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
266	7	SK25	土師器	坏	胴～底	－	5.6	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	

第67表　土器類(坏等)観察表(４)

挿図番号	遺物番号	出土地点	種別	器種	残存部位	口径	底径	器高	底径指数	高径指数	台高	台径	外底部／台部特徴	器面特徴	備考
266	8	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.3	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
266	9	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	4.4	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
266	10	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.2	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
266	11	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	4.7	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
266	12	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	4.5	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
266	13	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.2	－	－	－	－	－	回糸(右)	内面ロクロナデ、外面摩滅	内タール付着
266	14	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	4.2	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
266	15	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
266	16	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.2	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
266	17	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.3	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
266	18	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	4.8	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
266	19	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	4.9	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
267	1	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.0	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
267	2	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.4	－	－	－	－	－	回糸(右)	内面ロクロナデ、外面摩滅	
267	3	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.4	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
267	4	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.0	－	－	－	－	－	切り離し不明	内面ロクロナデ、外面摩滅	
267	5	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	4.6	－	－	－	－	－	回糸(右)	内面摩滅、外面ロクロナデ	
267	6	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.1	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
267	7	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	4.1	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
267	8	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.0	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
267	9	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	4.7	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
267	10	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.9	－	－	－	－	－	回糸(右)	内面ロクロナデ、外面摩滅	タール付着
267	11	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.2	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
267	12	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.1	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
267	13	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.0	－	－	－	－	－	回糸(右)	内面ロクロナデ、外面摩滅	
267	14	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.7	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
267	15	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.7	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
267	16	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.1	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
267	17	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.6	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
267	18	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	4.8	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
267	19	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.1	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	
267	20	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	4.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
267	21	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	4.1	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
267	22	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
267	23	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.2	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
267	24	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.0	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
267	25	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	4.8	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
267	26	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.1	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
268	1	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	4.8	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
268	2	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.2	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
268	3	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.3	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	
268	4	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	4.8	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
268	5	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	4.9	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
268	6	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
268	7	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.4	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
268	8	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	4.5	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
268	9	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	4.7	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
268	10	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	4.6	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
268	11	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.6	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
268	12	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
268	13	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	4.8	－	－	－	－	－	回糸	内面ロクロナデ、外面摩滅	
268	14	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.6	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
268	15	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.3	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	
268	16	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	4.8	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
268	17	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	4.4	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
268	18	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	4.9	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
268	19	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	4.5	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
268	20	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	4.4	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
268	21	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.7	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
268	22	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	4.5	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
268	23	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.0	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	
268	24	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.7	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	内外タール付着
268	25	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.4	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
268	26	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.7	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
269	1	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.7	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
269	2	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	4.6	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
269	3	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	6.4	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
269	4	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.0	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
269	5	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.1	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
269	6	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.6	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
269	7	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.2	－	－	－	－	－	回糸(右)	内面ロクロナデ、外面摩滅	
269	8	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.1	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
269	9	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.7	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
269	10	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	4.9	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ナデ	
269	11	SK 25	土師器	坏	胴～底	－	5.6	－	－	－	－	－	回糸(右)	不明	

第68表　土器類(坏等)観察表(5)

挿図番号	遺物番号	出土地点	種別	器種	残存部位	口径	底径	器高	底径指数	高径指数	台高	台径	外底部／台部特徴	器面特徴	備考
269	12	SK25	土師器	坏	胴～底	－	4.3	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	
269	13	SK25	土師器	坏	胴～底	－	6.6	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
269	14	SK25	土師器	坏	胴～底	－	4.6	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
269	15	SK25	土師器	坏	胴～底	－	6.1	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	
269	16	SK25	内黒	坏	胴～底	－	4.0	－	－	－	－	－	切り離し不明	内面ミガキ、外面摩滅	
269	17	SK25	土師器	坏	底	－	4.8	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
269	18	SK25	土師器	坏	胴～底	－	5.1	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	
269	19	SK25	土師器	坏	胴～底	－	4.4	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	
269	20	SK25	土師器	坏	胴～底	－	4.8	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	
269	21	SK25	土師器	坏	底	－	4.5	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
269	22	SK25	土師器	坏	底	－	5.4	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
269	23	SK25	土師器	坏	底	－	5.0	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
269	24	SK25	土師器	坏	胴～底	－	4.6	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
269	25	SK25	土師器	坏	底	－	5.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
269	26	SK25	土師器	坏	底	－	5.0	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
269	27	SK25	土師器	坏	底	－	5.0	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
269	28	SK25	土師器	坏	胴	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
269	29	SK25	土師器	坏	胴～底	－	－	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
269	30	SK25	土師器	坏	胴～底	－	－	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
269	31	SK25	土師器	坏	胴～底	－	－	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
269	32	SK25	土師器	坏	胴～底	－	－	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
270	1	SK25	土師器	坏	胴～底	－	－	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
270	2	SK25	土師器	坏	胴～底	－	－	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
270	3	SK25	土師器	坏	胴～底	－	－	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	
270	4	SK25	土師器	坏	底	－	－	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	
270	5	SK25	土師器	坏	胴～底	－	－	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
270	6	SK25	土師器	坏	胴～底	－	－	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
270	7	SK25	土師器	坏	底	－	－	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
270	8	SK25	土師器	坏	底	－	－	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
270	9	SK25	土師器	皿	全	12.0	5.1	3.4	0.43	0.28	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
270	10	SK25	土師器	皿	全	12.5	5.6	3.5	0.45	0.28	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
270	11	SK25	土師器	皿	全	12.9	5.0	3.6	0.39	0.28	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
270	12	SK25	土師器	皿	全	12.6	5.3	3.4	0.42	0.27	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
270	13	SK25	土師器	皿	全	11.5	5.0	3.4	0.43	0.30	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
270	14	SK25	土師器	皿	全	11.4	4.7	3.3	0.41	0.29	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
270	15	SK25	土師器	皿	全	12.3	5.5	3.1	0.45	0.25	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
270	16	SK25	土師器	皿	全	11.9	5.1	3.2	0.43	0.27	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
270	17	SK25	土師器	皿	全	12.0	5.2	3.0	0.43	0.25	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
270	18	SK25	土師器	皿	全	11.0	5.0	2.0	0.45	0.18	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
271	1	SK25	土師器	皿	全	11.4	5.0	3.0	0.44	0.26	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
271	2	SK25	土師器	皿	全	11.3	5.1	3.0	0.45	0.27	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
271	3	SK25	土師器	皿	全	11.8	5.6	3.2	0.47	0.27	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
271	4	SK25	土師器	皿	全	11.0	4.7	3.0	0.43	0.27	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
271	5	SK25	土師器	皿	全	11.5	5.0	3.1	0.43	0.27	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
271	6	SK25	土師器	皿	全	10.7	4.6	3.2	0.43	0.30	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
271	7	SK25	土師器	皿	全	11.8	5.6	3.7	0.47	0.31	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
271	8	SK25	土師器	皿	全	12.4	4.4	3.9	0.35	0.31	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
271	9	SK25	土師器	皿	全	11.4	5.7	3.0	0.50	0.26	－	－	切り離し不明	摩滅	
271	10	SK25	土師器	皿	全	11.6	4.8	3.0	0.41	0.26	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
271	11	SK25	土師器	皿	口～底	13.1	6.3	3.7	0.48	0.28	－	－	切り離し不明	摩滅	
271	12	SK25	土師器	皿	全	13.1	5.1	3.4	0.39	0.26	－	－	回糸	内面不明、外面ロクロナデ	
271	13	SK25	土師器	皿	全	11.0	4.9	2.9	0.45	0.26	－	－	回糸(右)	内外面ナデ	
271	14	SK25	土師器	皿	全	12.4	5.5	3.6	0.44	0.29	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
271	15	SK25	土師器	皿	全	10.8	4.8	2.7	0.44	0.25	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
271	16	SK25	土師器	皿	全	13.7	4.8	3.5	0.35	0.26	－	－	切り離し不明	内外面ナデ	
271	17	SK25	土師器	皿	口～底	11.4	4.3	3.3	0.38	0.29	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
271	18	SK25	土師器	皿	口～底	11.1	4.6	3.6	0.41	0.32	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
272	1	SK25	土師器	皿	全	12.8	5.2	4.0	0.41	0.31	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
272	2	SK25	土師器	皿	全	13.3	5.7	4.2	0.43	0.32	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
272	3	SK25	土師器	皿	全	12.7	5.5	3.8	0.43	0.30	－	－	切り離し不明	摩滅	
272	4	SK25	土師器	皿	全	12.5	4.8	4.1	0.43	0.30	－	－	回糸？	内外面ロクロナデ	
272	5	SK25	土師器	皿	全	12.8	5.5	3.6	0.43	0.28	－	－	切り離し不明	内面ロクロナデ、外面摩滅	
272	6	SK25	土師器	皿	全	13.0	5.2	3.8	0.40	0.29	－	－	回糸	摩滅	
272	7	SK25	土師器	皿	全	11.4	4.1	3.3	0.36	0.29	－	－	切り離し不明	摩滅	
272	8	SK25	土師器	皿	全	12.5	4.6	4.1	0.37	0.33	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
272	9	SK25	土師器	皿	口～底	12.7	5.0	3.8	0.39	0.30	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
272	10	SK25	土師器	皿	口～底	11.4	5.3	3.6	0.46	0.32	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
272	11	SK25	土師器	皿	全	11.8	6.1	3.5	0.52	0.30	－	－	切り離し不明	内外面ナデ	
272	12	SK25	土師器	皿	口～底	9.6	3.5	3.0	0.36	0.31	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
272	13	SK25	内黒	皿	全	10.2	5.6	2.3	0.55	0.23	－	－	回糸(右)	内面ミガキ、外面ロクロナデ	
272	14	SK25	土師器	皿	全	11.6	5.4	3.3	0.47	0.28	－	－	切り離し不明	摩滅	
272	15	SK25	土師器	皿	口～底	12.5	4.8	3.8	0.38	0.30	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
272	16	SK25	土師器	皿	口～底	11.2	4.9	3.5	0.44	0.31	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	内タール付着、外被熱痕
272	17	SK25	土師器	皿	全	12.8	5.8	3.4	0.45	0.27	－	－	切り離し不明	内面ロクロナデ、外面摩滅	

第69表　土器類(坏等)観察表(6)

挿図番号	遺物番号	出土地点	種別	器種	残存部位	口径	底径	器高	底径指数	高径指数	台高	台径	外底部／台部特徴	器面特徴	備考
272	18	SK25	土師器	皿	ロ～底	11.2	4.3	3.2	0.38	0.29	－	－	回糸	内面ロクロナデ、外面ナデ	
272	19	SK25	土師器	皿	ロ～底	12.2	5.4	3.2	0.44	0.26	－	－	切り離し不明	摩滅	
272	20	SK25	土師器	皿	ロ～底	12.1	5.4	3.9	0.45	0.32	－	－	回糸	摩滅	
273	1	SK25	土師器	皿	ロ～底	11.6	4.1	4.8	0.35	0.41	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
273	2	SK25	土師器	皿	全	11.4	4.7	3.5	0.41	0.31	－	－	切り離し不明	摩滅	
273	3	SK25	土師器	皿	ロ～底	13.3	5.7	3.4	0.43	0.26	－	－	切り離し不明	摩滅	
273	4	SK25	土師器	皿	全	12.3	6.7	2.6	0.54	0.21	－	－	回糸(右)	摩滅	
273	5	SK25	土師器	皿	ロ～底	12.0	4.8	2.9	0.40	0.24	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
273	6	SK25	土師器	皿	ロ～底	11.5	4.6	3.0	0.40	0.26	－	－	切り離し不明	摩滅	
273	7	SK25	土師器	皿	ロ～底	10.9	6.1	2.3	0.56	0.21	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
273	8	SK25	土師器	皿	ロ～底	11.6	5.4	2.8	0.47	0.24	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
273	9	SK25	土師器	皿	全	12.0	5.5	2.9	0.46	0.24	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
273	10	SK25	土師器	皿	全	12.2	4.3	1.9	0.35	0.16	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
273	11	SK25	土師器	皿	ロ	12.3	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
273	12	SK25	土師器	皿	ロ	11.8	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
273	13	SK25	土師器	皿	ロ	12.4	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
273	14	SK25	土師器	皿	ロ～底	－	－	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
273	15	SK25	土師器	有台坏	胴～底	－	5.3	－	－	－	0.6	6.4	切離不明→付高台	摩滅	タール？漆？付着
273	16	SK25	土師器	有台坏	胴～底	－	6.7	－	－	－	0.4	6.8	回糸(右)→付高台	内外面ロクロナデ	
273	17	SK25	内黒	有台坏	底	－	5.6	－	－	－	0.7	7.0	切離不明→付高台	内面ミガキ、外面ロクロナデ	
273	18	SK25	土師器	有台坏	胴～底	－	6.7	－	－	－	0.7	6.9	切離不明→付高台	摩滅	
273	19	SK25	内黒	有台坏	底	－	5.7	－	－	－	1.0	6.0	切離不明→付高台	内面ミガキ、外面ロクロナデ	
273	20	SK25	内黒	有台坏	底	－	－	－	－	－	－	－	切離不明→付高台	内面ミガキ、外面摩滅	
273	21	SK25	土師器	有台坏	底	－	7.8	－	－	－	0.9	8.2	切離不明→付高台	不明	
274	1	SK25	内黒	有台坏	底	－	6.1	－	－	－	0.9	6.4	切離不明→付高台	内面ミガキ、外面摩滅	
274	2	SK25	内黒	有台坏	底	－	6.9	－	－	－	－	－	回糸(右)	内面ミガキ、外面摩滅	
274	3	SK25	土師器	高坏	台	－	－	－	－	－	－	6.0		内外面ロクロナデ	
274	4	SK25	内黒	有台皿	全	11.9	5.0	3.5	0.42	0.29	0.9	4.5	切離不明→付高台	内面ミガキ、外面摩滅	
274	5	SK25	内黒	有台皿	胴～底	－	6.9	－	－	－	－	－	回糸→付高台	内面ミガキ、外面摩滅	
274	13	SK25	内黒	有台坏	ロ～底	13.8	－	－	－	－	－	－	切り離し不明	内面ミガキ、外面ロクロナデ	
275	1	SK25	須恵器	坏	ロ～底	13.8	6.1	4.3	0.44	0.31	－	－	回糸	内面ロクロナデ、外面ナデ	
275	2	SK25	須恵器	坏	ロ～底	13.5	5.7	5.0	0.42	0.37	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
275	3	SK25	須恵器	坏	ロ～底	12.6	4.7	3.9	0.37	0.31	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
275	4	SK25	須恵器	坏	ロ～底	12.0	4.8	5.2	0.40	0.43	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
275	5	SK25	須恵器	坏	全	12.1	4.9	5.0	0.40	0.41	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
275	6	SK25	須恵器	坏	ロ	13.1	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
275	7	SK25	須恵器	坏	胴	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
275	8	SK25	須恵器	坏	底	－	6.0	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
276	3	SK34	土師器	坏	ロ	13.9	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
276	4	SK34	土師器	坏	ロ	13.5	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
276	5	SK34	土師器	坏	ロ	9.9	－	－	－	－	－	－		摩滅	タール？漆？付着
276	6	SK34	土師器	坏	ロ	13.5	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
276	7	SK34	土師器	坏	ロ	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
276	8	SK34	土師器	坏	ロ	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
276	9	SK34	土師器	坏	ロ	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
276	10	SK34	土師器	坏	胴～底	－	5.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
276	11	SK34	土師器	坏	胴～底	－	5.0	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
276	12	SK34	土師器	坏	胴～底	－	5.2	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
276	13	SK34	土師器	坏	胴～底	－	5.5	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
276	14	SK34	土師器	坏	胴～底	－	－	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
276	15	SK34	内黒	坏	底	－	－	－	－	－	－	－	回糸(右)	内面ミガキ、外面摩滅	
276	16	SK34	内黒	有台坏	底	－	－	－	－	－	－	－	切離不明→付高台	内面ミガキ、外面摩滅	
276	17	SK35	土師器	坏	ロ	14.8	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
276	18	SK35	土師器	坏	ロ	14.9	－	－	－	－	－	－		内面ロクロナデ、外面摩滅	
276	19	SK35	土師器	坏	ロ	13.3	－	－	－	－	－	－		摩滅	
276	20	SK35	土師器	坏	胴～底	－	6.0	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
277	1	SK35	土師器	坏	胴～底	－	4.9	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
277	2	SK35	土師器	坏	胴～底	－	5.8	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
277	3	SK35	土師器	坏	胴～底	－	4.8	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
277	4	SK35	土師器	坏	胴～底	－	6.8	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
277	5	SK35	土師器	坏	底	－	5.5	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
277	6	SK35	土師器	坏	胴～底	－	4.4	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
277	7	SK35	土師器	坏	胴～底	－	－	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	
277	8	SK35	土師器	坏	底	－	－	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	
277	9	SK35	土師器	坏	胴～底	－	－	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
277	10	SK35	土師器	坏	胴～底	－	－	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
277	11	SK35	土師器	坏	底	－	－	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
277	13	SK35	内黒	有台坏	底	－	5.9	－	－	－	0.8	5.3	切離不明→付高台	内面ミガキ、外面ロクロナデ	
277	14	SK35	内黒	有台坏	底	－	－	－	－	－	－	5.1	切離不明→付高台	内面ミガキ、外面ロクロナデ	
277	15	SK39	土師器	坏	全	13.3	4.4	4.3	0.33	0.32	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
277	16	SK39	土師器	坏	ロ～底	16.4	8.0	4.9	0.49	0.30	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
277	17	SK39	土師器	坏	全	12.6	3.9	4.6	0.31	0.37	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
277	18	SK39	土師器	坏	全	13.2	4.3	4.5	0.33	0.34	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
278	1	SK39	土師器	坏	ロ	13.6	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
278	2	SK39	土師器	坏	全	12.8	4.8	4.5	0.38	0.35	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	

第70表　土器類(坏等)観察表(７)

挿図番号	遺物番号	出土地点	種別	器種	残存部位	口径	底径	器高	底径指数	高径指数	台高	台径	外底部／台部特徴	器面特徴	備考
278	3	SK39	土師器	坏	ロ～底	14.0	4.7	4.3	0.34	0.31	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
278	4	SK39	土師器	坏	ロ	12.9	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
278	5	SK39	土師器	坏	ロ	16.1	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
278	6	SK39	土師器	坏	ロ	10.7	－	－	－	－	－	－		内面ロクロナデ、外面摩滅	
278	7	SK39	土師器	坏	底	－	5.0	－	－	－	－	－	回糸(右)	内面ロクロナデ、外面摩滅	
278	8	SK39	土師器	坏	底	－	4.9	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
278	9	SK39	土師器	坏	底	－	5.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
278	10	SK39	土師器	坏	底	－	5.1	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
278	11	SK39	土師器	坏	胴～底	－	5.5	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
278	12	SK39	土師器	坏	底	－	5.4	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
278	13	SK39	土師器	坏	底	－	5.3	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
278	14	SK39	土師器	有台坏	底	－	6.1	－	－	－	0.8	6.7	切離不明→付高台	摩滅	
278	15	SK39	土師器	有台坏	底	－	5.1	－	－	－	1.1	5.7	切離不明→付高台	内外面ロクロナデ	
279	1	SK39	内黒	坏	胴～底	－	5.1	－	－	－	－	－	切り離し不明	内面ミガキ、外面ロクロナデ	
279	2	SK39	内黒	有台坏	底	－	7.5	－	－	－	2.0	8.6	切離不明→付高台	内面ミガキ、外面不明	
279	3	SK39	内黒	有台坏	底	－	6.5	－	－	－	1.1	6.9	切離不明→付高台	内面ミガキ、外面ロクロナデ	
279	4	SK39	両黒	有台坏	底	－	5.5	－	－	－	0.7	5.5	回糸→付高台	内面ミガキ、外面ロクロナデ	
280	1	SK52	土師器	坏	全	12.6	4.0	4.4	0.32	0.35	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
280	2	SK52	土師器	坏	全	11.6	3.6	3.5	0.31	0.30	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
280	3	SK52	土師器	坏	全	12.7	4.6	4.5	0.36	0.35	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
280	4	SK52	土師器	坏	全	13.9	5.0	4.6	0.36	0.33	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
280	5	SK52	土師器	坏	ロ～底	11.9	5.0	4.6	0.42	0.39	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
280	6	SK52	土師器	坏	ロ	12.3	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
280	7	SK52	土師器	坏	ロ	13.0	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
280	8	SK52	土師器	坏	ロ	－	－	－	－	－	－	－		摩滅	
280	9	SK52	土師器	坏	ロ	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
280	10	SK52	土師器	坏	ロ	－	－	－	－	－	－	－		摩滅	
280	11	SK52	土師器	坏	胴～底	－	4.7	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
280	12	SK52	土師器	坏	胴～底	－	5.6	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	
280	13	SK52	土師器	坏	胴～底	－	4.8	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
280	14	SK52	土師器	坏	胴～底	－	5.0	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
280	15	SK52	土師器	坏	胴～底	－	5.2	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
280	16	SK52	土師器	坏	胴～底	－	4.5	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
280	17	SK52	土師器	坏	胴～底	－	5.2	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
280	18	SK52	土師器	坏	胴～底	－	4.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
280	19	SK52	土師器	坏	胴～底	－	4.8	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
280	20	SK52	土師器	坏	胴～底	－	3.8	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
281	1	SK52	土師器	坏	胴～底	－	5.9	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	
281	2	SK52	土師器	坏	胴～底	－	5.6	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	
281	3	SK52	土師器	坏	胴～底	－	5.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
281	4	SK52	土師器	坏	胴～底	－	4.9	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
281	5	SK52	土師器	坏	胴～底	－	4.8	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
281	6	SK52	土師器	坏	胴～底	－	4.2	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
281	7	SK52	土師器	坏	底	－	5.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
281	8	SK52	土師器	坏	胴～底	－	5.0	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
281	9	SK52	土師器	坏	底	－	4.2	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
281	10	SK52	土師器	有台皿	底	－	6.9	－	－	－	0.9	7.3	回糸？→付高台	摩滅	
281	11	SK52	土師器	有台皿	底	－	5.6	－	－	－	1.5	6.2	切離不明→付高台	内外面ロクロナデ	
281	15	SK52	内黒	坏	胴～底	－	6.3	－	－	－	－	－	切り離し不明	内面ミガキ、外面摩滅	
281	16	SK52	両黒	坏	底	－	5.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	内面ミガキ、外面ロクロナデ	
281	17	SK52	須恵器	坏	全	12.8	8.0	4.0	0.63	0.31	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
283	1	SD01A	土師器	坏	全	14.8	6.1	3.7	0.41	0.25	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
283	2	SD01A	土師器	坏	全	12.3	4.8	4.5	0.39	0.37	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
283	3	SD01A	土師器	坏	全	12.9	4.6	4.0	0.36	0.31	－	－	回糸(右)	摩滅	
283	4	SD01A	土師器	坏	全	13.6	4.2	4.0	0.31	0.29	－	－	回糸(右)	摩滅	
283	5	SD01A	土師器	坏	全	13.0	4.6	4.1	0.35	0.32	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
283	6	SD01A	土師器	坏	全	13.5	4.2	4.2	0.31	0.31	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
283	7	SD01A	土師器	坏	全	13.3	3.9	4.4	0.29	0.33	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
283	8	SD01A	土師器	坏	全	12.2	4.0	4.0	0.33	0.33	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	漆付着
283	9	SD01A	土師器	坏	ロ～底	11.4	4.3	4.0	0.38	0.35	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
283	10	SD01A	土師器	坏	ロ～底	13.6	5.5	4.3	0.40	0.32	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
283	11	SD01A	土師器	坏	ロ～底	13.0	4.0	4.6	0.31	0.35	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
283	12	SD01A	土師器	坏	ロ～底	11.2	4.3	4.5	0.38	0.40	－	－	切り離し不明	摩滅	
283	13	SD01A	土師器	坏	全	11.8	5.3	4.6	0.45	0.39	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
283	14	SD01A	土師器	坏	全	12.3	3.7	4.3	0.30	0.35	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	内面黒漆
283	15	SD01A	土師器	坏	ロ～底	12.1	4.7	5.0	0.39	0.41	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
284	1	SD01A	土師器	坏	ロ～底	12.1	4.6	4.0	0.38	0.33	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
284	2	SD01A	土師器	坏	ロ～底	14.9	6.2	4.2	0.42	0.28	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
284	3	SD01A	土師器	坏	ロ	12.3	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
284	4	SD01A	土師器	坏	ロ	13.8	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
284	5	SD01A	土師器	坏	ロ	12.4	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	外面に掻傷のようなものあり
284	6	SD01A	土師器	坏	ロ	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
284	7	SD01A	土師器	坏	ロ	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
284	8	SD01A	土師器	坏	ロ	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	

第71表　土器類(坏等)観察表(８)

挿図番号	遺物番号	出土地点	種別	器種	残存部位	口径	底径	器高	底径指数	高径指数	台高	台径	外底部／台部特徴	器面特徴	備考
284	9	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
284	10	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
284	11	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		摩滅	
284	12	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
284	13	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		摩滅	
284	14	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
284	15	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
284	16	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
284	17	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
284	18	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
284	19	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
284	20	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		摩滅	
284	21	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
284	22	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
284	23	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
284	24	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
284	25	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
284	26	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
284	27	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		摩滅	
284	28	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		摩滅	
284	29	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
284	30	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
284	31	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
284	32	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
284	33	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
284	34	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	内外タール付着
284	35	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
284	36	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
284	37	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
285	1	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
285	2	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
285	3	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
285	4	SD01A	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
285	5	SD01A	土師器	坏	底	－	4.6	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
285	6	SD01A	土師器	坏	底	－	4.6	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
285	7	SD01A	土師器	坏	底	－	4.7	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
285	8	SD01A	土師器	坏	底	－	4.1	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
285	9	SD01A	土師器	坏	底	－	4.5	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
285	10	SD01A	土師器	坏	底	－	5.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
285	11	SD01A	土師器	坏	全	13.1	4.1	4.9	0.31	0.37	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	内外タール付着
285	12	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	5.1	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
285	13	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.2	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
285	14	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	5.1	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
285	15	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	5.2	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
285	16	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	5.0	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
285	17	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	5.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
285	18	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.1	－	－	－	－	－	回糸(右)	内面ロクロナデ、外面摩滅	内タール付着
285	19	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	6.0	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
285	20	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	5.1	－	－	－	－	－	回糸(右)	内面摩滅、外面ロクロナデ	
285	21	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.6	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
286	1	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	5.7	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
286	2	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.3	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
286	3	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.9	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
286	4	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	5.7	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
286	5	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	5.0	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
286	6	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	5.5	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
286	7	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	6.3	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
286	8	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	8.4	－	－	－	－	－	摩滅	摩滅	
286	9	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	6.2	－	－	－	－	－	摩滅	摩滅	
286	10	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
286	11	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.2	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
286	12	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.6	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
286	13	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	6.0	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
286	14	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.4	－	－	－	－	－	回糸(右)	内面ロクロナデ、外面摩滅	
286	15	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.3	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
286	16	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	5.7	－	－	－	－	－	回糸(右)	内面ロクロナデ、外面摩滅	
286	17	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.5	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
286	18	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.5	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	切痕
286	19	SD01A	土師器	坏	底	－	5.4	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
286	20	SD01A	土師器	坏	底	－	6.8	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
287	1	SD01A	土師器	坏	底	－	5.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
287	2	SD01A	土師器	坏	底	－	5.0	－	－	－	－	－			
287	3	SD01A	土師器	坏	底	－	5.6	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
287	4	SD01A	土師器	坏	底	－	5.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
287	5	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.5	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	

第72表　土器類(坏等)観察表(9)

挿図番号	遺物番号	出土地点	種別	器種	残存部位	口径	底径	器高	底径指数	高径指数	台高	台径	外底部／台部特徴	器面特徴	備考
287	6	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	3.4	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	籾痕(胴下)
287	7	SD01A	土師器	坏	底	－	4.7	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
287	8	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.8	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
287	9	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.8	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
287	10	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.9	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
287	11	SD01A	土師器	坏	底	－	5.3	－	－	－	－	－	摩滅	摩滅	
287	12	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.5	－	－	－	－	－	回糸(左)	内外面ロクロナデ	
287	13	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	5.1	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
287	14	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.6	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
287	15	SD01A	土師器	坏	底	－	5.5	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
287	16	SD01A	土師器	坏	底	－	5.0	－	－	－	－	－	切り離し不明	不明	
287	17	SD01A	土師器	坏	底	－	4.1	－	－	－	－	－	回糸(左)	内外面ロクロナデ	
287	18	SD01A	土師器	坏	底	－	4.2	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
287	19	SD01A	土師器	坏	底	－	5.4	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
287	20	SD01A	土師器	坏	底	－	5.2	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
287	21	SD01A	土師器	坏	底	－	4.3	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	内タール付着
287	22	SD01A	土師器	坏	底	－	3.7	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	籾痕(底)
287	23	SD01A	土師器	坏	底	－	4.0	－	－	－	－	－	切り離し不明	不明	
287	24	SD01A	土師器	坏	底	－	5.0	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
287	25	SD01A	土師器	坏	底	－	5.4	－	－	－	－	－	回糸(右)	内面ロクロナデ、外面不明	
287	26	SD01A	土師器	坏	底	－	4.5	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
287	27	SD01A	土師器	坏	底	－	4.5	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
287	28	SD01A	土師器	坏	底	－	3.9	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
287	29	SD01A	土師器	坏	底	－	4.7	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
287	30	SD01A	土師器	坏	底	－	4.1	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
288	1	SD01A	土師器	坏	底	－	4.1	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
288	2	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.4	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
288	3	SD01A	土師器	坏	底	－	6.4	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	内タール付着
288	4	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.9	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	
288	5	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	5.2	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
288	6	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	6.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	漆固着
288	7	SD01A	土師器	坏	底	－	5.7	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
288	8	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	6.0	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
288	9	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	5.5	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
288	10	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	3.6	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
288	11	SD01A	土師器	坏	底	－	4.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
288	12	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	6.8	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
288	13	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	5.4	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
288	14	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	5.1	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	籾痕
288	15	SD01A	土師器	坏	底	－	5.3	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
288	16	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	6.2	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
288	17	SD01A	土師器	坏	底	－	4.3	－	－	－	－	－	切り離し不明	内面ロクロナデ、外面摩滅	
288	18	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.2	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
288	19	SD01A	土師器	坏	底	－	5.9	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
288	20	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.8	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
288	21	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.1	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
288	22	SD01A	土師器	坏	底	－	5.7	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
288	23	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	5.7	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
288	24	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.2	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
288	25	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.8	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
288	26	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	3.8	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
289	1	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.9	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
289	2	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	5.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	内面ロクロナデ、外面摩滅	
289	3	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.1	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
289	4	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
289	5	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.6	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
289	6	SD01A	土師器	坏	底	－	3.9	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
289	7	SD01A	土師器	坏	底	－	5.6	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
289	8	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.7	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
289	9	SD01A	土師器	坏	底	－	5.5	－	－	－	－	－	摩滅	摩滅	
289	10	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.5	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
289	11	SD01A	土師器	坏	底	－	5.1	－	－	－	－	－	摩滅	摩滅	
289	12	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.1	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
289	13	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	5.0	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
289	14	SD01A	土師器	坏	底	－	4.6	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
289	15	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	3.9	－	－	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
289	16	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	5.5	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
289	17	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.5	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
289	18	SD01A	土師器	坏	底	－	5.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
289	19	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	7.5	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
289	20	SD01A	土師器	坏	底	－	5.3	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
289	21	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	4.5	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
289	22	SD01A	土師器	坏	底	－	5.5	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
289	23	SD01A	土師器	坏	胴	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
289	24	SD01A	土師器	坏	胴～底	－	－	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	

第73表　土器類(坏等)観察表(10)

挿図番号	遺物番号	出土地点	種別	器種	残存部位	口径	底径	器高	底径指数	高径指数	台高	台径	外底部／台部特徴	器面特徴	備考
289	25	SD01A	土師器	坏	底	－	－	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
289	26	SD01A	土師器	皿	全	13.3	5.7	2.5	0.43	0.19	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
290	1	SD01A	土師器	有台坏	胴～底	－	7.3	－	－	－	0.8	7.3	切離不明→付高台	内外面ロクロナデ	
290	2	SD01A	土師器	有台坏	底	－	6.2	－	－	－	1.1	7.7	切離不明→付高台	不明	
290	3	SD01A	土師器	有台坏	胴～底	－	5.1	－	－	－	1.3	6.5	切離不明→付高台	内外面ロクロナデ	
290	4	SD01A	土師器	有台坏	底	－	4.7	－	－	－	1.1	5.0	回糸(右)→付高台	不明	
290	5	SD01A	内黒	有台坏	底	－	6.7	－	－	－	1.1	7.0	切り離し不明	不明	
290	6	SD01A	土師器	有台坏	胴～底	－	－	－	－	－	－	－	切り離し不明	内面摩滅、外面ロクロナデ	
290	7	SD01A	土師器	高坏	台	－	－	－	－	－	－	8.9		内外面ロクロナデ	
293	10	SD01A	両黒	坏	口	16.1	－	－	－	－	－	－		内外面ミガキ	
293	11	SD01A	両黒	坏	口	12.9	－	－	－	－	－	－		内外面ミガキ	
293	12	SD01A	両黒	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ミガキ	
293	13	SD01A	両黒	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ミガキ	
293	14	SD01A	内黒	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内面ミガキ、外面ロクロナデ	
293	15	SD01A	内黒	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内面ミガキ、外面ロクロナデ	
293	16	SD01A	内黒	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内面ミガキ、外面ロクロナデ	
293	17	SD01A	両黒	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ミガキ	
293	18	SD01A	内黒	坏	胴～底	－	4.2	－	－	－	－	－	切り離し不明	内面ミガキ、外面ロクロナデ	
293	19	SD01A	内黒	坏	胴～底	－	6.9	－	－	－	－	－	切り離し不明	内面ミガキ、外面ロクロナデ	
293	20	SD01A	両黒	坏	胴～底	－	－	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ミガキ	
293	21	SD01A	内黒	坏	底	－	6.5	－	－	－	－	－	回糸(右)	内面ミガキ、外面不明	
294	1	SD01A	内黒	有台坏	底	－	6.6	－	－	－	2.2	7.7	切り離し不明	内面ミガキ、外面ロクロナデ	
294	2	SD01A	内黒	有台坏	底	－	7.2	－	－	－	0.7	7.3	回糸→付高台	内面ミガキ、外面ロクロナデ	
294	3	SD01A	内黒	有台坏	胴～底	－	6.7	－	－	－	0.6	6.4	切離不明→付高台	内面ミガキ、外面ロクロナデ	
294	4	SD01A	内黒	有台坏	胴～底	－	7.1	－	－	－	－	－	切離不明→付高台	内面ミガキ、外面ロクロナデ	
294	5	SD01A	内黒	有台坏	底	－	5.6	－	－	－	0.5	5.2	回糸→付高台	内面ミガキ、外面ロクロナデ	
294	6	SD01A	両黒	有台坏	底	－	8.1	－	－	－	0.9	8.6	切離不明→付高台	内外面ミガキ	
294	7	SD01A	両黒	有台坏	底	－	－	－	－	－	－	8.4	切離不明→付高台	内外面ミガキ	
294	8	SD01A	内黒	有台坏	底	－	－	－	－	－	－	－	切り離し不明	内面ミガキ、外面不明	
294	9	SD01A	両黒	有台坏	底	－	4.5	－	－	－	1.2	4.7	切離不明→付高台	内外面ミガキ	
294	10	SD01A	両黒	有台坏	胴～底	－	5.3	－	－	－	0.5	5.4	回糸(右)→付高台	内外面ミガキ	
294	11	SD01A	須恵器	坏	全	12.8	8.6	3.7	0.67	0.29	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
294	12	SD01A	須恵器	坏	口～底	13.0	7.8	3.3	0.60	0.25	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
294	13	SD01A	須恵器	坏	口	13.2	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
294	14	SD01A	須恵器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
294	15	SD01A	須恵器	坏	胴	－	5.2	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
294	16	SD01A	須恵器	坏	胴～底	－	4.7	－	－	－	－	－	回糸	内外面ロクロナデ	
294	17	SD01A	須恵器	坏	底	－	6.6	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
294	18	SD01A	須恵器	坏	胴～底	－	9.1	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
294	19	SD01A	須恵器	坏	胴～底	－	8.2	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
294	20	SD01A	須恵器	坏	胴～底	－	4.4	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
294	21	SD01A	須恵器	坏	胴～底	－	5.1	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
294	22	SD01A	須恵器	坏	底	－	7.0	－	－	－	－	－	切り離し不明	不明	
294	23	SD01A	須恵器	坏	底	－	－	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
294	24	SD01A	須恵器	坏	底	－	－	－	－	－	－	－	切り離し不明	内面ロクロナデ、外面ナデ	
294	25	SD01A	須恵器	坏	底	－	7.4	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
294	26	SD01A	須恵器	坏	底	－	5.7	－	－	－	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
299	3	SD92A	土師器	坏	胴～底	－	4.2	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
299	4	SD92A	土師器	坏	底	－	6.7	－	－	－	－	－	摩滅	摩滅	
299	5	SD92A	土師器	有台坏	底	－	7.6	－	－	－	－	－	付高台(放射状痕跡)	摩滅	指頭圧痕
299	6	SD92A	土師器	有台坏	底	－	4.4	－	－	－	－	－	切離不明→付高台	摩滅	
306	1	範14トレンチ	土師器	坏	全	13.3	5.8	4.8	0.44	0.36	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
306	2	ME98区	土師器	坏	口	－	－	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	墨書「右カ」
306	3	範２トレンチ	土師器	鉢？	胴	－	－	－	－	－	－	－		ハケメ？	刻書「ロ」
306	5	表採	須恵器	坏	口～底	14.0	5.9	4.3	0.42	0.31	－	－	切り離し不明	内外面ロクロナデ	
306	6	NB128区	須恵器	坏	胴～底	－	5.3	－	－	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	墨書
306	9	MP116区	かわらけ	坏	口～底	12.2	8.3	2.9	0.68	0.24	－	－	切り離し不明	手づくね、胴下ヘラケズリ	

第74表　土器類(坏等)観察表(11)

挿図番号	遺物番号	出土地点	種別	器種	残存部位	口径	底径	器高	台高	台径	外底部／台部特徴	器面特徴	備考
241	18	SB59③	土師器	鉢	口	34.3	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
241	19	SB59④	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
241	20	SB59④	土師器	甕	胴～底	－	－	－	－	－	摩滅	内外面ロクロナデ	
241	25	SB59③	内黒	鉢	胴～底	－	7.6	－	－	－	切離不明	内ミガキ、外ケズリ	
242	1	SB53⑬	須恵器	甕	胴	－	－	－	－	－		内外面タタキ	
242	3	SB59④	須恵器	壺	胴	－	－	－	－	－	→付高台	内面ロクロナデ、外面ナデ	
242	4	SB59⑪	須恵器	壺	胴～底	－	12.7	－	1.0	12.7	切離不明	内外面ロクロナデ	
242	5	SB59④SD01A	須恵器	壺	胴～底	－	9.1	－	0.9	9.9	切離不明→付高台	内外面ナデ	
242	6	SB59③	須恵器	壺	底	－	－	－	－	10.9	切離不明	不明	
243	1	SB59⑪SD01A	須恵器	甕	口	47.7	－	－	－	－	→付高台	内面ナデ、外面ロクロナデ→波状文	
243	2	SB59③SD01A	須恵器	壺	口～胴	15.1	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
243	2	SB59⑫SD01A	須恵器	甕	口～胴	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ→波状文	
244	1	SB59②SD01A	須恵器	甕	口～胴	－	－	－	－	－		内外面タタキ	
244	2	SB59⑪SD01A	須恵器	甕	胴	－	－	－	－	－		内外面タタキ	
245	1	SB59⑨	須恵器	甕	胴	－	－	－	－	－		内面ナデ、外面タタキ	
245	2	SB59⑫	須恵器	甕	胴	－	－	－	－	－		内外面タタキ	
245	3	SB59⑪	須恵器	甕	胴	－	－	－	－	－		内外面タタキ	
246	1	SB59③	須恵器	甕	胴	－	－	－	－	－		内外面タタキ	
246	2	SB59③	須恵器	甕	胴	－	－	－	－	－		内面ナデ、外面タタキ	
246	3	SB136⑦	須恵器	甕	胴	－	－	－	－	－		内外面タタキ	
246	4	SB81②	陶器	擂り鉢	胴	－	－	－	－	－		内面オロシメ、外面ナデ	
246	11	MK104SKP 1	須恵器	甕	胴	－	－	－	－	－		内外面タタキ	
247	21	SI63B竈	土師器	甕	口	21.3	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
247	22	SI63B竈	土師器	甕	底	－	9.8	－	－	－	切離不明	摩滅	
247	23	SI63B竈	土師器	甕	胴	－	－	－	－	－		内外面タタキ	
247	24	SI63B	須恵器	甕	胴	－	－	－	－	－		内外面タタキ	
248	8	SKI63C	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
248	9	SKI63C	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
248	10	SKI63C	土師器	甕	胴	－	－	－	－	－		内面ロクロナデ、外面摩滅	
248	11	SKI63C	土師器	甕	胴～底	－	6.7	－	－	－	切離不明	内面ロクロナデ、外面摩滅	
248	12	SKI63C	土師器	甕	胴	－	－	－	－	－		内外面タタキ	
248	13	SKI63C	土師器	甕	胴	－	－	－	－	－		内外面タタキ	
248	19	SKI64	土師器	甕	口	22.5	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
249	3	SKI65	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		摩滅	
250	9	SK08	土師器	甕	底	－	6.3	－	－	－	回糸	摩滅	
250	15	SK08	須恵器	壺	胴	－	－	－	－	－		内面ロクロナデ、外面ナデ	
252	23	SK05	土師器	有台鉢	胴～底	－	6.5	－	0.9	6.5	切離不明→付高台	内外面ロクロナデ	
253	1	SK05	土師器	甕	口	23.2	－	－	－	－		摩滅	
253	2	SK05	土師器	甕	口	12.9	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
253	3	SK05	土師器	甕	口	23.9	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
253	4	SK05	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		摩滅	
253	5	SK05	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
253	6	SK05	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
253	7	SK05	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
253	8	SK05	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
253	9	SK05	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
253	10	SK05	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		摩滅	
253	11	SK05	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
253	12	SK05	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
253	13	SK05	土師器	甕	胴～底	－	5.7	－	－	－	摩滅	内面不明、胴下ケズリ	
253	14	SK05	土師器	甕	底	－	7.0	－	－	－	回糸(右)	摩滅	
253	15	SK05	土師器	甕	胴～底	－	9.7	－	－	－	切離不明→付高台	内面ナデ、外面平行タタキ	
253	16	SK05	土師器	甕	胴	－	－	－	－	－	摩滅	内面不明、外面平行タタキ	
253	17	SK05	土師器	甕	胴	－	－	－	－	－		内面無文タタキ、外面平行タタキ	
254	13	SK05	内黒	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
255	1	SK05	須恵器	壺	胴～底	－	12.3	－	1.0	12.4	切離不明	内外面ナデ	
255	2	SK05	須恵器	壺	胴	－	－	－	－	－		内外面ケズリ？	
255	3	SK05	須恵器	壺	胴	－	－	－	－	－		内外面タタキ	
255	4	SK05	須恵器	壺	底	－	8.8	－	－	－	付高台(放射状痕跡)	内面ナデ、外面？	
255	5	SK05	須恵器	壺	底	－	7.3	－	－	－	切離不明	不明	
256	1	SK05	須恵器	壺	胴	－	－	－	－	－		内外面ナデ	
256	2	SK05	須恵器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ→波状文	

第75表　土器類(甕等)観察表(１)

挿図番号	遺物番号	出土地点	種別	器種	残存部位	口径	底径	器高	台高	台径	外底部／台部特徴	器面特徴	備考
256	3	SK05	須恵器	甕	口	22.5	－	－	－	－		内外面タタキ	
256	4	SK05	須恵器	甕	口	19.9	－	－	－	－		内外面タタキ	
257	1	SK05	須恵器	甕	胴	－	－	－	－	－		内外面タタキ	
257	2	SK05	灰釉陶器	甕	肩～胴	－	－	－	－	－		内面ナデ、外面紐造りタタキ締め	
257	3	SK05	須恵器	甕	胴	－	－	－	－	－		摩滅	
274	6	SK25	土師器	甕	口	18.5	－	－	－	－		内面ロクロナデ、外面摩滅	
274	7	SK25	土師器	甕	口	16.4	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
274	8	SK25	土師器	甕	口	19.3	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
274	9	SK25	土師器	甕	口	11.4	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
274	10	SK25	土師器	甕	底	－	5.9	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
274	11	SK25	土師器	甕	胴	－	－	－	－	－		内外面タタキ	
274	12	SK25	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
275	9	SK25	須恵器	壺	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
275	10	SK25	須恵器	壺	胴～底	－	6.1	－	－	－	回糸(右)	内外面ロクロナデ	
275	11	SK25	須恵器	壺	胴	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
275	12	SK25	須恵器	壺	胴	－	－	－	－	－		内面ナデ、外面タタキ	
276	1	SK25	須恵器	甕	口	17.1	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
276	2	SK25	須恵器	甕	胴	－	－	－	－	－		内外面ナデ	
277	12	SK35	土師器	甕	口	23.4	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
278	16	SK39	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
278	17	SK39	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
278	18	SK39	土師器	甕	底	－	10.4	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
279	5	SK39	内黒	甕	胴～底	－	4.9	－	－	－	切り離し不明	内面ミガキ、外面ロクロナデ	
279	6	SK39	内黒	甕	底	－	8.1	－	－	－	回糸(右)	内面ミガキ、外面不明	
279	7	SK39	内黒	甕	底	－	10.6	－	－	－	回糸(右)	内面ミガキ、外面不明	
279	8	SK39	須恵器	甕	胴	－	－	－	－	－		内外面タタキ	
279	9	SK39	須恵器	甕	胴	－	－	－	－	－		内外面タタキ	
281	12	SK52	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		摩滅	
281	13	SK52	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		摩滅	
281	14	SK52	土師器	甕	胴～底	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
282	1	SK52	須恵器	甕	口	12.4	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
282	2	SK52	須恵器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
282	3	SK52	須恵器	甕	胴	－	－	－	－	－		内外面タタキ	
282	4	SK52	須恵器	甕	胴	－	－	－	－	－		内外面タタキ	
282	5	SK52	須恵器	甕	胴	－	－	－	－	－		内外面タタキ	
282	6	SK52	須恵器	甕	胴	－	－	－	－	－		内外面タタキ	
290	8	SD01A	土師器	鉢	口	41.2	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	外タール付着
290	9	SD01A	土師器	鉢	口	32.8	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	沈線？2本アリ
290	10	SD01A	土師器	鉢	口	29.9	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
290	11	SD01A	土師器	鍋	口	－	－	－	－	－		内面摩滅、外面ロクロナデ	
290	12	SD01A	土師器	鍋	口	－	－	－	－	－		摩滅	
291	1	SD01A	土師器	甕	口	27.9	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
291	2	SD01A	土師器	甕	口	11.4	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
291	3	SD01A	土師器	甕	口	21.5	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
291	4	SD01A	土師器	甕	口	13.1	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
291	5	SD01A	土師器	甕	口	20.9	－	－	－	－		内外面ナデ	
291	6	SD01A	土師器	甕	口	22.4	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
291	7	SD01A	土師器	甕	口	20.1	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
291	8	SD01A	土師器	甕	口	23.8	－	－	－	－		摩滅	
291	9	SD01A	土師器	甕	口	17.1	－	－	－	－		摩滅	
291	10	SD01A	土師器	甕	口	24.0	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
291	11	SD01A	土師器	甕	口	10.6	－	－	－	－		摩滅	
291	12	SD01A	土師器	甕	口	22.7	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
291	13	SD01A	土師器	甕	口	15.1	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
291	14	SD01A	土師器	甕	口	24.4	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
292	1	SD01A	土師器	甕	口	21.9	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
292	2	SD01A	土師器	甕	口	16.8	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
292	3	SD01A	土師器	甕	口	21.4	－	－	－	－		内外面ナデ	
292	4	SD01A	土師器	甕	口	12.1	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
292	5	SD01A	土師器	甕	口	23.9	－	－	－	－		摩滅	
292	6	SD01A	土師器	甕	口	24.3	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
292	7	SD01A	土師器	甕	口	14.5	－	－	－	－		摩滅	

第76表　土器類(甕等)観察表(2)

挿図番号	遺物番号	出土地点	種別	器種	残存部位	口径	底径	器高	台高	台径	外底部／台部特徴	器面特徴	備考
292	8	SD01A	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		摩滅	内外タール付着
292	9	SD01A	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
292	10	SD01A	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
292	11	SD01A	土師器	甕	口	－	－	－	－	－			
292	12	SD01A	土師器	甕	口	－	－	－	－	－			
292	13	SD01A	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
292	14	SD01A	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
292	15	SD01A	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
292	16	SD01A	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
292	17	SD01A	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
292	18	SD01A	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
292	19	SD01A	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
292	20	SD01A	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
292	21	SD01A	土師器	甕	胴～底	－	4.9	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
292	22	SD01A	土師器	甕	胴～底	－	8.4	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
292	23	SD01A	土師器	甕	胴～底	－	8.4	－	－	－	切り離し不明	内面タタキ、外面ナデ	
292	24	SD01A	土師器	甕	底	－	－	－	－	－	切り離し不明	内面摩滅、外面タタキ	
292	25	SD01A	土師器	甕	底	－	11.6	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
293	1	SD01A	土師器	甕	胴～底	－	9.6	－	－	－	切り離し不明	内面摩滅、外面タタキ	
293	2	SD01A	土師器	甕	胴～底	－	14.6	－	－	－	切り離し不明	内面摩滅、外面ナデ	
293	3	SD01A	土師器	甕	胴～底	－	－	－	－	－	回糸	摩滅	
293	4	SD01A	土師器	甕	胴～底	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	外タール付着
293	5	SD01A	土師器	甕	胴～底	－	11.9	－	－	－	切り離し不明	内面摩滅、外面ナデ	
293	6	SD01A	土師器	甕	底	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
293	7	SD01A	土師器	甕	底	－	－	－	－	－	切り離し不明	摩滅	
293	8	SD01A	土師器	甕	胴	－	－	－	－	－			
293	9	SD01A	土師器	甕	胴	－	－	－	－	－		摩滅	
295	1	SD01A	須恵器	壺	口～底	16.7	10.2	27.2	0.4	10.3	切り離し不明	内外面ナデ	
295	2	SD01A	須恵器	壺	全	12.2	8.6	25.0	0.7	9.0	切り離し不明	内外面ナデ	
295	3	SD01A	須恵器	壺	口	16.1	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
295	4	SD01A	須恵器	壺	口	14.8	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
295	5	SD01A	須恵器	壺	口	11.9	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
295	6	SD01A	須恵器	壺	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
295	7	SD01A	須恵器	壺	胴～底	－	11.0	－	－	－	回糸	内外面ナデ	
295	8	SD01A	須恵器	壺	胴～底	－	10.8	－	－	－	切り離し不明	内面ロクロナデ、外面ナデ	
295	9	SD01A	須恵器	壺	胴～底	－	9.9	－	－	－	切り離し不明	内外面ナデ	
296	1	SD01A	須恵器	甕	口	23.8	－	－	－	－		内外面タタキ	
296	2	SD01A	須恵器	甕	口	23.1	－	－	－	－		内外面タタキ	
296	3	SD01A	須恵器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ→波状文	
296	4	SD01A	須恵器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面タタキ	
296	5	SD01A	須恵器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
296	6	SD01A	須恵器	甕	口	－	－	－	－	－		内外面ナデ	
297	1	SD01A	須恵器	甕	口	37.0	－	－	－	－		内外面タタキ	
297	2	SD01A	須恵器	甕	口	18.9	－	－	－	－		内外面タタキ	
297	3	SD01A	須恵器	甕	口	25.1	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
297	4	SD01A	須恵器	甕	口	21.3	－	－	－	－		内外面ロクロナデ	
297	5	SD01A	須恵器	甕	胴～底	－	8.6	－	－	－	切り離し不明	内外面ナデ	
298	1	SD01A	須恵器	甕	胴	－	－	－	－	－		内外面タタキ	
298	2	SD01A	須恵器	甕	胴	－	－	－	－	－		内外面タタキ	
298	3	SD01A	須恵器	甕	胴	－	－	－	－	－		内面ナデ、外面タタキ	
298	4	SD01A	灰釉陶器	甕	胴	－	－	－	－	－		内面ナデ、外面紐造りタタキシメ	
299	1	SD01A	須恵器	甕	胴	－	－	－	－	－		内外面ナデ	
299	2	SD01A	須恵器	甕	胴	－	－	－	－	－		内外面タタキ	
299	7	SD92A	土師器	甕	口	－	－	－	－	－		摩滅	
306	4		須恵器	蓋	口							内面ロクロナデ、外面ケズリ	
306	7		須恵器	壺	口							内外面ロクロナデ(胴部タタキ)	
306	8		須恵器	壺	口							内面ナデ、外面摩滅	
306	10	MO110区	陶器	播り鉢	口	－	－	－	－	－		口内面波状文、内面オロシメ	珠洲系陶器
306	11		陶器	播り鉢	胴							内面オロシメ、外面ナデ	珠洲系陶器
306	12	MQ117区	陶器	播り鉢	胴	－	－	－	－	－		内面オロシメ、外面ナデ	珠洲系陶器

第77表　土器類(甕等)観察表(３)

第5章　分析結果

第1節　江原嶋1遺跡の掘立柱建物跡に関する若干の考察

五十嵐典彦

1　掘立柱建物群の配置

江原嶋1遺跡は、平鹿郡大雄村阿気集落の南東外れの水田地帯に位置する。遺跡西側を油川が貫流し、阿気集落の北西を流れる雄物川へ注ぐ。遺跡の区域はおおよそ南北250m、東西60mで、北西から南東にかけて細長く展開する。

秋田県埋蔵文化財センターの調査結果によると、平安時代を主時期とする掘立柱建物群は、その調査区の中央やや北よりに20棟以上がまとまって検出されている。掘立柱建物群の東側には、油川に平行するように、掘立柱建物群と同時代ごろに掘削された幅1m前後の溝があり、さらにその東側には柵状に連なる柱穴も見つかっている。この溝(SD01A)と柵状の柱穴(SA83)は集落を区画する防御的施設だったとも考えられる。

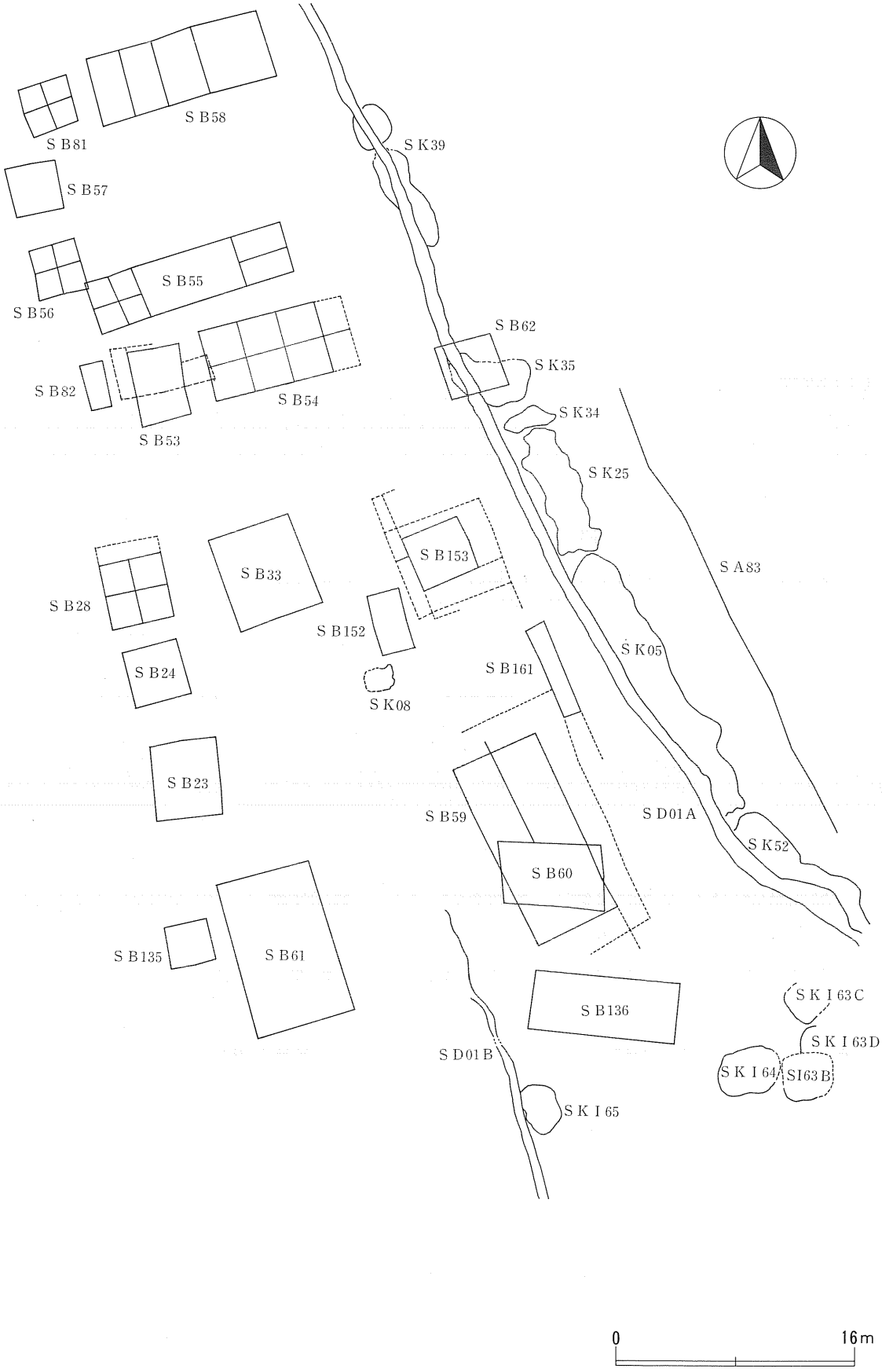
掘立柱建物群は各建物相互の関連性や配置、規模などを勘案すると、一般農村集落を規定して良さそうであるが、その集住形態には際立った規則性は見いだせない。しかし、集落の東側を区切る溝(SD01A)に沿って南北に長く配置されていること、各建物の妻側がこの溝に平行もしくは直交するように建てられていることのように一定の計画性が認められる。つまり、各建物は〈北西－南東〉を方位軸として建てられたようである。当然のことながら、各建物の建て替えのなどの変遷は不明であり、一年代を区切った集落形態が配置図に示すようなものではなかったことだけは付記しておく。いずれにしても、近世農村集落の集住形態や屋敷構えとは異なるものであり、平安時代の集落形態の一部の様相を知るうえで注目される。

2　掘立柱建物の規模

各建物の配置は、先述したように、〈北西－南東〉を軸とする方向性のもとに建てられたと考えられる。各建物の規模は、梁間は1間ないし2間が大半で、その中でもごく小規模な建物を除いては梁間2間である。桁行は、当遺跡では最大の7間の建物が1棟あるが、この建物(SB55)は2棟に分割される可能性がある。確実な建物で最大の桁行は5間である。

つまり、集落の各家の本屋規模の建物は梁間2間、桁行4間ないし5間程度である。本屋級の建物には庇が付くかもしれない建物が2棟あるが、柱筋が不明確なため確定できない。なお、ここでいう本屋とは、居住を主とする中心建物を指している。母屋あるいは主家と言ったほうが理解しやすいかもしれないが、どちらも庇に対比する言葉として誤読されることもあるので、一軒の中心建物を本屋と呼称する。なお、庇などが接続する場合の中心部分を主屋と呼ぶことにする。江原嶋1遺跡で庇を構成する柱穴のほとんどは、母屋柱に対する庇柱、あるいは近世民家のような上屋柱に対する下屋柱を指すものではなく、差掛け屋根のような形式を意味している。

数棟の建物には柱根も遺存しており、^{14}C(放射性炭素)年代測定によると、西暦600年代から900年



第312図　掘立柱建物配置図（中央部のみ）

代にかけてのものである。柱根は直径20cmほどのものが多く、根元は手斧のような工具で八角形状に加工されている。建物の規模からすると、近世民家の側柱(大半が4.5寸から5寸)と比較すると、一回り以上太い柱材である。しかも、建物の規模が梁間2間、桁行3間から5間程度であることを勘案すると、柱の太さは際立っているが、反面、柱根が遺存する建物、たえばSB54の柱間寸法が8尺前後であることを考えれば、柱の太さは相応であると言える。

当遺跡では、柱間寸法は大略5.28尺から13.2尺まで多様な値を示している。その中で、本屋級の建物は7尺を越えるものが多く、小規模な付属屋級の建物は5尺余のものが少なくない。角柱はほとんど見られないが、各建物は柱筋の通りがよく、きわめて整然とした建物が多いことは特筆してよい。

3　掘立柱建物の検出

(1) SB23

梁間2間、桁行3間の建物である。柱間寸法は梁間が7尺台、桁行が5尺台である。柱穴底面は円形で直径20～35cmでほぼそろい、建物の各柱筋通りもよい。全体がきちんとした矩形である。

本屋・附属屋のどちらとも判断しがたいが、本屋としても無理はない。

SB23建物柱間寸法(尺)

柱間名(X.X)	柱間寸法	柱間名(Y.Y)	柱間寸法
X_0-X_1	7.39	Y_0-Y_1	5.45
X_1-X_2	7.13	Y_1-Y_2	5.45
		Y_2-Y_3	5.94

(2) SB24

梁間2間、桁行2間の建物である。柱間寸法は両方向とも6.3尺の正方形である。ただし、X_1・Y_0の柱穴はややずれている。建物種別は附属屋であろう。

SB24建物柱間寸法(尺)

柱間名(X.X)	柱間寸法	柱間名(Y.Y)	柱間寸法
X_0-X_1	6.30	Y_0-Y_1	6.30
X_1-X_2	6.30	Y_1-Y_2	6.30

(3) SB28

梁間2間、桁行2間の建物である。各柱筋の通りがよく、明瞭な建物である。どちらが梁間で桁行かの方向は不明である。いわゆる総柱の形式である。この建物で検討を要するのはY_2～Y_3通りで囲まれた一画を庇とするかどうかである。柱筋が通ることから主屋と一体な庇などの接続部とも考えられるが、軒桁の中間に柱が立たず、13尺スパンになるのが気になる。

SB28建物柱間寸法(尺)

柱間名(X.X)	柱間寸法	柱間名(Y.Y)	柱間寸法
X_0-X_1	6.60	Y_0-Y_1	7.40
X_1-X_2	6.60	Y_1-Y_2	7.40
		Y_2-Y_3	3.96

代にかけてのものである。柱根は直径20cmほどのものが多く、根元は手斧のような工具で八角形状に加工されている。建物の規模からすると、近世民家の側柱(大半が4.5寸から5寸)と比較すると、一回り以上太い柱材である。しかも、建物の規模が梁間2間、桁行3間から5間程度であることを勘案すると、柱の太さは際立っているが、反面、柱根が遺存する建物、たえばSB54の柱間寸法が8尺前後であることを考えれば、柱の太さは相応であると言える。

当遺跡では、柱間寸法は大略5.28尺から13.2尺まで多様な値を示している。その中で、本屋級の建物は7尺を越えるものが多く、小規模な付属屋級の建物は5尺余のものが少なくない。角柱はほとんど見られないが、各建物は柱筋の通りがよく、きわめて整然とした建物が多いことは特筆してよい。

3　掘立柱建物の検出

(1) SB23

梁間2間、桁行3間の建物である。柱間寸法は梁間が7尺台、桁行が5尺台である。柱穴底面は円形で直径20～35cmでほぼそろい、建物の各柱筋通りもよい。全体がきちんとした矩形である。

本屋・附属屋のどちらとも判断しがたいが、本屋としても無理はない。

SB23建物柱間寸法(尺)

柱間名(X.X)	柱間寸法	柱間名(Y.Y)	柱間寸法
X_0-X_1	7.39	Y_0-Y_1	5.45
X_1-X_2	7.13	Y_1-Y_2	5.45
		Y_2-Y_3	5.94

(2) SB24

梁間2間、桁行2間の建物である。柱間寸法は両方向とも6.3尺の正方形である。ただし、X_1・Y_0の柱穴はややずれている。建物種別は附属屋であろう。

SB24建物柱間寸法(尺)

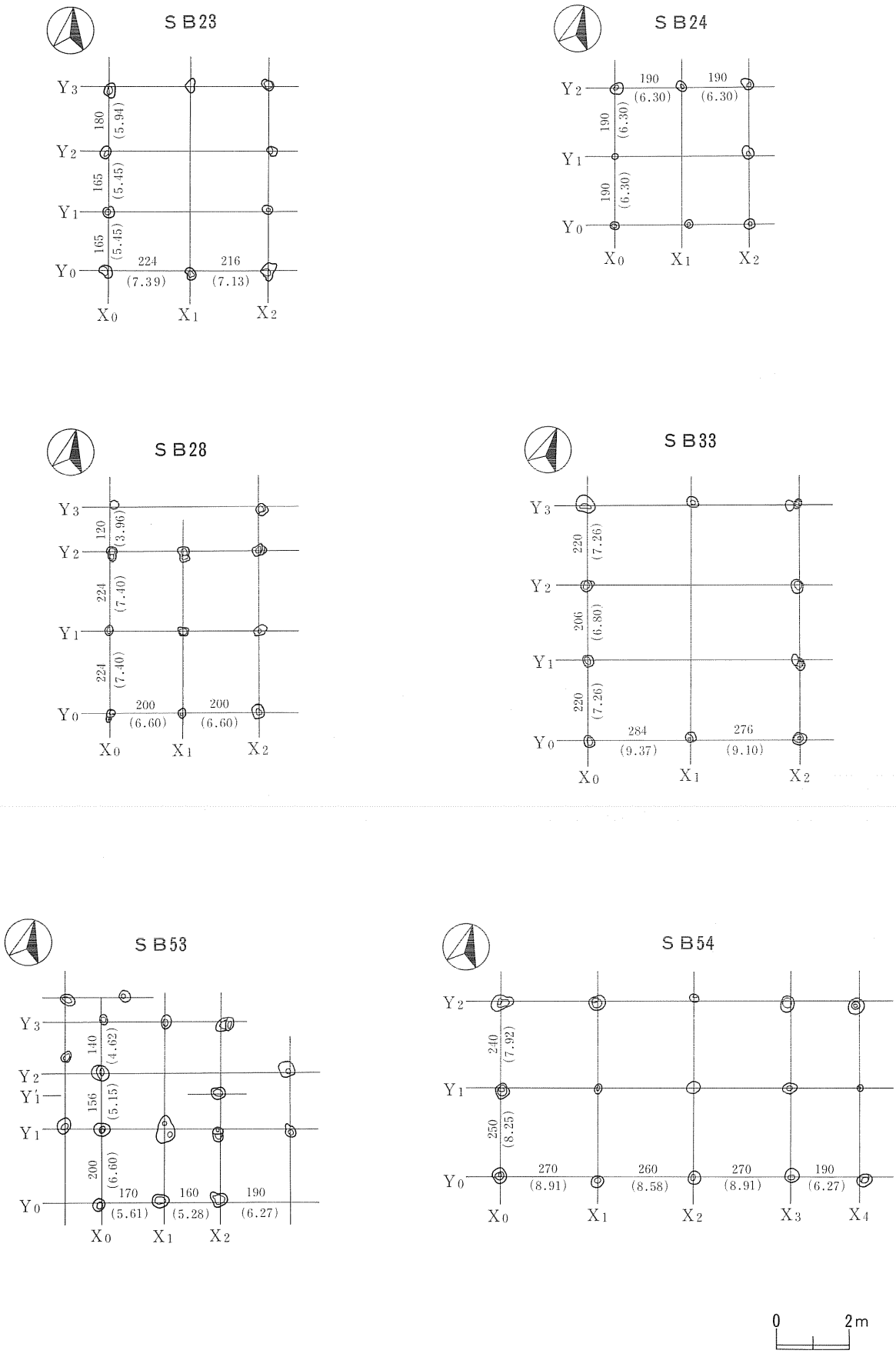
柱間名(X.X)	柱間寸法	柱間名(Y.Y)	柱間寸法
X_0-X_1	6.30	Y_0-Y_1	6.30
X_1-X_2	6.30	Y_1-Y_2	6.30

(3) SB28

梁間2間、桁行2間の建物である。各柱筋の通りがよく、明瞭な建物である。どちらが梁間で桁行かの方向は不明である。いわゆる総柱の形式である。この建物で検討を要するのはY_2～Y_3通りで囲まれた一画を庇とするかどうかである。柱筋が通ることから主屋と一体な庇などの接続部とも考えられるが、軒桁の中間に柱が立たず、13尺スパンになるのが気になる。

SB28建物柱間寸法(尺)

柱間名(X.X)	柱間寸法	柱間名(Y.Y)	柱間寸法
X_0-X_1	6.60	Y_0-Y_1	7.40
X_1-X_2	6.60	Y_1-Y_2	7.40
		Y_2-Y_3	3.96



第313図　掘立柱建物柱穴配置（１）

(4) SB 33

梁間2間、桁行3間の建物である。側柱のみで、中柱は立たない。梁間の柱間寸法は9尺を越える。また、中間の梁は19尺を越え、建物の規模に比較すると長大なスパンである。本屋であろうか。X_2・Y_0とX_2・Y_1の2本の柱穴が、近世から近現代にかけて利用された排水路(旧SD 26)によって切られているが、柱筋の通りは明瞭である。

SB 33建物柱間寸法(尺)

柱間名(X.X)	柱間寸法	柱間名(Y.Y)	柱間寸法
X_0−X_1	9.37	Y_0−Y_1	7.26
X_1−X_2	9.10	Y_1−Y_2	6.80
		Y_2−Y_3	7.26

(5) SB 53

明確な検出が困難な建物である。主部はX_0〜X_2とY_0〜Y_4の範囲で、梁間は2間、桁行3間と思われる。周辺に庇が取り巻いているようにも思えるが、確証はない。その周辺にも同時期ころの柱穴が混在し、それらとの複合的な関連も推測される。X_0・Y_0の柱穴に柱根(^{14}C年代測定で、西暦655〜875年)が遺存する。

SB 53建物柱間寸法(尺)

柱間名(X.X)	柱間寸法	柱間名(Y.Y)	柱間寸法
X_0−X_1	5.61	Y_0−Y_1	6.60
X_1−X_2	5.28	Y_1−Y_2	5.50
		Y_2−Y_3	4.62

(6) SB 54

SB 54建物はSB 53建物の東側に隣接し、この両建物の棟が接するであろう周辺には切合いや重複する柱穴も一部認められることから、年代的にずれているか、あるいは両建物は複合的に接続する一棟と見なすことも可能である。しかし、平安時代の農村集落民家に棟と棟が生活機能によって分化して接続するような建物が存在したとは考えにくい。そのため、SB 53建物とはっきり区別して検出した。その結果、建物の規模は、梁間2間、桁行3間ないし4間である。柱間寸法は8尺を越える。但し、X_3〜X_4は6尺台で、X_4通りを含めるか否かの判断に迷う。

数本の柱根が遺存し、いずれもクリ材で^{14}C年代測定によると、西暦890〜1025年である。中柱の一本(X_2・Y_1)は旧水田水路(旧SD 02)によって欠失した可能性がある。

SB 54建物柱間寸法(尺)

柱間名(X.X)	柱間寸法	柱間名(Y.Y)	柱間寸法
X_0−X_1	8.91	Y_0−Y_1	8.25
X_1−X_2	8.58	Y_1−Y_2	7.92
X_2−X_3	8.91		
X_3−X_4	6.27		

(７) SB 55

大半の柱穴が50cm前後の方形掘り方である。梁間２間、桁行７間もしくは８間である。というのは、X_6・X_7の中間部に後世の水田用水路である溝(SD 02)が通り、その部分の柱穴が欠失した可能性も考えられるからである。

建物の規模からいうと、本屋であろうと推測されるが、一棟とみなすにはやや疑問が残る。つまり、建物の輪郭は整然とした矩形であるが、梁間に比べ桁行が長すぎる印象は拭えないのである。

桁行側柱の柱間の大半が５尺台なのに対し、X_6～X_7は８尺近いため、もし２棟に分かれるとすれば、この部分かも知れない。ただ、Ｙ通りの柱筋は通りがよく、また、柱穴の形状も類似性が認められることから、一棟とみなすことも不可能ではない。X_0・Y_0の柱穴には柱根が残る。^{14}Ｃ年代測定では西暦655～855年で、材はコナラである。

SB 55建物柱間寸法(尺)

柱間名(X.X)	柱間寸法	柱間名(Y.Y)	柱間寸法
X_0-X_1	5.61	Y_0-Y_1	5.94
X_1-X_2	5.61	Y_1-Y_2	5.94
X_2-X_3	5.28		
X_3-X_4	5.94		
X_4-X_5	5.94		
X_5-X_6	4.95		
X_6-X_7	7.92		

(８) SB 56

一部試掘トレンチにより柱穴が欠失しているが、梁間２間、桁行２間の総柱形式の建物と思われる。柱間寸法は５尺台で、Ｘ方向、Ｙ方向とも各２間の寸法は同一である。中柱の柱穴は他と比べやや小さいが、高床倉庫なども考えられる。X_2・Y_0の柱がSB 55建物の隅柱と重複するため、SB 55建物とは時期が異なる。

SB 56建物柱間寸法(尺)

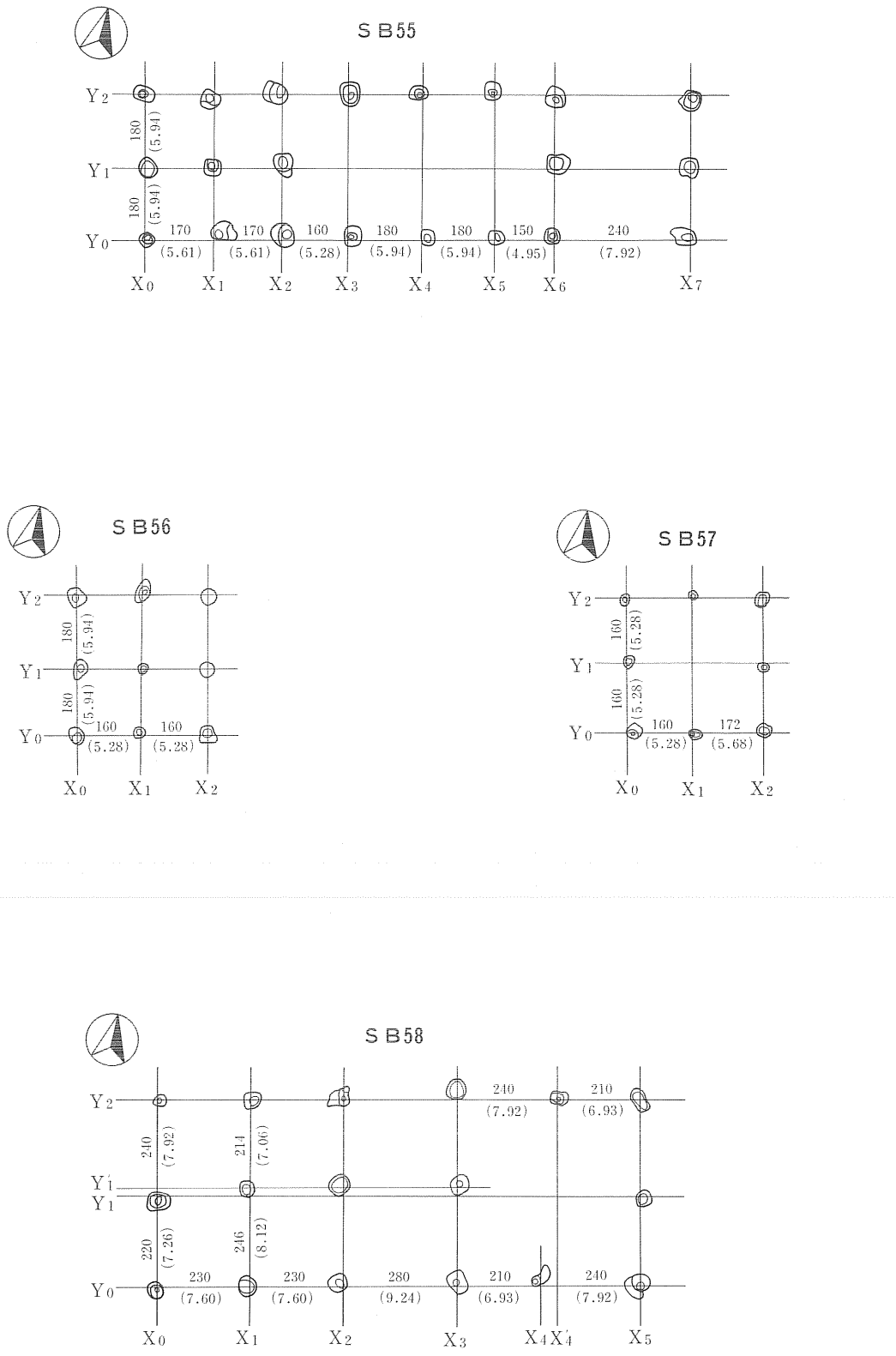
柱間名(X.X)	柱間寸法	柱間名(Y.Y)	柱間寸法
X_0-X_1	5.28	Y_0-Y_1	5.94
X_1-X_2	5.28	Y_1-Y_2	5.94

(９) SB 57

梁間２間、桁行２間で、中柱は立たない。柱間寸法は５尺台である。中間の側柱にややずれが見られるが、上部構造に影響しない範囲である。X_1通りの柱は各Ｙ通りより少し外側に位置し、棟持柱のようにも見える。附属屋であろう。

SB 57建物柱間寸法(尺)

柱間名(X.X)	柱間寸法	柱間名(Y.Y)	柱間寸法
X_0-X_1	5.28	Y_0-Y_1	5.28
X_1-X_2	5.68	Y_1-Y_2	5.28



第314図　掘立柱建物柱穴配置（２）

(10) SB58

梁間2間、桁行5間である。柱間寸法の大半は7尺台である。全体的には各柱筋の通りがよく、整然とした矩形平面である。ただ、棟中央部（Y_1'通り）の中柱が側柱の棟筋（Y_1通り）と一致せず、ずれが生ずる。また、X_1～X_3の中間梁は両側柱できちんと受けるのに対し、X_4通りないし$X_{4'}$通りでずれがある。X_4・Y_2に直径20cmほどの柱根が残る。^{14}C年代測定によると西暦665～855年で、材質はスギである。

SB58建物柱間寸法（尺）

柱間名（X.X）	柱間寸法	柱間名（Y.Y）	柱間寸法
X_0-X_1	7.60	Y_0-Y_1	7.26
X_1-X_2	7.60	Y_1-Y_2	7.92
X_2-X_3	9.24		
X_3-X_4	6.93		
X_4-X_5	7.92		

(11) SB59

主屋部はほぼ明瞭に検出されるが、周辺の柱穴との関連に戸惑う。主屋部は梁間が19尺を越える長大スパンで、部分的には梁間2間に分割する。つまり、Y_0'通りに立つ柱列であるが、これらの柱は各X軸とは一致せず、ランダムに立つことから、あるいは当建物とは無関係の可能性もある。桁行は5間で、柱間寸法は7間から9間台に分布する。

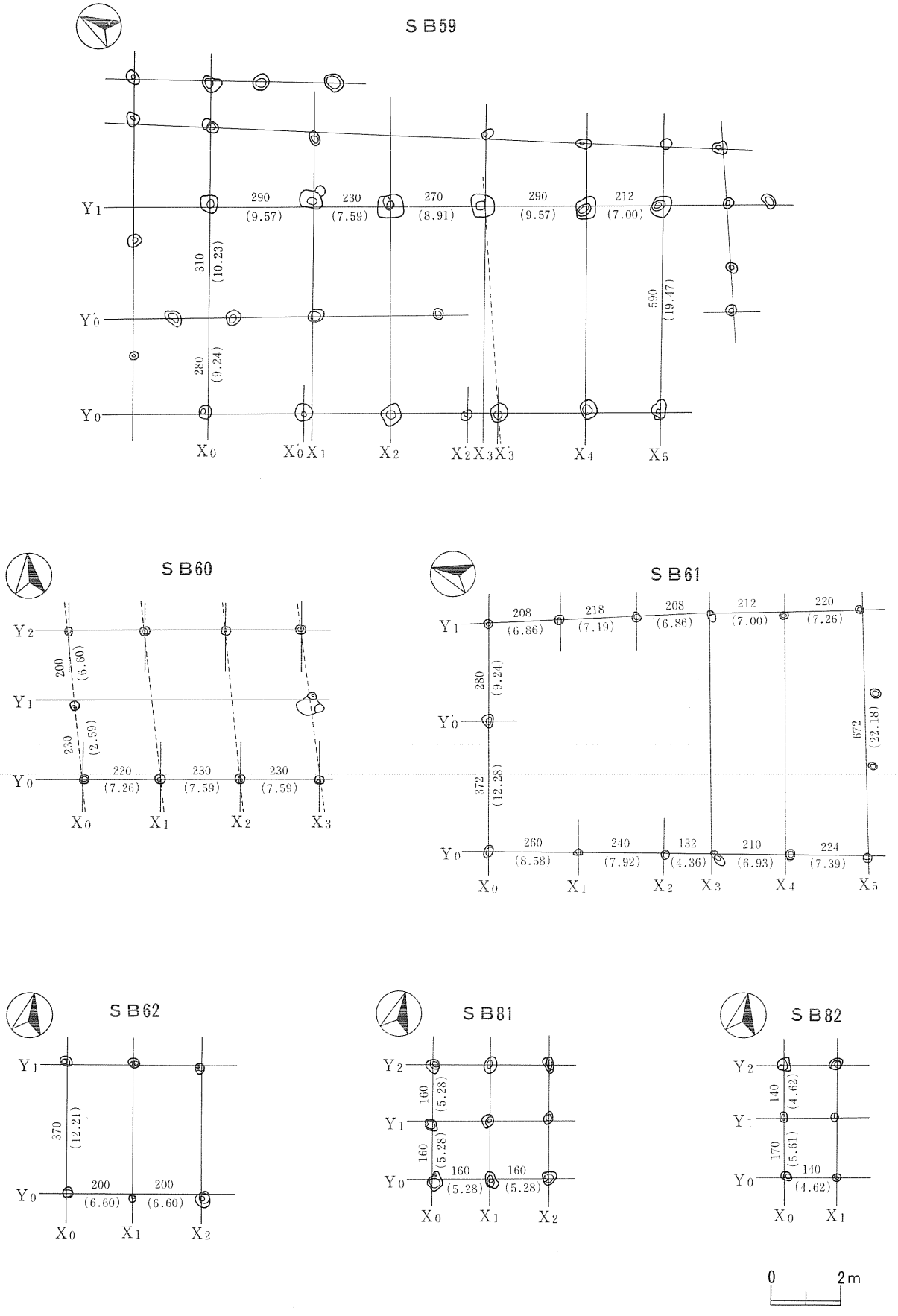
主屋の三方（西・北・東）に庇柱のような柱列があるが、これらの柱列は西側柱列はともかく、北側と東側の柱列は主屋の柱筋と平行にならない。庇の有無はともかく、梁間に19.5尺ほどの梁を架け渡した構造図をイメージすると、集落内の他の建物とは異なり、ダイナミックな建物が想定される。柱穴の掘り方も50cm前後の大きさで、長大スパンの存在を裏付けている。こうした点を考慮すると、一般民家とは異なる種別の建物であったことも考えられる。

SB59建物柱間寸法（尺）

柱間名（X.X）	柱間寸法	柱間名（Y.Y）	柱間寸法
X_0-X_1	9.57	Y_0-Y_1	19.47
X_1-X_2	7.59		
X_2-X_3	8.91		
X_3-X_4	9.57		
X_4-X_5	7.00		

(12) SB60

梁間2間、桁行3間である。柱間寸法は1カ所を除いて7間台である。建物全体がSB59建物に収まる形で重複する。柱穴サイズも一様に小さく揃っている。この建物はX_0～X_3の各通りとY_0～Y_2の各通りは柱筋がよく通るが、X軸とY軸は直角をなさず、かなりいびつなひし形状になる。柱間寸法はほぼ揃っていることからすると、施工技術の精度に起因するとは考えられない。建物の検出そのものを再検討する必要があるかもしれない。



第315図　掘立柱建物柱穴配置（３）

SB60建物柱間寸法(尺)

柱間名(X.X)	柱間寸法	柱間名(Y.Y)	柱間寸法
X_0-X_1	7.26	Y_0-Y_1	7.59
X_1-X_2	7.59	Y_1-Y_2	6.60
X_2-X_3	7.59		

(13) SB61

梁間は、北側妻面のX_0通りの2間であるが、南側妻面のX_5通りは中間柱2本が通り筋から少しはずれており、この柱の扱いが問題になる。また、X_1～X_4の各X通り筋には中柱が立たず、22尺余の長大な梁がかかることになる。しかも、各柱穴の掘り方は30cm前後で、さほど大きくない。建物とするにはいくつかの疑問点も残る。

SB61建物柱間寸法(尺)

柱間名(X.X)	柱間寸法	柱間名(Y.Y)	柱間寸法
X_0-X_1	8.58	Y_0-Y_0'	12.28
X_1-X_2	7.92	$Y_0'-Y_1$	9.24
X_2-X_3	4.36	Y_0-Y_1	22.18
X_3-X_4	6.93		
X_4-X_5	7.39		

(14) SB62

梁間1間、桁行2間である。溝(SD01A)をまたぐように建つことから、櫓門のような形式も考えられ、柱穴の配置もそのように見て差し支えない。X_1・Y_0の柱穴は溝に切られるので、溝よりも旧年代が想定される。集落内の位置関係からすると、集落域を区切る施設であったことは十分考えられる。

SB62建物柱間寸法(尺)

柱間名(X.X)	柱間寸法	柱間名(Y.Y)	柱間寸法
X_0-X_1	6.60	Y_0-Y_1	12.21
X_1-X_2	6.60		

(15) SB81

梁間2間、桁行2間の総柱で、柱間寸法は5尺台で、しかもすべて同一の正方形である。高床形式の倉庫であろうか。

SB81建物柱間寸法(尺)

柱間名(X.X)	柱間寸法	柱間名(Y.Y)	柱間寸法
X_0-X_1	5.28	Y_0-Y_1	5.28
X_1-X_2	5.28	Y_1-Y_2	5.28

(16) SB 82

梁間1間、桁行2間の小規模ながら整然とした建物である。附属屋であろう。

SB 82建物柱間寸法(尺)

柱間名(X.X)	柱間寸法	柱間名(Y.Y)	柱間寸法
X_0-X_1	4.62	Y_0-Y_1	5.61
		Y_1-Y_2	5.61

(17) SB 135

梁間1間、桁行2間の整然とした建物である。柱穴の配置は門形式のようにも見える。

SB 135建物柱間寸法(尺)

柱間名(X.X)	柱間寸法	柱間名(Y.Y)	柱間寸法
X_0-X_1	4.75	Y_0-Y_1	9.50
X_1-X_2	4.75		

(18) SB 136

梁間1間、桁行4間で、各柱筋がよく通っている。規模は本屋級でもおかしくないが妻側に中間柱がなく、単純な上屋構造が推定される。

SB 136建物柱間寸法(尺)

柱間名(X.X)	柱間寸法	柱間名(Y.Y)	柱間寸法
X_0-X_1	7.26	Y_0-Y_1	13.20
X_1-X_2	8.25		
X_2-X_3	8.58		
X_3-X_4	7.92		

(19) SB 152

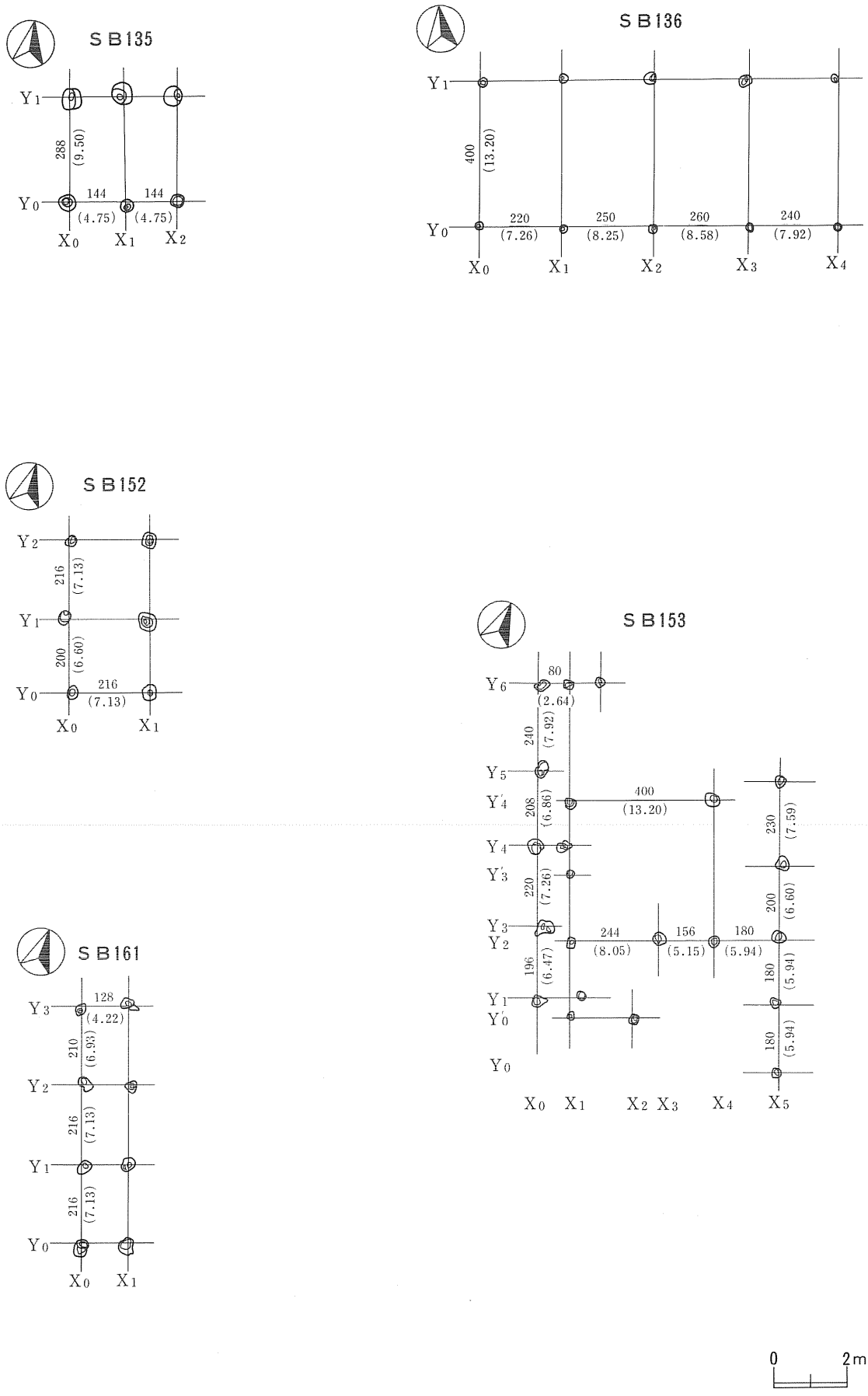
梁間1間、桁行2間の小規模な建物である。柱間寸法は6尺台、7尺台である。附属屋であろう。

SB 152建物柱間寸法(尺)

柱間名(X.X)	柱間寸法	柱間名(Y.Y)	柱間寸法
X_0-X_1	7.13	Y_0-Y_1	6.60
		Y_1-Y_2	7.13

(20) SB 153

規模を確定するのに困難な建物である。つまり、X_0通りとX_1通りの各柱列、X_4通りとX_5通りの柱列の関係が明確でない。また、Y_0'とY_1およびY_6の各軸の柱の関係も不明瞭である。X_1～X_4とY_2～Y_4'で囲まれたほぼ正方形に近い建物の東西両側に庇状の建物が南北に細長く通っているように見えるが、柱配置などからしても、これらをすべて一体なものとして考えるのは少し無理があるように思われる。



第316図　掘立柱建物柱穴配置（４）

SB153建物柱間寸法(尺)

柱間名(X.X)	柱間寸法	柱間名(Y.Y)	柱間寸法
X_0-X_1	2.64	Y_1-Y_3	6.47
X_1-X_3	8.05	Y_3-Y_4	7.26
X_3-X_4	5.15	Y_4-Y_5	6.86
X_4-X_5	5.94	Y_5-Y_6	7.92

(21) SB 161

SB59建物の庇かもしれない柱穴4カ所と重複する。そのため、建物として検出するには疑問もあるが、柱筋の通りがよいため、梁間1間、桁行3間の細長く小規模な建物とした。

SB161建物柱間寸法(尺)

柱間名(X.X)	柱間寸法	柱間名(Y.Y)	柱間寸法
X_0-X_1	4.22	Y_0-Y_1	7.13
		Y_1-Y_2	7.13
		Y_2-Y_3	6.93

第6章　まとめ

縄文時代の遺構・遺物

江原嶋1遺跡は、今回の調査結果と前年度の範囲確認調査結果とから、縄文時代においては、主として中期中葉～後期前葉期に旧油川の右岸に沿っておよそ30,000㎡前後にもわたって広がっていたと推定できる。しかし、今回、調査の対象となったのは、当該時期の遺跡の広がりのうちのごく一部の狭小な範囲に過ぎなかった。このため、縄文時代における江原嶋1遺跡の詳細な性格や変遷については不明な部分が大きい。ここでは、現時点で判明した遺跡の変遷および土坑墓の特徴等について簡単にまとめる。さらに、他遺跡との若干の比較を試み、江原嶋1遺跡の特徴を検討する。

遺跡の変遷

出土土器から、縄文前期中葉大木2式～3式期には油川右岸には少なくとも部分的には離水した微高地が形成され、ある種の活動対象地点となったものと判断できる。(註1) 現時点では、活動の具体的な内容や定住的な活動拠点であったか短期滞在地点であったか等の詳細については推測し難い。

その後、縄文中期中葉まで活動痕跡は不明となる。中期中葉大木8b式期の竪穴住居跡1軒を確認したことから、当該期には定住的な集落が形成されたと推測できる。しかし、現時点では確実に当該期に属すると認定できる他の遺構は乏しく、集落の規模・構造等は不明である。(註2) SK1074のような貯蔵穴と土坑墓および竪穴住居等で集落が構成されていた可能性があろうが、確実ではない。大木8b式土器は一定量出土していることから、当該期の遺構の多くは、後代の遺構構築時に破壊されたものと推定できよう。

大木9式期以降には、SN1037等の土器埋設炉を確認している。しかし、中期後葉の竪穴住居に盛行する複式炉は未確認であり、現状では確実な竪穴住居の存在は確認できない。その一方で、遅くとも当該期以降、多数の土坑墓が造営されると推定できる。少なくとも今回の調査範囲周辺では、大木9式期以降、居住域から専ら墓域としての利用へと変遷した可能性が強いと推定する。

なお、今回の調査では、500基を越える多数の柱穴を確認している。これらの柱穴の分布は土坑墓分布と重なり、かつ土坑墓との重複例においては、その先後関係は一様ではない。建物跡もしくは竪穴住居跡柱穴の可能性も想定し得るが、同一区域が居住域と墓域とに頻繁に変化したとは想定し難いことから、これらの柱穴の大半は、先の屋外炉とともに土坑墓の付属施設もしくは葬送儀礼に係わる施設であったと想定しておく。

墓域としての利用は後期前葉宮戸Ⅰb式期まで継続し、その範囲は、現状のⅠ・Ⅲトレンチの遺構分布状況から、南東から北西に向かって延びる微高地とその東隣の低地にかけて帯状に広がるものと想定できる。しかし、その間の詳細な分布等の変遷は判然としない。

その後、出土土器から、縄文晩期まで断続的に活動対象地となったと推定できるが、やはり詳細は不明である。

土坑墓

今回の調査で形態・覆土の特徴・遺物出土状況等から土坑墓もしくはその可能性がある土坑と報告したものは82基ある(第78表)。このほか性格不明の土坑としたものの多くも土坑墓と判断した例と規模・形態は類似し、やはり土坑墓であったものも少なくないと推定する。ここでの土坑墓は、柱穴等の他の遺構と同様、大勢として縄文時代中期中葉～後期前葉に属すると推定できるものの、詳細な時期を特定し得る例は少ない。また、既述のように、今回の縄文時代遺跡調査対象範囲は狭小であったため、土坑墓全体を調査し得た例は少なく、形態・構造等が明確に判明した土坑墓は僅かである。さらに、詳細な遺物出土状況も不明な例が多い。これらのことから、ここでは、主として覆土の堆積状況と立石等の土坑上面施設の有無をもとに、以下の土坑墓類型を抽出し、土坑墓の変遷について予察しておく。

土坑墓A: 土坑上面施設の痕跡がなく、覆土が基本的に単一層で、一気に埋め戻したと推定できるもの。また、覆土が上下に二分できるもののうち、下位層の陥没に伴って上位層が自然堆積したと推定できる例も含める。

本類には、円形～楕円形平面例(SK 1002 A・1008など)のほか、長楕円形平面例(SK 1089・1097など)もある。また、底面上や覆土中から円礫や遺物が比較的まとまって出土した例(SK 1308・1487など)も存在する。なお、上述のように一部のみの調査にとどまっている例が多く、中には後述の土坑墓Cに属する例も含んでいる可能性もあろう。

土坑墓B: 土坑上面施設の痕跡がなく、覆土中位～上位に焼土層・炭化物層・地山土層等が累積し、複数次にわたって埋め戻したと推定できるもの。

本類は、土坑内で火を焚き、覆土が焼土化した例(SK 1521など)、土坑内で火を焚くなどして埋め戻した後、上面に多量の遺物を廃棄したと推定できる例(SK 1563)、土坑周囲で形成された焼土・炭化物を土坑内に埋めたと推定できる例(SK 1497など)など、その特徴は多様である。大勢として、土坑掘削後、一旦土坑中位まで埋め戻した後、断続的に土を埋めたり、土坑内や周囲で火を焚くなど、儀礼的な行為を繰り返しながら、一定の時間をかけて埋め戻したものと推定できる。言わば反復継続的な葬送儀礼が執り行われた可能性が強い土坑であったと想定する。

土坑墓C: 土坑上面に立石・組石・置石など広義の配石等の上部施設があるもの。土坑覆土は単一層であることが一般的である。

本類は、立石・配石の構造には変異があるほか、覆土中位に多量の炭化物粒を包含する例(SK 1226 A)や立石周囲で火を焚いたと推定できる例(SK 1127)もある。

以上の3類型は、類型内の変異が大きく、また、覆土の特徴が判然としないことから類型認定が困難な例も存在するなど、今後再検討すべき余地は大きい。以下では現時点での認識をもとにして、各類型の帰属時期を検討し、土坑墓の変遷について予察しておく。

土坑墓Aは、今回の調査例では多数を占めるものの、一般に明瞭な供伴遺物が乏しい。出土土器に基づく帰属時期推定可能例は、SK 1365 B(宮戸Ⅰb式期)、SK 1487(大木9式期)、SK 1540(大木10式(新)期)など数例に過ぎない。現状の確認状況からは、少なくとも大木9式期から宮戸Ⅰb式期

番　号	区	平面形	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	類型	時　期	備　考
SK 1002 A	LS 66	円形	1.24	1.11	0.15	A	不明	
SK 1003	LS 66・67	円形	1.07	0.95	0.15	A	不明	SK 1089を切る
SK 1005	LS 66	楕円形	0.71	0.5	0.29	不明	不明	
SK 1008	LS 67	楕円形	0.86	0.57	0.12	A	不明	
SK 1017	MA 66	楕円形	0.81	0.57	0.36	C	大木10式(新)以前	上位覆土から大形円礫　SK 1044に切られる
SK 1030	LQ 67	楕円形	0.6	0.42	0.14	A	不明	
SK 1040 B	LR 66・67	楕円形	1.32	0.66	0.12	A	不明	SK 1040 Aに切られる
SK 1044	MA 66	楕円形	1.29	0.93	0.59	B	大木10式(新)	下位覆土上面に円礫　中位覆土焼土・炭多 SK 1017を切り、SK 1018と重複する
SK 1081	LP・LQ 67	楕円形	1.55	1.18	0.19	A	不明	
SK 1083	LP 67	楕円形	0.73	0.59	0.28	A	不明	
SK 1087	LP 67	楕円形	1.03	0.86	0.37	不明	不明	下位覆土上面に円礫
SK 1089	LS 66・67	長楕円形	1.23	0.65	0.35	A	不明	SK 1003に切られる
SK 1097	LT 66	長楕円形	(1.20)	0.66	0.16	A	不明	SK 1011に切られる
SK 1111	LT 66	楕円形	0.73	0.53	0.30	不明	不明	
SK 1127	LQ 66・67	不整楕円形	2.00	1.46	0.30	C	門前式	中央立石伴う配石　上面で焚き火 SK 1130・1308を切り、SK 1043 Bに切られる
SK 1130	LQ 67	楕円形	1.40	1.03	0.39	C	大木10式(新)～門前式	南端部立石　SK 1139・1300を切り、SK 1127に切られる
SK 1151	MB 66	不明	不明	不明	0.39	B	不明	
SK 1214	LO 67	楕円形	不明	0.66	0.35	A	不明	SK 1346 Bに切られ、SK 1346 Aと重複する
SK 1225	LT 66	不明	不明	不明	0.30	C	不明	北西端部立石
SK 1226 A	LT 66	楕円形	0.90	0.73	0.38	C	後期前葉	下位覆土から土器片出土　中位覆土炭多　北端部立石・配石
SK 1228 A	LS・LT 66	円形	1.20	不明	0.25	C	大木9式以降	上面立石
SK 1262	MA 66	楕円形	0.73	0.58	0.30	B	中期後葉～後期前葉	下位覆土から破壊深鉢出土
SK 1266	MA 66	楕円形	0.75	0.51	0.26	A	不明	
SK 1268	MB 65・66	円形	不明	不明	0.25	不明	不明	石鏃出土
SK 1270	MB 65	楕円形	0.80	不明	0.20	不明	不明	
SK 1274	LS 66	楕円形	1.10	0.80	0.20	A	不明	
SK 1285 A	LR・LS 66	不整楕円形	0.80	0.65	0.45	B	大木10式(新)以降	中位覆土炭多
SK 1285 B	LR 66	楕円形	0.60	0.40	0.45	B	不明	中位覆土炭多
SK 1288	LR 66	楕円形？	不明	不明	0.26	A	不明	
SK 1292	LS 66	楕円形	0.70	(0.44)	0.35	不明	不明	
SK 1299	MA 65	楕円形？	不明	不明	0.36	A	不明	
SK 1300	LQ 66・67	楕円形	不明	不明	0.46	B	大木10式(新)	炭多　SK 1130・1308に切られる
SK 1308	LQ 66・67	楕円形	不明	不明	0.15	A	大木10式(新)	底面上から土器片出土
SK 1315 A	LO 67	円形	0.68	不明	0.30	C	門前式	上面中央配石　SK 1315 Bに切られる
SK 1315 B	LO 67	楕円形	不明	0.60	0.40	不明	門前式以降	
SK 1329	LO 67	楕円形？	不明	不明	0.36	不明	不明	下位覆土上面から礫・土器片出土
SK 1346 A	LO 67	楕円形？	不明	不明	0.31	不明	不明	SK 1214と重複する
SK 1346 B	LO 67	楕円形	1.10	0.84	0.33	不明	中期後葉～後期前葉	底面上から土器片出土　下位覆土上面から土器片出土
SK 1347 A	LO 67	楕円形	1.05	0.66	0.39	不明	不明	
SK 1358 A	LO・LP 67	楕円形	1.15	不明	0.24	A	不明	
SK 1361 A	LO 67	楕円形	1.12	0.76	0.29	A	不明	
SK 1365 A	LM・LN 68	楕円形？	不明	不明	0.40	A	宮戸Ⅰb式以前	SK 1365 Bに切られ、SK 1416・1417と重複する
SK 1365 B	LN 67・68	楕円形？	不明	不明	0.51	A	宮戸Ⅰb式	SK 1365 Aを切る
SK 1445	LK 68	楕円形	不明	不明	0.23	不明	後期前葉？	上面から深鉢片出土
SK 1462	LK・LL 68	不明	不明	不明	0.64	A	中期末～後期初頭	底面上から三角柱形土製品出土
SK 1486	LI 68	不明	不明	不明	0.76	B	大木10式(新)以降	SK 1506を切る
SK 1487	LJ 68	不整楕円形	1.55	1.35	0.49	A	大木9式	底面上に礫群　SK 1499に切られる
SK 1495	LI 68・69・LJ 68	長楕円形	1.00	0.45	0.10	A	不明	
SK 1497	LI 68・69	不明	不明	不明	0.85	B	大木10式(新)以降	中位覆土焼土多　SK 1496を切る
SK 1499	LJ 68	楕円形	1.15	0.86	0.52	A	大木10式(新)	覆土・上面から土器片・礫出土
SK 1500	LI 68	不整円形	0.77	不明	0.18	C	宮戸Ⅰb式	上面配石　SR 1570を切る
SK 1506	LI 68	不明	不明	不明	1.00	B	大木10式(新)	底面上から深鉢出土　SK 1488を切り、SK 1486に切られる
SK 1512	LG 69	不明	0.75	不明	0.11	A	宮戸Ⅰb式以前	底面上礫群
SK 1521	LF・LG 69	不明	不明	不明	0.85	B	大木8b式以降	中位焼土面　SK 1582を切る
SK 1527	LF 69	長楕円形	不明	不明	0.78	B	大木8b式以降	中位焼土面
SK 1538	LE 69	楕円形	不明	1.35	0.24	B	不明	中位覆土焼土多　礫群出土
SK 1540	LC 70	円形	1.68	不明	0.36	A	大木10式(新)	
SK 1562 A	LH 68・69	不明	不明	不明	0.40	B	大木8b式～大木10式(新)	中位覆土焼土層　SK 1563に切られる
SK 1563	LH 68・69	楕円形	不明	不明	1.20	B	大木10式(新)	中位複数焼土面　上面から遺物・礫出土 SK 1562 A・1564を切る
SK 1564	LH 68・69	不明	不明	不明	0.70	B	大木10式(新)	覆土中位焼土層　SK 1563に切られる
SK 1566	LH 69	不整楕円形	2.96	1.30	0.53	C	大木9式以降	上面に礫群
SK 1573	LF・LG 69	不明	不明	不明	0.96	A?	門前式	下位覆土から深鉢出土
SK 1575	LE・LF 69	不明	不明	不明	(0.60)	B	不明	中位焼土面　SK 1576を切る
SK 1576	LE 69・70	不明	不明	不明	0.70	B	不明	中位焼土多
SK 3019	LO 67・68	不明	不明	不明	0.35	C	不明	上面配石
SK 3038	LP 69・70	楕円形	不明	不明	0.25	A	不明	
SK 3054	LP 72	不整円形	0.66	0.62	0.16	C	不明	上面に礫群　SK 3111を切る
SK 3064	LP 70	楕円形	1.34	不明	0.15	A	後期前葉以降	
SK 3077	LP 70・71	楕円形	0.88	0.72	0.15	A	中期後葉以前	SK 3076と重複する
SK 3084	LP 71	楕円形	0.83	不明	0.22	A	後期前葉以前	
SK 3092	LP 71	楕円形	0.96	不明	0.20	A	不明	
SK 3101	LP 72	不明	不明	不明	0.12	A	門前式以前	底面上から土器片・礫出土
SK 3108	LP 72	不明	0.62	不明	0.15	A	不明	
SK 3109	LP 72	不明	0.64	不明	0.11	A	不明	
SK 3127	LQ 73	不明	不明	不明	0.20	A	不明	
SK 3139	LQ 74	楕円形	0.72	0.60	0.11	A	不明	
SK 3145	LQ 74	楕円形	不明	0.93	0.08	A	不明	
SK 3155	LQ 75・76	楕円形	0.65	0.48	0.15	A	不明	SK 3156と重複する
SK 3156	LQ 76	楕円形	0.70	0.56	0.17	A	不明	
SK 3173	LQ 77	不整円形	0.60	0.60	0.12	A	不明	
SK 3177	LQ 75	楕円形	不明	0.90	0.09	A	不明	
SK 3179 B	LQ 77・78	楕円形	不明	不明	0.16	A	大木10式(中)	

第78表　縄文時代土坑墓一覧

まで各期にわたって存在する可能性が高いと推定できる。これに対し、土坑墓Bは帰属時期推定可能例では、その推定時期は大木10式(新)期に集中する傾向を認めることができ(SK 1044・1300・1563・1564など)、土坑墓Cは門前式期に帰属すると推定できる例(SK 1127・1315Aなど)や宮戸Ⅰb式期に帰属すると推定できる例(SK 1500)がある。

これらのことから、敢えて推測すると、土坑墓Aは大木9式期以降継続的に存在し、大木10式(新)期に土坑墓Bが、門前式期以降に土坑墓Cが併存するという変遷があり得ようか。(註3) また、上述のSK 1226Aは後期前葉に属すると推定でき、土坑墓Bから土坑墓Cへの類型変化の過渡期の形態と評価できるかもしれない。ここでの想定は極めて限定された資料に基づいており、今後、再検討を必要とする。また、各類型の時期ごとの分布等は現時点では明確に判断することはできず、各類の分布状況から、上述の変遷を検証することも困難である。

ところで、土坑墓BはSK 1563・1564やSK 1575・1576のように大きく切り合う例がある。当該遺構群は伊勢堂岱遺跡(註4)で「大型不整形の土壙墓」(報告書分類では、SKS－a)と報告された例と人為的な埋め土の薄層が累積する覆土の特徴が類似する。伊勢堂岱遺跡例は基本的に凹地を形成したうえで時折拡張するなどして再使用を繰り返す再葬墓であり、追善供養的な祭祀も繰り返される祭祀土坑でもあったと想定されている。本遺跡例は調査時には複数の土坑の重複として扱ったが、なお検討の余地を残している。本遺跡例では各土坑底面直上には一定の層厚の埋め戻し土が堆積することから、再葬墓であったかは断定し難いものの、伊勢堂岱遺跡例についての想定と相同の、土坑を拡張しながら追善供養的な祭祀が繰り返された可能性は考慮すべきであろう。少なくともSK 1563とSK 1564のように、近接する時期の土坑墓が重複する例があることから、大木10式(新)期には、特定地点に複数の埋葬を集中させる傾向が存在した可能性を認めることができる。(註5) あたかも特定の墓に追葬されたかのような状況は、これらが出自別墓群あるいは世帯別墓群であったなどとの解釈もあり得るかもしれない。

その後、門前式期に土坑墓Bから立石等上面施設をもつ土坑墓Cへ変化すると想定すると、SK 1127では土坑上面の立石の周囲で火を焚くことを伴う葬送儀礼を執り行ったと推定できるが、一般に葬送儀礼の痕跡が顕著でなくなる。特定の墓とその周囲で埋葬と葬送儀礼とを繰り返し執り行うことによって被葬者と葬送儀礼執行集団との紐帯を確認することから、被葬者集団の表徴として土坑上面に墓標を設置することがより重視され、しだいに墓標が儀礼の直接の対象となったのであろうか。LQ 66・67区においてSK 1300・1308・1130・1127・1043が重複する状況は、大勢として土坑墓B(SK 1300)から土坑墓C(SK 1130・1127)へ連続的に変遷し、最終的に大形の柱状のシンボル施設(SK 1043)を設置するという変遷を示しているかもしれない。(註6) これらの遺構群が大木10式(新)期から少なくとも門前式期にわたって連続的に造営されたとするならば、連続的に追跡し得る出自単位を中心にして土坑墓群が造営された可能性を想定できようか。

ただし、現状では顕著な葬送儀礼等の痕跡を認定することが困難な土坑墓Aが、墓域を形成した全期間を通じて営まれていたと想定できることから、葬墓制の変遷を単系的にとらえることはできないであろう。さらに、土坑墓群が一定のまとまりをもった集中分布地区を複数形成したかは現状では判然とせず、江原嶋1遺跡の墓制の特徴についてはやはり現時点では詳細不明な部分が極めて大きい。

小結

最後に、先に触れた伊勢堂岱遺跡のほか、本遺跡とほぼ同時期に墓域を営んだ周辺遺跡との比較によって、江原嶋1遺跡の特徴を簡単に検討し、小結としておく。

昭和63年に調査された平鹿郡増田町八木遺跡は、皆瀬川との比高数mの低地上に立地すること、縄文時代中期中葉から後期中葉にかけて大規模な墓域を形成するなどの点で江原嶋1遺跡と共通した特徴を示す。(註7) 両遺跡とも狭小な範囲の調査であったため、詳細不明な部分が少なくないが、県南部では数少ない発掘調査例であることから、以下、本遺跡との比較対象とする。

八木遺跡は、横手盆地の南端に位置し、雄物川の支流である皆瀬川右岸の標高93～94m前後の低地上に立地する。調査は大きく9地点に分かれ、部分的な調査地点も合わせると調査面積は1,953㎡であった。調査では、竪穴住居跡4軒、土坑墓(報告書では土壙)573基、配石遺構(同組石遺構)、土器埋設遺構1基、柱穴79基などが確認されている。このうち、竪穴住居跡は検出地点によって、縄文中期中葉に属するものと後期中葉に属するものとに分かれている。土坑墓はほぼ調査地点全域に分布し、後期前葉～中葉に属するものが主体となっている。また、柱穴には直径1mを越える大形例があり、4本柱～6本柱からなる掘立柱建物跡を構成すると認定されたものもある。さらに遺構群と重複して遺物包含層も形成されている。現時点では、土坑墓群の分布には若干の疎密があり、一定の土坑墓分布のまとまりを構成する可能性があるものの確実ではない。掘立柱建物跡の分布は、特定地点に集中するようであるが、その配列には規則性を認定し難く、土坑墓や竪穴住居跡の分布との間に有意な規則性が存在するかも明瞭ではない。

両者の現状からは、共に土坑墓を主体とする遺構群が密集するという共通性は認定し得る。八木遺跡で確認された焼骨片出土土坑例(SK13)、大形柱穴からなる掘立柱建物跡や火葬人骨等は、江原嶋1遺跡では現時点では未確認であるが、これらは、江原嶋1遺跡の調査範囲の狭小さに起因する可能性もあろう。土坑墓を中心とした遺跡全体の構造はともに不明であるが、現状では、やはり八木遺跡においても、本遺跡同様大規模な整地等の土木工事を伴った規格的な遺構分布は認め難いようである。この点は両者の共通性として注意すべきであろう。

一方、出土遺物を比較すると、顕著な差違をいくつか認めることができる。既述のように八木遺跡では多種多量の石錘が出土している。一方、江原嶋1遺跡では石錘自体の出土量は極めて僅かで、両者の間には、その出土量に極端な格差がある。さらに、本遺跡からは八木遺跡でまとまって出土しているアスファルト付石錘・切目石錘・嘴状石器が現時点では出土していない。縄文時代中期後葉から後期前葉にかけての両遺跡で集落が継続的に形成されていたかは、ともに不明であるが、少なくともそれぞれの墓域造営集団の生業様式は画一的なものではなかったようである。ここで認めた生業様式の差違がそれぞれの集団において、縄文中期中葉から後期前葉の間、大勢として維持されたものとするならば、各集団の伝統的生業様式の差違ととらえることもできよう。さらに第4章第2節2で触れた両遺跡間の石鏃形態組成の差も重視すると、それぞれの集団成員の少なくとも一部は別系統の分節的集団であったととらえることができるかもしれない。また、本遺跡と八木遺跡というような大きくは同一の雄物川水系に立地する近接した遺跡間で、このようないわば小地域差が形成されるのは、特に集団ごとの生業対象領域の細分固定化傾向に起因する可能性を想定できようか。その一方で、一定の広がりをもった型式として現状で認定できるような類似した特徴をもつ縄文土器が両遺跡周辺にと

どまらず、広範に分布している。上記の石鏃・石錘をそれぞれ狩猟および網漁撈用具としてとらえ、狩猟および網漁撈と縄文土器製作とが、基本的にそれぞれの墓域造営集団成員によって行われていたものとすると、それぞれの活動担当成員には、主たる活動－居住範囲の広狭差が存在したことを示唆している。両者の活動がそれぞれの集団内において性的分業化していたならば、ここでの地域差の広狭は、婚後居住規定と関わっている可能性もあろう。狩猟・網漁撈を男性中心労働、これに対して土器製作を女性中心労働と想定し、当時においては、夫方居住が優勢であったとの推測を導くこともできようか。

次に県北部の同時期の墓域を形成する遺跡と比較しておく。現時点では、縄文中期中葉から後期初頭にかけては、大小の集落遺跡の存在を認めることができるものの、墓域の形成は明瞭ではない。(註8) 周知のように、後期前葉には大湯環状列石・伊勢堂岱遺跡等の大規模な墓域を形成し、かつ環状列石等の大形構築物を造営する遺跡が出現する。伊勢堂岱遺跡においては、十腰内Ⅰ式期に上記の大形不整形土壙墓から成る共同墓域から環状列石構築による共同祭祀の場へ変化したと想定されている。江原嶋1遺跡では、個別の土坑墓群に対する葬送儀礼から、遺跡全体を包括するような共同祭祀への変質を想定し得るだけの根拠を現時点では認めることができない。大規模墓域形成の点では共通するものの、県北部の大規模墓址遺跡で想定できるような墓域全体を統括する組織・儀礼等の存在は江原嶋1遺跡では現時点おいては不鮮明である。上記の様相は八木遺跡においても当てはまるようであり、少なくとも秋田県南部周辺の地域的特徴と評価できる可能性があろう。両地域における墓域造営集団の構成やその統合原理の相違を示唆するものであろう。

ただし、大湯環状列石や伊勢堂岱遺跡においては、墓域の構造や環状列石の成立には、時間的変遷があることが明らかとなってきている。本遺跡や八木遺跡においても、時間的変遷の中で墓域構造の規格性が出現してゆく可能性も考慮する必要もあろう。この点で、東由利町片符沢遺跡Ⅰでは、土坑墓が小群にまとまりながら、全体が環状分布をなす可能性が示唆されている(註9)ことは注意すべきであろう。当該遺跡は宮戸Ⅰb式期を主体とする時期に属するようであり、県南部においても、時期が下るにつれてやはり大規模な規格性が析出する可能性も想定すべきかもしれない。県南部という地域設定の可否も含めて、今後の検討課題である。

江原嶋1遺跡における古代集落について

集落の特徴および構造

本遺跡は、調査の結果、主に縄文時代と平安時代の複合遺跡であることが判明した。平安時代にあっては、銙具や印章、施釉陶器が出土していることから、あるいは地方官衙ではないかとの指摘もありえよう。しかしこれら遺物の出土点数はごく僅少であり、礎石建物の検出がみられないこと、墨書土器の出土点数もごく僅かで、瓦や木簡等官衙であることを裏付ける資料の出土もみられないことなどの諸点からその可能性は薄く、基本的には、集落跡として捉えるのが妥当と判断する。

横手盆地の古代集落については、第2章第3節で示した各遺跡で発掘調査がなされている。ただし、これらの調査は限られた範囲の調査が多く、集落全体を調査した例としては、本遺跡が横手盆地では初めての例となる。

本遺跡が官衙遺跡としては認めがたいことは冒頭に述べた通りであるが、集落の開始時期は出土遺物の年代より９世紀前半以降であろうということは明白であり、９世紀後半から10世紀後半にかけての約１世紀が遺跡のピークであろうと認められる。払田柵跡の創建が９世紀初頭であることがほぼ明らかであることを考慮すると、律令国家による当地方への進出および支配の安定という一連の動きのなかで集落が開始されたと評価できよう。

本遺跡古代集落の特徴として、

①微高地上に立地する、掘立柱建物跡を中心とする集落であること

②集落外端が溝によって区画されていること

③集落外側に土器溜が検出されたこと

の３点を掲げる。

①については、竪穴住居跡が僅か１基しか検出されず、それに竪穴状遺構を含めても数基にすぎない。いっぽう掘立柱建物跡は23棟検出しており、これは県内では鹿角市御休堂遺跡[註10]の14棟、大館市大館野遺跡[註11]の15棟、能代市上の山Ⅱ遺跡[註12]の13棟、秋田市坂ノ上Ｆ遺跡[註13]の14棟などの数を上回っている。

十和田ａ火山灰降下後の10世紀後半代以降の県内の古代集落の発掘事例をみていくと、前出上の山Ⅱ遺跡では39軒、同大館野遺跡では60軒の竪穴住居跡を伴っており、それに比して本遺跡が掘立柱建物跡に著しく傾斜した集落構成を成していることが看取できるであろう。そしてこれら２遺跡がいずれも米代川流域という官衙不設置地域であることと、本遺跡が横手盆地という官衙の営まれた地域に所在することとの相違にその根拠を認める観方もあるいは可能であるかもしれない。しかしながら、城柵官衙設置地域にあっても西仙北町寺沢遺跡[註14]、秋田市下堤Ａ遺跡[註15]などのように竪穴住居のみで構成される集落があり、横手市大鳥井柵跡[註16]でも竪穴住居跡４軒が検出されている。したがって、竪穴住居から掘立柱建物への移行は、少なくとも秋田県域にあってはかなり緩やかに進んだと言えそうである。

次に、火山灰降下以前と以後について横手盆地の古代集落の発掘事例を検討する。ただし、横手盆地にあっては調査例は必ずしも多くなく、しかも限られた範囲の調査がほとんどであったため、かなり大まかな傾向を示すにすぎないことを前置きしておく。なお、以下、遺跡名のあとに(　　)を付す場合は、検出された竪穴住居跡もしくは建物跡の数を示している。

まず、８世紀代に属する平鹿町中藤根遺跡[註17](３軒)・同下藤根遺跡[註18](８軒)・同年子狐遺跡[註19](８軒)はそれぞれ竪穴住居のみより構成される集落である。

９世紀～10世紀前葉の城柵設置以後・火山灰降下以前の時期では、羽後町城神巡り遺跡[註20](１軒)、羽後町新城川遺跡[註21](２軒)、千畑町内村遺跡[註22](３軒)、増田町平鹿遺跡[註23](３軒)、南外村小出Ⅱ遺跡[註24](１軒)、横手市郷士館遺跡[註25](３軒)の各遺跡が竪穴住居のみで構成される集落である。いっぽう掘立柱建物のみで構成される集落には西仙北町上雨堤遺跡[註26]における２棟がある。横手市手取清水遺跡[註27](住居１軒・建物９棟以上)、大森町下田遺跡[註28](住居４軒・建物２棟)および横手市台処館遺跡[註29](住居３軒・建物１棟)は両者の併存する集落である。

火山灰降下後の10世紀前葉以降では、前出の寺沢遺跡・大鳥井柵跡以外には大曲市藤木遺跡[註30](３棟)と稲川町宮の前遺跡[註31](１棟)がある。ともに沖積地に立地しており、横手盆地の沖積地にあっては官衙造営に劣らず火山灰降下という契機も竪穴住居から掘立柱建物への移行の問題を考える際に有意ではないかと指摘しておきたい。

そうしたなかにあって、沖積地に立地する本遺跡の場合、火山灰降下以前の遺物もみられることから、横手盆地では横手市手取清水遺跡とならび比較的早い段階で建物主体の集落形成がなされたであろう点が特筆される。建物長軸方向も集中して分布する箇所においてはその多くが直交する二方向にまとまる傾向があることから、建物造営にあたって明確な配置原理を有していたと評価するに足るものであり、その点から本遺跡古代集落が一種の計画性をともなって現出したと言っていいであろう。

②については、高橋学氏が、秋田県内の区画施設(溝・柱列・有溝柵列もしくは堀)をともなう古代集落遺跡の例を紹介し、その類型化を試みている(註32)。本遺跡はそのなかの「類型1ｄ」すなわち集落(全体)を溝・柱列・有溝柵列で円弧状あるいは楕円状に区画するタイプに近いと判断できる。本遺跡の場合は、溝が円弧ないし楕円状をなすとは必ずしも言い難いので別の細分を設ける必要があるかもしれない。なお、高橋氏は「類型1ｄ」の典型例として鷹巣町胡桃館遺跡Ａ2柵列(註33)、鹿角市御休堂遺跡、小坂町はりま館遺跡(註34)を掲げている。

本遺跡検出の溝跡は、巾0.6～0.9mと規模は必ずしも大きくないとはいえ、延々350mもの長さで掘削されていることが特筆される。前出高橋論文では、このような区画施設は、「胡桃館遺跡での成果を援用すれば『官牧のようなもの』、あるいは民俗学からの『猪垣』(獣害から集落を守るための施設)などが、一部ではあろうが構築の目的と考えられる」としている。微高地上に立地する本遺跡の溝の場合は、排水などの実質的目的とともに、一連の土器溜と重複しており、それを切るかたちで構築されていることから、区画すること自体を目的とした象徴的意味も大きいと考えられる。このことは、①の末尾で述べた一種の計画性と併せて考慮する必要があろう。

③の土器溜(土器廃棄用土坑)は、県内では初めての検出例となる。

池田晃一氏は、茨城県青木遺跡などの事例から、土器溜土坑の性格として、「たくさんの人が一度に集まり、一度きりあるいは短期間土器が使用され捨てられる。あるいはそれが繰り返され」、その集まりは「飲食に関連したものであった」こと、また、「土坑がものを捨てるあるいは埋めるために掘られたものである」いっぽう「土器を捨てたり、埋めたりするためだけに掘られたものではない」ことを揚げている(註35)。茨城県の例では、整った掘り込みを有し、壁面も垂直に近く、深さも60～110cmと比較的深いのに対し、本遺跡の土器溜は浅く掘り込みは不整で形態上は著しい差異を有する。にもかかわらず、供膳具である坏・皿類の出土がほとんどで、甕類などの貯蔵具・煮炊具が少ない点、遺物が土器溜底面ばかりではなく上層にまで及んでいる点などが共通しており、池田氏の指摘する4つの性質は概ねここでも該当するものと判断する。

また、前田清彦氏は、10世紀以降顕著となる土器祭祀について、北陸地方の事例をもとに、Ａ型(土器溜)・Ｂ型(土坑)・Ｃ型(柱穴隣接ピット)・Ｄ型(柱穴)・Ｅ型(建物雨落溝)・Ｆ型(大溝)・Ｇ型(井戸)の7つのタイプに分け、出土土器の器種構成・数量の別、出土遺構の形態差および検出建物群との関係などの相関により、それぞれの祭祀対象についても考察を加えられている(註36)。なお、前田氏は「不定形な、明確な掘り方を持たない自然地形の凹部に土器が大量に出土するもの」を土器溜と定義し、「明確な、人工の掘り方を有する」土坑(Ｂ型)と区別している。本遺跡で土器溜としたものは、厳密には前田氏のＡ型とＢ型の中間形態である。人工の掘形を有する点ではＢ型であるが、不定形で集落外端に位置する点ではＡ型に近い。なお、本遺跡にあっては土器溜以外に、SB59でみられたように前田氏類型のＤ型も存在する。

さらに前田氏は、土器の大量廃棄・大量埋納行為は「村落あるいは建物群・個別建物の造営・解体・再編成に伴う可能性が高い」と指摘されている。この観点は、本遺跡の集落の変遷を考察していくうえでも重要である。

なお、祭祀対象のレベルで言うと、本遺跡土器溜は建物群もしくは村落全体を対象にしたもの、柱穴は個別建物を対象にしたものと考えられる。

集落の変遷

遺構相互の新旧関係を考えるうえで指標もしくは素材となりうるものには、今回の発掘調査に限っていうと、重複遺構の切り合い関係、出土遺物の年代、異なる遺構における出土遺物相互の接合関係、東北地方北部の指標テフラである十和田ａ降下火山灰と掘り込みとの関係、有機物における^{14}Ｃ年代測定などがある。

ただし、出土遺物の年代および木材等の^{14}Ｃ年代については、ともに後世の混入の可能性があり、前者にあっては伝世による時期差、後者にあっては伐採から造営の時期差とともに廃材の再利用の可能性もあるので、以下の記述では状況証拠としてふれるにとどめ、それ以外の指標についてひとわたりまとめておきたい。

まず、重複遺構の切り合い関係からは、既述のとおり

①掘立柱建物跡ＳＢ62→ＳＫ05以下の土器溜→溝跡ＳＤ01Ａ→同ＳＤ01Ｂ→同ＳＤ01Ｃ

②掘立柱建物跡ＳＢ59→同ＳＢ60

③竪穴状遺構ＳＫＩ65→溝跡ＳＤ01Ｂ

の先後関係が明白である。

次に遺物の接合関係をみてゆくと

④ＳＢ59＝ＳＤ01Ａ＝ＳＫ08

の各遺構出土の遺物が接合し、しかもいずれも意図的な廃棄である可能性が高い遺構なので、このことは各遺構の同時廃絶、ひいては同時期に営まれていたことを示唆するものである。

火山灰との関係で言うと

⑤ＳＩ63Ｂ→（火山灰降下）

の先後関係がほぼ言えそうである。

さて本遺跡の建物配置をもう一度通覧すると、建物同士の重複は比較的少なく、柱穴相互が切り合う状況はさらに少ない。このことは集落の変遷を推定する上での障碍となる。以下、建物跡軸線方向からグルーピングすることで導かれる情報を基に、遺構変遷を考えたい。もとより物的な証拠を有するものではなく、あくまでも同一軸線の建物はほぼ同一時期に帰属するという仮定のもとでの予察にすぎない。

まず、分布域を異にするＳＢ93（桁行Ｎ－29°－Ｅ）、ＳＢ116（桁行Ｎ－20°－Ｗ）を除く21棟の掘立柱建物跡について、その軸線を求めていくと若干のばらつきはあるものの次の４群に分けられる。

Ａ群：桁行方向または梁行方向がＳＢ62（桁行Ｎ－20°－Ｗ）に近い方向の建物

ＳＢ62、ＳＢ55（梁行Ｎ－19°－Ｗ）、ＳＢ61（桁行Ｎ－17°－Ｗ）、

ＳＢ81（桁行Ｎ－18°－Ｗ）、ＳＢ135（桁行Ｎ－20°－Ｗ）、

SB152(桁行N－17°－W)

B群：桁行方向または梁行方向がSB54(梁行N－14°－W)・SB58(梁行N－15°－W)に近い方向の建物

SB54、SB58、SB24(桁行N－13°－W)、SB28(桁行N－12°－W)、SB53(梁行N－12°－W)、SB56(桁行N－15°－W)、SB57(桁行N－10°－W)、SB82(桁行N－13°－W)

C群：桁行方向がSB59(N－26°－W)に近い方向の建物

SB59、SB33(N－23°－W)、SB153(N－24°－W)、SB161(N－23°－W)

D群：桁行方向がSB60(N－87°－W)同様、東西もしくは南北方向に対し、5°未満の斜角しかもたない建物

SB60、SB23(N－5°－W)、SB136(N－86°－W)

なお、調査区南東端付近のSB93は上記のいずれにも該当しない。SB116は軸方向だけからはA群に帰属する。

次に、上記のグルーピングをもとに遺構の変遷について述べる。ただし、A～C群の建物についてはどちらに帰属するか微妙なものも多い。したがって、以下の記述では五十嵐典彦氏のいう「本屋級建物」を中心に据えた記述をする。

A群期：SB55・SB61・SB62を中心とする集落形成のさきがけをなす時期。SB81・SB135・SB152をともなう可能性がある。この時期は土器溜および区画溝をともなわない。この時期の遺構配置は散在傾向にあり、等高線と照合するとなるべく高所を選んだ可能性がある。SI63B、SKI64およびSKI65はこの時期に属する可能性があるが決め手を欠く。

B群期：SB53・SB54・SB58を中心とする時期。SB24・SB28・SB56・SB57・SB82の各建物とSK05以下の土器溜をともなう可能性がある。この時期の遺構配置は、建物群集中区の北側に偏在する傾向がある。次のC群期が南側に偏在する傾向があるのとは対照的である。この時期の建物跡相互には重複関係をともなうものもあるため、第317図にはB_1群期およびB_2群期の細別を設けて示した。この時期においては、長軸方向が〈北東－南西〉の本屋級建物を主として、本屋級建物1棟に対して附属屋級建物が2～3棟セットした形態で集落が営まれた様相が看取できる。SK05以下の一連の土器溜はSB62(A群期)廃絶後のこの時期に掘削された。

建物の数の多さや土器溜が営まれることなど本遺跡古代集落におけるピークを迎える時期である。土器溜の不連続的な帯状の平面形状は、区画溝とは言えないまでも集落内外の境界線が強く意識されていたことの反映であるかもしれない。次のC群期に一部重複しながら溝が掘削されるだけでなく、土器溜のさらに外側に柱穴列が設けられることは境界意識への強い拘泥を感じさせるのであり、次期になって忽然とその意識が高まったというよりは、この時期にそうした意識が涵養されたと考える方が自然だと思うからである。

C群期：SB33・SB59を中心とする時期。SB153およびSB161をともなう可能性がある。この時期の遺構配置はB群期より南東方向にスライドする傾向があり、建物長軸方向も直交す

る二方向からほぼ同一の一方向へ収斂される傾向にある。この時期、区画溝SD 01 Aが建物群東側に延々と設けられる。SD 01 BやSD 92などもほどなく設けられたであろうと推測する。また、柱穴列SA 83もこの時期に帰属するものと考える。軸方向がC群建物と共通するだけでなく、北限・南限がC群建物の北限・南限とほぼ一致するからである。

区画溝が掘削されたのはSK 05以下の土器溜がその役割をほぼ終えたのちのことである。しかし、この時期、新たに土器溜SK 08が設けられる。SK 05以下の帯状平面の土器溜とは分布域を異にし、L字状に立地するC群建物に囲まれた中央付近に立地する。このことは接合関係ばかりではなく立地論的観点からも同時性が成り立つ根拠たりうる。

D群期：SB 23・SB 60・SB 136より構成される時期。建物軸方向はC群期までと大きく異なる。溝や土器溜も廃絶されてしまっている。

なお、SB 93・SB 116については時期特定の根拠に大きく欠ける。SB 93は、軸方向は他の建物と大きく相違するものの、平行する古代溝SD 01 AおよびSD 92 Aに挟まれた箇所に立地し、両溝と直交する軸方向を有するのでC群期に属する可能性があるが、SK 94との関連からは中世に帰属する可能性もある。SB 116は軸方向だけではA群期に属するが、分布域が異なるだけでなく古代溝SD 01 Aの北東側に立地し、古代集落として意識されたであろう領域の外側にあたることが引っかかる。遺物の出土が皆無であるため憶断の域を出ないが、古代に属するとすればA群期に帰属する可能性が高いとしておく。

最後に、各時期相互の移行について述べる。

A群期からB群期への移行は、SB 61を除いて〈北東－南西〉を長軸とする本屋級建物を中心に営まれ、その軸方向も漸移的な値を示すことから明瞭な画期を設けることは困難である。

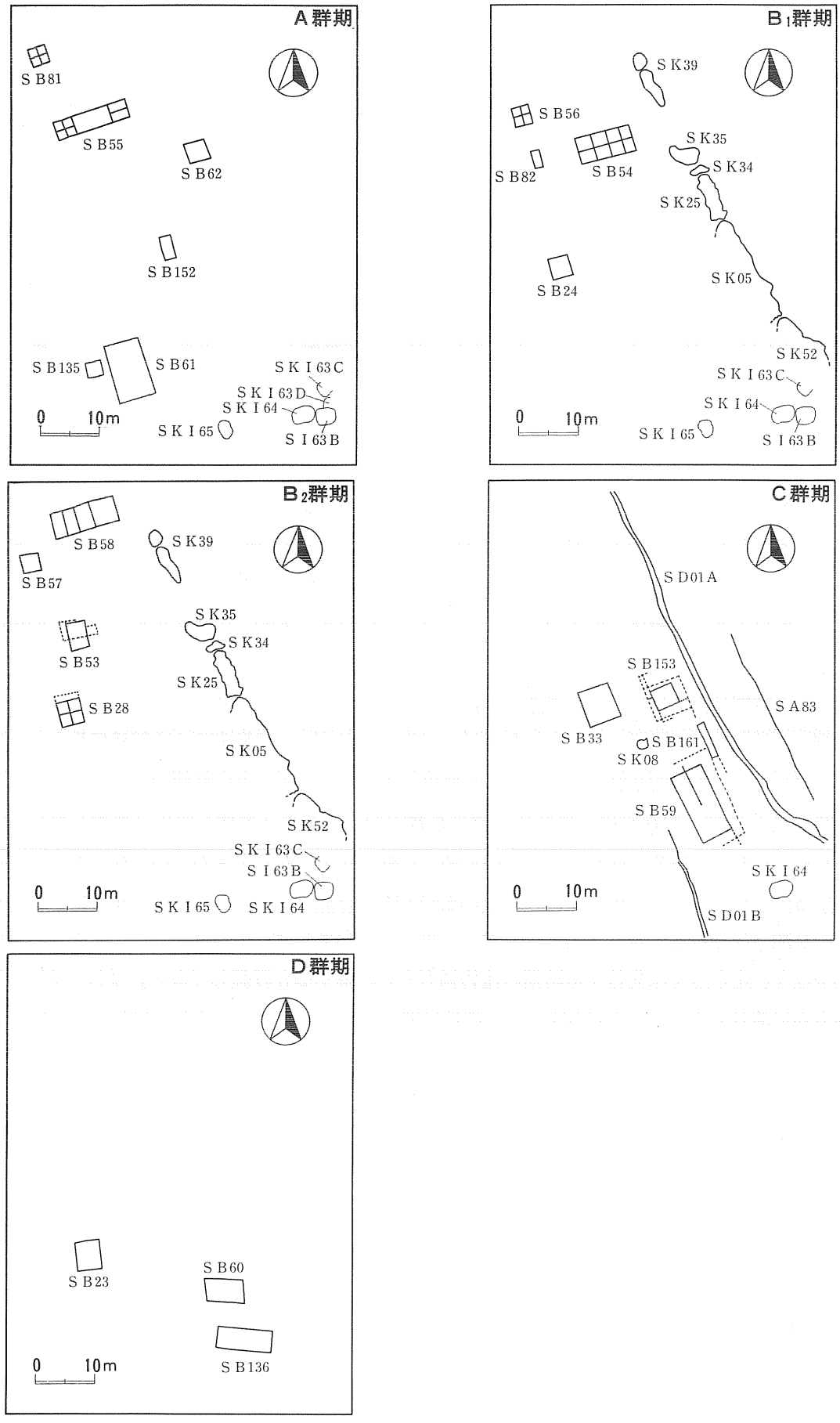
B群期からC群期への移行は、本屋級建物の長軸方向が〈北東－南西〉から〈北西－南東〉へと転換する点、それまで南北方向にふれる傾向にあった軸方向が一転して東西方向に戻される点で画期があったものと見なしうる。溝と柱列による二重の区画施設が設けられた点でも、集落構造における新要素の展開がみられると言ってよい。ただし、軸方向の角度自体はA～B群期に比して3°～16°の違いしかなく、その点では先行する時期の建物軸方向を踏襲すると評価してよい。なお、本屋級建物の長軸方向に着目すると、さきにSB 61をA群期に帰属するとしたが、C群期に帰属する可能性もありえる。

C群期からD群への移行は、D群期の建物の軸方向はA～C群期に比べて差異が大きい。また、C群期におけるSB 59、SK 08、SD 01 Aから出土した遺物が互いに接合することは、比較的大がかりな埋納もしくは廃棄行為がなされたであろうことを立証するものであり、これら諸点からC群期までとD群期の間には本遺跡古代集落最大の画期があったと判断する。柱穴掘形もC群期までと比し著しく縮小する傾向が看取できる。(註37)

註１　出土縄文土器には、縄文前期前葉表館式に併行する可能性ある資料がある(第135図25)。ただし、１点のみの出土であり、当該時期の詳細な状況は不明である。

註２　SN 1376焼土遺構は大木８ｂ式期に属する竪穴住居地床炉であった可能性も想定し得るが、確実ではない。

註３　相対的に古い時期の立石等の土坑上面施設は後代の遺構構築等に伴って破壊された可能性も考慮する必要



第317図　古代遺構変遷図

もあろう。

註４　以下、本項中の伊勢堂岱遺跡に関する記述は下記文献による。

秋田県教育委員会　『伊勢堂岱遺跡－県道木戸石鷹巣線建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ』　秋田県文化財調査報告書第293集　1999(平成11)年

註５　大木10式(新)期において特に葬送儀礼が発達したとすると、本遺跡では明瞭ではないが、県南部の一般的傾向として、大木10式(新)期前後に複数の住居が継続的に集中する集落形態から単独住居のみからなる形態に大きく変化すること(例えば大曲市太田遺跡)、もしくは大木10式(新)期前後に集落が断絶すること(例えば千畑町内村遺跡)と関連する可能性もあろう。集落形態の変化が集団関係の変質と対応し、このことが墓制の変化および葬送儀礼の発達に反映したものと大きくはとらえることができようか。

秋田県教育委員会　『東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書Ⅸ－太田遺跡－』　秋田県文化財調査報告書第207集　1991(平成３)年

秋田県教育委員会　『内村遺跡発掘調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第82集　1981(昭和56)年

註６　SK 1043は、柱穴状の遺構であったとすると、第４章第２節１で触れたように、最終的には柱材は抜き取られたものと推定できる。

註７　以下、本項中の八木遺跡に関する記述は下記文献による。

秋田県教育委員会　『八木遺跡発掘調査報告書－公害防除特別土地改良事業八木地区に係る埋蔵文化財発掘調査－』　秋田県文化財調査報告書第181集　1989(平成元)年

註８　例えば、二ツ井町竜毛沢館跡では、舌状台地上12,000㎡の調査によって、縄文中期末～後期初頭を主体とする竪穴住居跡11軒が検出されている。しかし、確実な土坑墓は３基のみであり、大規模で規格的な墓域は成立していない。

秋田県教育委員会　『竜毛沢館跡発掘調査報告書－一般国道７号二ツ井バイパス建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査－』　秋田県文化財調査報告書第188集　1990(平成２)年

註９　秋田県教育委員会　『片符沢遺跡Ⅰ発掘調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第72集　1980(昭和55)年

註10　鹿角市教育委員会　『御休堂遺跡発掘調査報告書』　鹿角市文化財調査資料19　1981(昭和56)年

註11　板橋範芳　「大館野遺跡」『平成元年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会資料』　1990(平成２)年

大館市教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　1990(平成２)年

註12　秋田県教育委員会　『此掛沢Ⅱ遺跡・上の山Ⅱ遺跡発掘調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第114集　1984(昭和59)年

秋田県教育委員会　『国営能代開拓建設事業埋蔵文化財発掘調査　上の山Ⅱ遺跡第２次発掘調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第137集　1986(昭和61)年

註13　秋田市教育委員会　『秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書－下堤Ｅ･Ｆ遺跡・坂ノ上Ｆ遺跡・狸崎Ａ遺跡・湯ノ沢Ｄ遺跡・深田沢遺跡－』　1985(昭和60)年

註14　秋田県教育委員会　『東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書Ⅲ－上野台遺跡・寺沢遺跡・半仙遺跡－』　秋田県文化財調査報告書第180集　1989(平成元)年

註15　秋田市教育委員会　『秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書－下堤Ａ遺跡・下堤Ｂ遺跡－』　1988(昭和63)年

註16　横手市教育委員会　『大鳥井山Ⅰ－横手市大鳥井山遺跡発掘調査概報－』　横手市文化財調査報告５　1978(昭和53)年

横手市教育委員会　『大鳥井山Ⅱ－横手市大鳥井山遺跡発掘調査概報－』　横手市文化財調査報告６　1979(昭和54)年

註17　秋田県教育委員会　『中藤根遺跡』　1974(昭和49)年

註18　秋田県教育委員会　『下藤根遺跡発掘調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第39集　1976(昭和51)年

註19　平鹿町教育委員会　『年子狐地区遺跡発掘調査報告書』　1988(昭和63)年

註20　羽後町教育委員会　『城神巡り遺跡－第３次発掘調査概報－』　1980(昭和55)年

註21　羽後町教育委員会　「新城川遺跡」『福島遺跡ほか発掘調査報告書－柏原古墳群・福島遺跡－』　1994(平成６)年

註22　秋田県教育委員会　『内村遺跡発掘調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第82集　1981(昭和56)年

註23　秋田県教育委員会　『平鹿遺跡発掘調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第101集　1983(昭和58)年

註24　秋田県教育委員会　『東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書Ⅷ－小出Ⅰ遺跡・小出Ⅱ遺跡・小出Ⅲ遺跡・小出Ⅳ遺跡－』　秋田県文化財調査報告書第206集　1991(平成３)年

註25　横手市教育委員会　『秋田県横手市遺跡詳細分布調査報告書』　1986(昭和61)年

註26　秋田県教育委員会　『上雨堤遺跡発掘調査報告書－県道本荘・西仙北・角館線改良工事に係る埋蔵文化財発掘調査－』　秋田県文化財調査報告書第149集　1986(昭和61)年

註27　秋田県教育委員会　『東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書Ⅴ－手取清水遺跡－』　秋田県文化財調査報告書第190集　1990(平成２)年

註28　秋田県教育委員会　『東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書Ⅳ－下田遺跡・下田谷地遺跡－』　秋田県文化財調査報告書第189集　1990(平成２)年

註29　註25に同じ

註30　秋田県教育委員会　『藤木遺跡発掘調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第81集　1981(昭和56)年

註31　稲川町教育委員会　『宮の前遺跡発掘調査報告』　1977(昭和52)年

秋田県教育委員会　『宮の前遺跡』　秋田県文化財調査報告書第64集　1979(昭和54)年

註32　高橋学　「区画施設をともなう古代集落遺跡について」『よねしろ考古』第５号　1989(平成元)年

註33　秋田県教育委員会　『胡桃館埋没建物遺跡発掘調査概報』　秋田県文化財調査報告書第14集　1968(昭和43)年

秋田県教育委員会　『胡桃館埋没建物遺跡第２次発掘調査概報』　秋田県文化財調査報告書第19集　1969(昭和44)年

秋田県教育委員会　『胡桃館埋没建物遺跡第３次発掘調査概報』　秋田県文化財調査報告書第22集　1970(昭和45)年

註34　秋田県教育委員会　『東北縦貫自動車道発掘調査報告書Ⅹ』　秋田県文化財調査報告書第109集　1984(昭和59)年

秋田県埋蔵文化財センター　『はりま館遺跡発掘調査略報』(第２次調査)　1989(平成元)年

註35　池田晃一　「古代末の土器溜土坑予察」『研究ノート』８号　茨城県教育財団　1999(平成11)年

註36　前田清彦　「土器祭祀類型化試論」『北陸古代土器研究』第７号　1997(平成９)年

註37　本稿執筆に際しては、下記の文献も参考にした。

第24回古代城柵官衙検討会シンポジウム資料　『東北地方の古代集落第２分冊(米代川流域・秋田平野・横手盆地・庄内平野)』　1998(平成10)年

日本考古学協会1997年度秋田大会実行委員会『蝦夷・律令国家・日本海－シンポジウムⅡ・資料集－』　1997(平成９)年

秋田県教育委員会　『払田柵跡Ⅰ－政庁跡－』　秋田県文化財調査報告書第122集　1985(昭和60)年

秋田県教育委員会　『払田柵跡Ⅱ－区画施設－』　秋田県文化財調査報告書第289集　1999(平成11)年

1　Ⅰトレンチ完掘状況（西から）

2　Ⅲトレンチ完掘状況（南から）

図版2

1　SI1510土層断面
（北から）

2　SK1225確認状況
（北西から）

3　SK1346B遺物確認状況（北から）

1　SK 1462遺物確認状況（南西から）

2　SK 1487（奥）・SK 1499（手前）礫群確認状況（北から）

3　SK 1506遺物確認状況（西から）

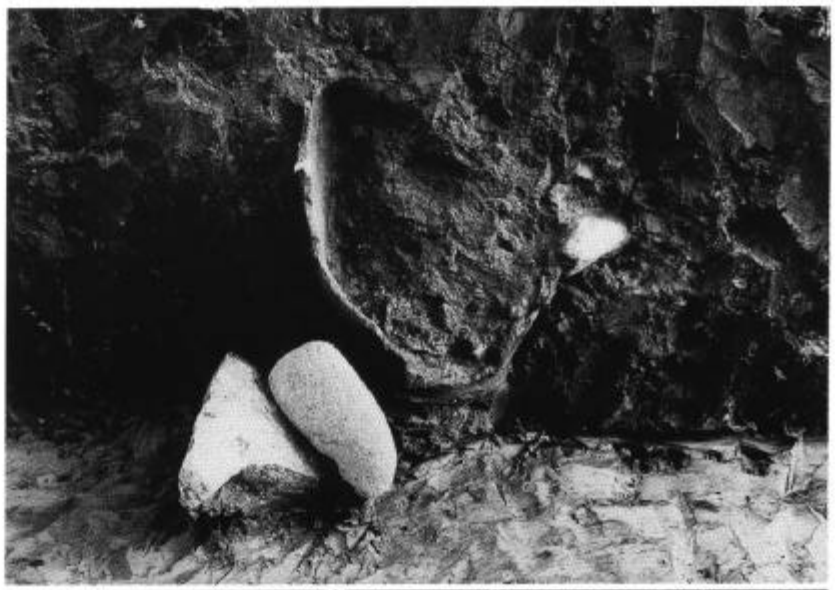
図版4

1　SK 1538礫群確認状況（東から）

2　SK 3037確認状況（南から）

3　SR 1441 A 確認状況（南から）

1　SN 1444半截状況
（北から）



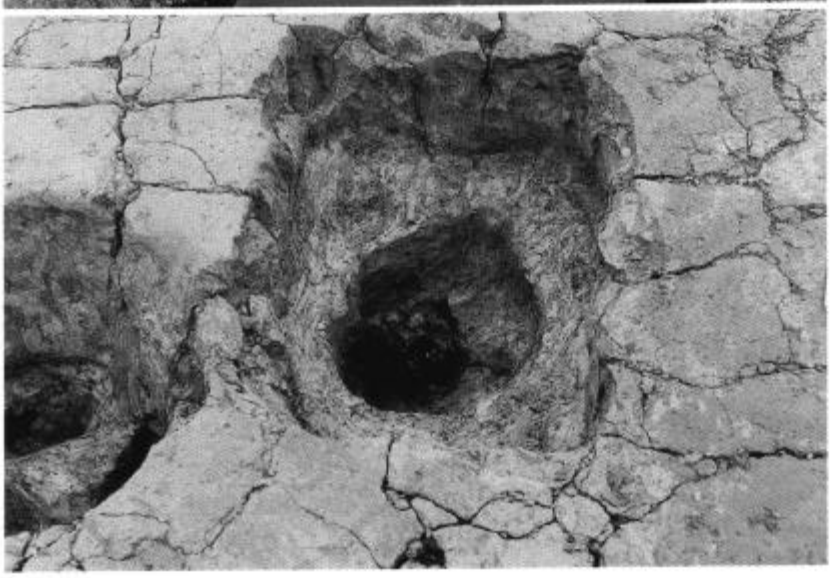
2　SQ 1045確認状況
（東から）

3　SQ 3004確認状況
（南から）

図版6

1　SB53・54・82
（南東から）

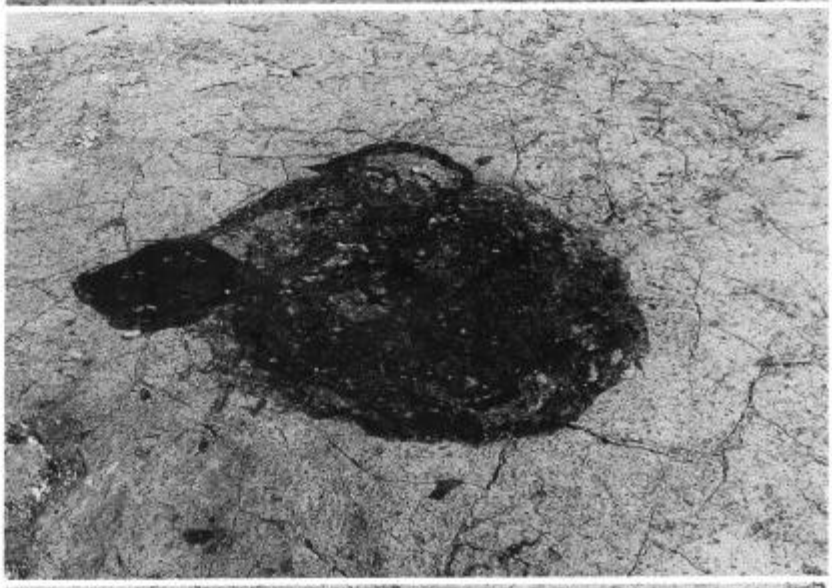
2　SB54　4号柱穴
柱材確認状況
（東から）



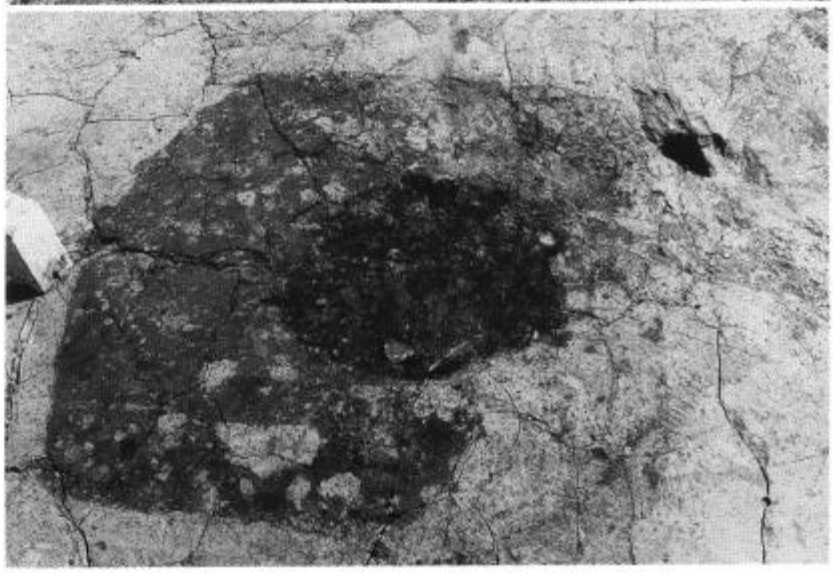
3　SB55　9号柱穴
柱材確認状況
（東から）

1　SB59・60
（南東から）

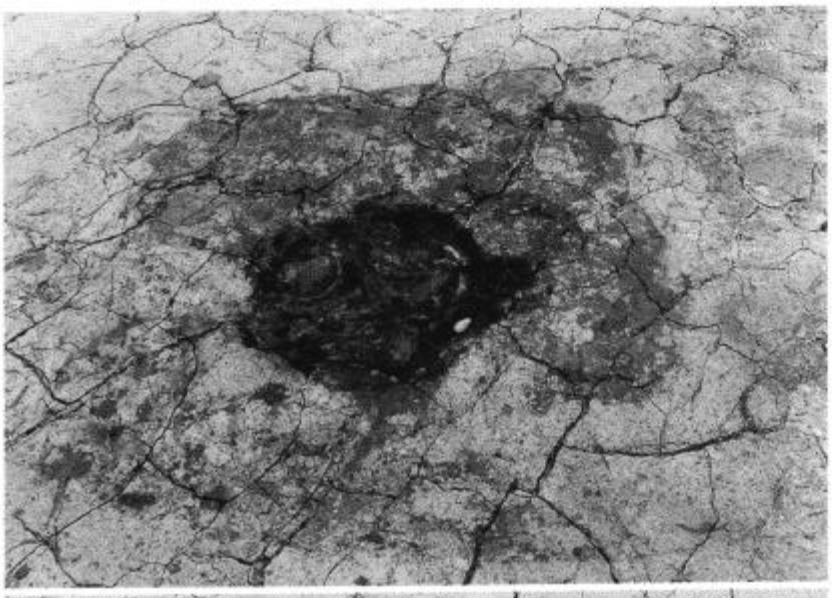
2　SB59　2号柱穴（右）
SB60　10号柱穴（左）
MI101SKP 9
（中央上）確認状況
（北西から）



3　SB59　3号柱穴
確認状況（北西から）



図版8

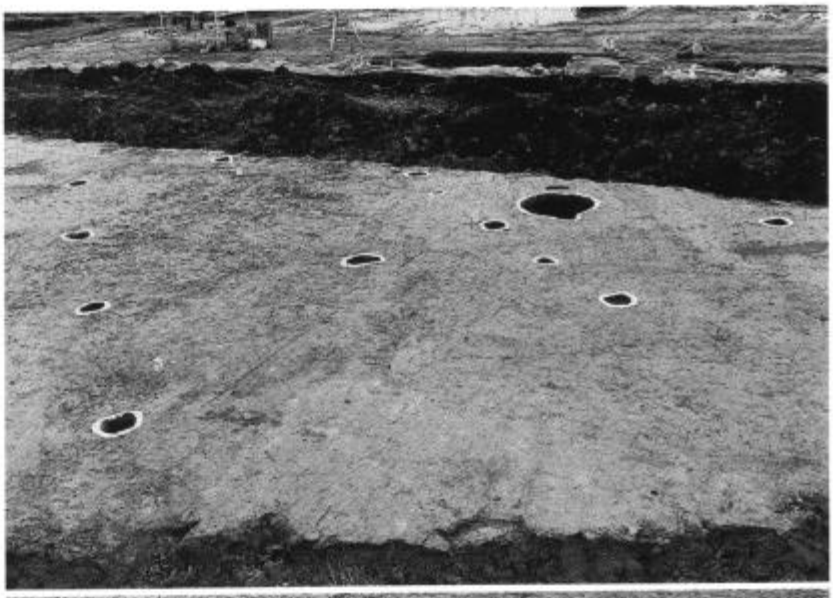


1　SB59　4号柱穴
確認状況（北西から）

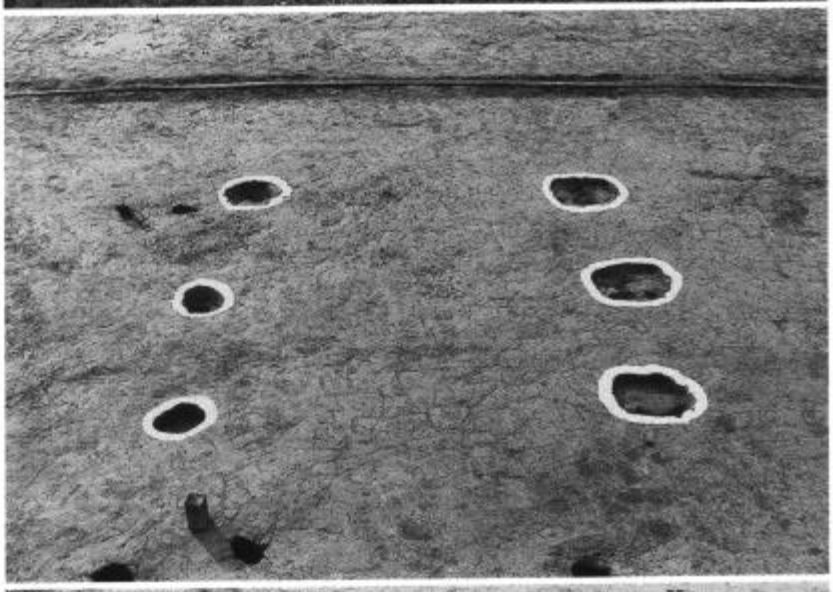
2　SB59　4号柱穴
半截状況（北西から）

3　SB59　11号柱穴
半截状況（北西から）

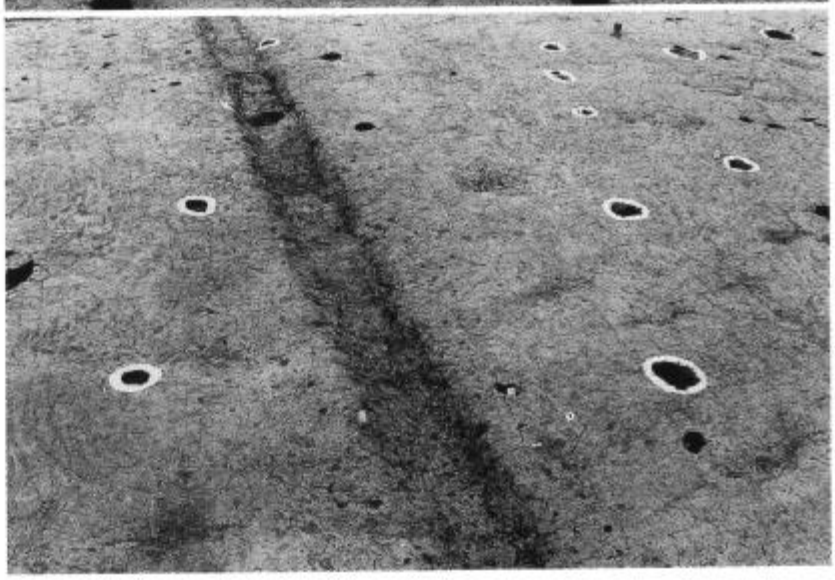
1　SB93・SK94
（北から）



2　SB135（東から）



3　SB136（東から）



図版10

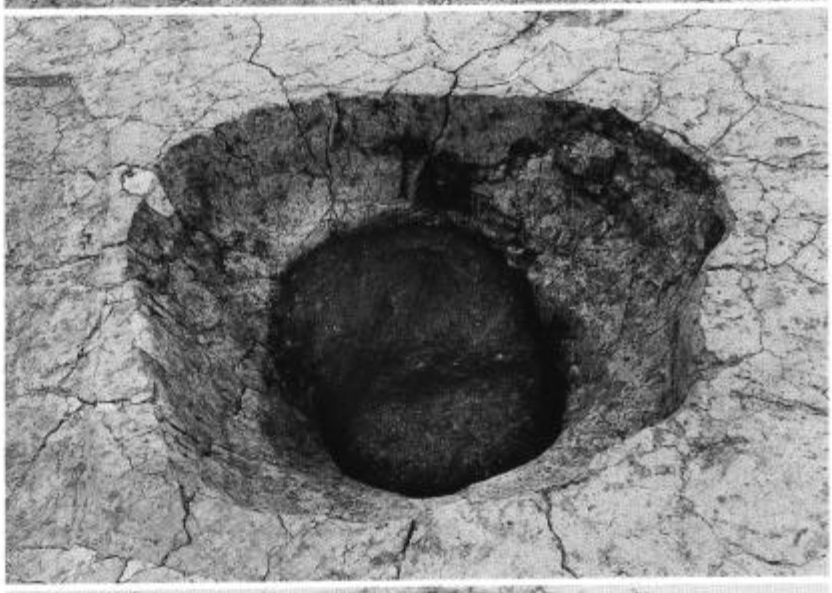
1　SI63B完掘状況
（北から）

2　SI63B カマド
（西から）

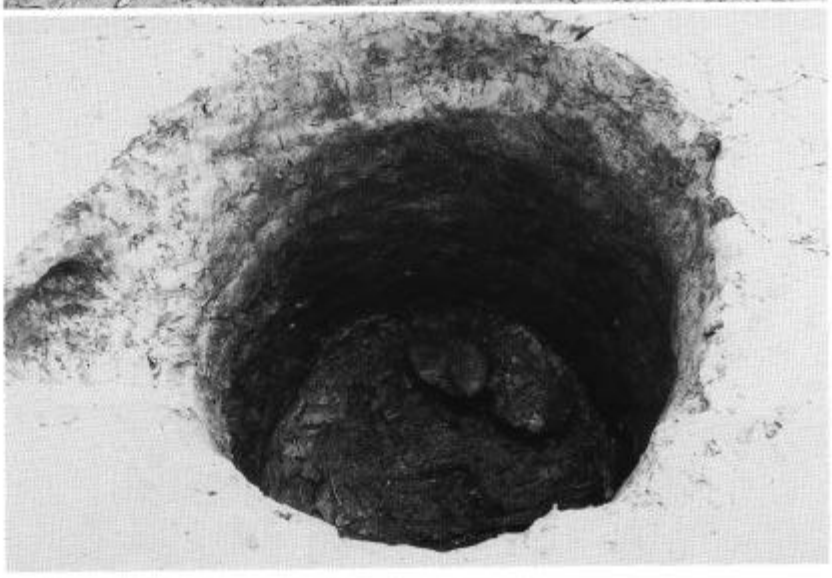
3　SKI65調査状況
（北から）

1　SK51半截状況
（北から）

2　SK51完掘状況
（北から）



3　SK94礫確認状況
（北から）



図版12

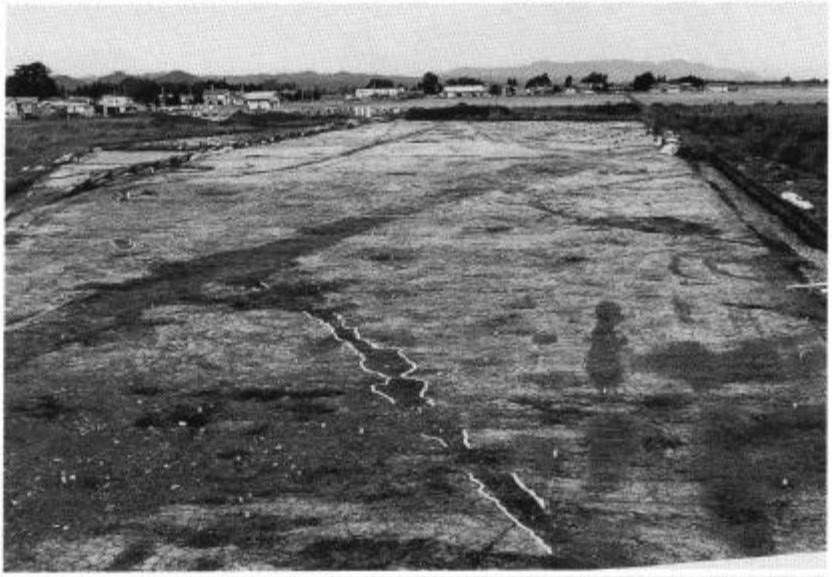
1　SK05(右)
SD01A(左)
土層断面（南から）

2　SK25遺物確認状況
（北から）

3　SK39(右・左)・
SD01A(中央)完掘
状況（北から）

1　SD01A（奥～左）
SD01B（手前）
（北西から）

2　SD01（右上）・
SD92A（中央～左）
（南東から）



3　SA83（中央）
SD01A（左）
（南東から）

SI1510(74－1)

SK1308(76－11)

SK1315A(77－9)

SK1365B(80－1)

SK1506(86－8)

SK1563(91－9)

1　遺構出土縄文土器

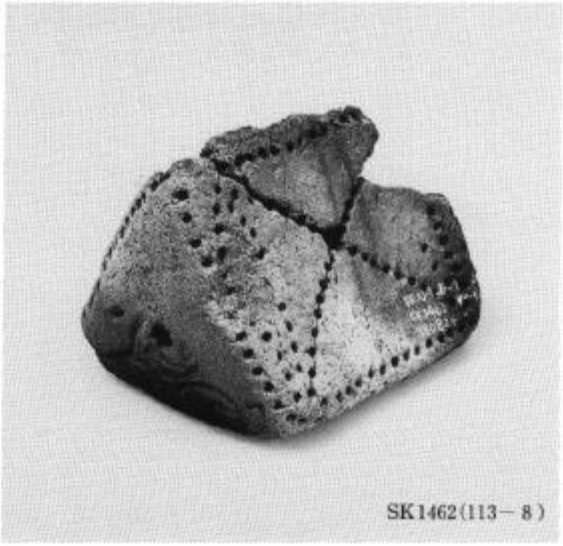
SR1441A(99－1)

SR1441A(99－2)

SR1570(100－1)

SR3006(100－5)

SN3017(105－8)


SK1462(113－8)

1　遺構出土縄文土器・土製品

SK05(254－14)

SK05(254－14)

SK25(258－1)

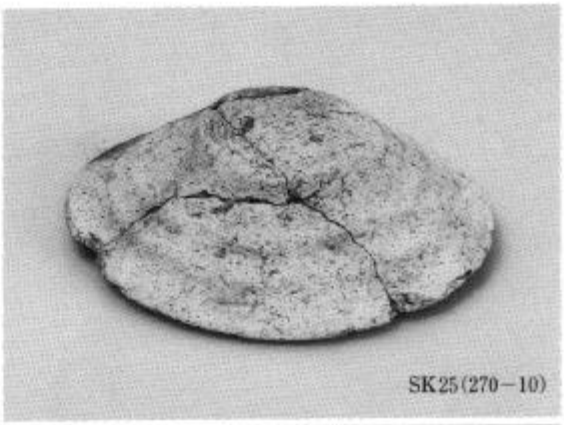
SK25(258－3)

SK25(259－10)

SK25(262－15)

1　遺構出土須恵器・土師器

SK25(270−10)


SK25(270−10)

SK25(270−12)

SK25(270−12)

SK25(271−1)

SK25(271−1)

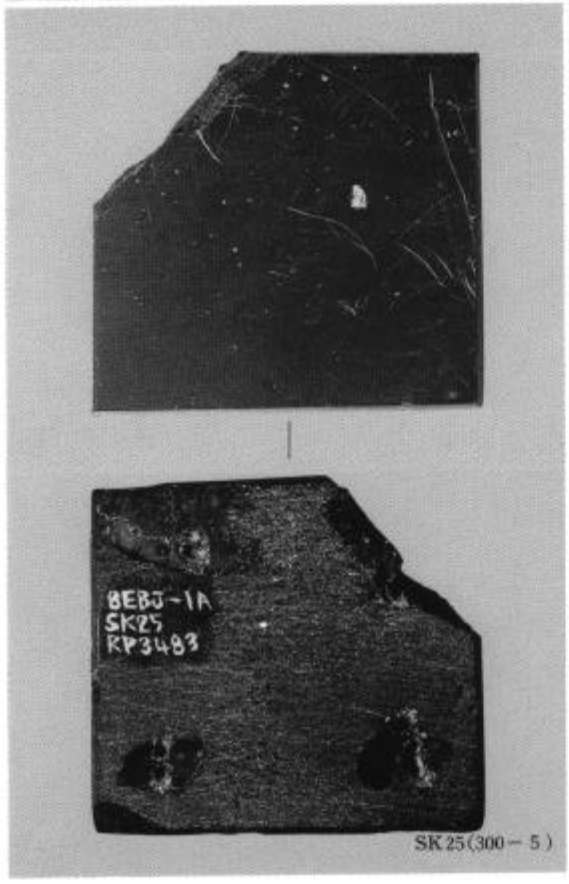
SK25(273−7)

SK25(273−7)

1　遺構出土土師器

SD01A(295－1)

SD01A(295－2)



SK25(300－5)

範14トレンチ(311－2)

1　遺構出土須恵器・石製品、遺構外出土石製品

報告書抄録

ふりがな	えばらじまいちいせき
書名	江原嶋1遺跡
副書名	県営ほ場整備事業(北阿気地区)に係る埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	秋田県文化財調査報告書
シリーズ番号	第310集
編著者名	吉川孝・佐々木政任・榮一郎・五十嵐典彦
編集機関	秋田県埋蔵文化財センター
所在地	〒014-0802　秋田県仙北郡仙北町払田字牛嶋20番地
発行年月日	西暦2001年1月

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
江原嶋1 (えばらじまいち)	秋田県平鹿郡大雄村 字東阿気 (あきたけんひらかぐんたいゆうむら あざひがしあげ)	05447	64－1	39度 20分 54秒	140度 28分 29秒	19980525 ～ 19981120	16,700	県営ほ場整備事業（北阿気地区）に係る事前調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
江原嶋1	集落跡 墓	縄文	竪穴住居跡1軒 土坑138基 土器埋設遺構6基 焼土遺構・屋外炉18基 配石遺構14基 柱穴521基	縄文土器 土製品 石器 石製品	縄文時代中期後葉～後期前葉の多数の土坑墓を検出した。
	集落跡	古代	掘立柱建物跡23棟 竪穴住居跡1軒 竪穴状土坑4基 土坑11基 焼土遺構2基 土器溜7基 柱穴列1条 溝跡6条 柱穴880基	土師器 須恵器 石製品 土製品 木製品	狭長な溝によって区画された掘立柱建物跡を主体とする古代集落跡を検出した。土器溜からは石製帯飾り(巡方)1点が出土した。
	散布地	中近世		陶磁器 鏡片	

あとがき

発掘調査および整理作業にあたっては下記の皆様の参加・御協力を得ました。記して感謝の意を表します。

（発掘調査）

赤川ケイ子　赤川　貴行　赤川　トク　朝川サチ子　安藤　逸子　和泉　巴子　石塚　タエ
石塚ユリ子　伊藤　国子　伊藤　静子　伊藤　貞子　伊藤　秀雄　伊藤　正人　遠藤　トク
遠藤　雄一　遠藤　麗子　太田　武雄　大塚　昭一　奥山進一郎　小野千恵子　小野ミヤ子
小野　友一　大御堂高雄　鎌田富美雄　菊池江美子　菊地シヅ子　菊池　清喜　菊池トキ子
菊地養一郎　吉川　恭輔　熊沢　辰雄　小西　健太　小松田和則　根田　キサ　斎藤アイ子
佐々木キネ　佐々木キヨ子　佐々木千代治　佐々木裕子　佐々木浩美　佐々木三千代　佐藤　司
佐藤　侃　佐藤　秀雄　佐藤　操　柴田　キエ　柴田　フミ　澁谷　幸雄　菅原　エコ
菅原　カツ　鈴木　悦子　寿松木喜美子　寿松木敬子　鈴木　ヒサ　鈴木　利一　高垣　耕一
高垣奈保子　高橋　悦子　高橋　謙一　高橋しのぶ　高橋　鈴江　高橋　久子　高橋　玲子
高安　直美　滝沢キサ子　田口　栄　竹原　竜一　照井　栄子　照井　勝美　照井　喜重
照井　賢子　照井　幸一　戸田　チヨ　戸巻　清　中川原光蔵　長沼　清子　長沼武士郎
中村　葉子　長谷山松右衛門　畠屋　文夫　原田　興介　平元　茂　藤田恵利子　堀川　テイ
松井　康子　松下由利子　三浦　光男　村田　恭子　最上谷イク　安田　惣一　矢野　恵美
矢野ミキ子　吉田　純　渡邊　亮

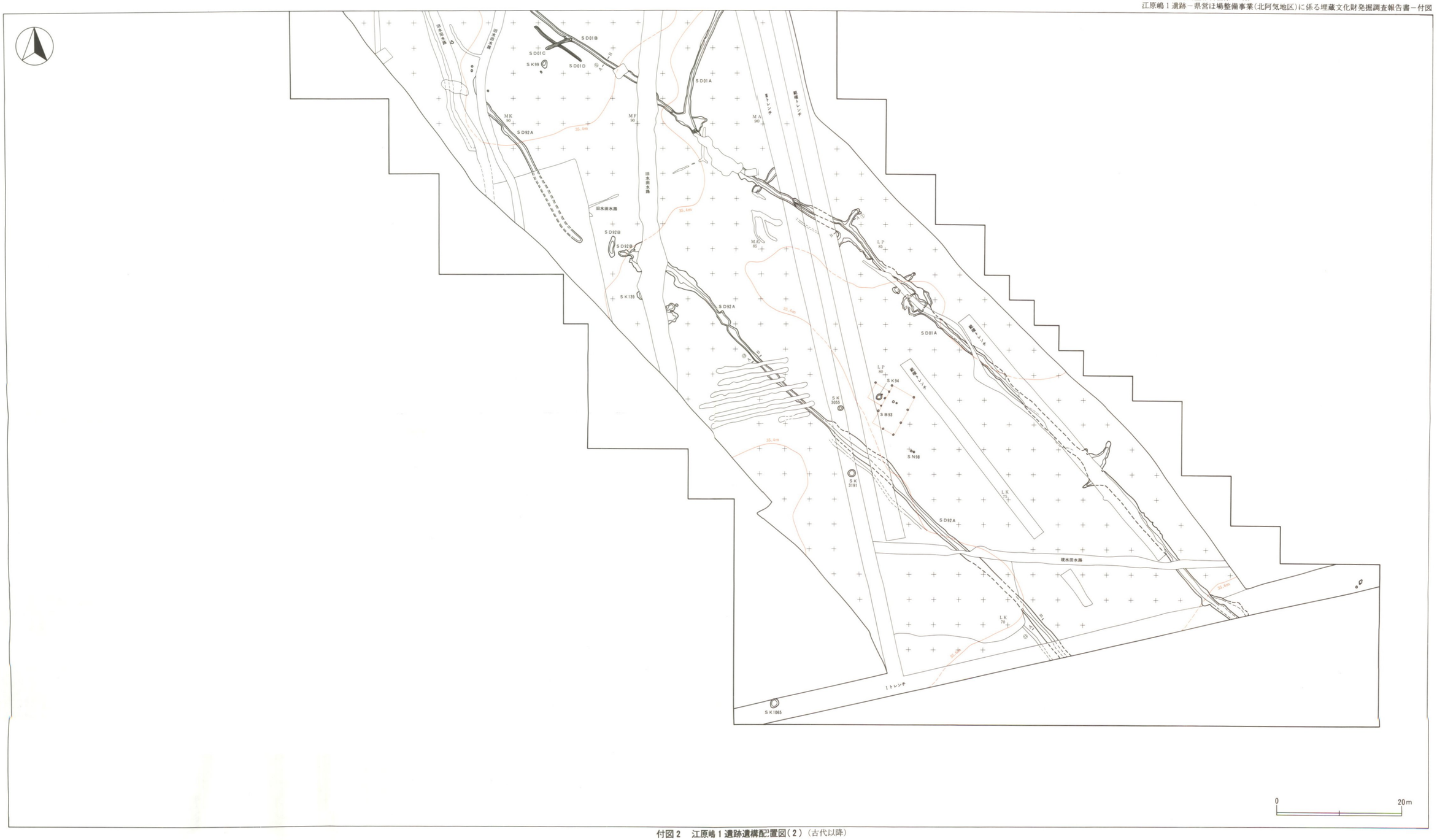
（整理作業）

足利　直哉　粟津ひろみ　今川　弥生　越後谷洋子　大河　孝子　大西　英子　太田　剛
小田長京子　川原　礼子　草彌　清美　栗原　拓　煙山　誠子　後藤るみ子　小柳　和子
小柳　都　斎藤　克子　斉藤コトコ　坂本真喜子　佐々木　薫　佐々木久美子　佐々木多恵子
佐々木浩美　佐藤　克子　佐藤　節子　清水川セイ子　須田　春子　高橋しのぶ　高橋まき子
高橋　宏樹　高橋フサ子　土田　宏　出原たか子　冨田寿美子　永井　敦　長澤　巌
新田ひとみ　沼倉　徹　半田　里子　藤井みどり　藤田　悦子　藤原　泰史　藤原　寛子
本間美紀子　三浦　悟　森川　宏美　六澤美奈子

（総務関係）

小原　律子　九嶋　亜紀　齋藤　美幸　高橋　寿子　森川　宏美　山崎　景子

付図１　江原嶋１遺跡遺構配置図（１）（古代以降）



付図２　江原嶋１遺跡遺構配置図(２)（古代以降）